

Panasonic®

取扱説明書

(ファクス / インターネット FAX 編)

フルカラーデジタル複合機



品番 DP-C3040ZFS / C3040Z
DP-C3030ZFS / C3030Z
DP-C2626ZFS / C2626ZF


Copying


Printing

Email 

Scanning


Facsimile

Internet Fax



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●ご使用前に『取扱説明書(基本編)』の「安全上のご注意」を
必ずお読みください。

●この取扱説明書は大切に保管してください。

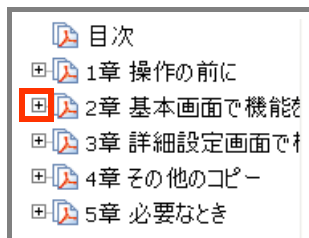
●イラストはオプションを装着した例です。
詳しくは、『取扱説明書(基本編)』を参照
してください。

本書の読みかた

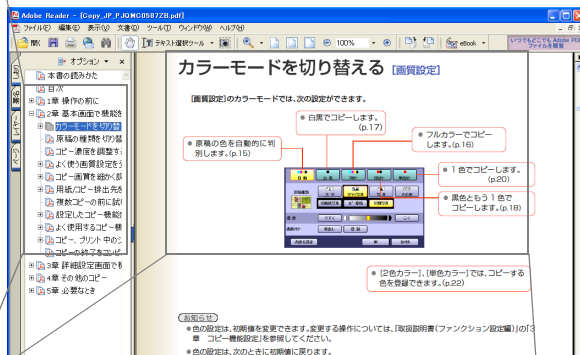
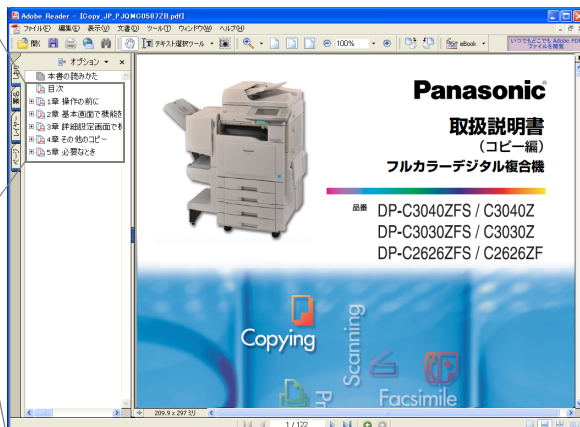
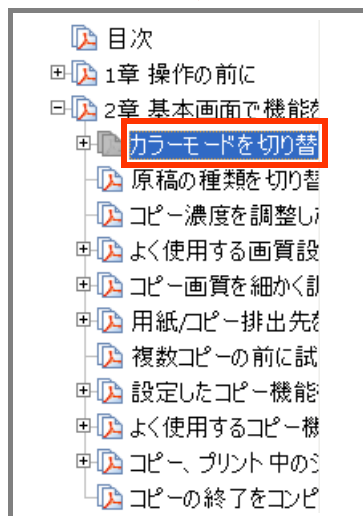
ここでは、PDF のしおりの使いかた、参照ページの表示方法、本書の表記について説明します。

□ しおりの使いかた

[+]をクリックすると、下の階層が表示されます。



タイトルをクリックすると、該当するページが表示されます。



□ 参照ページの表示方法

ページ番号をクリックすると、該当するページが表示されます。



(上記画面の内容は、実際の取扱説明書と異なる場合があります。)

□ 本書の表記について

- 本書では、本機の操作パネルの各キー、タッチパネル上のボタン、コンピューター画面上のボタンなどについて、下記のように表記しています。

< >	操作パネルの各キー(例:スタートキー→<スタート>)
[]	タッチパネル上の各ボタン、コンピューター画面上のボタンなど(例:基本ボタン→[基本])

- 本機のタッチパネル上のカタカナ文字は、半角と全角が一部混在していますが、本書では、説明文はすべて全角に統一して表記しています。

目次

本書の読みかた.....	2
目次.....	3

1 章 操作の前に

メニューマップ.....	10
原稿セットのしかた.....	14
ADF（自動原稿送り装置）を使う.....	14
原稿台ガラスを使う.....	14
使用上のお願い.....	16
回線 / LAN ケーブルなどの接続と設定.....	16
使用上のお願い.....	16
その他.....	16

2 章 ファクスの基本操作

ファクス送信の流れ.....	18
宛先を指定する.....	20
電話番号を入力する.....	20
アドレス帳を使う.....	22
宛先を検索する.....	24
再ダイヤルを使う.....	27
複数の宛先に送信しないときは.....	28
宛先を確認する.....	29
誤送信防止について.....	31
直接ダイヤル制限機能.....	31
ダイヤル再入力機能.....	32
回線状態を確認して送信する.....	[モニター] 33
相手と電話機で話してから送信する.....	[手動送信] 34
画質を設定する.....	[画質設定] 35
原稿サイズを設定する.....	[原稿サイズ] 38
両面原稿を送信する.....	[両面原稿] 40
済スタンプを解除する.....	[済スタンプ] 42
メモリーに蓄積して送信する.....	[メモリー送信] 44
メモリー送信とは.....	44
メモリーに蓄積してから送信する.....	45
メモリーに蓄積せずに送信する.....	[ダイレクト送信] 46
通信を中止する.....	48
発信元印字を設定する.....	[発信元印字] 49
通信状況を確認する.....	[通信状況] 50
回転送信について.....	51
宛先別一括送信について.....	52
プログラムダイヤルを呼び出す.....	53

IP 電話サービスを使う	54
IP 電話サービス利用上の留意点	54
IP 電話サービスを使ってファクス送信する	56

3 章 便利なファクス機能

時刻を指定して通信する	62
時刻を指定して送信する	[タイマー送信] 62
時刻を指定して ポーリング受信する	[タイマーポーリング受信] 64
時刻を指定して特殊通信をする	[タイマー特殊通信] 66
受信側からの指示で原稿を送信させる	[ポーリング受信] 68
ポーリング送信原稿を蓄積する	[ポーリング送信] 70
中継同報送信を指示する	[中継同報指示] 72
中継同報送信とは	72
中継同報送信をするための準備	73
中継同報送信を指示する	74
いつも送信する文書を蓄積しておく	[ファイル送信] 76
ファイル送信用の文書を蓄積する	77
ファイル送信用の文書を送信する	78
ファイル送信用の文書を削除する	79
ファイル送信用の文書を印刷する	80
F コード（サブアドレス）を使って通信をする	[F コード通信] 82
F コードとは	82
F コードを使った送信例	82
F コード通信の操作	83
受信側で複数部数印刷させる	[マルチコピー通信] 86
ファクシミリ通信網を利用する	[F 網通信] 88
誤送信を防止する	[セレクト送信] 89
パスワードを使って送信する	[パスワード送信] 91
パスワード送信とは	91
パスワード送信をする	92
ファンクション設定を変更する（パスワード送信）	93
伝送速度を落として通信する	[ワнтаイム海外通信] 95
急ぎの原稿を通信する	[優先通信] 96
時間を決めて通信する	[定期便タイマー通信] 98
ルーティング機能を使う	100
ルーティングとは	100
ルーティングに必要な設定の流れ	101
ルーティングに必要なファンクション設定	102
ルーティングに必要なアドレス帳の設定	103

4 章 受信について

受信のしかた	108
自動受信	108
手動受信	109
受信時の印刷について	110
縮小受信	110

2 イン 1 印刷	111
両面印刷	111
マルチプリント部数	112
回転ソート	112
メモリー代行受信について	113
便利な受信機能	114
セレクト受信	114
メモリー転送	115
パスワード受信	116
迷惑ファクス防止	118
メモリーに受信する	[メモリー受信] 122
メモリー受信とは	122
メモリー受信を設定する	123
メモリー受信した文書を印刷する	124
外部電話機からファクス受信に切り替える	[リモート受信] 125
リモート受信とは	125
外部電話機からファクス受信に切り替える	125

5 章 インターネット FAX を使う

インターネット FAX とは	128
インターネット FAX の概要	128
インターネット FAX 機能を使うには	129
インターネット FAX でできること	130
E メールを送信する	130
E メールを受信する	131
ルーティングを使う	131
LAN 中継送信を使う	132
送達確認通知 (MDN) を使う	133
ダイレクト SMTP (ダイレクト IFax 送信) を使う	134
インターネット FAX 使用上のお願い	136
インターネット FAX を使うための準備	138
ネットワーク項目の設定	138
E メール送信の流れ	140
メールアドレスを入力する	142
キーボードから入力する	143
アドレス帳を使う	145
宛先を検索する	147
再ダイヤルを使う	150
誤送信防止について	152
直接ダイヤル制限機能	152
ダイヤル再入力機能	153
複数メールアドレスや件名を設定する	154
Cc、Bcc を設定する	155
From を設定する	156
件名を設定する	157
宛先を確認する	158
添付ファイルの形式やファイル名を設定する	[ファイルタイプ / ファイル名] 160
A3 サイズを E メールで送信する	[E メール A3 送信] 162
送達確認を要求する (MDN)	[送達確認要求] 164

E メールを送信できないときは	166
終了通知を使う	[終了通知] 167
E メールを受信する	168
E メール受信の設定	168
E メールを自動受信する	169
E メールを手動で受信する	169
プログラムボタンで E メールを受信する	170
コンピューターで E メールを受信する	172
E メールを受信したコンピューターでは	172
E メールを開くと	173
LAN 中継機能を使う	174
LAN 中継機能とは	174
LAN 中継送信ネットワークの構築について	176
LAN 中継送信ネットワーク例	177
LAN 中継送信設定のファンクション設定とアドレス帳の設定サンプル	178
中継局に必要なファンクション設定	179
中継指示局に必要なファンクション設定	181
中継局のアドレス帳設定	181
LAN 中継同報指示をするためのアドレス帳の設定	182
LAN 中継送信を指示する	[LAN 中継同報指示] 186
コンピューターから LAN 中継送信を指示する	188
コンピューターからの LAN 中継送信指示の操作	189
便利なアプリケーションソフトについて	190
LAN 中継送信の通信結果	191
知っておくと便利な用語	193
DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)	193
SMTP 認証	193

6 章 通信予約ファイル进行操作する

通信予約ファイルを確認する	[通信予約の確認] 196
通信予約ファイルを確認する	196
通信予約レポートの見かた	197
通信予約ファイルを変更する	[時間・宛先変更] 198
通信予約ファイルを削除する	[通信予約の消去] 200
指定通信予約レポートを印刷する	[指定通信予約レポート] 202
指定通信予約レポートを印刷する	202
指定通信予約レポートの見かた	203
通信エラー文書を再送信する	[未達宛先再通信] 204
代行受信文書を強制的に印刷する	[受信データの強制出力] 206
代行受信文書を手動で転送する	[手動ファイル転送] 207

7 章 データを登録 / 変更 / 削除する

アドレス帳を登録 / 変更 / 削除する	210
アドレス帳とは	210
アドレス帳に登録できる項目 (電話番号登録時)	211
操作の流れ (電話番号登録時)	212
アドレス帳に電話番号を登録する	213

通信機能を登録する	215
代行宛先を登録する	219
アドレス帳に登録できる項目 (E メール登録時)	220
操作の流れ (E メール登録時)	221
アドレス帳にメールアドレスを登録する	222
アドレス帳を変更する	225
アドレス帳を削除する	226
アドレス帳リストを印刷する	227
プログラムダイヤルを登録 / 変更 / 削除する	228
プログラムダイヤルとは	228
プログラムダイヤルに登録できる項目	228
プログラムダイヤルを登録する	229
グループダイヤルを登録する	231
グループダイヤルを変更する	233
プログラムダイヤルを削除する	235
プログラムダイヤルのリストを印刷する	236
プログラムボタンに E メール 受信を設定する	237

8 章 レポート / リストについて

通信管理レポート	240
通信管理レポートを印刷する	240
通信結果をタッチパネルで確認する	241
通信管理レポートの見かた	242
通信結果レポート	246
アドレス帳リスト	250
アドレス帳リストを印刷する	250
アドレス帳リストの見かた	251
グループダイヤルリスト	252
グループダイヤルリストを印刷する	252
グループダイヤルリストの見かた	253
プログラムダイヤルのリスト	254
プログラムダイヤルのリストを印刷する	254
プログラムダイヤルのリストの見かた	255
システム登録リスト	256
システム登録リストを印刷する	256
システム登録リストの見かた	257
自局情報リスト	258
自局情報リストを印刷する	258
自局情報リストの見かた	259

9 章 トラブルの対処方法

トラブルの対処方法	262
主なエラーコード	264
停電時の対応について	269
電話回線を確認する	270

10 章 付録

付録 A 済スタンプの交換.....	272
付録 B ISDN 回線を使うとき	273
セットアップ方法	273
G4 ファクス送信の操作	274
サブアドレスを設定する.....	275
トラブルが発生した場合の対処	276
付録 C 文字入力のしかた.....	277
英数専用画面の操作	277
かな漢字変換画面の操作.....	279
付録 D 区コード一覧	283
第 1 水準.....	283
第 2 水準.....	291
付録 E 熟語・記号一覧	298
熟語	298
数字 / 記号.....	299
付録 F 主な仕様.....	300
ファクシミリ	300
E メール / インターネット FAX.....	301
索引.....	303

1 章

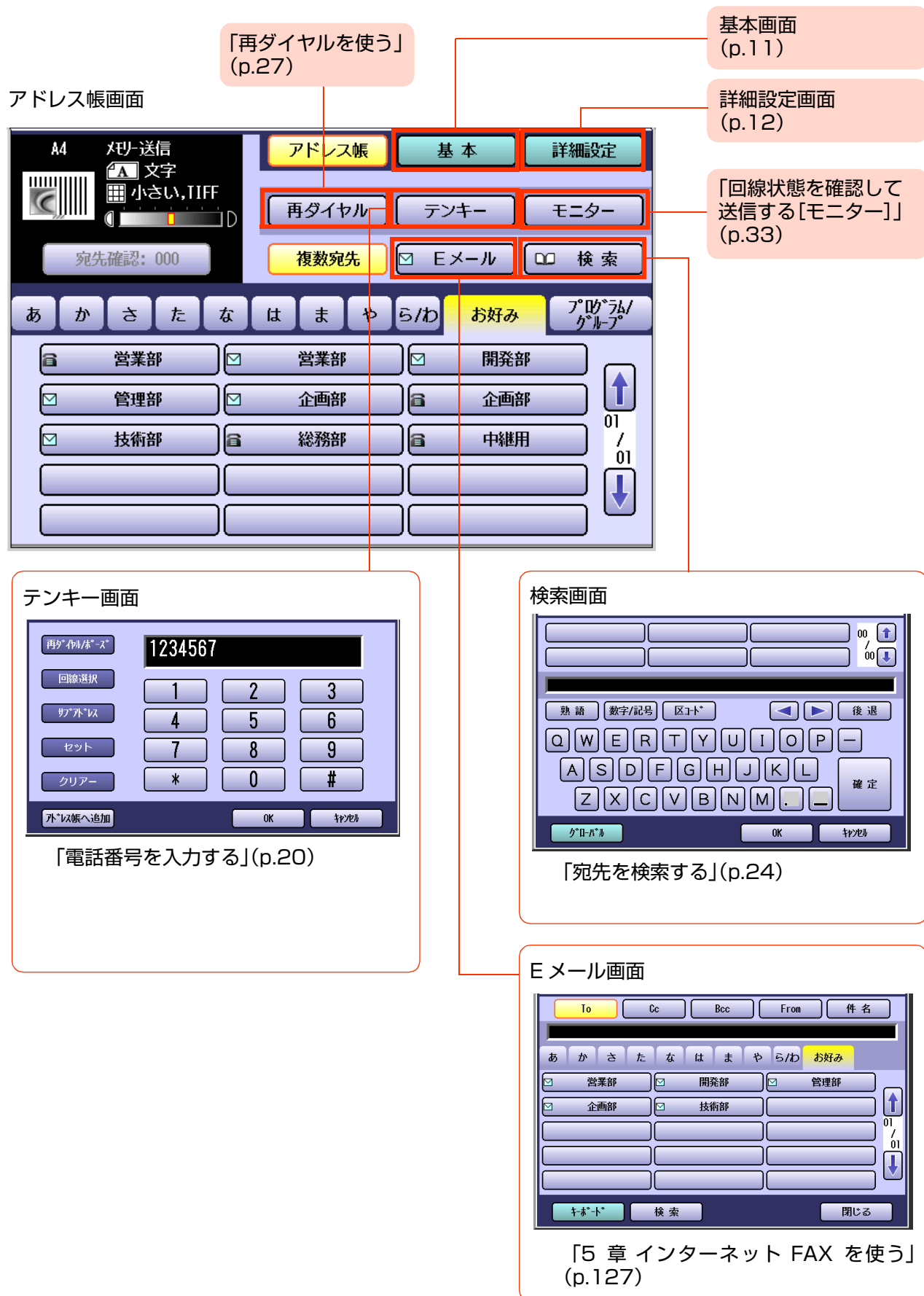
操作の前に

この章では、ファクス機能 / インターネット FAX 機能のメニューマップ、
および使用上のお願いを記載しています。

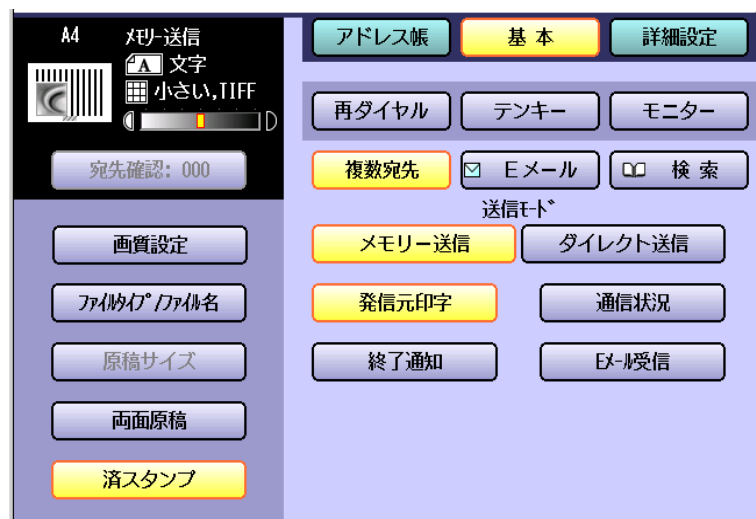
1 章 操作の前に

メニューマップ

ファクス機能の画面に表示されるメニューと、本書の参照先は次のとおりです。



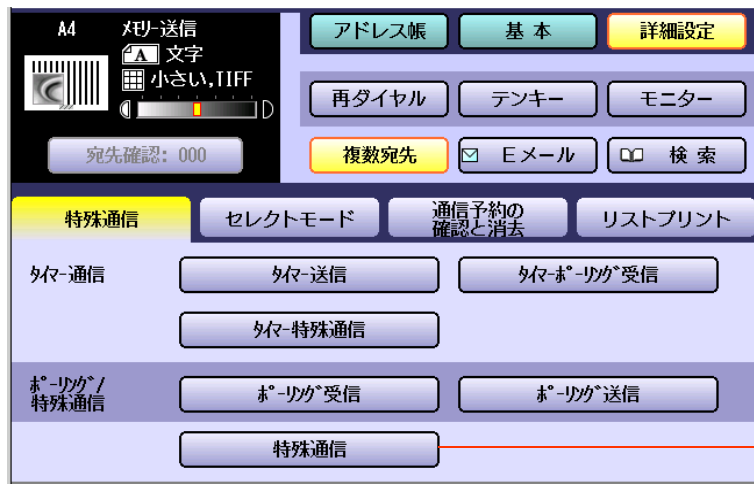
基本画面



- 画質設定 (p.35)
- ファイルタイプ / ファイル名 (p.160)
- 原稿サイズ (p.38)
- 両面原稿 (p.40)
- 済スタンプ (p.42)
- メモリー送信 (p.44)
- ダイレクト送信 (p.46)
- 発信元印字 (p.49)
- 通信状況 (p.50)
- 終了通知 (p.167)
- Eメール受信 (p.168)

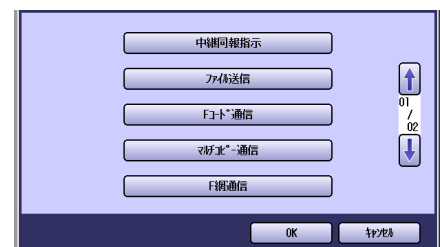
1 章 操作の前に

詳細設定画面 > 特殊通信画面

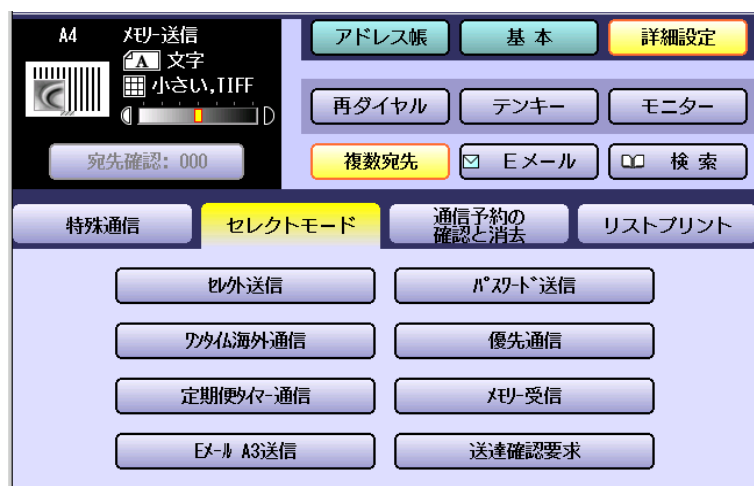


- タイマー通信 タイマー送信 (p.62)
タイマーポーリング受信 (p.64)
タイマー特殊通信 (p.66)
- ポーリング / 特殊通信 ポーリング受信 (p.68)
ポーリング送信 (p.70)
特殊通信 中継同報指示 (p.72)
ファイル送信 (p.76)
Fコード通信 (p.82)
マルチコピー通信 (p.86)
F網通信 (p.88)
LAN 中継同報指示 (p.186)

特殊通信画面



詳細設定画面 > セレクトモード画面



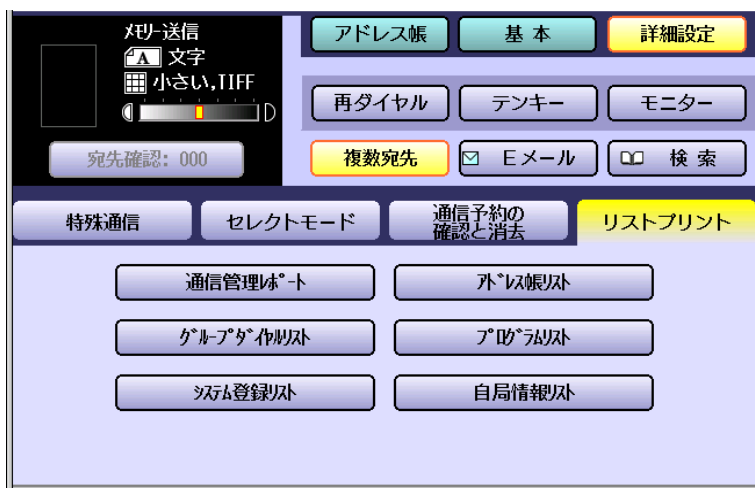
- セレクト送信 (p.89)
- パスワード送信 (p.91)
- ワンタイム海外通信 (p.95)
- 優先通信 (p.96)
- 定期便タイマー通信 (p.98)
- メモリー受信 (p.122)
- Eメール A3 送信 (p.162)
- 送達確認要求 (p.164)

詳細設定画面 > 通信予約の確認と消去画面



- 通信予約の確認 (p.196)
- 時間・宛先変更 (p.198)
- 通信予約の消去 (p.200)
- 指定通信予約レポート (p.202)
- 未達宛先再通信 (p.204)
- 受信データの強制出力 (p.206)
- 手動ファイル転送 (p.207)

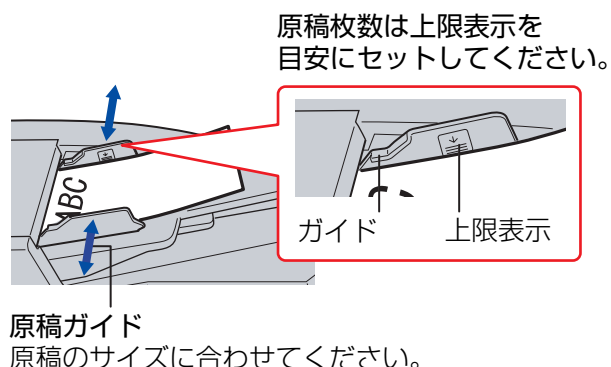
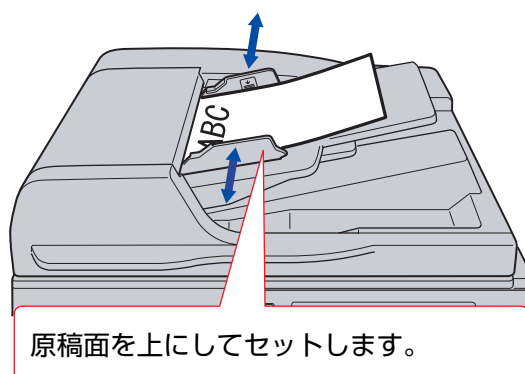
詳細設定画面 > リストプリント画面



- 通信管理レポート (p.240)
- アドレス帳リスト (p.250)
- グループダイヤルリスト (p.252)
- プログラムリスト (p.254)
- システム登録リスト (p.256)
- 自局情報リスト (p.258)

原稿セットのしかた

■ ADF(自動原稿送り装置)を使う



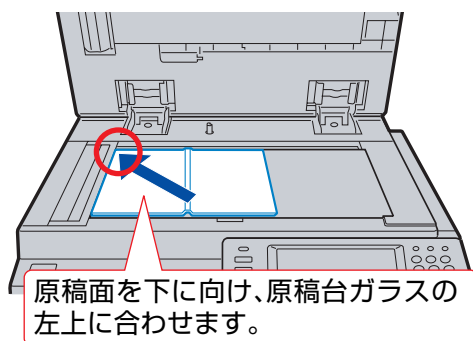
■ ADF(自動原稿送り装置)を使うときのお願い

次のような原稿は使用できません。

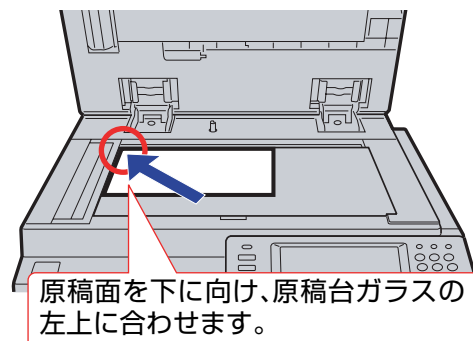
- はがき、画用紙、OHP フィルム、半紙、ラベル用紙、厚紙、薄紙、アート紙、フィルム、感熱紙、和紙など
- 破れ、大きな穴やとじ穴(コンピューター用紙)のある原稿、大きくカールしていたり、折れのある原稿など

■ 原稿台ガラスを使う

□ 雑誌・本などの原稿

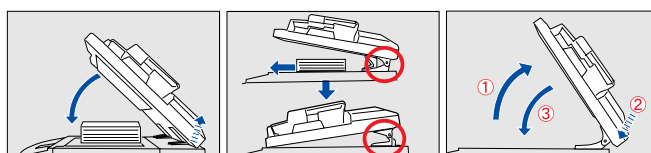
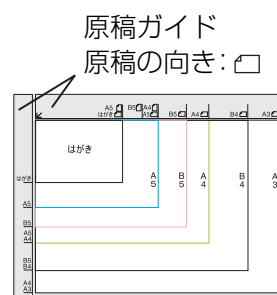
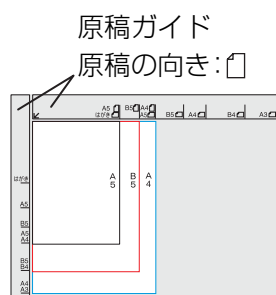


□ 1 枚紙の原稿



■ 原稿台ガラスを使うときのお願い

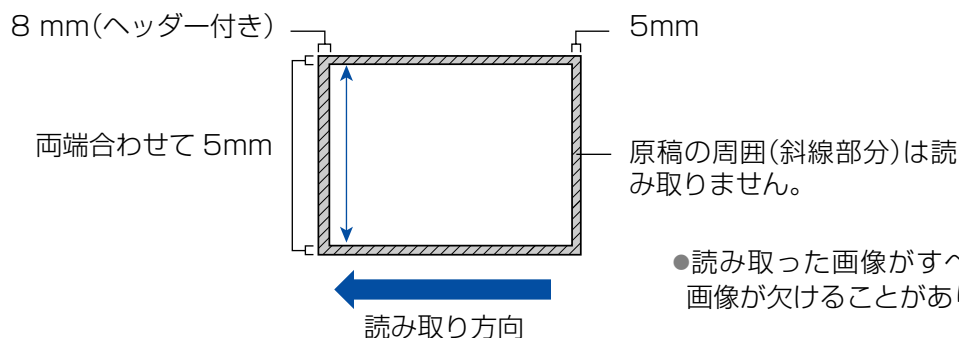
- 原稿は、左上にあるマーク(✓)に合わせてセットしてください。正しく原稿がセットされていない場合は、原稿の一部が欠けて送信されます。
- 原稿が A5 サイズより小さいときは、A5 の枠内にセットし、原稿サイズを A5 に設定してください。
- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されることがあります。画面のメッセージに従って進めてください。
- 厚い冊子をセットすると、ADF の接合部が浮き上がることがあります。このような場合は、いったん ADF を開いてから閉じ、接合部が元の位置に戻ったことを確認してください。



- 厚い原稿をセットするときは、原稿台ガラスに強い力がかからないようにしてください。原稿台ガラスが破損するおそれがあります。
- ADFを開いたまま送信するときは、光源ランプを直視しないでください。目を傷める原因になることがあります。
- 原稿台ガラス面が周囲の光の影響を受けると、原稿位置を誤検知することがあります。そのときは、ADFを閉じてください。

■ 読み取り範囲について

A4 原稿(原稿幅が 210 mm)の場合



- 読み取った画像がすべて印刷されず、画像が欠けることがあります。

■ 定形外サイズの前稿を読み取るとき

定形外サイズの原稿を送信する場合、本機では原稿の方向を自動的に回転し、定形サイズに収まらない部分(図中の斜線部分)は送信されません。

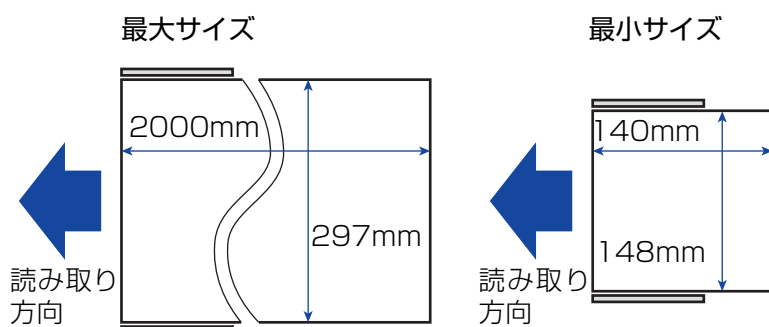


- ほかの機械に大きなサイズの原稿を送信するときには、相手機によって縮小されて受信されることがあります。

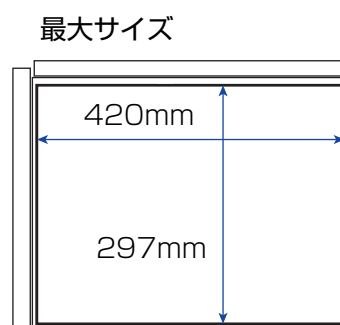


■ 原稿サイズについて

□ ADF の場合



□ 原稿台ガラスの場合



使用上のお願い

■回線 / LAN ケーブルなどの接続と設定

本機でファクスやインターネット FAX の送信／受信をするためには、電話回線や LAN ケーブルなどが接続され、必要な項目がファンクション設定で正しく設定されている必要があります。

『取扱説明書(セットアップ 管理者編)』を参照して、電話回線や LAN ケーブルを接続し、通信に必要な項目を設定してください。

お願い

ファンクション設定の項目が正しく設定されていない場合は、正常に通信できません。ご使用の環境に合わせ、正しく設定してください。

■使用上のお願い

キャッチホンサービスをご契約になっている場合

- ファクスの送信中／受信中に、他の方から着信すると、ファクス受信画像に線が入ったり、通信が中断することがあります。
これは、ノイズによる影響で、キャッチホンや機器の異常ではありませんので、ご了承ください。
- キャッチホンサービスをご利用の場合、割り込み音の回数を 0 回に設定しておく、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。設定については、NTT にお問い合わせください。

各サービスについて

- 発信者番号通知、ダイヤルインサービスは、あらかじめ NTT との契約が必要です。
これらのサービスの詳細については、NTT にお問い合わせください。
- NCC 回線(NTT 以外の電話回線)をご利用の場合、NCC 各社でサービスの内容が異なります。
発信者番号通知、ダイヤルインサービスの詳細については、ご契約の NCC にお問い合わせください。

■その他

- この説明書では、従来の一般加入回線での G3 通信、および LAN システムを使ったインターネット FAX の各機能について説明しています。
- ネットワークと接続し、インターネット機能を使うためには、ソフトウェア、および LAN 伝送路用品が別途必要です。

2 章

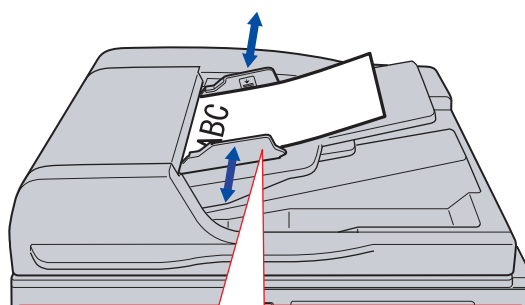
ファクスの基本操作

この章では、基本的なファクス送信の操作について説明しています。

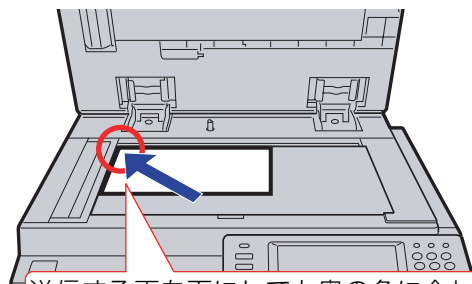
ファクス送信の流れ

ファクス送信をするときの基本的な操作の流れは、次のとおりです。

1. 原稿をセットする



送信する面を上にしてセットします。
普通紙(A4)で100枚までセットできます。



送信する面を下にして左奥の角に合わせてセットし、ADFを静かに閉じます。

- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す



基本画面の設定をする場合は、[基本]を押して設定する



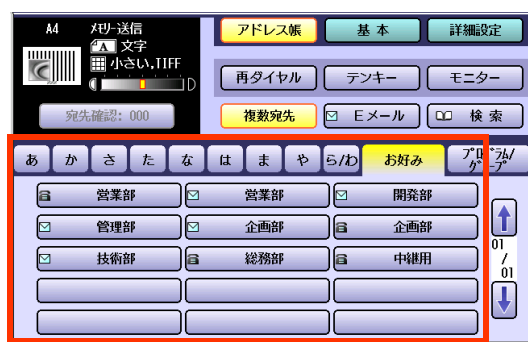
- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)
- 「原稿サイズを設定する[原稿サイズ]」(p.38)
- 「両面原稿を送信する[両面原稿]」(p.40)
- 「済スタンプを解除する[済スタンプ]」(p.42)
- 「メモリに蓄積して送信する[メモリ送信]」(p.44)
- 「メモリに蓄積せずに送信する[ダイレクト送信]」(p.46)
- 「通信を中止する」(p.48)
- 「通信状況を確認する[通信状況]」(p.50)

3. 宛先を設定する

□ テンキーで相手の電話番号を入力する



□ アドレス帳を使う



- 詳しくは、「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

4. <スタート>を押す



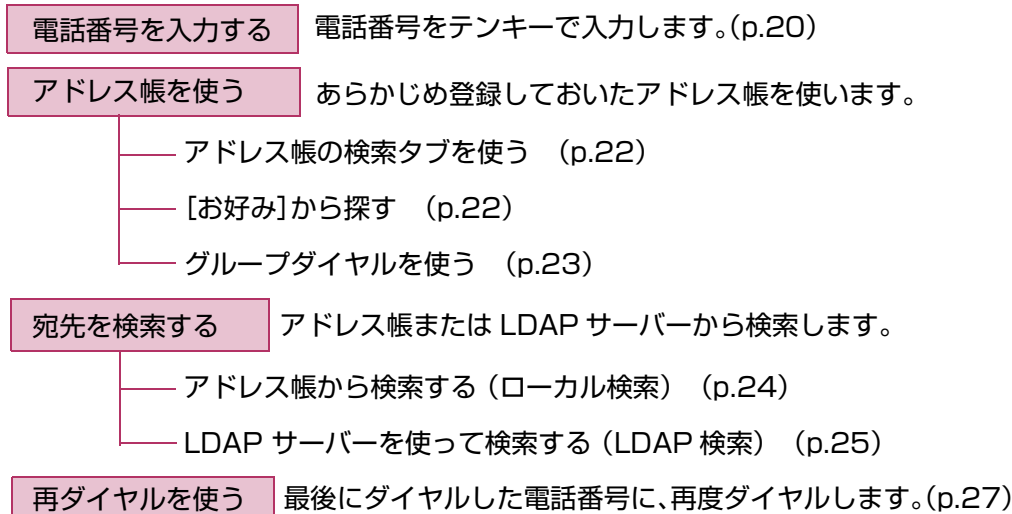
原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

お知らせ

- 読み取られた原稿は、白黒画像として送信されます。
- 送信を中止するときは、「通信を中止する」(p.48)を参照してください。
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されます。画面のメッセージに従って操作してください。
- 相手先が話し中などで送信できなかった場合は、通信結果レポートが排出されます。詳しくは、「通信結果レポート」(p.246)を参照してください。
- メモリー残量が少ない場合は、メモリー送信できない場合があります。このような場合も、ダイレクト送信を使うと送信できます。「メモリーに蓄積せずに送信する[ダイレクト送信]」(p.46)を参照してください。

宛先を指定する

宛先の設定には、次の方法があります。



■ 電話番号を入力する

テンキーで電話番号を入力する場合は、次の手順で操作します。

1. 原稿をセットする

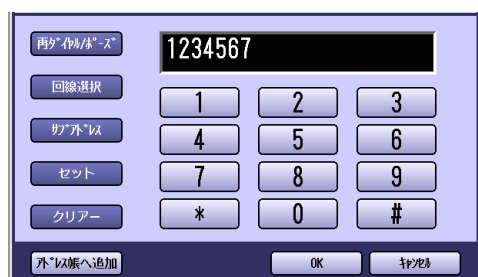
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. 操作パネルのテンキーで電話番号を入力する



自動的に、テンキー画面が表示されます。



- 電話番号は、52 桁まで入力できます。
- 誤って入力した場合は、画面内の[クリアー]、または操作パネルの<クリアー>を押すと、1 文字ずつ削除できます。
- 電話番号は、タッチパネルの[テンキー]を押して、入力することもできます。
- 複数の宛先を設定する場合は、電話番号を入力して、[セット]を押します。最後の電話番号を入力したら、[OK]を押します。(このとき、[セット]は押さないでください。)
- 複数の宛先を登録する場合、最大 70 宛先まで登録できます。
- [宛先確認: # # #]を押すと、設定した宛先を確認できます。「宛先を確認する」(p.29)を参照してください。
- 直接ダイヤル制限機能が設定されている場合は、テンキーで電話番号を入力することはできません。「直接ダイヤル制限機能」(p.31)を参照してください。
- ダイヤル再入力機能が設定されている場合は、<スタート>を押すと、宛先を再入力する画面が表示されます。「ダイヤル再入力機能」(p.32)を参照してください。

□ テンキー画面

再ダイヤル/ポーズ	1 回押すたびに、ポーズ（ダイヤル間隔）を入力できます。画面には一が表示されます。
回線選択	G3 増設ユニット(DA-FG403)、または G4 通信ユニット(DA-FG323)を装着している場合に使用します。 送信する回線を選択します。
サブアドレス	G4 通信ユニット(DA-FG323)を装着している場合に使用します。 サブアドレスを入力するときに押します。画面には S が表示されます。
セット	複数の宛先を設定するときに押します。 ● 1 か所だけに送信する場合は、[セット]を押さないでください。
クリアー	入力した電話番号を 1 文字ずつ削除するときに押します。
外へ帳へ追加	ここで入力した電話番号をアドレス帳に追加できます。[編集]を押し、アドレス帳の登録手順に従って登録してください。 アドレス帳の登録については、「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.213)を参照してください。 ● [アドレス帳へ追加]を押して宛先を登録する場合、[お好み]には登録できません。

□ [再ダイヤル / ポーズ]を使う

内線電話をお使いの場合は、外部発信番号を入力したあとに、[ポーズ]を押してから、相手の電話番号を入力します。

例： 0 のあとに[再ダイヤル / ポーズ]を押して電話番号を入力した場合

0—5551234

ポーズ記号

□ [*]を使う

パルスダイヤル回線をお使いの場合は、[*]を押すと、パルス信号をトーン信号に切り替えることができます。画面には、/が表示されます。

例： 0 のあとに[*]を押してトーンに切り替えた場合

0 / 5551234

トーン記号

□ [#]を使う

[#]は、ファクス情報サービスを使う場合などに押します。

□ [サブアドレス]を使う

このボタンは、G4 通信ユニット(DA-FG323)を装着している場合に使用します。

電話番号を入力し、[回線選択]を押して[G4]を選択してから[サブアドレス]を押します。

画面には S が表示され、それ以降の文字がサブアドレスとして扱われます。

詳しくは、「サブアドレスを設定する」(p.275)を参照してください。

例： 4 のあとに[サブアドレス]を押し、サブアドレス 1234 を入力した場合

5551234S1234

サブアドレス

4. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

2章 ファクスの基本操作

■アドレス帳を使う

□ アドレス帳の検索タブを使う

アドレス帳の検索タブ([あ]~[ら/わ])を使って宛先を検索できます。

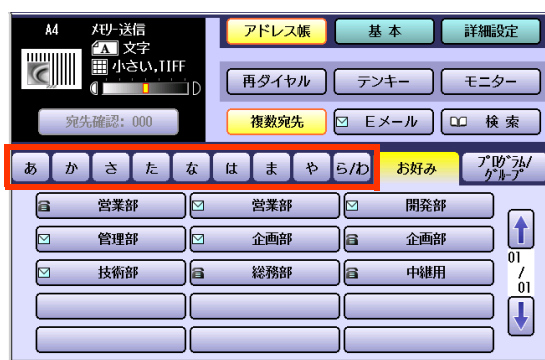
- アドレス帳は、あらかじめ登録が必要です。「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.213)を参照してください。

1. 原稿をセットする

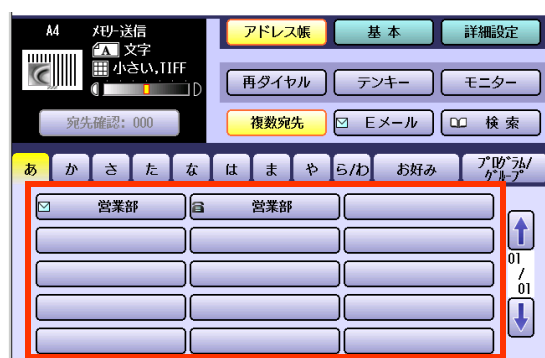
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. 検索タブ([あ]~[ら/わ])を選択する



4. 送信する宛先のボタンを押す



- もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。
- 複数の宛先を設定する場合は、手順3~4の操作を繰り返します。
- [宛先確認: ###]を押すと、設定した宛先を確認できます。「宛先を確認する」(p.29)を参照してください。

5. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

□ [お好み]から探す

アドレス帳の[お好み]タブで宛先を設定できます。

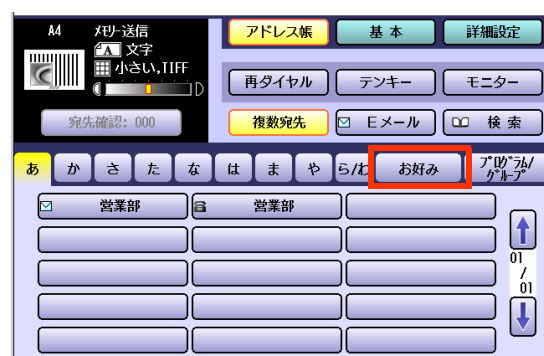
- [お好み]タブには、アドレス帳登録時に[お好み]タブへの表示を設定した宛先だけが表示されます。
- アドレス帳は、あらかじめ登録が必要です。「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.213)を参照してください。

1. 原稿をセットする

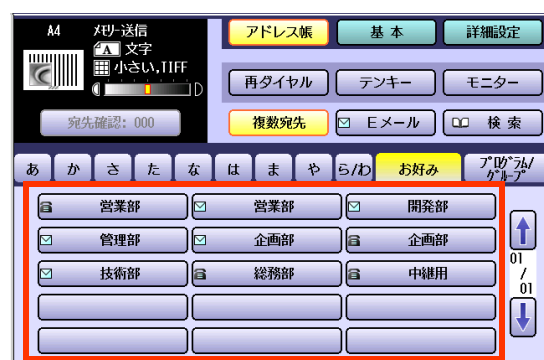
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. お好み画面が表示されていない場合は、[お好み]を押す



4. 送信する宛先のボタンを押す



- もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。
- 複数の宛先を設定する場合は、続けて他の宛先のボタンを押します。
- [宛先確認: ###]を押すと、設定した宛先を確認できます。「宛先を確認する」(p.29)を参照してください。

5. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

□ グループダイヤルを使う

グループダイヤルで複数の宛先に送信する場合は、次の手順で操作します。

- グループダイヤルは、あらかじめ登録が必要です。詳しくは、「グループダイヤルを登録する」(p.231)を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [プログラム / グループ]を押す



4. 送信するグループ宛先のボタンを押す



- もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。

5. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

2章 ファクスの基本操作

■宛先を検索する

□ アドレス帳から検索する（ローカル検索）

アドレス帳に登録されている検索文字で検索して、宛先を指定できます。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [検索]を押す



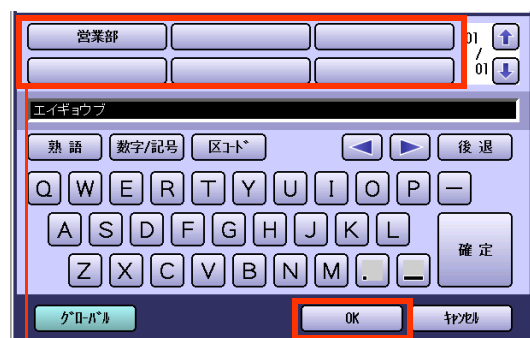
4. 検索する文字を入力する



- アドレス帳に登録した検索文字を入力します。検索文字については、「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.213)を参照してください。
- 文字入力のしかたは、「付録 C 文字入力のしかた」(p.277)を参照してください。

入力した文字に該当する宛先が表示されます。

5. 宛先を選択し、[OK]を押す



- ① または ② を押すと、表示された検索結果をスクロールできます。
- 宛先を複数選択することはできません。

6. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

□ LDAP サーバーを使って検索する (LDAP 検索)

LDAP 検索とは、ネットワーク上に設置されている LDAP サーバー上のアドレス帳から、電話番号やメールアドレスを検索する機能のことです。

お知らせ

- 本機が設置されている環境で、LDAP 検索を使えるかどうかについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- LDAP 検索をするには、LDAP サーバーが設定されている必要があります。詳しくは、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [検索]を押す



4. [グローバル]を押す



5. 検索する文字を入力し、[検索]を押す



検索結果が表示されます。

お知らせ

- [ローカル]を押すと、アドレス帳検索画面に戻ります。
- 検索結果が 100 件以上ある場合は、再検索をたずねる画面が表示されます。
 - ・[はい]を押すと、再検索画面が表示されます。
 - ・[いいえ]を押すと、先頭の 100 件だけが表示されます。
- 検索中にエラーが発生した場合は、メッセージが表示されます。
- 検索した電話番号やメールアドレスをアドレス帳に登録する場合は、[アドレス帳へ追加]を押します。表示された画面で、登録名を入力し、[OK]を押します。
- 検索を中止する場合は、検索中に[キャンセル]を押します。

2 章 ファクスの基本操作

6. 宛先を選択し、[OK]を押す



- 宛先を複数選択することはできません。
- [Eメール]、または[ファクス番号]を押すと、電話番号とメールアドレスの表示を切り替えられます。
- ↑ または ↓ を押すと、表示された検索結果をスクロールできます。
- [詳細]を押すと、下記の画面が表示され、詳細を確認できます。[閉じる]を押すと、検索結果画面に戻ります。



7. [OK]を押す



8. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

■再ダイヤルを使う

直前にダイヤルした宛先にもう一度ダイヤルできます。

お知らせ

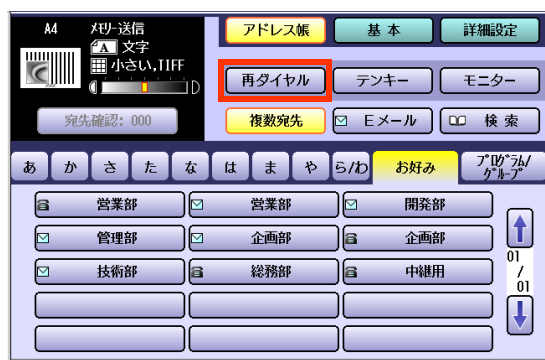
- 相手が話中の場合は、自動的に再ダイヤル待ちとなり、タッチパネル上部に「再ダイヤル待ち」のメッセージが表示されます。
再ダイヤルの通信を中止するには、「再ダイヤル待ち」が表示されている状態で<ストップ>を押し、中止確認画面に従って通信を中止します。中止の操作については、「通信を中止する」(p.48)を参照してください。
- 再ダイヤル待ちの通信は、通信予約ファイルとは異なり、宛先や通信時刻の変更はできません。

1. 原稿をセットする

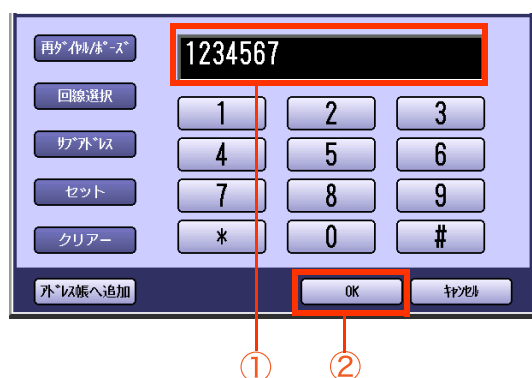
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [再ダイヤル]を押す



4. 電話番号を確認し、[OK]を押す



- [再ダイヤル/ポーズ]、[回線選択]、[サブアドレス]、[セット]、[*]、[#]については、「電話番号を入力する」(p.20)を参照してください。

5. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

2 章 ファクスの基本操作

■ 複数の宛先に送信しないときは

本機では、テンキーでの電話番号入力やアドレス帳からの宛先指定で、同じ原稿を複数の宛先にファクス送信できます。

複数の宛先に送信しない場合は、[複数宛先]を押すと、複数宛先の設定が解除され、1宛先だけに送信するように設定されます。誤って複数の宛先へ送信する操作を防ぎたい場合に便利です。

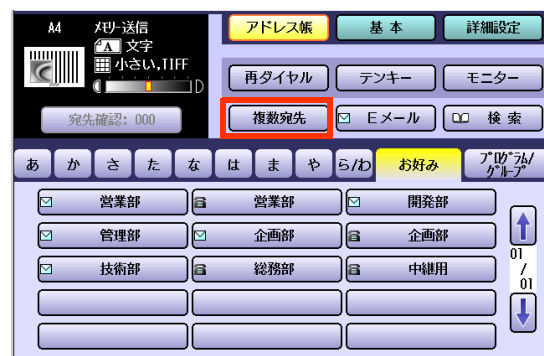
お知らせ

- 複数宛先は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [117 複数宛先指定]で初期値を変更できます。
『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- ファンクション設定の[117 複数宛先指定]が[機能なし]に設定されている場合は、次のように動作します。
 - ・ 複数宛先へ送信できません。
 - ・ グループダイヤルは使用できません。
 - ・ 複数宛先を設定しているプログラムダイヤルは使用できます。

□ 複数宛先が選択されている場合： 複数の宛先に送信が可能



□ 複数宛先が選択されていない場合： 1宛先にのみに送信が可能



■宛先を確認する

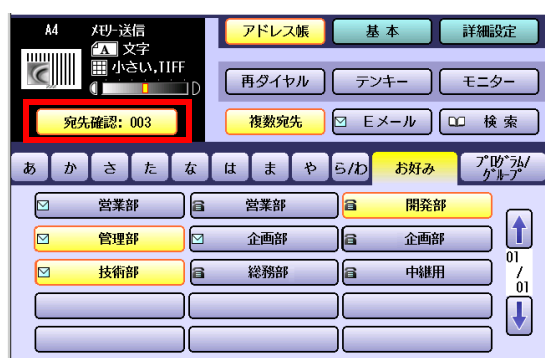
設定している宛先を確認できます。

また、ファンクション設定で宛先を確認してから<スタート>を押すように設定できます。このように設定している場合は、常に宛先確認の手順が必要となります。

□ 宛先を確認する

1. [宛先確認: ###]を押す

(###には、設定した宛先の数が表示されます。)



2. 確認するタブを押す



- 宛先を追加する場合は、次の操作をします。
 - ① [OK]を押す
 - ②宛先を追加する
 - ③もう一度[宛先確認]を押す
- 宛先を削除する場合は、次の操作をします。
 - ①宛先を選択して [削除]を押す
 - ②表示された画面で [はい]を押す

3. 確認が終わったら[OK]を押す

□ 常に宛先確認が必要なとき

誤送信を防止するため、常に宛先確認をするように、ファンクション設定で設定できます。

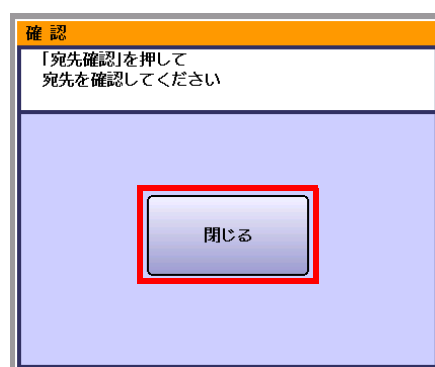
このように設定されている場合は、宛先確認をせずに<スタート>を押すと、宛先確認の操作を促すメッセージが表示され、宛先確認をしないと送信できません。

この場合は、次の手順にしたがって操作してください。

お知らせ

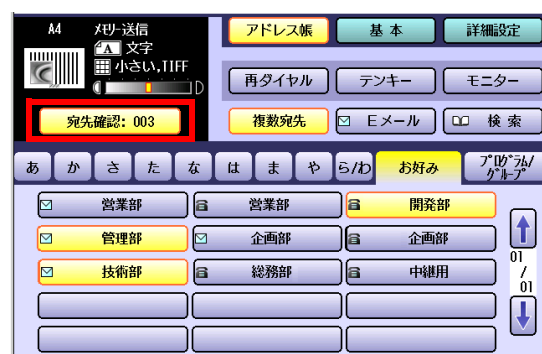
- 宛先確認は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[125 宛先確認]で設定できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス/Eメール機能設定」を参照してください。

1. メッセージが表示されたら、[閉じる]を押す



2. [宛先確認: ###]を押す

(###には、設定した宛先の数が表示されます。)



2 章 ファクスの基本操作

3. 確認するタブを押す



- 宛先を追加する場合は、次の操作をします。
 - ① [OK]を押す
 - ②宛先を追加する
 - ③もう一度[宛先確認]を押す
- 宛先を削除する場合は、次の操作をします。
 - ①宛先を選択して[削除]を押す
 - ②表示された画面で[はい]を押す

4. 確認が終わったら[OK]を押す

5. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

誤送信防止について

テンキーで宛先を指定する場合、誤った宛先への送信を防止するため、次の2つの機能が用意されています。

- 誤送信を防止する機能には、ここで説明する機能のほかに、宛先を確認する操作、および複数宛先を禁止する操作があります。それぞれ、「宛先を確認する」(p.29)、「複数の宛先に送信しないときは」(p.28)を参照してください。

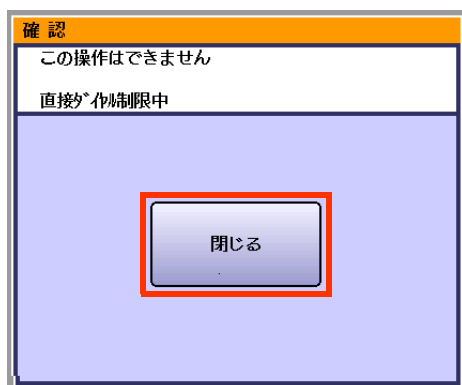
■直接ダイヤル制限機能

直接ダイヤル(手動送信を含む)による宛先の指定を、すべて禁止する機能です。

- この機能は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定] > [04キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [136 直接ダイヤル制限]が、[あり]に設定されている場合に機能します。
『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス/Eメール機能設定」を参照してください。
- この機能を設定すると、外部電話機から電話をかける時も、直接ダイヤルは使用できません。また、[再ダイヤル]は使用できません。ただし、再ダイヤル待ちが表示されている場合は、[再ダイヤル]を押すと、再ダイヤルが開始されます。

テンキー、または[再ダイヤル]を押すと、確認画面が表示されます。

1. [閉じる]を押します。



2 章 ファクスの基本操作

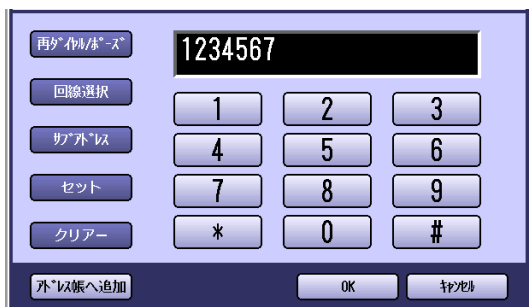
■ダイヤル再入力機能

直接ダイヤルで宛先を指定するときに、宛先の再入力画面が表示され、1 回目と2 回目の宛先が一致した場合にだけ送信が開始される機能です。

- この機能は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[137 直接ダイヤル再入力]が、[あり]に設定されている場合に機能します。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- 外部電話機から電話をかけるときは、再入力画面が表示されません。
- ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[136 直接ダイヤル制限]が[あり]に設定されている場合、本機能は使用できません。

操作パネルのテンキーで電話番号を入力し、[OK]を押すと、自動的に再入力のテンキー画面が表示されます。

1. 電話番号を、もう一度入力し[OK]を押す



電話番号が一致すると、送信が開始されます。

電話番号が一致しない場合は、1 回目の電話番号の入力から、操作し直します。



回線状態を確認して送信する [モニター]

タッチパネルの[モニター]を押すと、回線上の音を聞くことができます。
(この機能をオンフックダイヤルと呼びます。)

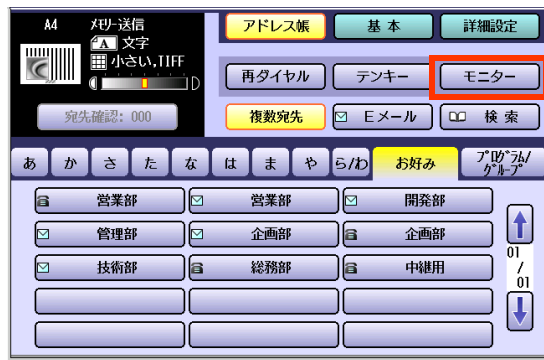
オンフックダイヤルを使って、相手側の回線状態を確認してからファクス送信をすることができます。

1. 原稿をセットする

- オンフックダイヤルで、原稿台ガラスを使って送信できる枚数は、1 枚だけです。
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

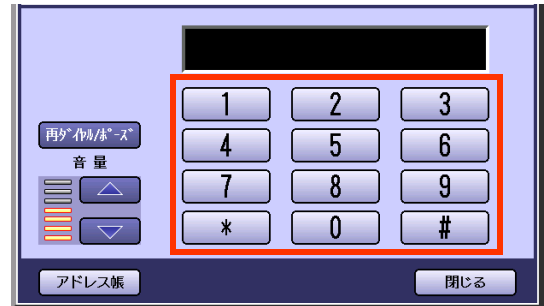
2. <ファクス>を押す

3. [モニター]を押す



モニター画面が表示され、「ツー」という回線音が聞こえます。

4. 相手の電話番号を入力する



	押すたびにモニター音量が大きくなります。
	押すたびにモニター音量が小さくなります。
	1 回押すと、直前にダイヤルした電話番号が表示されます。 2回押すと、ポーズ(ダイヤル間隔)を挿入できます。

5. 「ピー、ヒョロロロ…」という音が聞こえたら、操作パネルの<スタート>を押す

- 送信が開始されます。
- 送信を中止するときは、「通信を中止する」(p.48)を参照してください。

相手と電話機で話してから送信する [手動送信]

本機に外部電話機を接続している場合は、外部電話機で相手と話をしてからファクス送信できます。次の手順で操作してください。

お知らせ

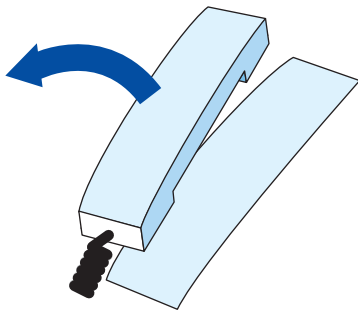
- 本機の背面には、「外部電話」接続口があります。ここに一般の電話機を接続すると、1本の電話回線をファクスと通話の両方に使うことができます。接続については、『取扱説明書(セットアップ 管理者編)』の「1 章 操作の前に」を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 手動送信で、原稿台ガラスを使って送信できる枚数は、1枚だけです。
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. 操作パネルの<ファクス>を押す

3. 外部電話機の受話器を持ち上げる



4. 外部電話機のダイヤルボタンを使って、相手の電話番号を入力する

5. 相手の方と話し、受信を依頼する

6. 「ピー、ヒョロロ…」という音が聞こえたら、<スタート>を押し、受話器を戻す

- 送信が開始されます。
- 送信を中止するときには、「通信を中止する」(p.48)を参照してください。

画質を設定する [画質設定]

画質設定では、原稿の種類、濃度、解像度(読み取る細かさ)を設定できます。

□ 原稿種類

原稿の種類に応じて、原稿の読み取り方法を選択できます。

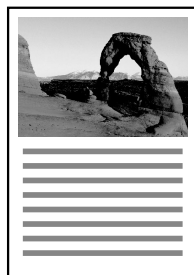
- 1 ページ中に文字と写真が混じっているときも、文書の中に文字のページと写真のページが混じっているときも、どちらの場合も[文字 / 写真]を選択してください。

文字だけの原稿



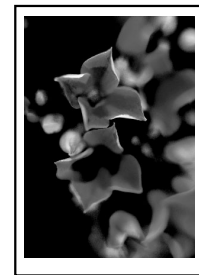
[文字]

文字と写真が
混在した原稿



[文字 / 写真]

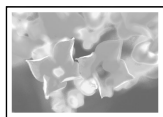
写真だけの原稿



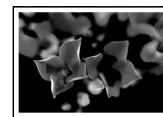
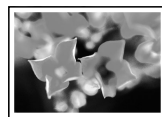
[写真]

□ 濃度

読み取る濃度を選択できます。



[うすく]



[こく]

□ 解像度

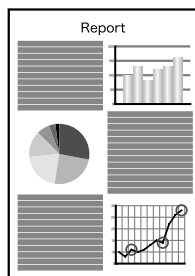
読み取る細かさ(解像度)を選択できます。

文字のサイズが
大きめの原稿



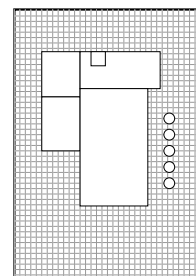
[ふつう]

小さな文字や
図などのある原稿



[小さい]

精細な図面や
文字などのある原稿



[細密]または [600dpi]

お知らせ

- 画質設定は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録]の [03 画質デフォルト]、[01 濃度デフォルト]、[02 文字サイズ]で、それぞれ初期値を変更できます。
『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- [解像度]で、[細密]または[600 dpi]を設定して送信すると、通信能力の関係で正常に送られず、通信エラーとなることがあります。

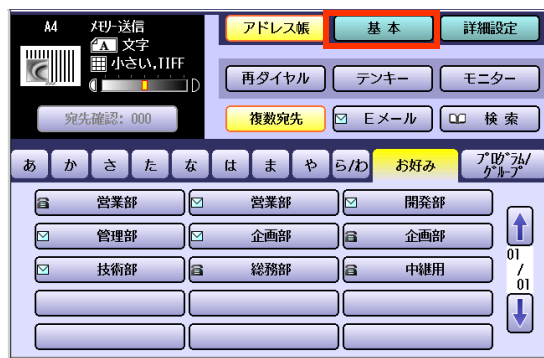
2 章 ファクスの基本操作

1. 原稿をセットする

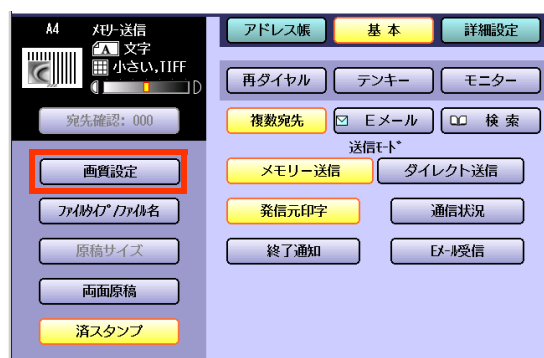
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [基本]を押す



4. [画質設定]を押す



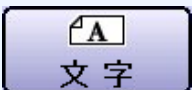


5. 原稿に合わせて画質を設定し、[OK]を押す



①



②

□ 原稿種類





 文字	文字だけの原稿のときに押します。
 文字/写真	文字と写真が混在した原稿のときに押します。
 写真	写真だけの原稿のときに押します。

- [文字]を選択して写真原稿を読み取ると、写真の中間色が再現されないため、受信側では黒く印刷されることがあります。

□ 濃度

 うすく	原稿をうすく読み取りたいときに押します。 ボタンを押すたびに、濃度が低くなります。
 こく	原稿を濃く読み取りたいときに押します。 ボタンを押すたびに、濃度が高くなります。

□ 解像度

	<p>文字のサイズが大きい原稿のときに押します。</p> <p>[原稿種類]が[文字 / 写真]または[写真]に設定されている場合は選択できません。</p>
	<p>小さな文字や図などのある原稿のときに押します。</p>
	<p>精細な図面や文字などのある、細かい原稿のときに押します。</p>
	<p>あらかじめ、相手の受信能力が、[細密]、[600dpi]に対応しているかを確認しておく、確実な送信ができます。</p>

- 細かく読み取るほど、送信する情報量が増え、通信時間が長くなります。
- [細密]または[600 dpi]を設定してパーソナルファクスへ送信すると、通信能力の関係で正常に送られず、通信エラーとなることがあります。

6. [アドレス帳]を押してアドレス帳画面を表示し、宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

7. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

原稿サイズを設定する [原稿サイズ]

原稿台ガラスに原稿をセットすると、通常は自動的にサイズが検知されます。
自動検知できない場合や、自動検知したサイズが原稿と異なる場合などは、次の手順で原稿サイズを設定してください。



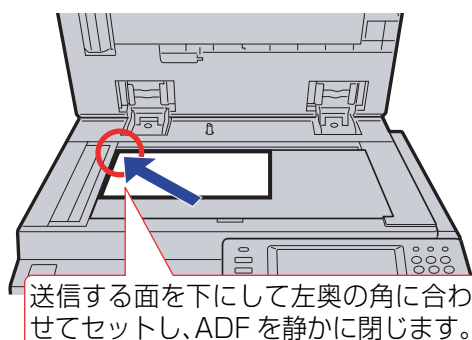
正しいサイズを検知できない
(例: A4 サイズをセットしたが、
B4 と検知された)



お願い

- この機能は、原稿台ガラスに原稿をセットした場合だけ使えます。

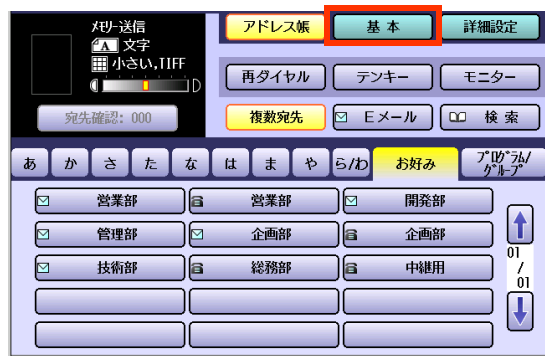
1. 原稿台ガラスに原稿をセットする



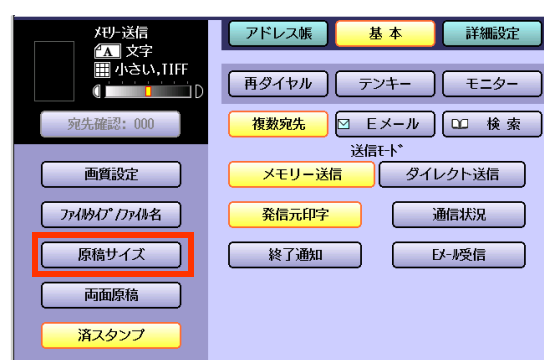
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

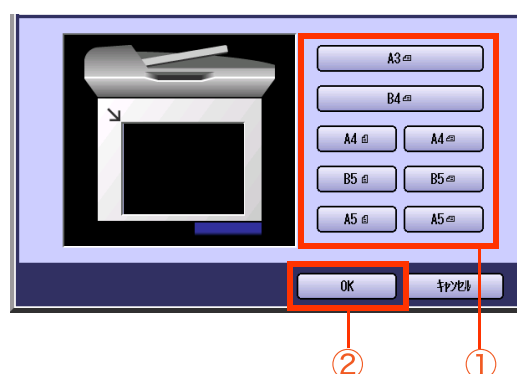
3. [基本]を押す



4. [原稿サイズ]を押す



5. 原稿サイズを選択し、[OK]を押す



6. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

7. [アドレス帳]を押してアドレス帳画面を表示し、宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

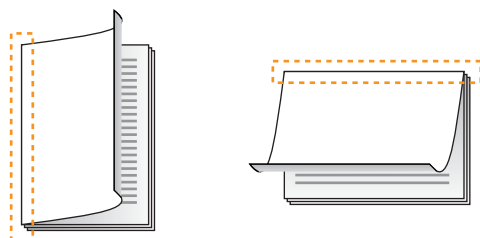
8. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
このとき、セットした原稿が最終かどうかを確認する画面が表示されます。画面のメッセージに従って操作してください。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

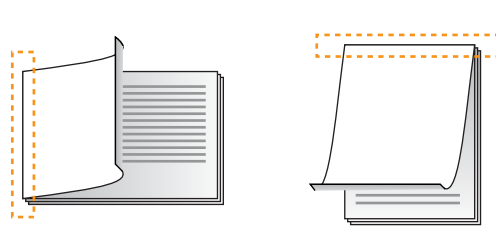
両面原稿を送信する [両面原稿]

ADF を使って両面原稿を送信する場合に、原稿のと同じ位置を設定して読み取ることができます。
両面原稿のと同じ位置には、次の 2 種類があります。

長辺と同じ： 原稿の長辺に同じ位置がある



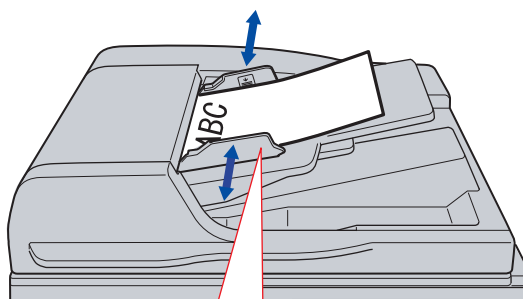
短辺と同じ： 原稿の短辺に同じ位置がある



お願い

- この機能は、ADF に原稿をセットした場合にだけ使えます。
- この機能は、ダイレクト送信を設定している場合、オンフックダイヤル、および手動送信を使った送信の場合には使えません。
- 両面原稿を設定した場合、済スタンプ機能は使えません。両面原稿を設定すると、自動的に済スタンプの設定が解除されます。

1. 原稿をセットする

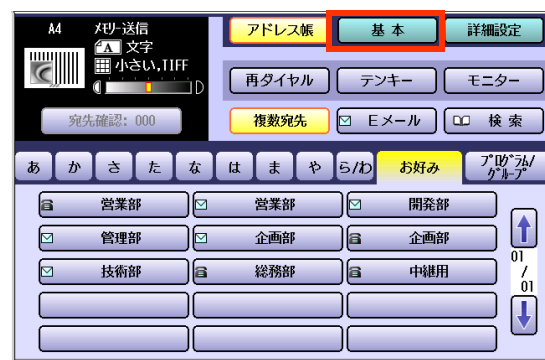


送信する面を上にしてセットします。
普通紙 (A4) で 100 枚までセットできます。

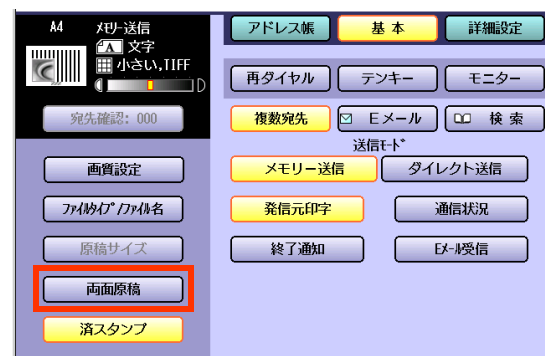
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [基本]を押す

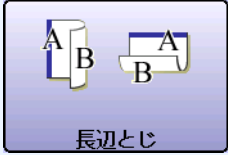
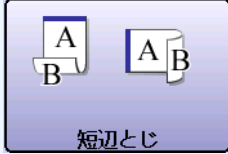


4. [両面原稿]を押す



- 済スタンプの設定が、自動的に解除されます。

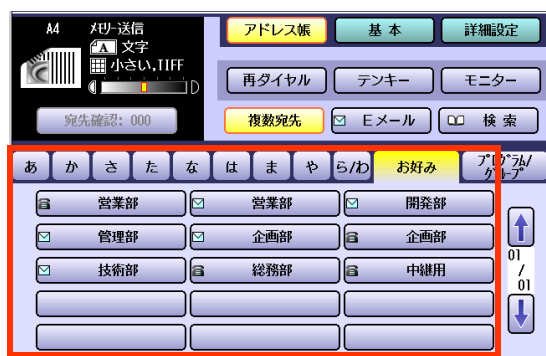
5. 原稿のと同じ位置を選択し、[OK]を押す

 <p>長辺とじ</p>	<p>原稿の長辺に同じ位置がある場合に押します。</p>
 <p>短辺とじ</p>	<p>原稿の短辺に同じ位置がある場合に押します。</p>

6. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

7. [アドレス帳]を押してアドレス帳画面を表示し、宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

8. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

済スタンプを解除する [済スタンプ]

ADF から読み取ったかどうか、または送信できたかどうかを確認するために、原稿に済スタンプを押すことができます。済スタンプを設定すると、原稿の後端に小さな済印がつきます。お買い上げ時は、済スタンプを押すように設定されています。

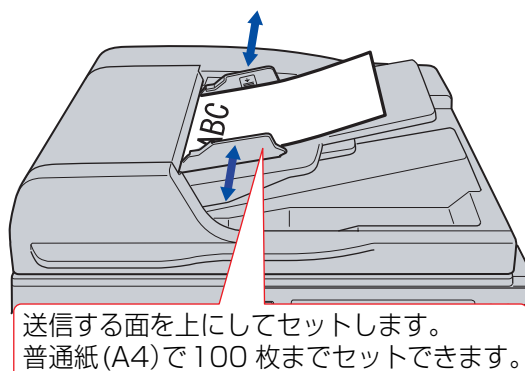
ここでは、済スタンプを解除して送信する操作について説明します。



お知らせ

- 済スタンプは、ADF から送信する場合にだけ押すことができます。
- お買い上げ時は、済スタンプを押して送信するように設定されています。ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[04 済スタンプ]で、初期値を変更できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[28 メモリー済スタンプ]で、メモリー送信で読み取った原稿には済スタンプを押さないように設定できます。設定については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- 押された済スタンプを消すことはできません。大切な原稿には、済スタンプを押さないようにしてください。

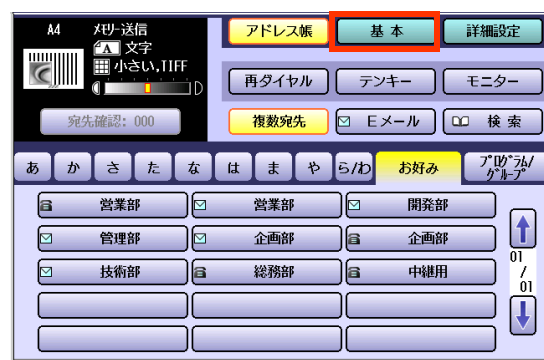
1. 原稿をセットする



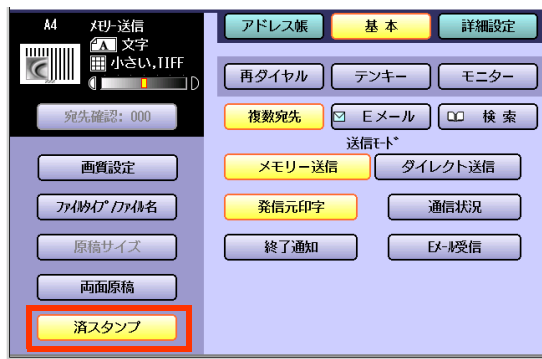
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [基本]を押す



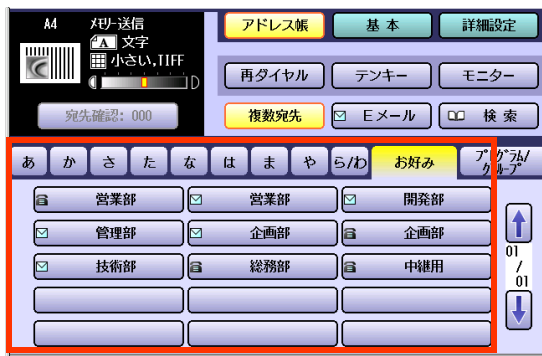
4. [済スタンプ]を押す



5. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

6. [アドレス帳]を押してアドレス帳画面を表示し、宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

7. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

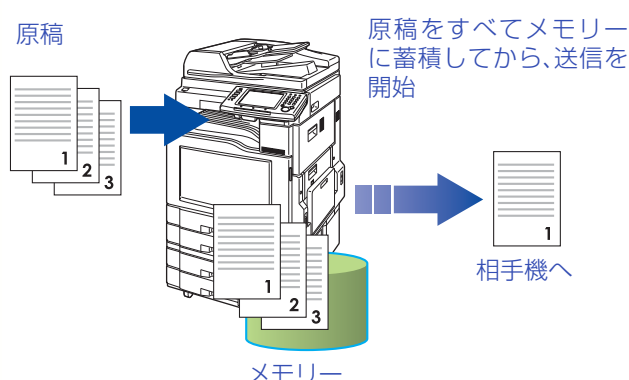
メモリーに蓄積して送信する [メモリー送信]

■メモリー送信とは

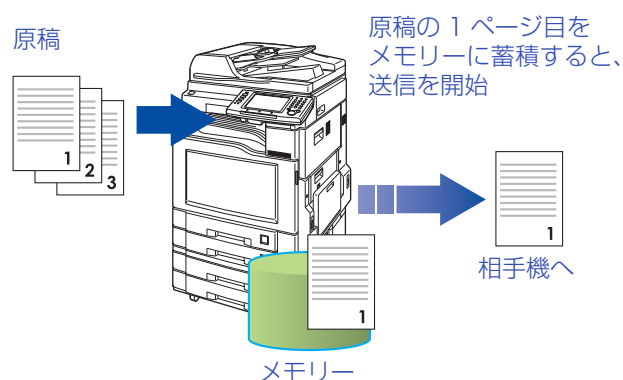
原稿を読み取るときに、メモリーに一度蓄積してから送信できます。メモリーに蓄積すると、ファクスの送信終了を待たずに、原稿を持ち帰ることができます。

- メモリー送信では、同じ原稿を何度も読み取ることなく、一度の操作で複数の宛先に送信できます。
- 本機でのファクス送信には、メモリー送信のほかに、原稿を読み取るときにメモリーに蓄積せず、読み取りと同時に送信を開始するダイレクト送信があります。

メモリー送信



クイックメモリー送信



お知らせ

- お買い上げ時はメモリー送信するように設定されています。
- メモリー送信は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [05 送信メモリー優先]で初期値を変更できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- クイックメモリー送信は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [82 クイックメモリー送信]で初期値を変更できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- [クイックメモリー送信]の設定に応じて、次のように動作します。

・宛先を1つだけ設定した場合：

□ [あり]のとき

蓄積できたところまでが送信され、「メモリーが一杯になりました」のメッセージが表示されます。

□ [なし]のとき

蓄積できたところまでがメモリー送信され、次のページからはダイレクト送信に切り替わります。

メモリー残量により、送信が中止されるときがあります。

・宛先を複数設定した場合：

原稿の読み取り中にメモリーが一杯になったときは、蓄積できたところまでを送信するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[はい]を押すと、送信が開始され、[いいえ]を押すと送信が中止されます。

■メモリーに蓄積してから送信する

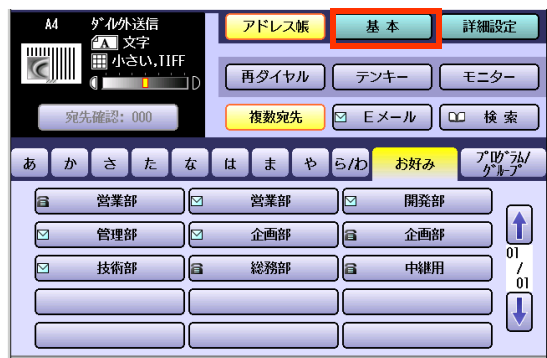
メモリー送信をするときは、次の手順で操作をしてください。
(ファンクション設定で、ダイレクト送信をするように設定を変更している場合)

1. 原稿をセットする

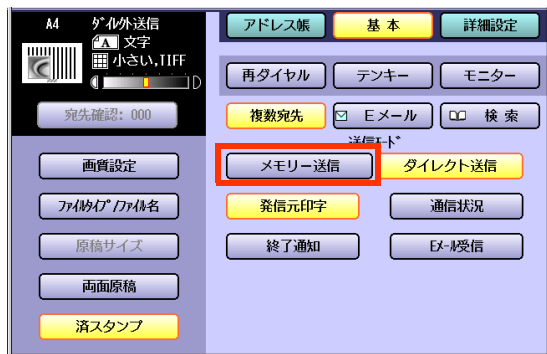
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [基本]を押す



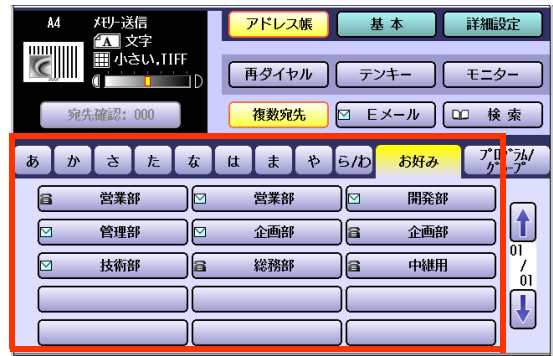
4. [メモリー送信]を押す



5. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

6. [アドレス帳]を押してアドレス帳画面を表示し、宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

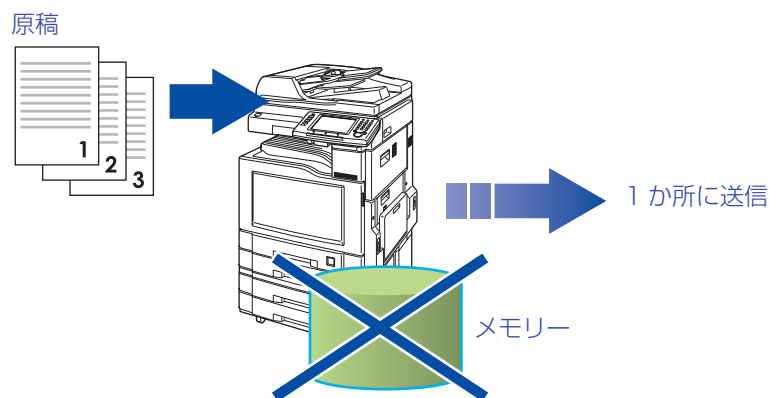
7. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。
- 送信を中止する操作については、「通信を中止する」(p.48)を参照してください。

メモリーに蓄積せずに送信する [ダイレクト送信]

原稿を読み取るときに、メモリーに蓄積せず、読み取りと同時に送信を開始することができます。次のような場合に、ダイレクト送信を使うと便利です。

- メモリーに蓄積されている、ほかの通信より優先してファクスを送信したい
- メモリーの空き容量が不足している



お願い

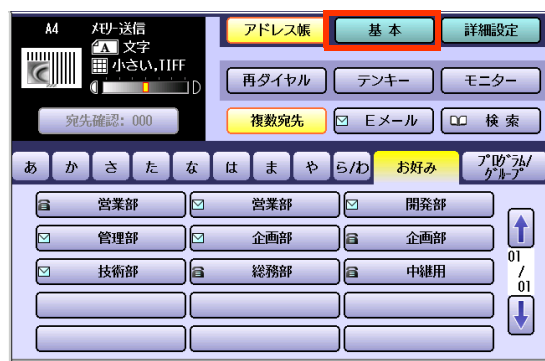
- ダイレクト送信は、複数宛先への送信には使えません。
- メモリー送信をしている場合でも、原稿の読み取り中にメモリーが一杯になったときは、自動的にダイレクト送信に切り替わることがあります。詳しくは、「メモリー送信とは」(p.44)を参照してください。
- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[05 送信メモリー優先]で、初期値をメモリー送信からダイレクト送信に変更できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

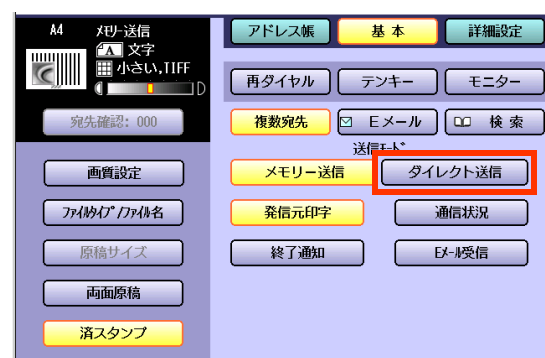
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [基本]を押す



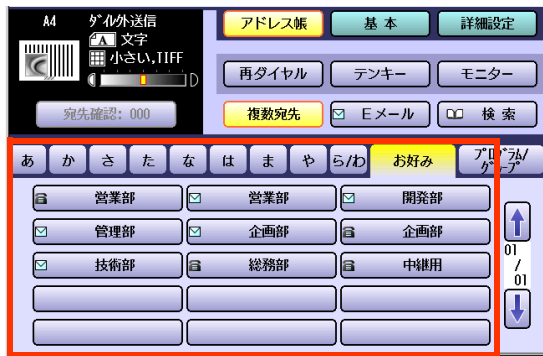
4. [ダイレクト送信]を押す



5. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

6. [アドレス帳]を押してアドレス帳画面を表示し、宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

7. <スタート>を押す

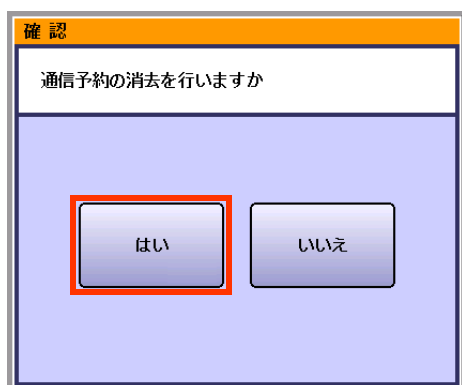
- 読み取った原稿は、メモリーに蓄積されず、相手機と接続すると、送信が開始されます。
- 送信を中止する操作については、「通信を中止する」(p.48)を参照してください。

通信を中止する

通信を中止する場合は、次の手順で操作します。複数の宛先に送信している場合は、未通信の宛先への通信が中止されます。

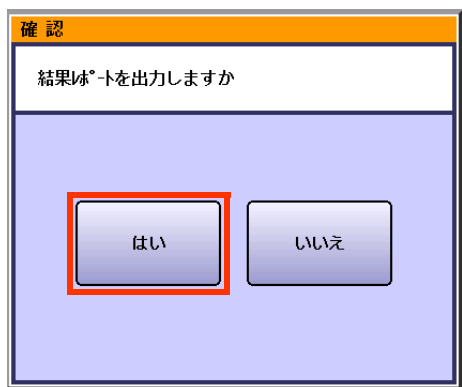
□ メモリー送信の場合

1. <ファクス>を押す
2. 通信中に <ストップ>を押す
3. [はい]を押して送信を中止する



- 上の画面で、操作せずに5秒程度が経過すると、送信が継続されます。

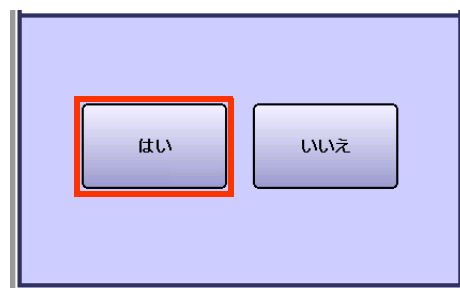
4. 通信結果レポートを印刷する場合は[はい]を、印刷しない場合は[いいえ]を選択する



- ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[31 未通信ファイル保存]が[あり]に設定されている場合は、手順4の画面の前に、未達文書を保存するかどうかを確認する画面が表示されます。保存する場合は、[はい]を選択します。保存した未達文書を再送する操作については、「通信エラー文書を再送信する[未達宛先再通信]」(p.204)を参照してください。

□ ダイレクト送信の場合

1. 通信中に <ストップ>を押す
2. [はい]を押して送信を中止する



- 上の画面で、操作せずに5秒程度が経過すると、送信が継続されます。

3. 原稿が残っている場合は、原稿を取り除く

発信元印字を設定する [発信元印字]

送信情報に発信元印字をつけるかどうかを選択できます。発信元印字とは、送信文書の先端につけられる、日時、宛先、発信元、ページ数、受付番号のことです。

発信元印字をつけたくない場合(相手側から依頼された場合や、インターネット FAX 送信の場合など)は、選択を解除してください。

お知らせ

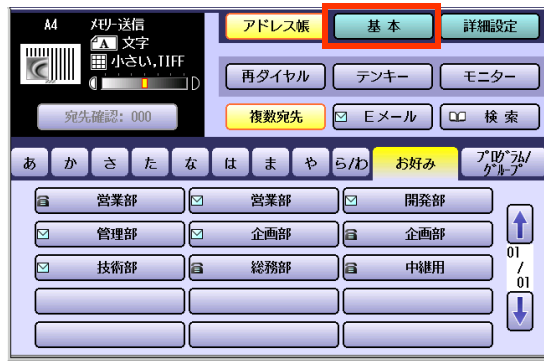
- お買い上げ時は、発信元印字をつけるように設定されています。
- 発信元印字は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [07 発信元印字]で[なし]に設定したり、発信元印字をつける位置を設定できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。お買い上げ時は、設定が[原稿内]となっているため、発信元印字が印刷される部分(原稿の先端から約 10mm)には原稿を印字できません。この部分へは原稿を書かないでください。
設定を[原稿外]に設定することで、原稿の先端から約 3 mm を除いた部分までの印字ができるようになります。ただし、この場合は相手機によっては縮小率が高くなるため、送信した原稿より小さく印字されます。

1. 原稿をセットする

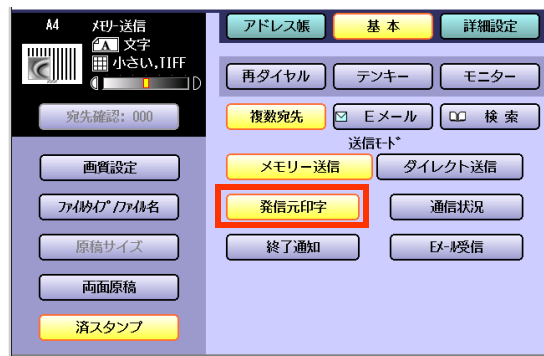
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [基本]を押す



4. [発信元印字]が選択されていることを確認する

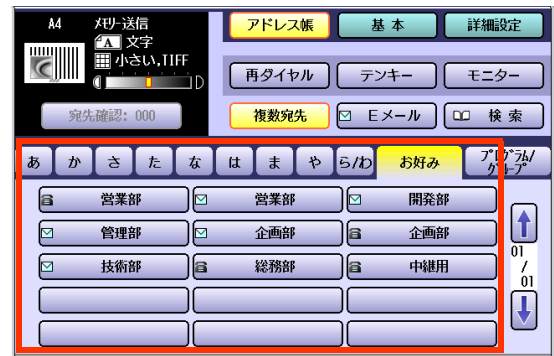


- 発信元印字をつけたくないときは、[発信元印字] を押し、選択を解除してください。

5. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

6. [アドレス帳]を押してアドレス帳画面を表示し、宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

7. <スタート>を押す

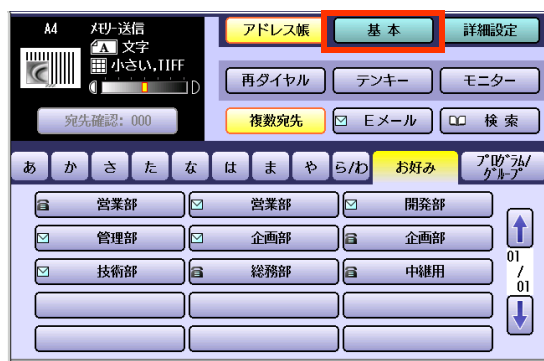
- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。
- 送信を中止する操作については、「通信を中止する」(p.48)を参照してください。

通信状況を確認する [通信状況]

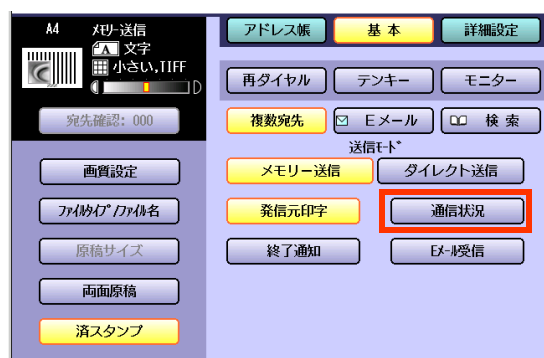
通信中の宛先、ページ数、解像度などの通信状況を確認する場合は、次の手順で操作します。

1. <ファクス>を押す

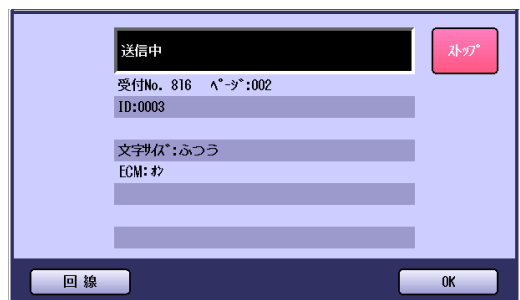
2. [基本]を押す



3. 通信中に [通信状況] を押す



4. 通信中の宛先、ページ数、解像度(文字サイズ)などの通信状態を確認する



5. 確認が終了したら、[OK]を押す



- G3増設ユニット(DA-FG403)、またはG4通信ユニット(DA-FG323)を装着している場合は、[回線]を押すと、通信状況を確認する回線を変更できます。

回転送信について

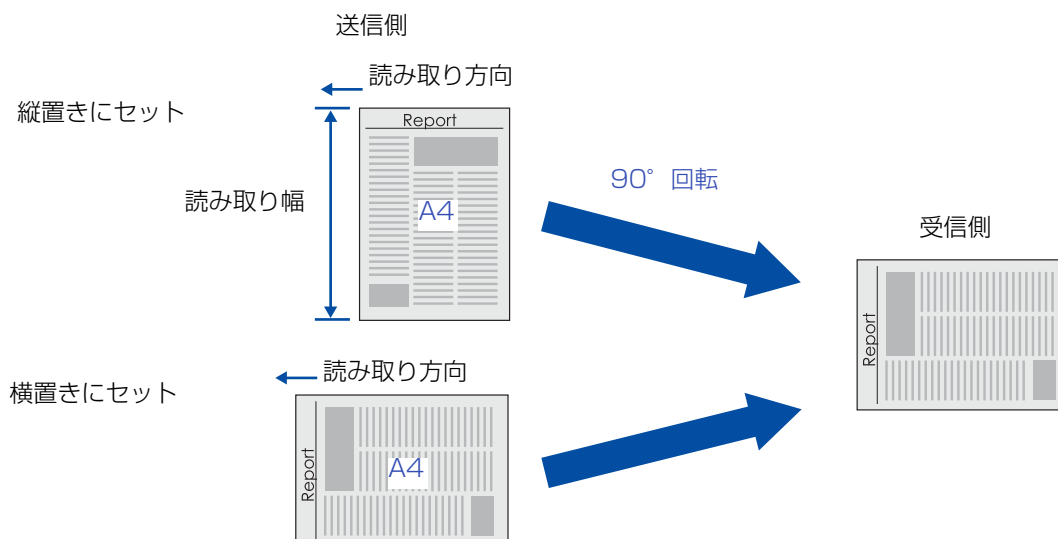
A4 サイズの原稿を送信する場合に、原稿を縦置き(□方向:原稿の短辺が上にくる状態)にセットすると、受信側で縮小して印刷されたり、A3 サイズとして扱われることがあります。このようなトラブルを防止するために、本機には回転送信の機能が搭載されています。

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[78 回転送信]を[あり]に設定すると、原稿を縦置き(□方向)にしたときにも、自動的に 90° 回転し、横置きしたとき(□方向:原稿の長辺が上にくる状態)と同じように A4 サイズとして送信できます。

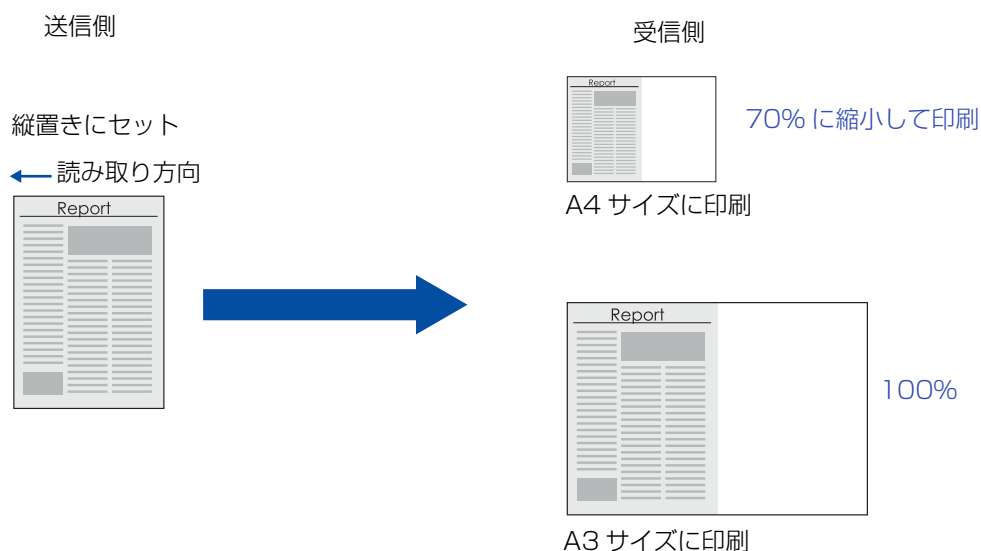
お知らせ

- お買い上げ時は、ファンクション設定の[78 回転送信]が[あり]に設定されています。
『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス / E メール機能設定」を参照してください。
- 回転送信は、メモリー送信の場合にだけ機能します。ダイレクト送信を設定した場合は機能しません。
- 複数宛先を指定している場合や、直接ダイヤルで宛先を指定した場合(宛先数にかかわらず)は、ファンクション設定の[78 回転送信]が[あり]に設定されていれば、回転して送信されます。
- アドレス帳で宛先を指定した場合、ファンクション設定の[78 回転送信]が[あり]に設定されても、相手機的能力に応じ、回転せずに送信される場合があります。

□ 回転送信が[あり]のとき



□ 回転送信が[なし]のとき

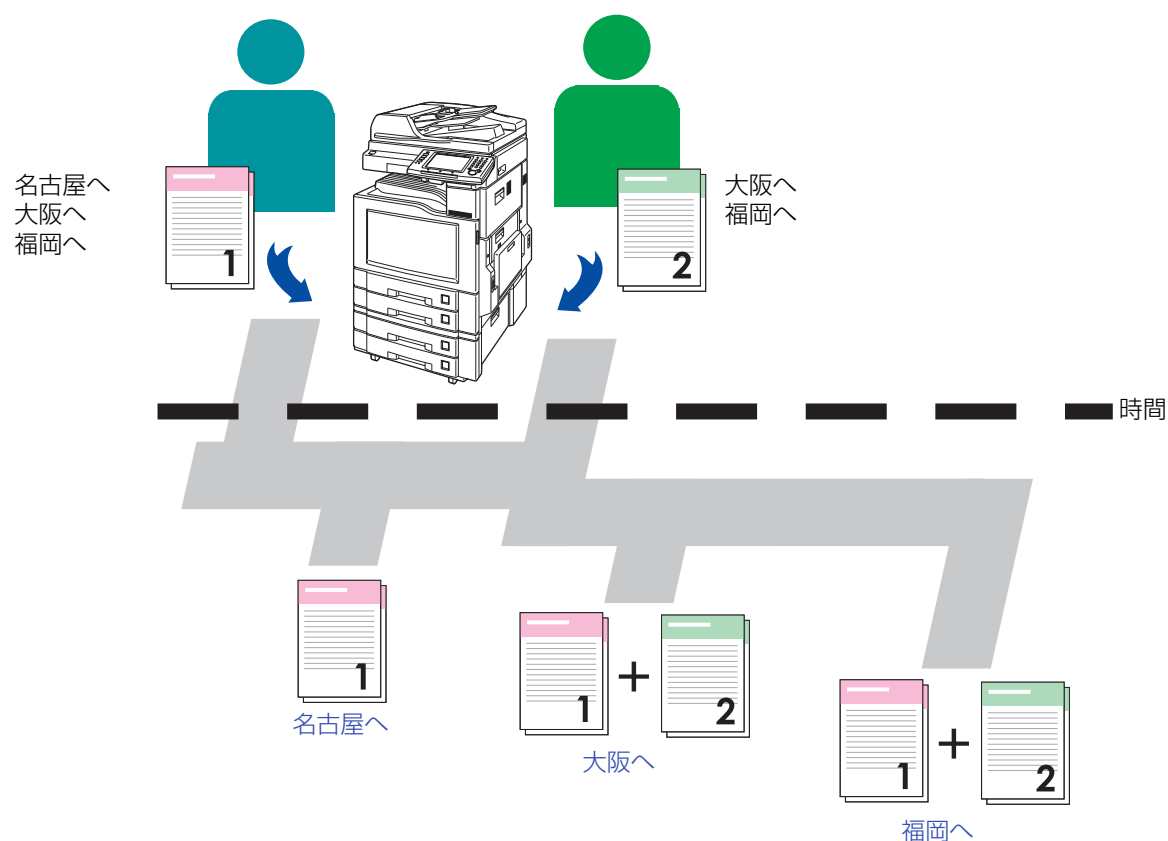


宛先別一括送信について

本機では、通信を開始するときに、宛先別に他の異なる通信ファイルがあるかどうかを検索します。同じ宛先がある場合は、自動的に宛先別一括送信の機能が働き、一度のダイヤルで、複数のファイルが送信されます(4 ファイルまで)。

お知らせ

- 再ダイヤル待ち、送信中、タイマー予約された通信は宛先別一括送信されません。
- 宛先別一括送信をしないように設定できます。詳しくは、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。



プログラムダイヤルを呼び出す

プログラムダイヤルが登録されている場合は、プログラムボタンを押すだけで、一連の操作手順を呼び出すことができます。

定期的が発生する操作や、複雑な手順が必要な操作の場合は、プログラムダイヤルを利用すると、手順を簡素化するだけでなく、操作ミスも防止できて便利です。

プログラムダイヤルを呼び出す場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- プログラムボタンを使うには、あらかじめファンクション設定でプログラムダイヤルを登録しておく必要があります。詳しくは、「プログラムダイヤルを登録する」(p.229)を参照してください。
- プログラムボタンにどのような操作が登録されているかは、プログラムダイヤルのリストで確認できます。詳しくは、「プログラムダイヤルのリストを印刷する」(p.254)を参照してください。

1. 原稿をセットする

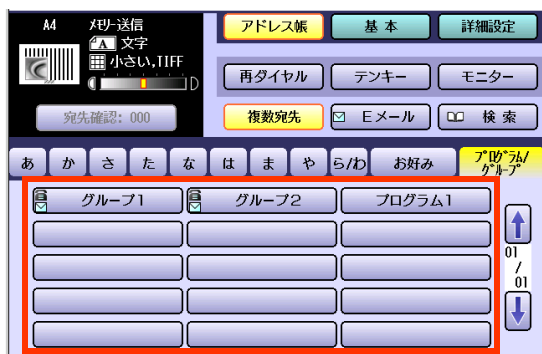
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。



2. <ファクス>を押す

3. [プログラム / グループ]を押す



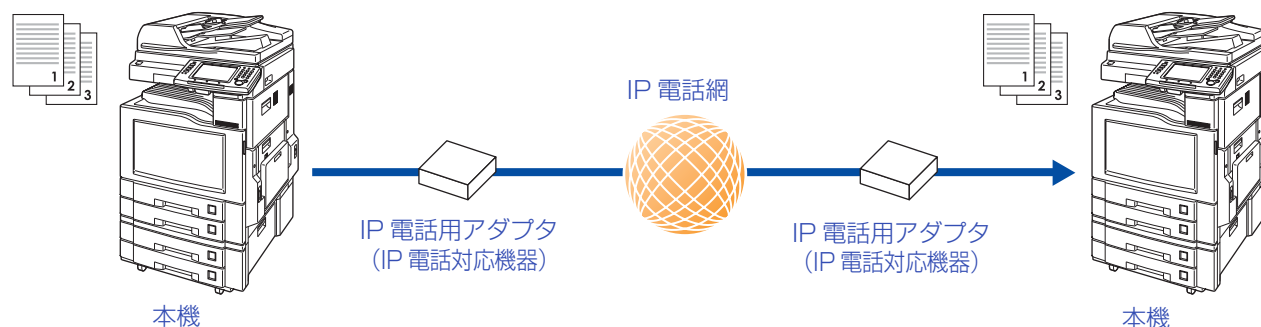
4. 呼び出したいプログラムダイヤルのボタンを押す



- プログラムダイヤルのボタンには、マークやマークは表示されません。
- 通信が開始されます。

IP 電話サービスを使う

本機では、IP 電話サービスを利用してファクス通信できます。



■ IP 電話サービス利用上の留意点

- プロバイダが提供する IP 電話サービスのご契約が必要です。
ご利用になるプロバイダが、「IP 電話対応機器」に対応した IP 電話サービスを提供しているかどうか、事前にご確認ください。
- IP 電話サービスのサービス内容は、プロバイダごとに異なります。
 - ・ IP 電話サービスのサービス内容・料金・提供条件・お申し込み方法などは、プロバイダにより異なります。各プロバイダにご確認ください。
 - ・ IP 電話サービスから発信できる番号は、各プロバイダにより異なります。
 - ・ 「IP 電話対応機器」をご利用のお客さま間でも、ご契約された IP 電話サービスが異なる場合は、IP 電話サービスとして通信できない場合があります。
- 一般電話回線を接続しない場合、110 番などにはつながりません。
 - ・ 110 番、118 番、119 番の電話番号へは、一般電話回線から自動的に発信されます。このため、一般電話回線が正しく接続されていないとつながりません。
 - ・ ご契約された IP 電話サービスが携帯電話やフリーダイヤルなどへの通話をサービス対象外としている場合は、一般電話回線から発信してください。

- IP 電話サービスからの発信方法は、次表のとおりです。

相手の電話番号		発信に利用するサービス
一般の電話番号	例： 03-1234-5678 06-1234-5678	IP 電話サービスから発信できます。
050 番号 (IP 電話)	例： 050-XXXX-XXXX *	IP 電話サービスから発信できます。
0X0 (050 以外)	例： 携帯電話 (090) PHS (070) 国際電話 (010) など	ご契約された IP 電話サービスのサービス内容により異なります。 詳しくは各電話サービスのサービス内容をご確認ください。
00XY	例： 0036 など始まる ダイヤル	【ダイヤルした番号が IP 電話サービス対象の場合】 IP 電話サービスから発信します。
0XY0 (市外局番以外)	例： 0120、0570 など始まる ダイヤル	【ダイヤルした番号が IP 電話サービス対象外の場合】 一般電話回線から発信してください。
その他のダイヤル (110、118、119 以外)	_____	
110、118、119	110、118、119 の緊急通話	一般電話回線から自動的に発信します。

*「184 + 電話番号」および「186 + 電話番号」を含みます。

- IP 電話サービスから発信できない／発信しないときは

- ・ 一般電話回線から発信してください。
- ・ ネットワーク障害など何らかのトラブルにより、IP 電話サービスがご利用いただけない場合は、一般電話回線から発信してください。

- 発信者番号通知についてご確認ください。

- ・ IP 電話サービス間の通話の場合は、IP 電話サービスの電話番号が通知されます。
(「184 + 電話番号」をダイヤルすることで非通知にすることもできます。)
- ・ 加入電話など、IP 電話サービス以外に発信する際の発信者番号通知については、ご契約された各プロバイダにご確認ください。

お知らせ

- IP 電話サービスについては、お使いの IP 電話対応機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- 下記のような場合は、IP 電話の通話品質が低下したり、ファクス通信が困難な場合があります。
 - ・ ADSL 回線の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合
 - ・ インターネットで十分な帯域が確保できない場合
 - ・ IP 電話対応機器に接続されているコンピューターで、ファイル転送やストリーミングサービスのような、大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

2 章 ファクスの基本操作

■ IP 電話サービスを使ってファクス送信する

「IP 電話対応機器」を設置している場合は、特別な操作をすることなく IP 電話サービスを使ってファクスを送信したり、電話をかけたりできます。

なお、インターネット網の不調などで IP 電話回線が通信不能になった場合は、次に説明するリルート機能とプレフィクス機能によって、一般電話回線に切り替えて通信できます。

□ リルート機能

リルート機能とは、IP 電話回線が通信不能の場合に、自動的に一般電話回線に切り替えてダイヤルをし直す機能です。

この機能は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [123 リルート機能]が[あり]に設定されている場合に利用できます。

- ・ 次ページの図の①～③のいずれかの送信方法で、自動的に通信回線を切り替えてダイヤルをし直し、ファクス送信されます。
- ・ ①の方法で送信を開始し、送信できない場合は、②、③と送信方法が順次切り替わります。
- ・ [123 リルート機能]が[あり]に設定されている場合は、アドレス帳に一般の電話番号と IP 電話の番号を両方登録できます。
- ・ [123 リルート機能]が[あり]に登録されている場合、タッチパネルには、「リルート設定中」が表示されます。

□ プレフィクス機能

プレフィクス機能とは、回線工事などで IP 電話回線が通信不能の場合に、プレフィクス番号に続いてダイヤルした一般電話回線の番号で発信する機能です。

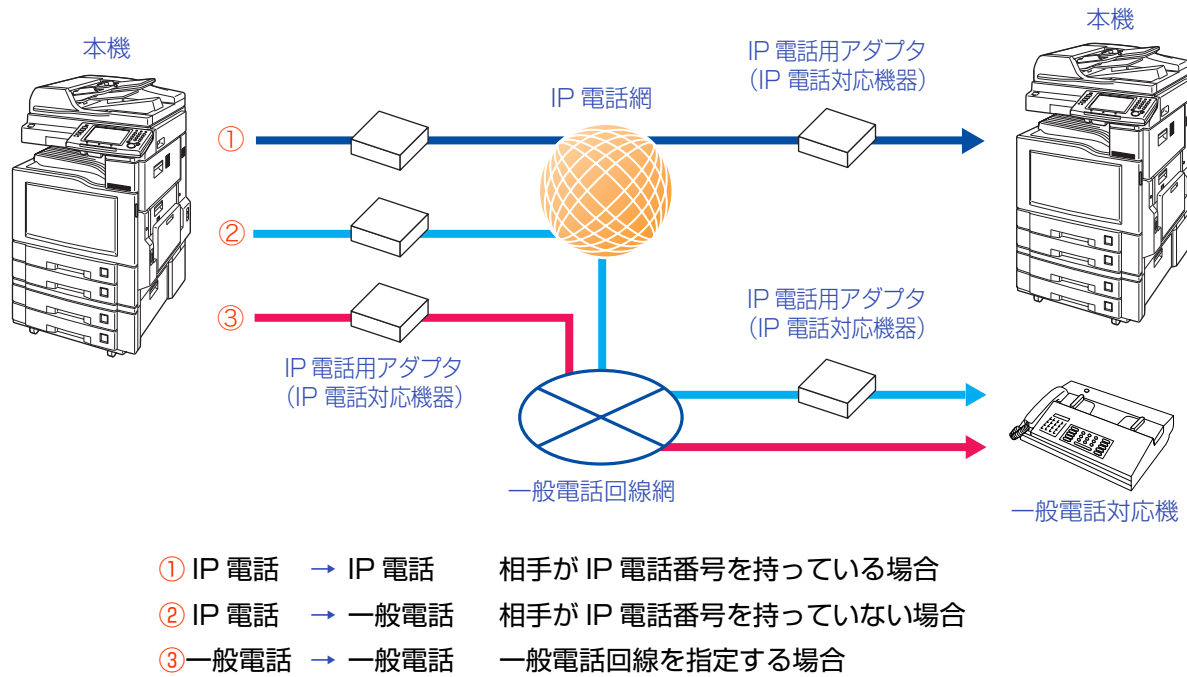
この機能は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [124 プレフィクス機能]で、プレフィクス番号を登録し、プレフィクス機能が[あり]に設定されている場合に利用できます。

- ・ プレフィクス番号は、0～9、#、*、ポーズ記号を組み合わせ、20 桁まで登録できます。
- ・ [124 プレフィクス機能]が[あり]に設定されている場合、信号の流れは次ページの図の③となります。
- ・ [124 プレフィクス機能]が[あり]に登録されている場合、タッチパネルには、「プレフィクス設定中」が表示されます。

(付与できる番号の例：NTT の場合)

0000 : 「IP 電話対応機器」を使用しているときに、続けてダイヤルすると、相手先の電話番号に一般電話回線から発信します。

「0000」は NTT の例です。一般回線への切り替え番号は、ご契約の電話会社へご確認ください。



□ 送信の流れ

1. 送信方法①でファクスが送られます。

- アドレス帳に一般電話の番号だけが登録されている場合は、利用できません。

2. 通信エラーによって送信方法①で送ることができない場合は、自動的に送信方法②でファクス送信されます。

3. 通信エラーによって送信方法②でも送ることができない場合は、自動的に送信方法③でファクス送信されます。

- アドレス帳に IP 電話の番号だけが登録されている場合は、利用できません。

お知らせ

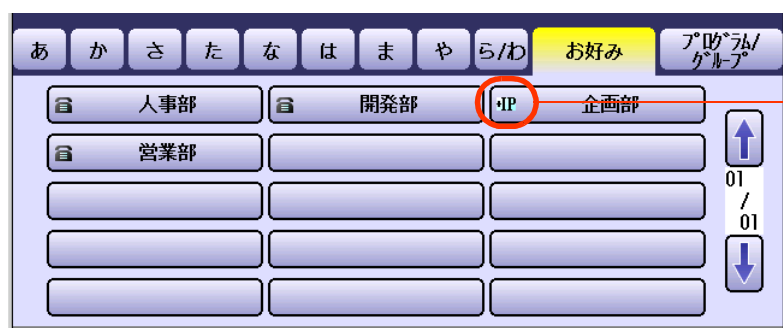
- どの回線を使ってファクス送信されたかを、通信結果レポートで確認できます。「通信結果レポート」(p.246)、および「主なエラーコード」(p.264)を参照してください。

2 章 ファクスの基本操作


□ アドレス帳の登録(リルート機能が設定されている場合)

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[123 リルート機能]が[あり]に設定されている場合は、アドレス帳に、一般の電話番号とIP 電話の番号を両方登録できます。

このような宛先は、アドレス帳に IP のマークが表示されます。



IP 電話のマーク

- プレフィクス機能が[あり]に設定されている場合は、が表示されます。

アドレス帳に、一般の電話番号と IP 電話の番号の両方を登録する場合は、次の手順で操作します。

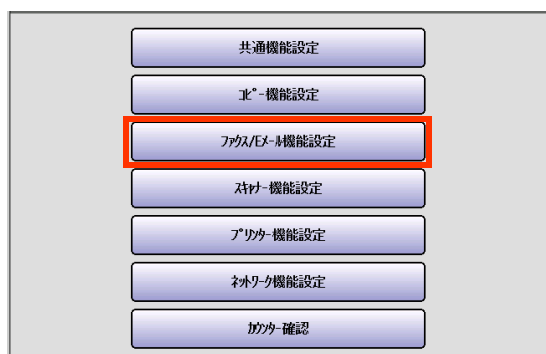
お知らせ

- 登録したアドレス帳を変更する操作については、「アドレス帳を変更する」(p.225)を参照してください。
- 登録したアドレス帳を削除する操作については、「アドレス帳を削除する」(p.226)を参照してください。

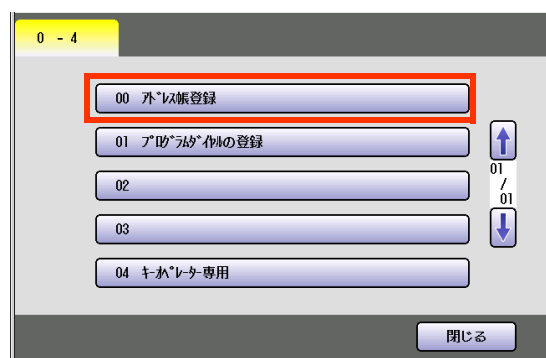
1. <ファンクション>を押す



2. [ファクス/Eメール機能設定]を押す



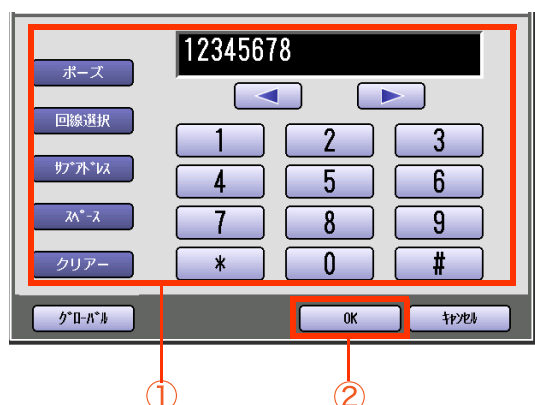
3. [00 アドレス帳登録]を押す



4. [01 アドレス帳登録(電話)]を押す

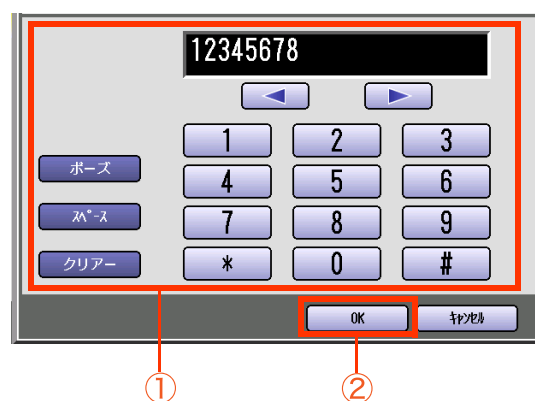


5. 電話番号を入力し、[OK]を押す



- [クリアー]を押すと、電話番号を1文字ずつ消去できます。
- 電話番号の入力については、「電話番号を入力する」(p.20)を参照してください。

6. IP 電話番号を入力し、[OK]を押す



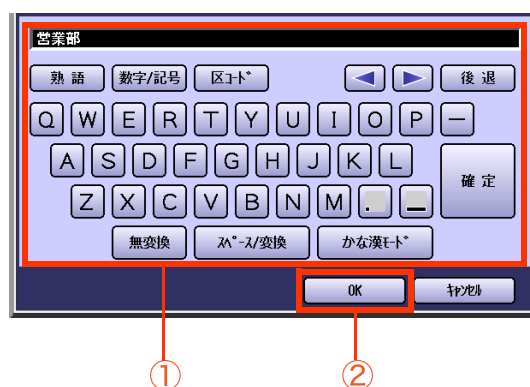
- [クリアー]を押すと、IP 電話番号を1文字ずつ消去できます。

7. 宛先名を入力し、[OK]を押す



- 宛先名は、20文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、「付録 C 文字入力のしかた」(p.277)を参照してください。

8. ボタン名を入力し、[OK]を押す



- ボタン名は、10文字まで入力できます。

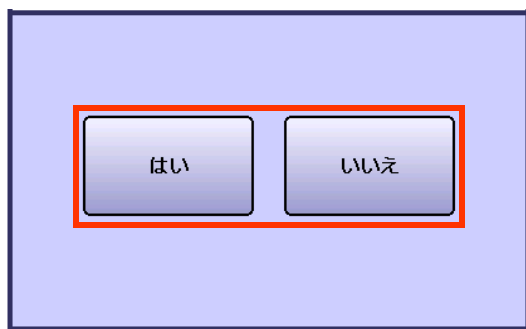
9. 検索文字を入力して、[OK]を押す





- 検索文字は、10文字まで入力できます。
- 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です（[あ]～[ら/わ]の仕分けにも使われます）。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。
- 英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。ただし、英数字は検索文字としては使用できません。

2章 ファクスの基本操作

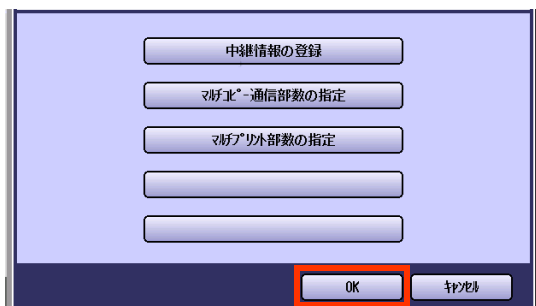
10. [お好み]に表示するかどうかを選択する



	[お好み]に宛先を表示する場合に押します。
	[お好み]に宛先を表示しない場合に押します。

- [お好み]に登録できる宛先は15宛先です。すでに15宛先登録されている場合、上の画面は表示されません。

11. [OK]を押す



- アドレス帳に特殊機能を設定する場合は、「通信機能を登録する」(p.215)を参照してください。
- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、手順5の電話番号の入力から操作してください。
- 操作が終了したら、<リセット>を押して、設定を解除してください。

3章

便利なファクス機能

この章では、[詳細設定]を押して表示される、便利なファクス機能の概要と操作について説明しています。

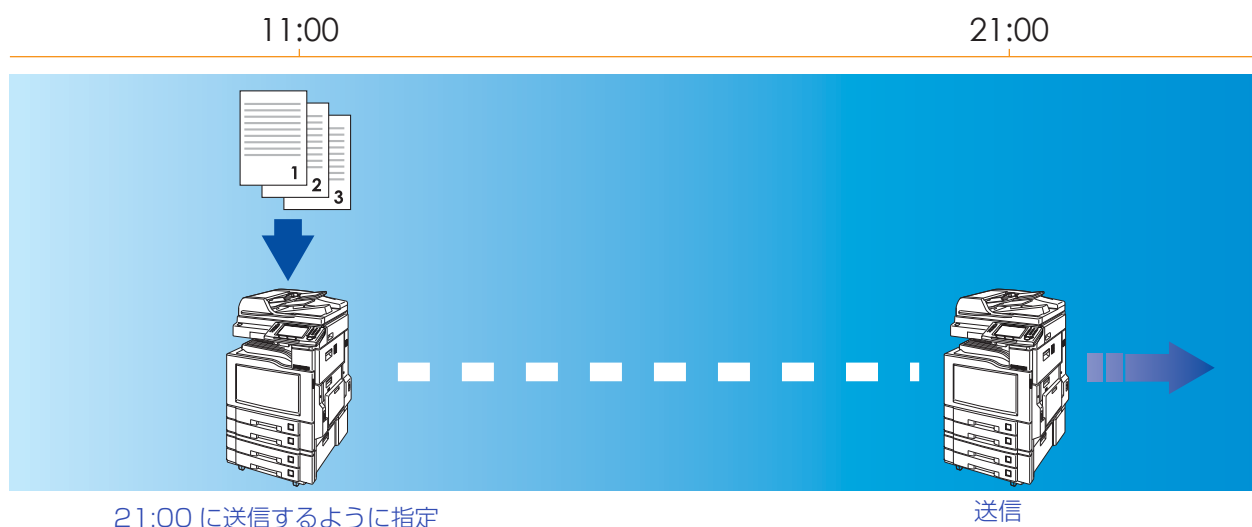
時刻を指定して通信する

時刻を指定した通信には、タイマー送信、タイマーポーリング受信、タイマー特殊通信の3種類があります。

■時刻を指定して送信する[タイマー送信]

1 か所、または複数の宛先へ、24 時間後までの時刻を指定して送信できます。

読み取った原稿は、通信予約ファイルとしてメモリー内に蓄積され、あらかじめ設定しておいた時刻になると自動的に送信が開始されます。



お知らせ

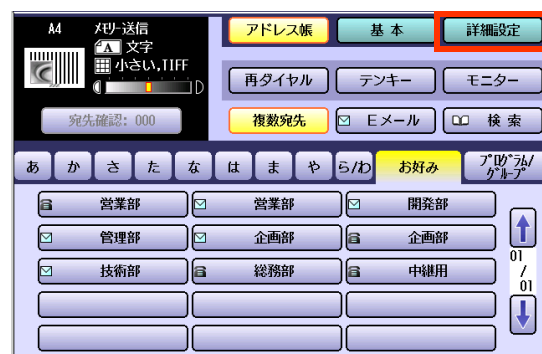
- タイマー送信、タイマーポーリング受信、タイマー特殊通信を合わせ、50 通信まで設定できます。
- 時刻を指定して[特殊通信]の機能で通信する場合は、[タイマー特殊通信]から操作してください。
- タイマー送信する時刻は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [00 自局情報の登録] > [04 定時刻タイマーの登録]で、初期値を設定できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

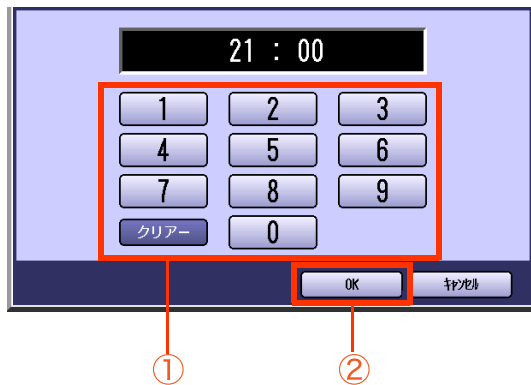
3. [詳細設定]を押す



4. [タイマー送信]を押す



5. 送信時刻を設定し、[OK]を押す

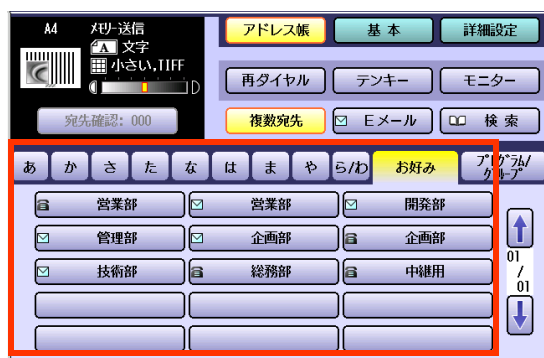


- 時刻は、24 時制で入力します。
例：21:00
- 誤って入力した場合は、画面内の[クリア]を押すと、1 文字ずつ削除できます。

6. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

7. 宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

8. <スタート>を押す

原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。

指定した時刻になると、送信が開始されます。

お知らせ

- ここで設定した送信時刻と宛先は変更できません。
変更の操作については、「通信予約ファイルを変更する[時間・宛先変更]」(p.198)を参照してください。
- タイマー送信を中止するときは、通信予約のファイルの削除が必要です。「通信予約ファイルを削除する[通信予約の消去]」(p.200)を参照してください。
- 相手先が話し中などで送信できなかった場合は、通信結果レポートが排出されます。
詳しくは、「通信結果レポート」(p.246)を参照してください。

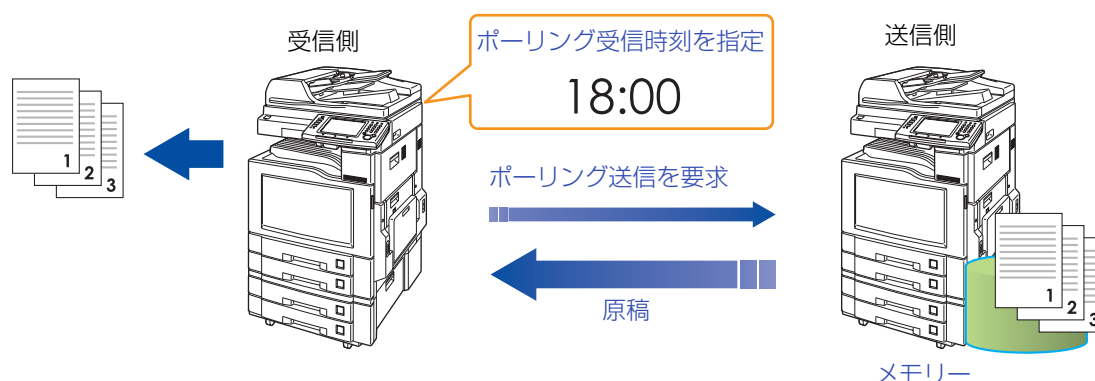
3 章 便利なファクス機能

■時刻を指定して ポーリング受信する[タイマーポーリング受信]

24 時間後までの時刻を指定してポーリング受信できます。

ポーリング受信とは、送信側のメモリーに蓄積された原稿(またはADFや原稿台ガラスにセットされた原稿)を、受信側から指示して送信させる機能です。

- 機密保護のために、パスワードを設定できます。
- 通信料金はポーリング受信側の負担となります。

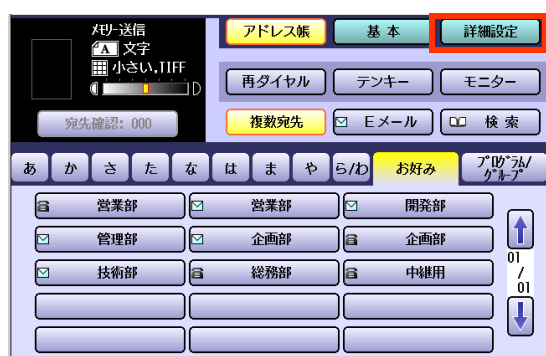


お知らせ

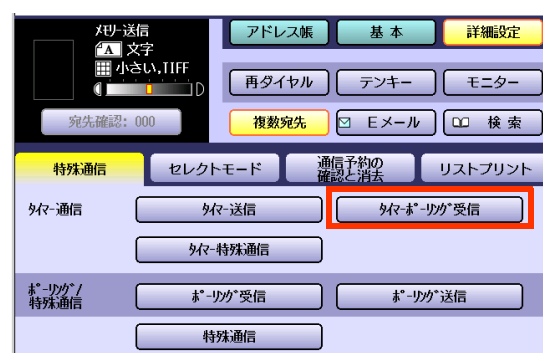
- タイマー送信、タイマーポーリング受信、タイマー特殊通信を合わせ、50 通信まで設定できます。
- 時刻を指定せずにポーリング受信をする場合は、「受信側からの指示で原稿を送信させる[ポーリング受信]」(p.68)を参照してください。
- パスワードを使ったポーリング通信は、相手機が当社の機種に限定されます。詳しくはサービス実施会社にお問い合わせください。
なお、パスワードを設定しない場合は、当社の機種以外の機種や、パスワードを使わない相手に対してポーリング通信できます。
- タイマーポーリング受信する時刻は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [00 自局情報の登録] > [04 定時刻タイマーの登録]で、初期値を設定できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. <ファクス>を押す

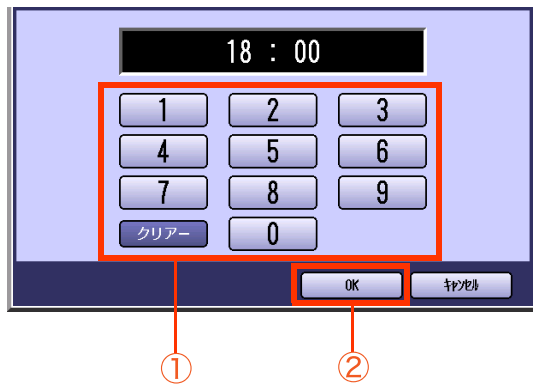
2. [詳細設定]を押す



3. [タイマーポーリング受信]を押す

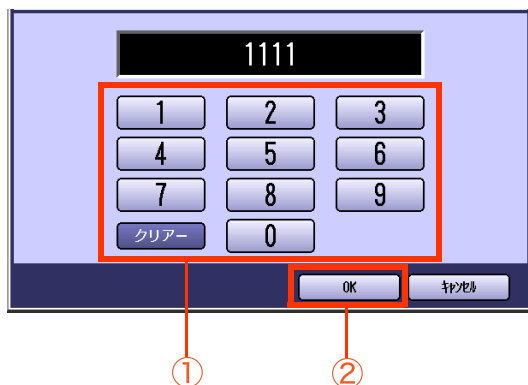


4. 通信時刻を設定し、[OK]を押す



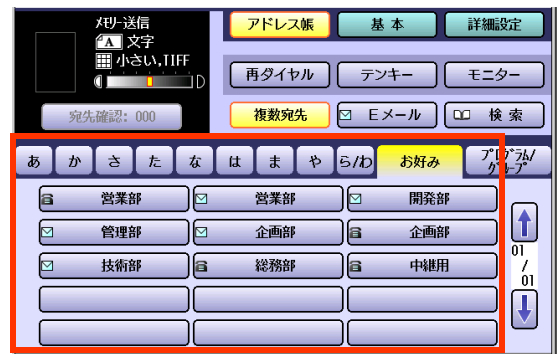
- 時刻は、24 時制で入力します。
例：18: 00
- 誤って入力した場合は、画面内の[クリアー]を押すと、1 文字ずつ削除できます。

5. パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力し、[OK]を押す



- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [26 ポーリング用暗証番号の登録]でパスワードを設定している場合はパスワードが表示されます。
このパスワードは、上の画面で変更できます。
- パスワード設定が不要な場合はパスワードを入力しないで[OK]を押します。

6. 宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

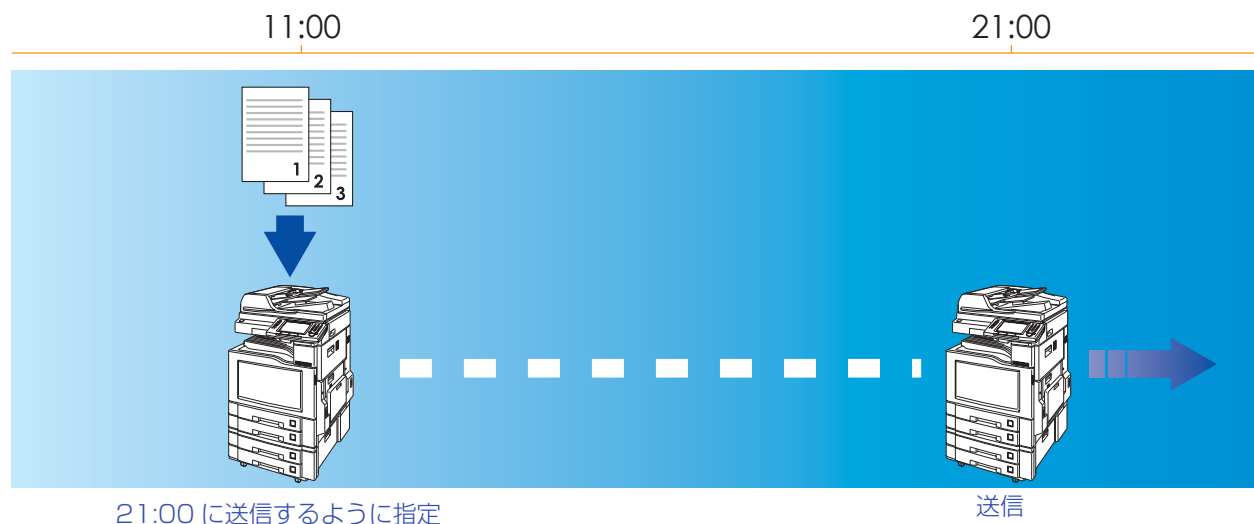
7. <スタート>を押す

- ここで設定した通信時刻は変更できます。
変更の操作については、「通信予約ファイルを変更する[時間・宛先変更]」(p.198)を参照してください。
- 時刻を指定したポーリング受信を中止するときは、通信予約のファイルの削除が必要です。「通信予約ファイルを削除する[通信予約の消去]」(p.200)を参照してください。
- 相手先が話し中などで通信できなかった場合は、通信結果レポートが排出されます。
詳しくは、「通信結果レポート」(p.246)を参照してください。

3 章 便利なファクス機能

■時刻を指定して特殊通信をする[タイマー特殊通信]

タイマー特殊通信は、[特殊通信]の機能を、24 時間後までの時刻を指定して通信できます。読み取った原稿は、通信予約ファイルとしてメモリー内に蓄積され、あらかじめ設定しておいた時刻になると自動的に通信が開始されます。



お知らせ

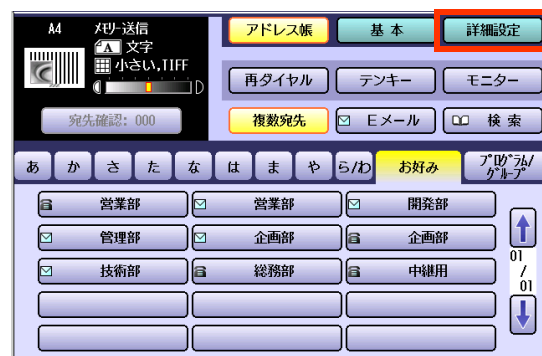
- タイマー送信、タイマーポーリング受信、タイマー特殊通信を合わせ、50 通信まで設定できます。
- [特殊通信]を利用しない送信の場合は、[タイマー送信]を使用してください。
- [特殊通信]の機能については、次を参照してください。
 - ・[中継同報送信を指示する[中継同報指示]](p.72)
 - ・[いつも送信する文書を蓄積しておく[ファイル送信]](p.76)
 - ・[F コード(サブアドレス)を使って通信をする[F コード通信]](p.82)
 - ・[受信側で複数部数印刷させる[マルチコピー通信]](p.86)
 - ・[ファクシミリ通信網を利用する[F 網通信]](p.88)
 - ・[LAN 中継機能を使う](p.174)
- タイマー特殊通信する時刻は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]>[04 定時刻タイマーの登録]で、初期値を設定できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

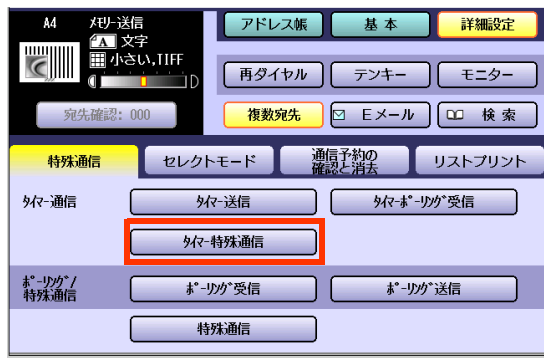
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

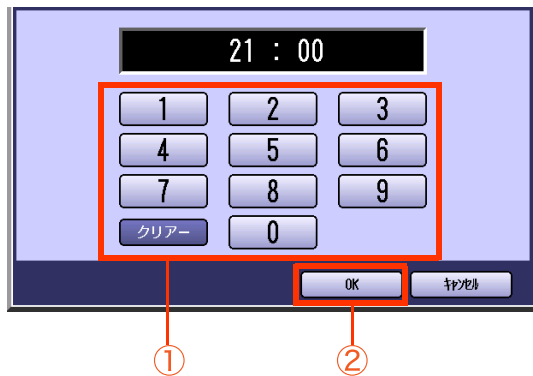
3. [詳細設定]を押す



4. [タイマー特殊通信]を押す

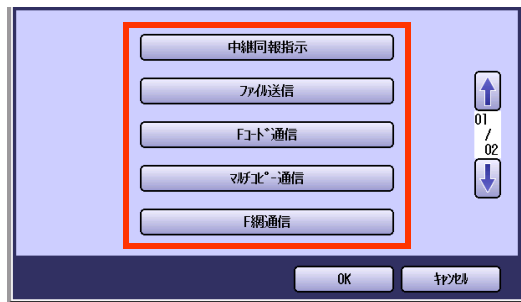


5. 通信時刻を設定し、[OK]を押す



- 時刻は、24 時制で入力します。
例：21:00
- 誤って入力した場合は、画面内の[クリア]を押すと、1 文字ずつ削除できます。

6. 特殊通信を選択する

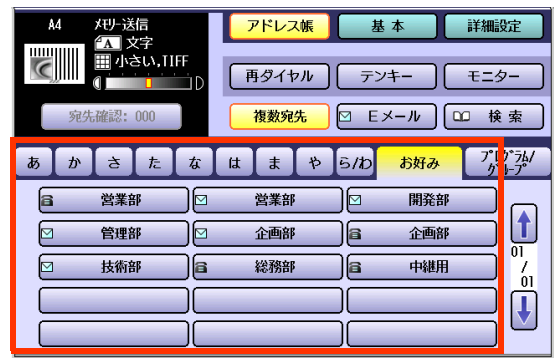


7. 手順 6 で選択した機能に応じ、各機能を設定する

8. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

9. 宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

10. <スタート>を押す

送信の場合は、原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリに蓄積されます。
指定した時刻になると、通信が開始されます。

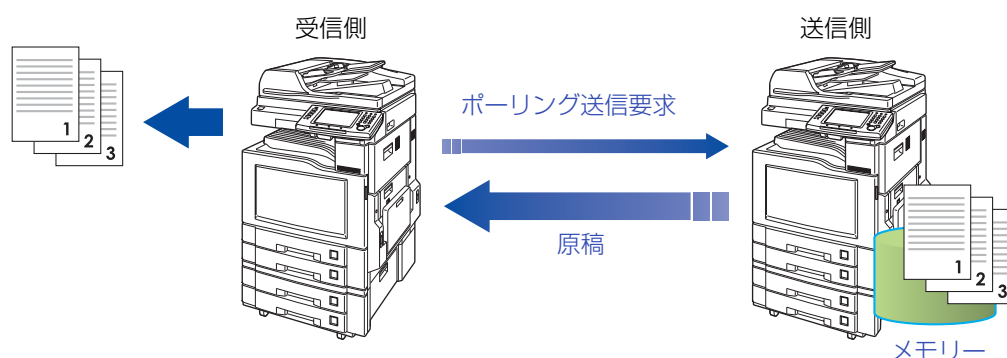
お知らせ

- ここで設定した通信時刻は変更できます。
変更の操作については、「通信予約ファイルを変更する[時間・宛先変更]」(p.198)を参照してください。
- タイマー特殊通信を中止するときは、通信予約のファイルの削除が必要です。「通信予約ファイルを削除する[通信予約の消去]」(p.200)を参照してください。
- 相手先が話し中などで通信できなかった場合は、通信結果レポートが排出されます。
詳しくは、「通信結果レポート」(p.246)を参照してください。

受信側からの指示で原稿を送信させる [ポーリング受信]

ポーリング受信とは、送信側のメモリーに蓄積された原稿(またはADFや原稿台ガラスにセットされた原稿)を、受信側から指示して送信させる機能です。

- 機密保護のために、パスワードを設定できます。
- 通信料金はポーリング受信側の負担となります。

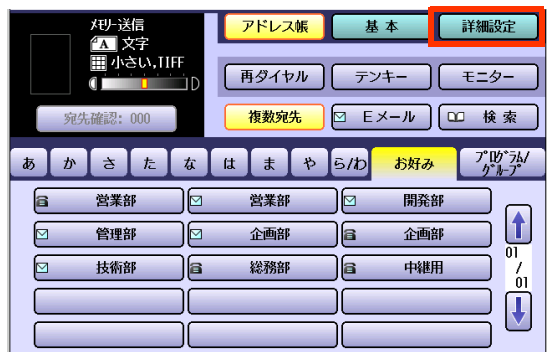


お知らせ

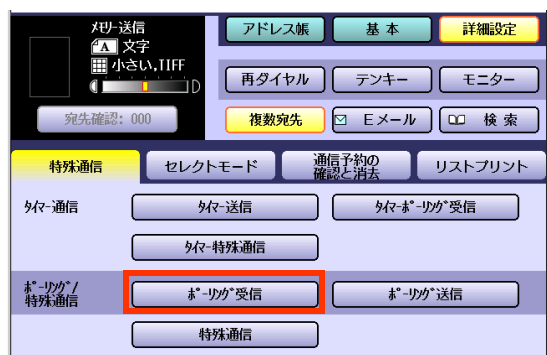
- 時刻を指定してポーリング受信をすることもできます。「時刻を指定して ポーリング受信する [タイマー ポーリング受信]」(p.64)を参照してください。
- パスワードを使ったポーリング通信は、相手機が当社の機種に限定されます。詳しくはサービス実施会社にお問い合わせください。
なお、パスワードを使わない場合は、当社の機種以外の機種や、パスワードを使わない相手に対してポーリング通信できます。

1. <ファクス>を押す

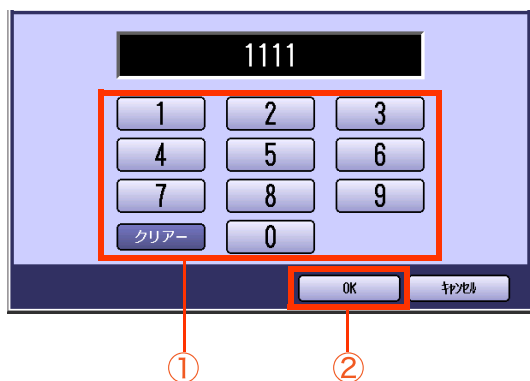
2. [詳細設定]を押す



3. [ポーリング受信]を押す

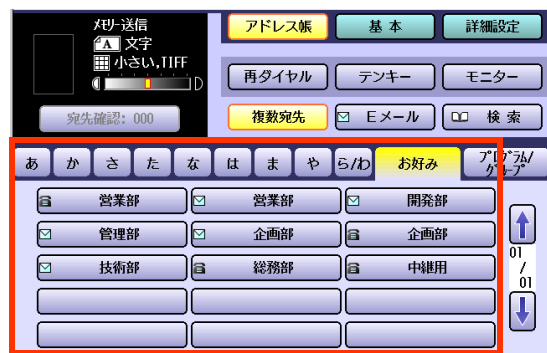


4. パスワードを設定する場合は、パスワードを入力し、[OK]を押す



- ファンクション設定の[ファクス / Eメール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [26 ポーリング用暗証番号の登録]でパスワードを設定している場合はパスワードが表示されます。
このパスワードは、上の画面で変更できます。
- パスワード設定が不要な場合はパスワードを入力しないで[OK]を押します。

5. 宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

6. <スタート>を押す

ポーリング受信が開始されます。

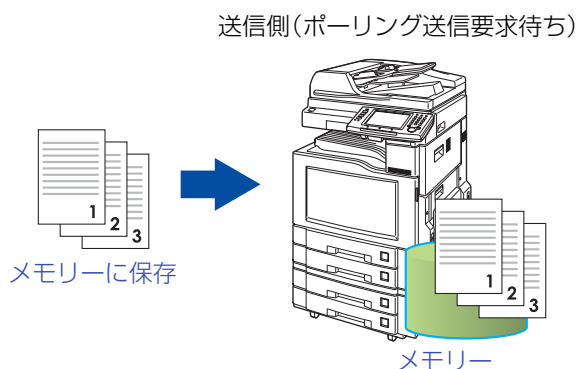
- ポーリング受信を中止する操作については、「通信を中止する」(p.48)を参照してください。

ポーリング送信原稿を蓄積する [ポーリング送信]

ポーリング送信とは、ポーリング受信側の指示で送信するための原稿をメモリーに蓄積しておく機能のことです。

ポーリング送信用に蓄積した原稿は、受信側からポーリング送信要求がくると、自動的に送信されます。

- 機密保護のために、パスワードを設定できます。
- 通信料金はポーリング受信側の負担となります。



お知らせ

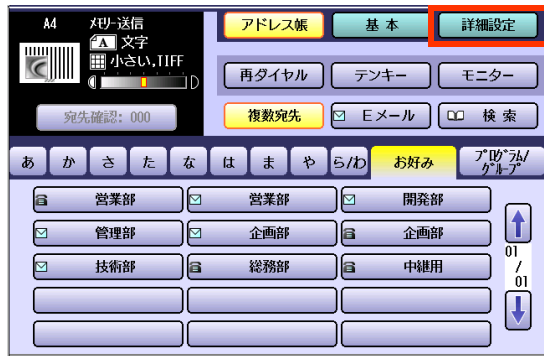
- 掲示板として利用するには
ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [27 ポーリング送信保存]を[あり]に設定しておく、と、ポーリング送信後も、ポーリング送信用文書がメモリー内に保存されます。
同じ原稿を、複数の相手にポーリング送信するとき便利です。
[27 ポーリング送信保存]が[なし]に設定されている場合は、ポーリング送信後、自動的にポーリング送信用文書が削除されます。
- ポーリング用パスワードを使う
ポーリング用パスワードを設定し、ポーリング受信側に知らせておくと、パスワードを知っている相手にだけポーリング送信できます。
- パスワードを使ったポーリング通信は、相手機が当社の機種に限定されます。詳しくはサービス実施会社にお問い合わせください。
なお、パスワードを使わない場合は、当社の機種以外の機種や、パスワードを使わない相手に対してポーリング通信できます。

1. 原稿をセットする

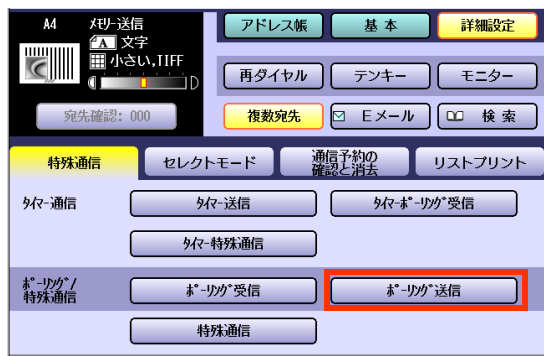
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

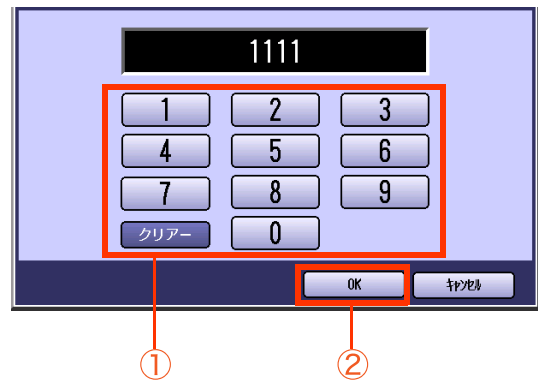
3. [詳細設定]を押す



4. [ポーリング送信]を押す



5. パスワードを設定する場合は、パスワードを入力し、[OK]を押す



読み取った原稿がメモリーに蓄積され、ポーリング受信側から送信の要求がくると送信されます。

- ファンクション設定の[ファクス / E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [26 ポーリング用暗証番号の登録]でパスワードを設定している場合はパスワードが表示されます。このパスワードは、上の画面で変更できます。
- パスワード設定が不要な場合は、パスワードを入力しないで[OK]を押します。
- ポーリング送信用に蓄積したファイルを削除する場合は、「通信予約ファイルを削除する[通信予約の消去]」(p.200)を参照してください。
- ポーリング送信は 30 通信まで設定できます。この場合、1 通信に対して 1 つのパスワードの設定が必要で、同じパスワードは設定できません。(パスワードがない通信も 1 通信となります。)

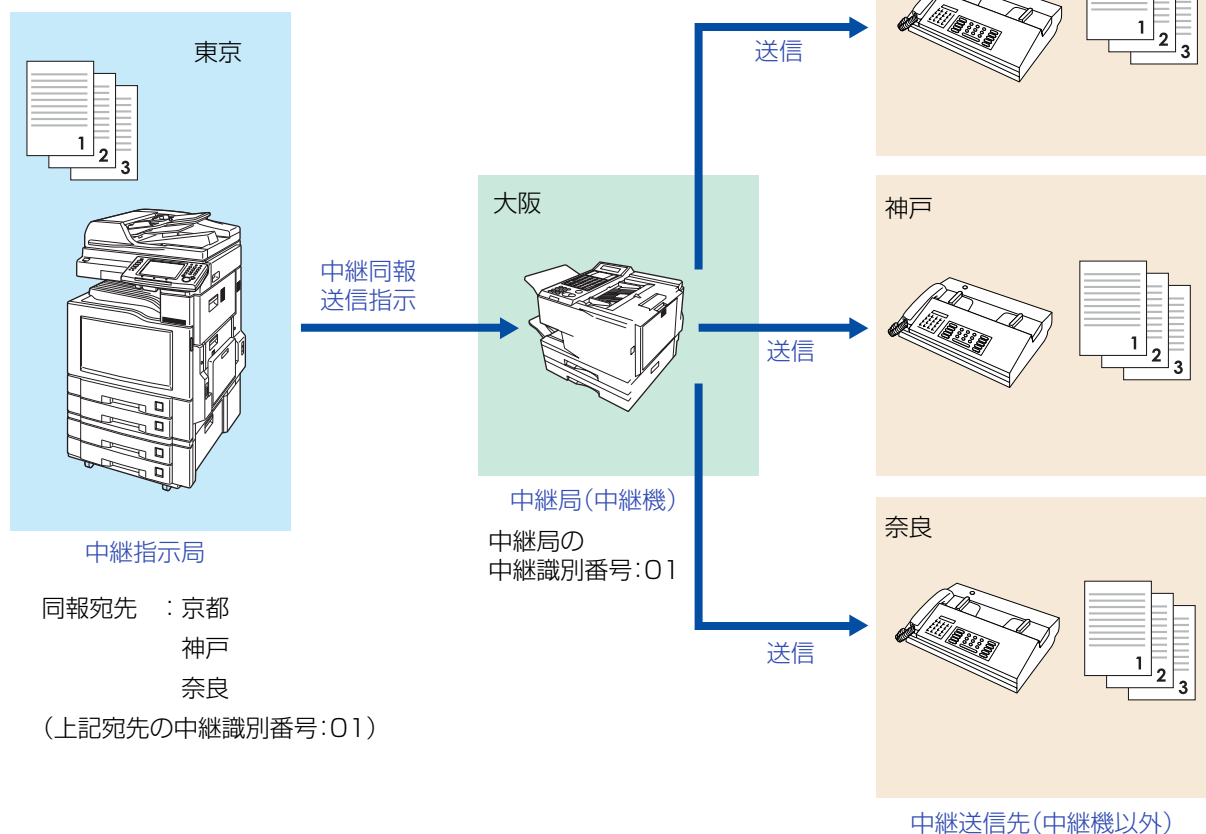
中継同報送信を指示する [中継同報指示]

■ 中継同報送信とは

中継同報とは、中継局となるファクス(センター機能をもつファクス)を経由して同報送信をする機能です。中継局にファクス送信すると、中継局から複数の宛先へ順次同報送信されます。

- 1 台のファクスからすべての宛先に同報送信する場合に比べ、通信にかかる時間が分散するため、機械の負担を軽減できます。
- 中継局から同報する場合に、市内通話料金を利用できるようにネットワークを組めば、ネットワーク全体の通信コストを削減できます。
- 中継通信をする場合は、本機を含むネットワークを構成する必要があります。サービス実施会社へご相談ください。

例：東京から大阪の中継局(中継識別番号:01)に中継同報送信指示をし、大阪の中継局から、京都、神戸、奈良(中継機以外)に送信する



■中継同報送信をするための準備

本機で中継同報送信指示をするためには、次の項目の設定が必要です。

No.	項目	内容
1	中継情報を登録する	<p>ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [02 中継情報の登録]で、中継情報を登録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設定の必要な項目については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
2	アドレス帳ダイヤル情報	<p>アドレス帳に中継情報を登録するために、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [104 アドレス帳ダイヤル情報]を[あり]に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お買い上げ時は、[104 アドレス帳ダイヤル情報]が[あり]に設定されています。
3	アドレス帳	<p>① 中継局の電話番号、中継情報をアドレス帳に登録する</p> <p>② 中継送信先の電話番号、中継情報をアドレス帳に登録する</p>

お知らせ

- 中継同報送信をする場合は、本機を含めた中継ネットワークを構成する必要があります。
中継ネットワークを構成する場合は、サービス実施会社にご相談ください。

3 章 便利なファクス機能

■ 中継同報送信を指示する

中継同報送信を指示をする場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

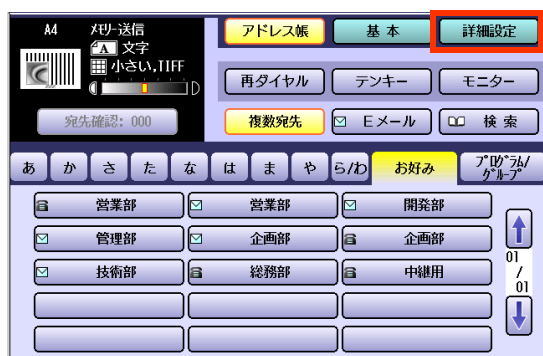
- この機能は、相手機が限定されます。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。
- この機能は、ファンクション設定で、中継同報情報が登録されている場合に使えます。
「中継同報送信をするための準備」(p.73)、および『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス/Eメール機能設定」を参照してください。
- 中継同報送信の指示は、アドレス帳の登録時に機能を設定できます。アドレス帳に中継局が登録されていないと、利用できません。「中継局を登録する」(p.215)を参照してください。

1. 原稿をセットする

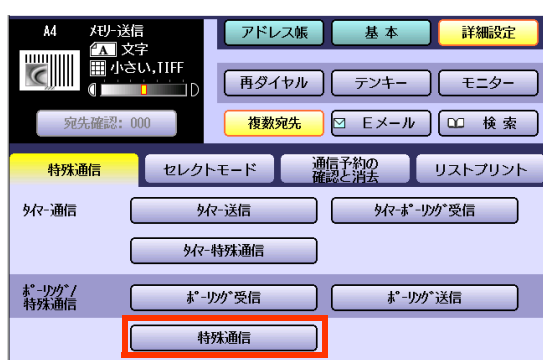
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

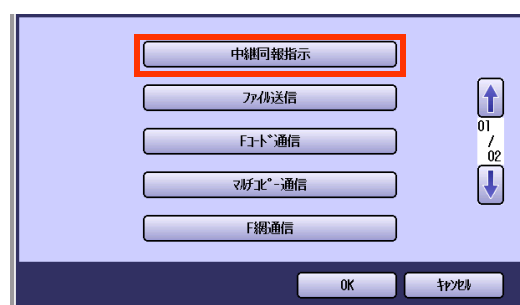
3. [詳細設定]を押す



4. [特殊通信]を押す



5. [中継同報指示]を押す

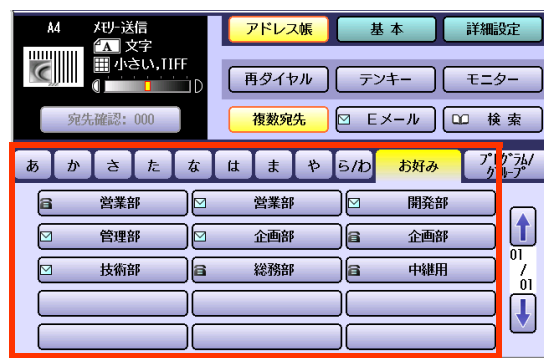


- 「ピピピ」と音が鳴ったときは、中継情報が登録されていません。

6. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

7. 中継送信先が登録されている宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。
- テンキーからの直接ダイヤルは使用できません。

8. <スタート>を押す

中継同報送信の指示が開始されます。

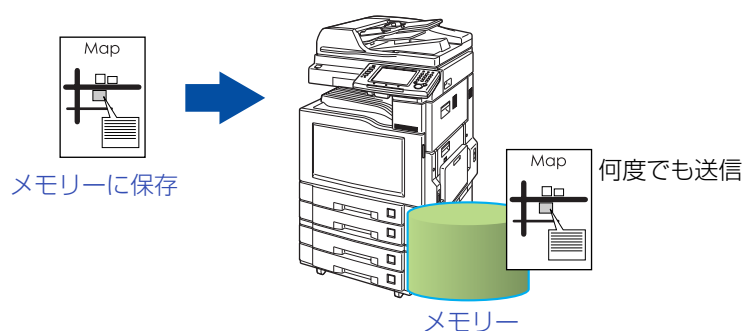
- 中継同報指示を中止する操作については、「通信を中止する」(p.48)を参照してください。

Memo

いつも送信する文書を蓄積しておく [ファイル送信]

ファイル送信とは、定型文書(会社の地図などのように、頻繁に送信する文書)をメモリーに蓄積しておき、何度でも送信できる機能です。

- ファイル送信で蓄積できる文書は、1 文書だけです。



ここでは、ファイル送信用の文書を蓄積する操作、ファイルを送信する操作、ファイルを印刷する操作、ファイルを削除する操作を説明します。

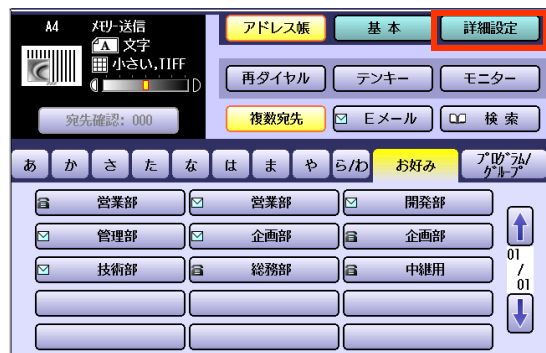
■ファイル送信用の文書を蓄積する

1. 原稿をセットする

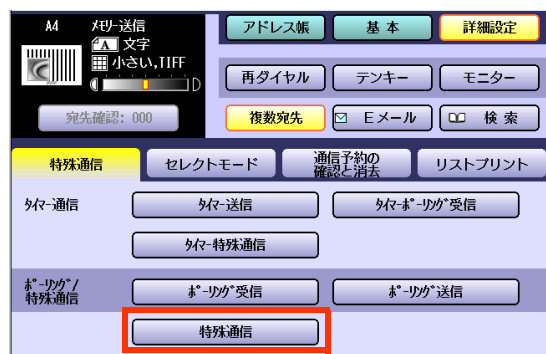
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

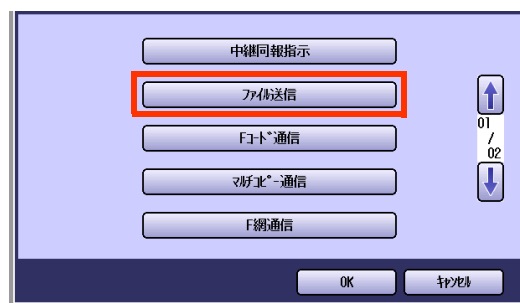
3. [詳細設定]を押す



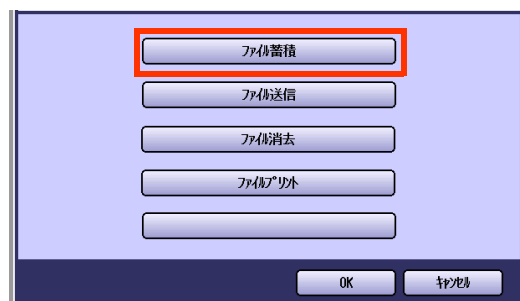
4. [特殊通信]を押す



5. [ファイル送信]を押す



6. [ファイル蓄積]を押す

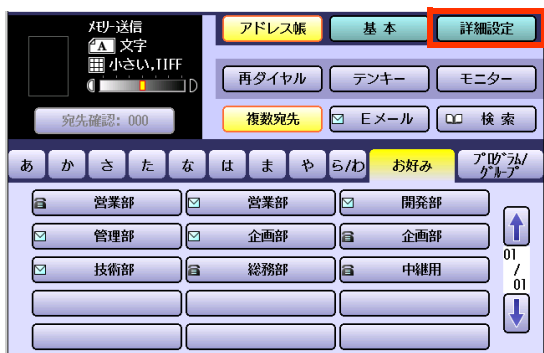


- ファイル送信用の文書がメモリーに蓄積されます。

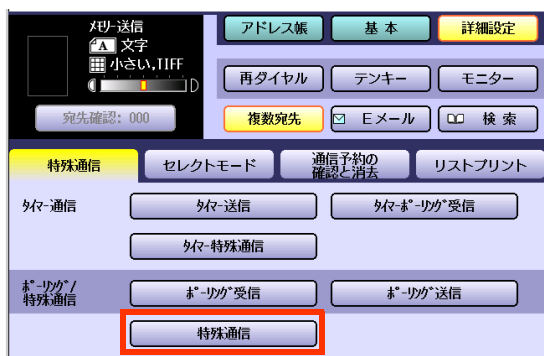
■ ファイル送信用の文書を送信する

1. <ファクス>を押す

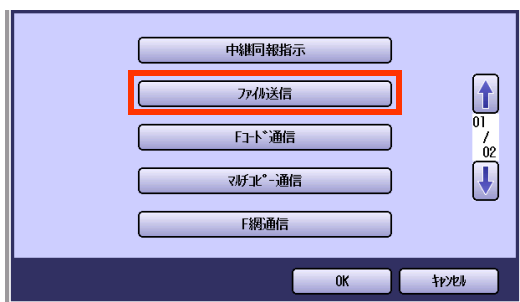
2. [詳細設定]を押す



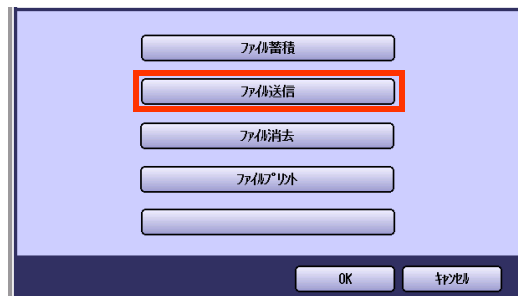
3. [特殊通信]を押す



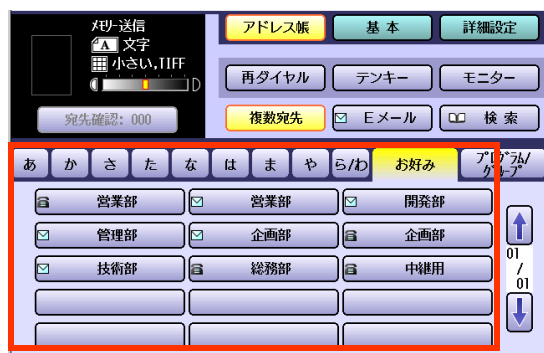
4. [ファイル送信]を押す



5. [ファイル送信]を押す



6. 宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

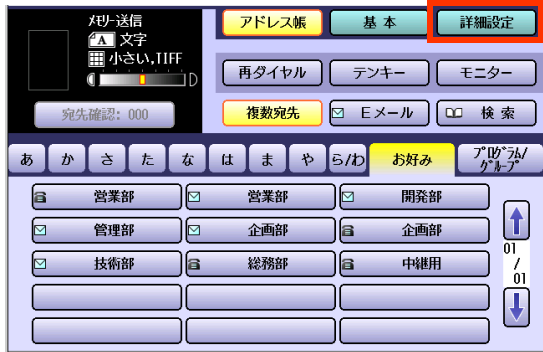
7. <スタート>を押す

ファイル送信が開始されます。

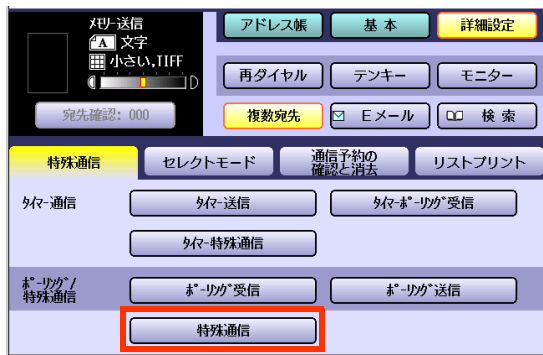
■ファイル送信用の文書を削除する

1. <ファクス>を押す

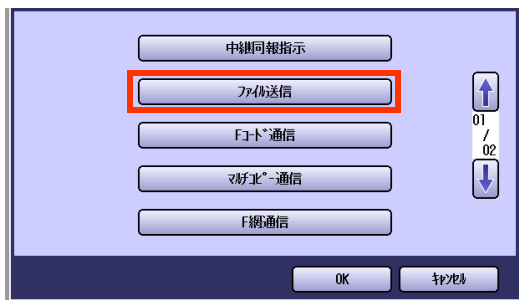
2. [詳細設定]を押す



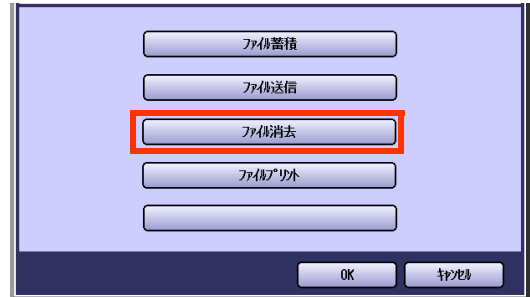
3. [特殊通信]を押す



4. [ファイル送信]を押す



5. [ファイル消去]を押す



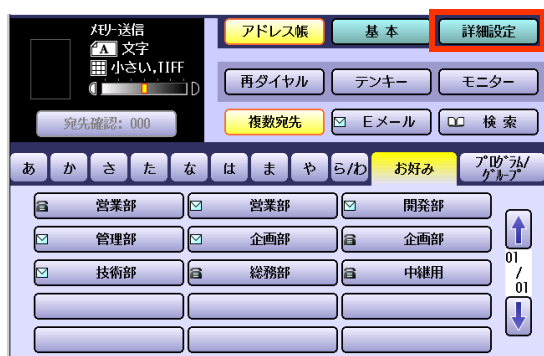
- ファイル送信用の文書がメモリーから削除されます。
- 「ファイル送信用の文書を送信する」(p.78)でファイル送信を指示すると、その通信は通信予約ファイルとして扱われます。通信予約ファイルが再ダイヤル待ちとなった場合、その通信を取り消すには、通信予約ファイルを削除する必要があります。「通信予約ファイルを削除する[通信予約の消去]」(p.200)を参照してください。

3 章 便利なファクス機能

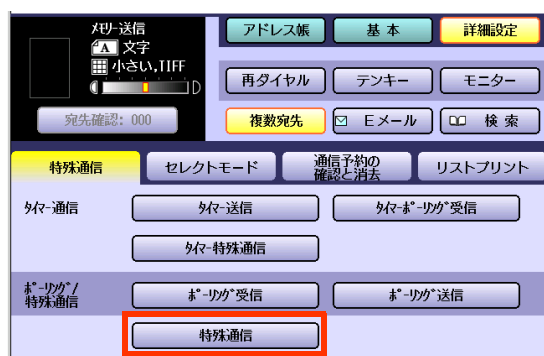
■ ファイル送信用の文書を印刷する

1. <ファクス>を押す

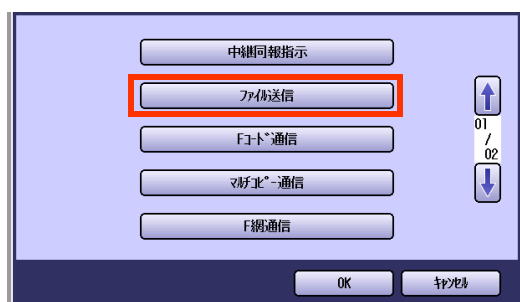
2. [詳細設定]を押す



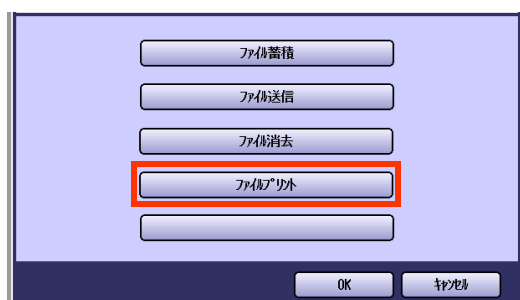
3. [特殊通信]を押す



4. [ファイル送信]を押す



5. [ファイルプリント]を押す



- ファイル送信用の文書が印刷されます。

Memo

Fコード(サブアドレス)を使って通信をする [Fコード通信]

Fコード(サブアドレス)を使った通信について説明します。
Fコード機能をもつファクス間では、メーカーが異なる場合も、親展通信などの機密事項を保持した通信ができます。ここでは、Fコードの概要、[特殊通信]の[Fコード通信]を使ったFコード送信の操作について説明します。

Fコードとは

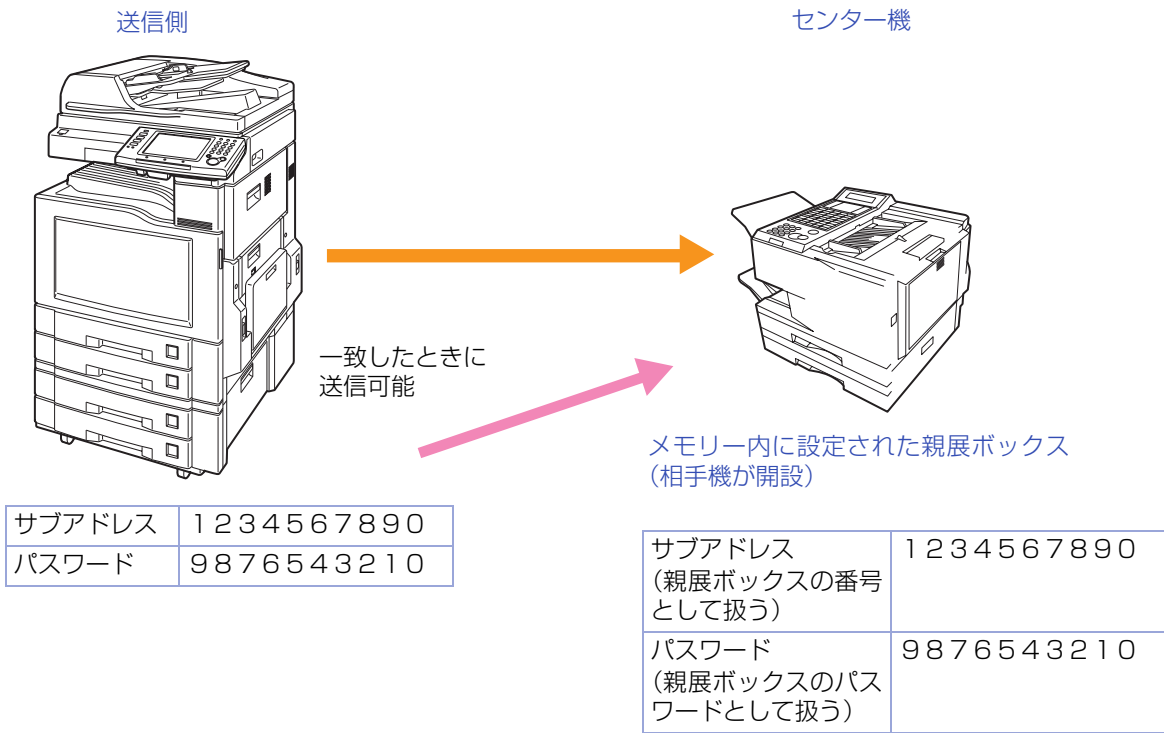
- Fコードとは、国際規格(ITU-T T.30)で定められている、サブアドレス(SUB address)機能のことです。
- Fコード機能をもつファクス間では、メーカーが異なる場合も、親展通信などの機密事項を保持した通信ができます。
 - Fコードを使って通信をするためには、ファクスのネットワーク上にメモリー機能をもつセンター機が必要です。詳細は、サービス実施会社にお問い合わせください。
 - Fコード通信では、送信側と受信側であらかじめ、Fコードの使いかた(サブアドレス 20 桁まで、パスワード 20 桁までなど)を決めておく必要があります。
 - 本機では、[詳細設定]の[特殊通信]の[Fコード 送信]で、Fコードを使った送信ができます。

お知らせ

- ITU-T:国際電気通信連合のことです。
- T.30 :通信の規格のことです。

Fコードを使った送信例

例: 相手のメモリー内に設定された、親展ボックスへ原稿を指定して送信する



■Fコード通信の操作

お知らせ

- この機能は、オンフックダイヤルでは使えません。
(オンフックダイヤルについては、「回線状態を確認して送信する[モニター]」(p.33)を参照してください。)
- あらかじめ、受信側とFコードの使いかたについて決めておいてください。

1. 原稿をセットする

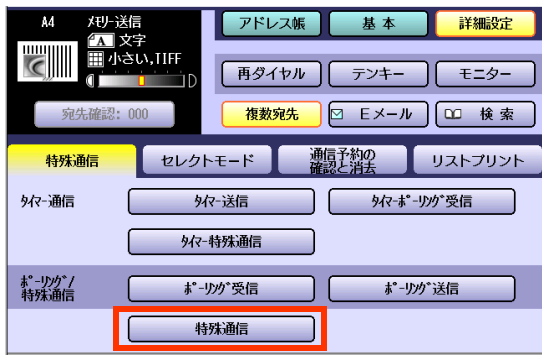
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

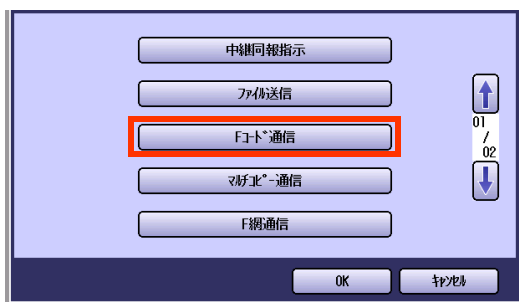
3. [詳細設定]を押す



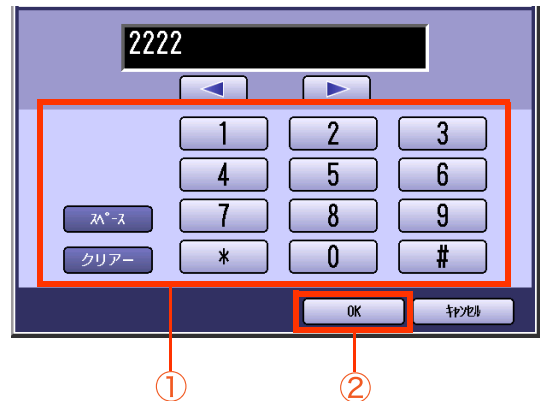
4. [特殊通信]を押す



5. [Fコード通信]を押す

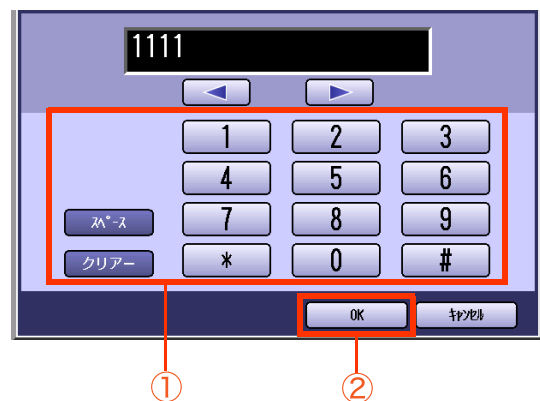


6. Fコード(サブアドレス)を入力し、[OK]を押す



- Fコード(サブアドレス)は20桁まで入力できます。
- 誤って入力した場合は、画面内の[クリア]を押すと、1文字ずつ削除できます。

7. パスワードを入力し、[OK]を押す

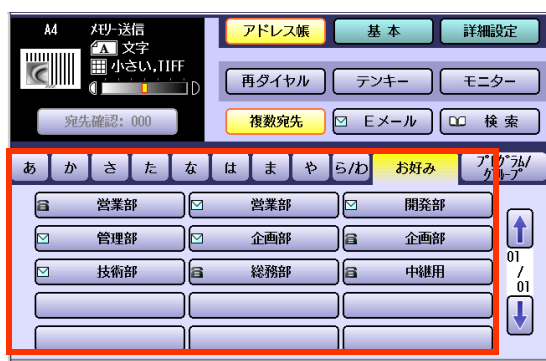


- パスワードは20桁まで入力できます。
- パスワードが不要な場合は、何も入力しないで[OK]を押します。
- 誤って入力した場合は、画面内の[クリア]を押すと、1文字ずつ削除できます。

8. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

9. 宛先を設定する



- アドレス帳を利用するときは、電話番号が登録されている宛先だけ指定できます。
- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

10. <スタート>を押す

Fコード通信が開始されます。

Memo

受信側で複数部数印刷させる [マルチコピー通信]

受信側で印刷する部数を指定して送信できます。マルチコピー送信をする場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

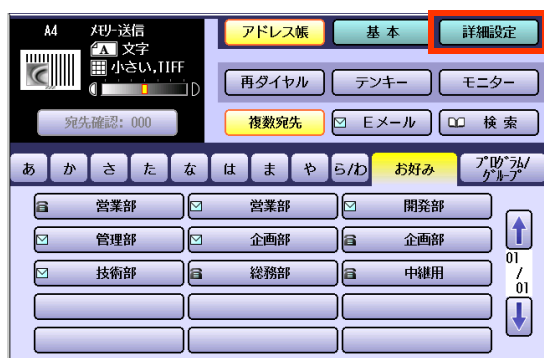
- この機能は、相手機が限定されます。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 送信できる相手は、マルチコピー通信機能をもつ相手機だけです。
- マルチコピー通信は、アドレス帳の登録時に部数を設定できます。同じ相手にいつもマルチコピー通信をする場合は登録しておくとう便利です。アドレス帳で部数が登録されている場合、印刷部数の設定は不要となります。「マルチコピー通信部数を登録する」(p.218)を参照してください。

1. 原稿をセットする

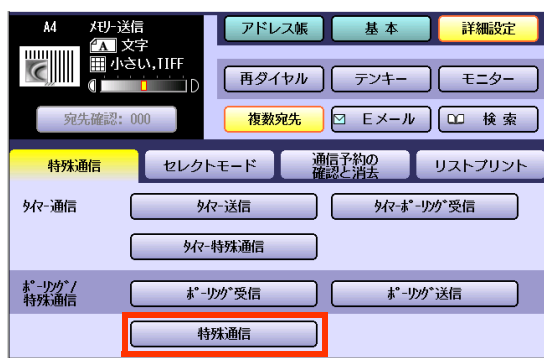
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

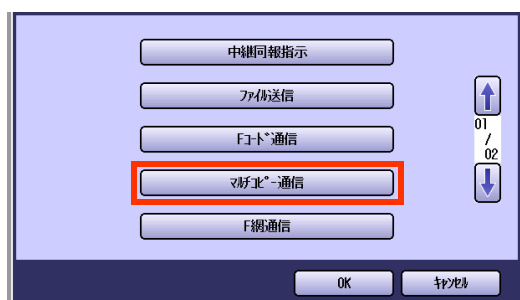
3. [詳細設定]を押す



4. [特殊通信]を押す



5. [マルチコピー通信]を押す



6. 受信側で印刷する部数(2桁まで)を入力し、[OK]を押す

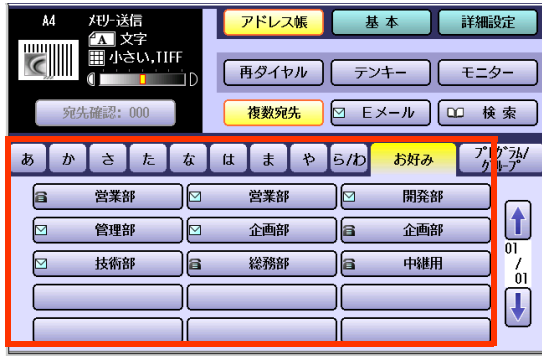


- 部数は2桁(01～99)まで入力できます。
- 誤って入力した場合は、画面内の[クリア]を押すと、1文字ずつ削除できます。
- アドレス帳にマルチコピー通信の部数が登録されている場合は、部数を入力する必要はありません。部数を入力せずに([1]のまま)で、[OK]を押します。
なお、アドレス帳に登録されている部数を変更するときは、ここで部数を入力します。
- 複数の宛先を指定をする場合は、次のように設定してください。
- ・アドレス帳に登録されているマルチコピー通信の部数を有効にする場合
部数を入力せずに([1]のまま) [OK]を押します。
- ・一括して部数を変更する場合
ここで部数を入力します。

7. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

8. 宛先を設定する



- アドレス帳を利用するときは、電話番号が登録されている宛先だけ指定できます。
- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

9. <スタート>を押す

マルチコピー通信が開始されます。

ファクシミリ通信網を利用する [F 網通信]

NTT コミュニケーションズが提供するファクシミリ通信網(F 網)を利用して通信できます。

ファクシミリ通信網を利用する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

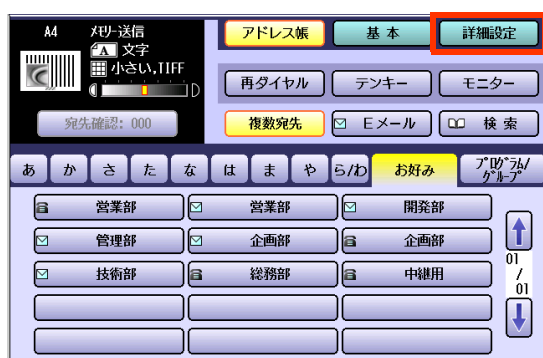
- ファクシミリ通信網サービスとは、NTT コミュニケーションズが提供するファクス通信専用のサービスです。同報通信、再コール、一斉受信などの機能を利用できます。
- ファクシミリ通信網を利用する場合は、NTT コミュニケーションズとの契約が必要です。詳しくは、最寄りの NTT コミュニケーションズにお問い合わせください。

1. 原稿をセットする

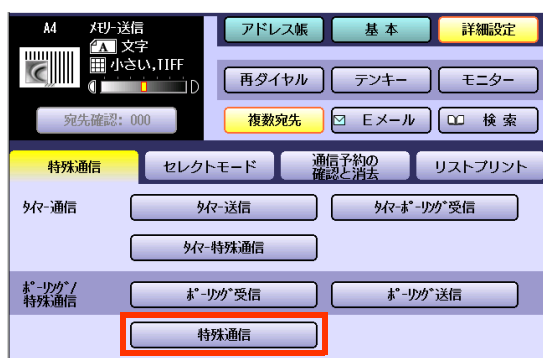
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

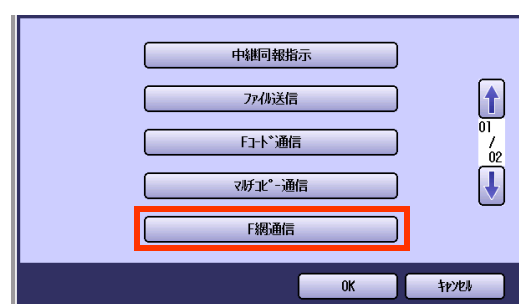
3. [詳細設定]を押す



4. [特殊通信]を押す



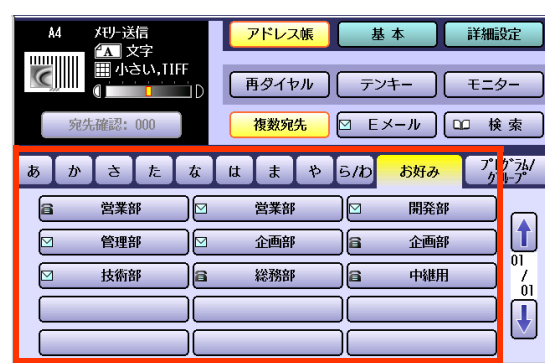
5. [F 網通信]を押す



6. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

7. 宛先を設定する



- アドレス帳を利用するときは、電話番号が登録されている宛先だけ指定できます。
- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。
- 10 宛先まで指定できます。

8. <スタート>を押す

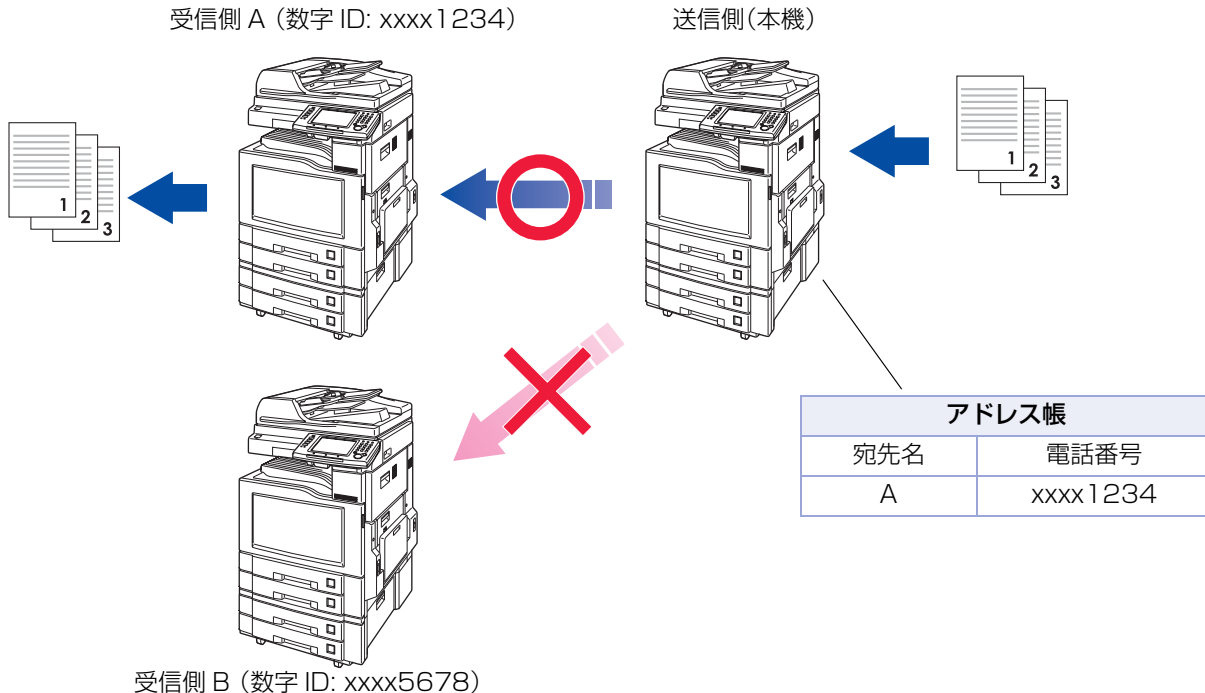
F 網通信が開始されます。

誤送信を防止する [セレクト送信]

セレクト送信とは、本機のアドレス帳に登録されている相手にだけ送信する機能です。

アドレス帳に登録されている電話番号の下4桁と、受信側から送られてきた数字IDの下4桁を照合し、一致したときにだけ送信が開始されます。

誤って別の相手に送信するなどの、誤送信を防止できます。



セレクト送信をする場合は、次ページの手順で操作します。

お知らせ

- セレクト送信する宛先は、あらかじめアドレス帳に登録しておいてください。「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.213)を参照してください。
アドレス帳に登録されていない場合、セレクト送信できません。
- 受信側の数字IDには、電話番号を登録するように依頼してください。電話番号以外が設定されている場合、数字IDが登録されていない場合、登録できない機種の場合は、セレクト送信できません。
- セレクト送信は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [45 セレクト送信]で初期値を変更できます。
[あり]に設定しておくと、タッチパネルのメッセージ欄に「セレクト送信設定中です」というメッセージが点滅表示し、本機は、常時セレクト送信の状態になります。
この場合は、次ページの手順6で[オフ]を選択すると、セレクト送信を一時的に解除できます。
- 手動送信時、オンフックダイヤル時は、セレクト送信が解除されます。

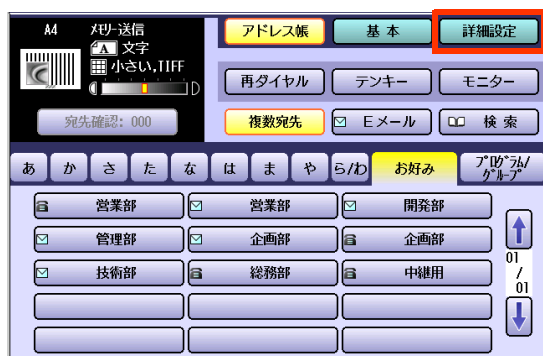
3章 便利なファクス機能

1. 原稿をセットする

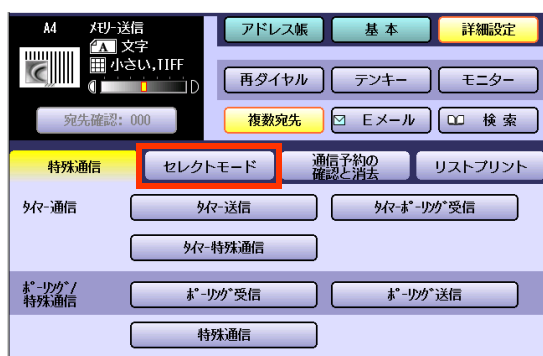
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

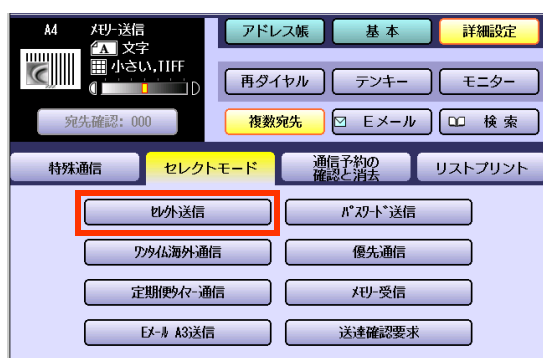
3. [詳細設定]を押す



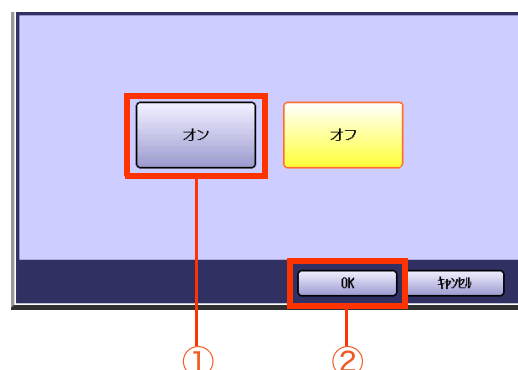
4. [セレクトモード]を押す



5. [セレクト送信]を押す



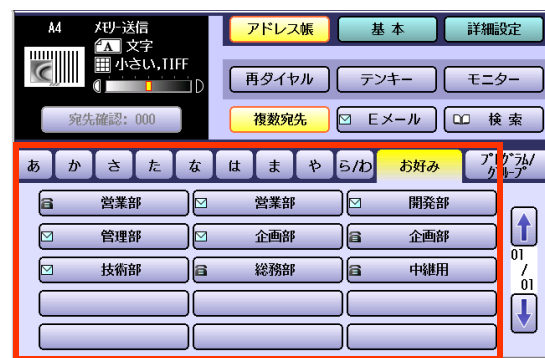
6. [オン]を選択し、[OK]を押す



7. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

8. 宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

9. <スタート>を押す

セレクト送信が開始されます。受信側の数字ID と本機のアドレス帳が照合され、一致したときだけ送信が開始されます。

パスワードを使って送信する [パスワード送信]

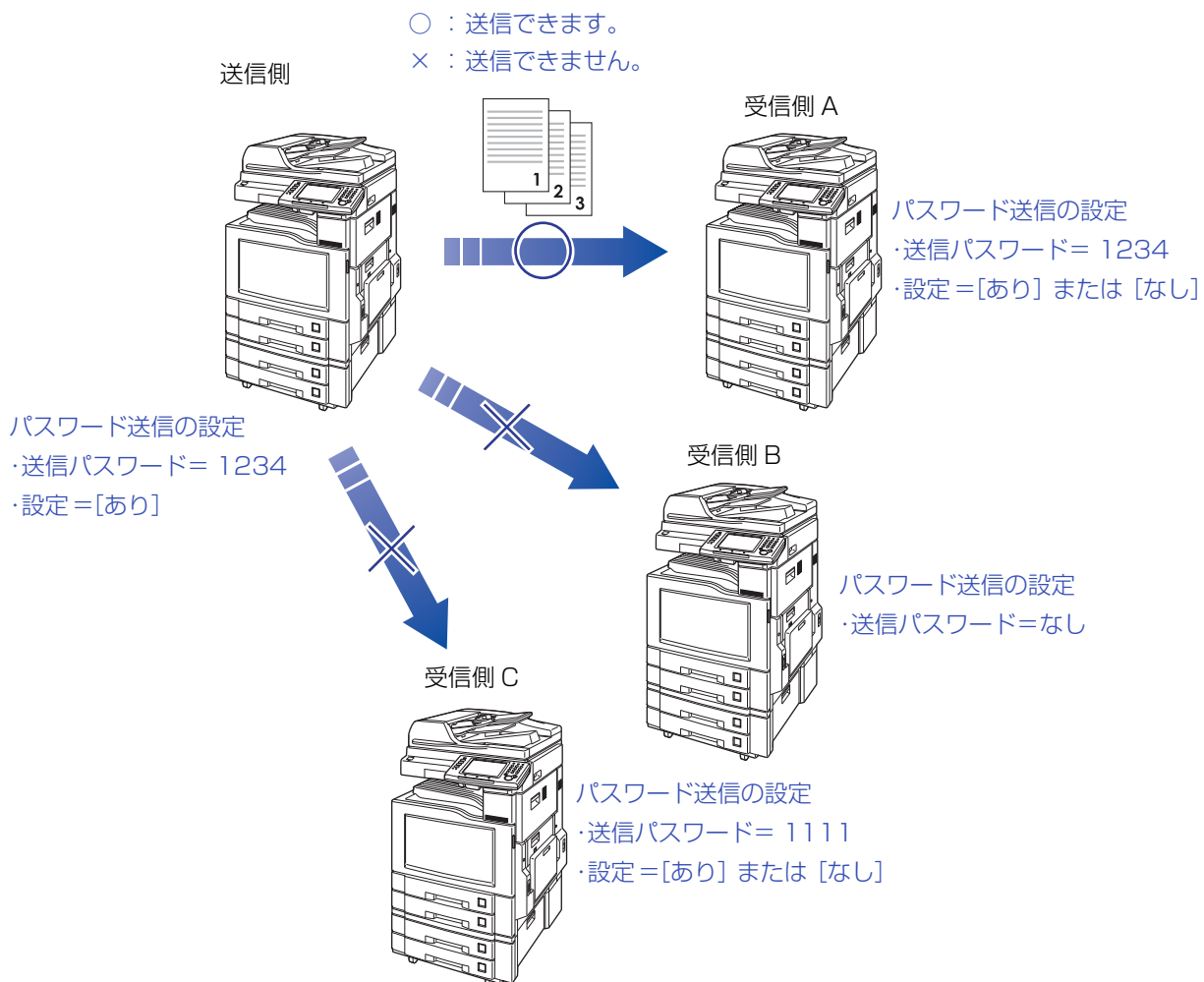
■パスワード送信とは

パスワード送信とは、送信側と受信側の送信パスワードが一致した場合にだけ、原稿を送信する機能のことです。送信側と受信側の送信パスワードが異なる場合は、通信エラーとなります。

この機能を使うと、ほかの相手への誤送信を防止できます。

お知らせ

- お買い上げ時は、[パスワード送信] ボタンは無効です。パスワード送信機能を使いたい場合は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [43 パスワード送信]で、パスワードを設定する必要があります。
詳しくは、「ファンクション設定を変更する(パスワード送信)」(p.93)を参照してください。



お知らせ

- この機能は、相手機が限定されます。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 送信側のパスワード送信の設定が[なし]の場合は、パスワードが設定されていても、パスワード送信の機能がはたらかず、通常の実送になります。
- パスワード受信の機能が設定されている場合は、受信パスワードも照合されます。パスワード受信については、「パスワード受信」(p.116)を参照してください。

3章 便利なファクス機能

■パスワード送信をする

パスワード送信をする場合は、次の手順で操作します。

お願い

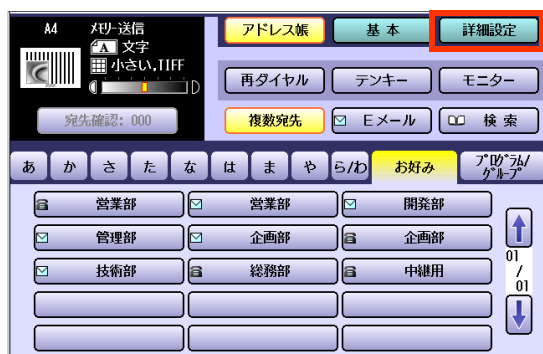
- パスワード送信機能を使いたい場合は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[43 パスワード送信]でパスワードを登録する必要があります。詳しくは、「ファンクション設定を変更する(パスワード送信)」(p.93)を参照してください。
- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[43 パスワード送信]が[あり]の場合は、常にパスワード送信するように設定されています。

1. 原稿をセットする

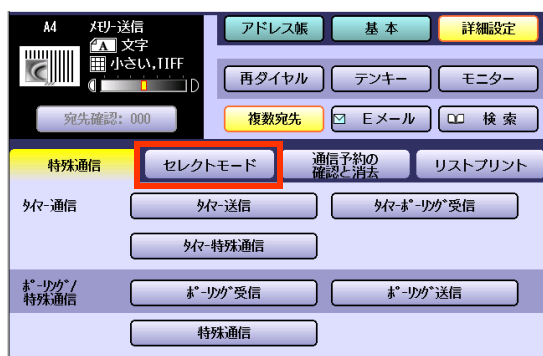
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

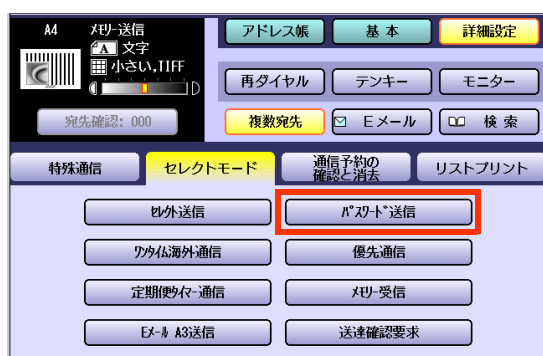
3. [詳細設定]を押す



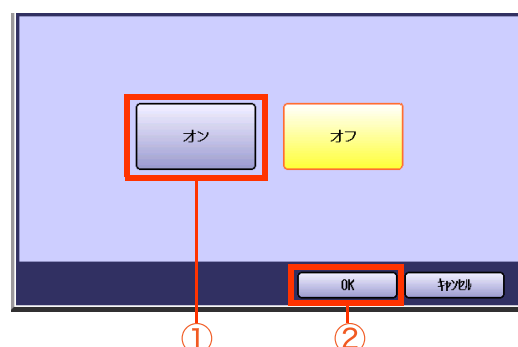
4. [セレクトモード]を押す



5. [パスワード送信]を押す



6. [オン]を選択し、[OK]を押す

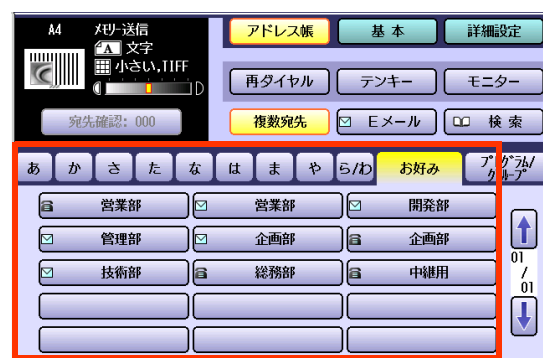


オン	パスワード送信をする場合に押します。
オフ	パスワード送信をしない場合に押します。

7. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

8. 宛先を設定する



- Eメールアドレスが登録されている宛先では、パスワード送信が無効となります。
- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

9. <スタート>を押す

パスワード送信が開始されます。

- パスワードが一致しない場合は、通信エラーとなります。

■ファンクション設定を変更する(パスワード送信)

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[43 パスワード送信]の設定により、パスワード送信は次表のように動作します。

設定	説明
送信パスワード 登録なし	パスワード送信の機能は、働きません。
送信パスワードを登録し、パスワード送信を[なし]に設定	<p>[詳細設定]の[パスワード送信]ボタンを押し、パスワード送信を[オン]に設定した場合に、パスワード送信の機能が働きます。 「パスワード送信をする」(p.92)を参照してください。</p> <p>送信側と受信側の送信パスワードが一致した場合にだけ送信できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 送信側、受信側ともに送信パスワードの登録が必要です。
送信パスワードを登録し、パスワード送信を[あり]に設定	<p>[詳細設定]の[パスワード送信]ボタンを操作することなく、パスワード送信の機能が働きます。</p> <p>送信側と受信側の送信パスワードが一致した場合にだけ送信できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 送信側、受信側ともに送信パスワードの登録が必要です。

ファンクション設定で、パスワード送信の設定を変更する場合は、次の手順で操作します。

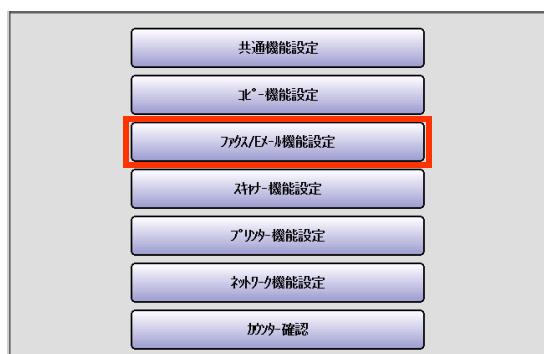
お知らせ

- あらかじめ、受信側とパスワード(4桁)を決めておいてください。

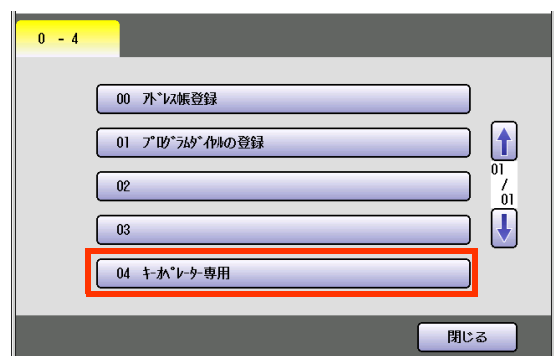
1. <ファンクション>を押す



2. [ファクス/Eメール機能設定]を押す

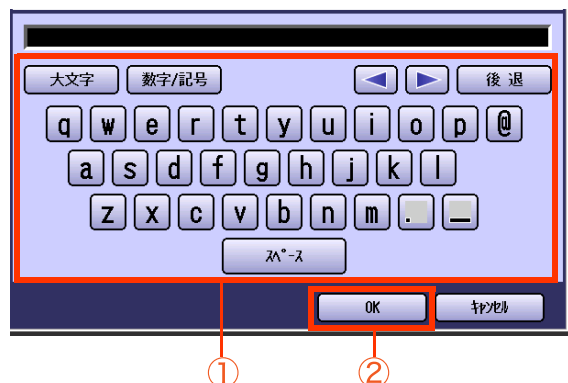


3. [04 キーオペレーター専用]を押す



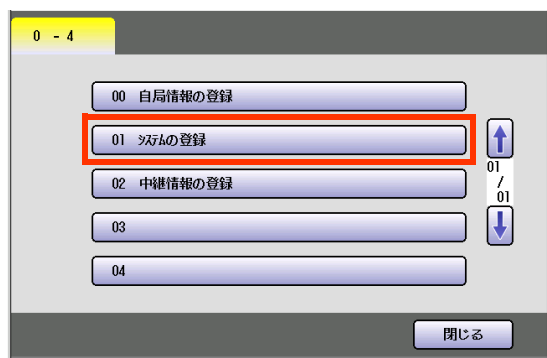
3 章 便利なファクス機能

4. キーオペレーターのパスワード(8 文字)を入力し、[OK]を押す

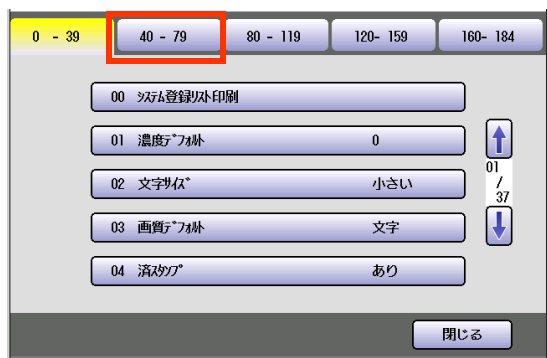


- 誤って入力したときは、[クリア]を押して修正します。

5. [01 システムの登録]を押す

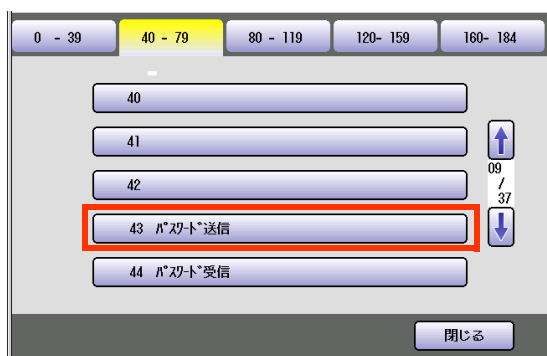


6. [40-79]を押す

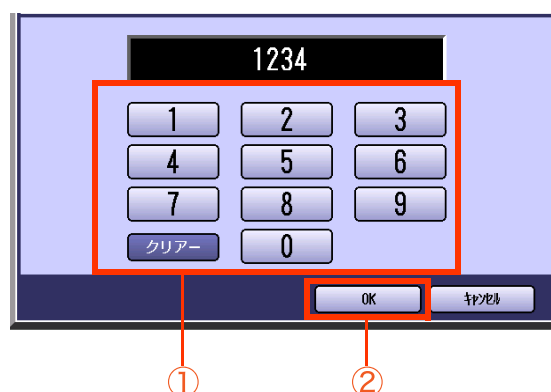


- テンキーでファンクション No. を入力し、<スタート>を押して手順 8 の画面を表示することもできます。

7. [43 パスワード送信]を押す

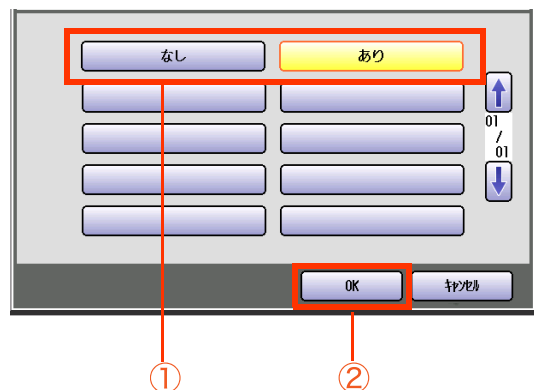


8. パスワード(4桁)を入力し、[OK]を押す



- 誤って入力したときは、[クリア]を押して修正します。

9. [あり]、または[なし]を選択し、[OK]を押す



あり	常にパスワード送信をする場合に押します。[あり]を選択すると、タッチパネル上部に「パスワード送信設定中です」というメッセージが表示されます。
なし	[詳細設定]の[パスワード送信]ボタンを使い、必要に応じてパスワード送信を設定する場合に押します。

- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。
- [詳細設定]の[パスワード送信]を使って、送信時にパスワード送信の設定を変更できます。「パスワード送信をする」(p.92)を参照してください。

伝送速度を落として通信する [ワнтаイム海外通信]

ワнтаイム海外通信とは、通信エラーがおきないように伝送速度を落とし、ゆっくりとしたスピードで通信する機能です。回線環境などが原因で通信エラーが発生しやすい相手に送信する場合に利用します。

(伝送速度……通信をする速さのことです。)

ワнтаイム海外通信を使って送信をする場合は、次の手順で操作します。

1. 原稿をセットする

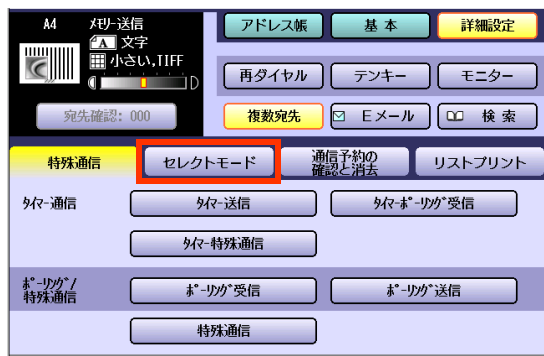
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

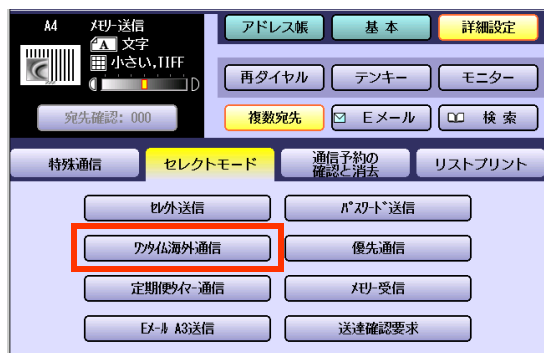
3. [詳細設定]を押す



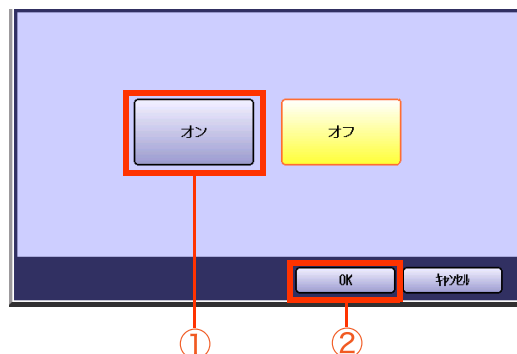
4. [セレクトモード]を押す



5. [ワнтаイム海外通信]を押す



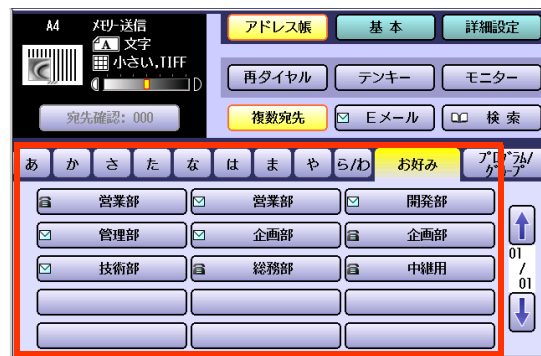
6. [オン]を選択し、[OK]を押す



7. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

8. 宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

9. <スタート>を押す

- ワнтаイム海外通信が設定され、送信が開始されます。

急ぎの原稿を通信する [優先通信]

優先通信とは、複数の通信予約ファイルがメモリーに蓄積されているときに、急ぎの文書を他の通信より優先させる機能です。

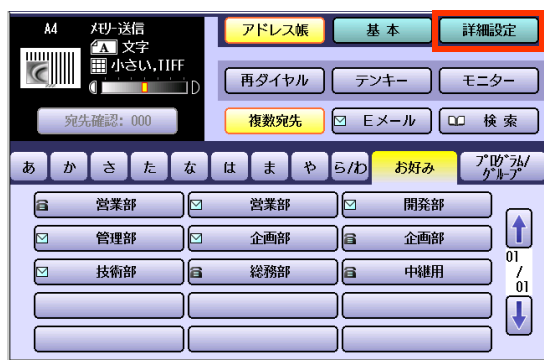
通信中の通信の次に割り込んで通信できます。

1. 原稿をセットする

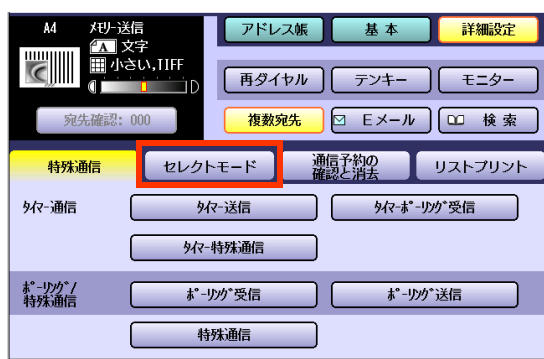
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

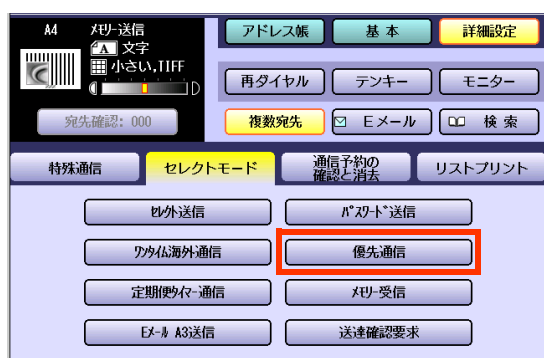
3. [詳細設定]を押す



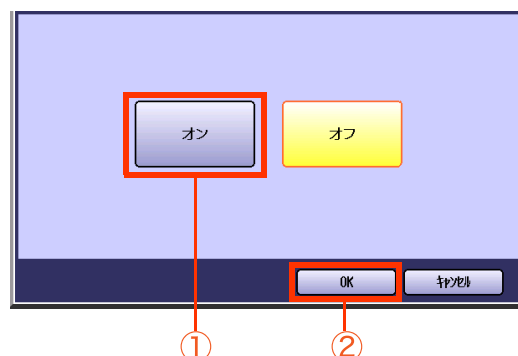
4. [セレクトモード]を押す



5. [優先通信]を押す



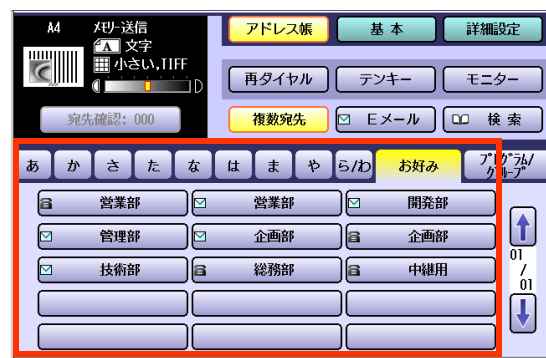
6. [オン]を選択し、[OK]を押す



7. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

8. 宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

9. <スタート>を押す

- 優先通信が設定され、通信中の通信が終了すると、通信が開始されます。

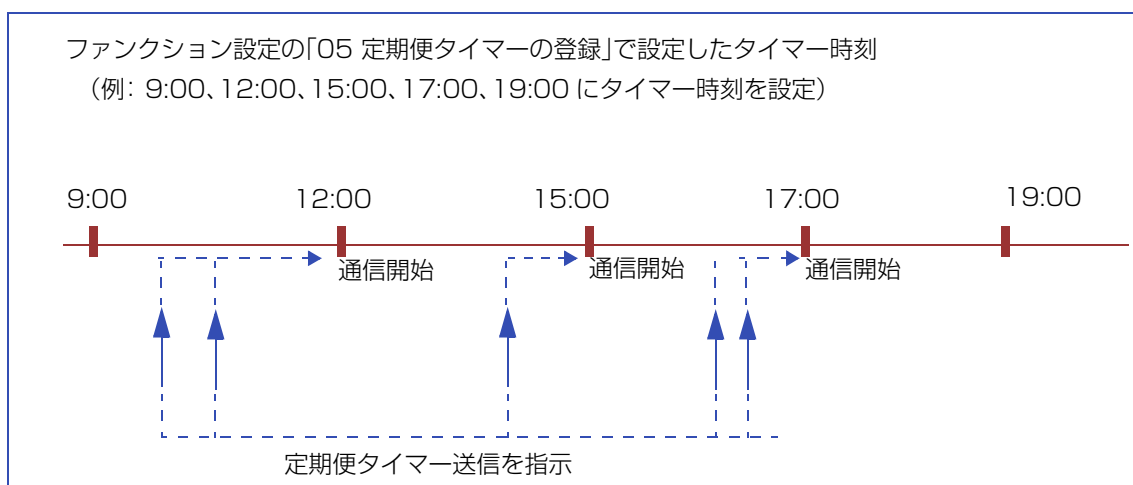
Memo

時間を決めて通信する [定期便タイマー通信]

定期便タイマー通信とは、ファンクション設定で設定されているタイマー時刻になると、定期便タイマー通信を設定した通信予約ファイルをまとめて通信する機能です。

通信費用の安い時間帯に定期便タイマーを設定しておく、通信コストを削減できます。

- タイマー時刻は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [00 自局情報の登録] > [05 定期便タイマーの登録]で5種類まで設定できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」の「設定例：定期便タイマーの登録」を参照してください。
- 定期便タイマー送信を設定すると、設定した時刻以降の、最も近いタイマー時刻に送信されます。



1. 原稿をセットする

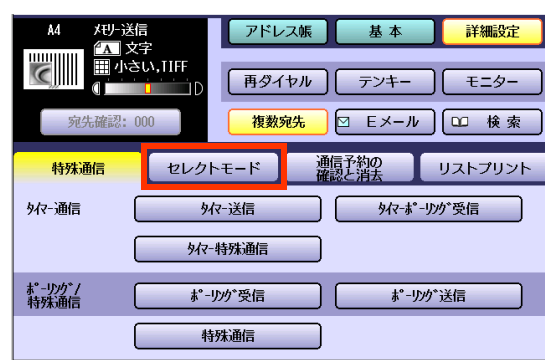
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

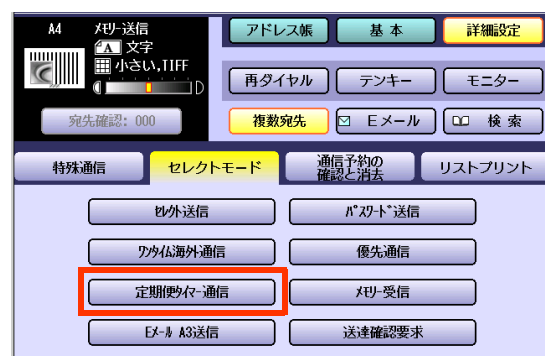
3. [詳細設定]を押す



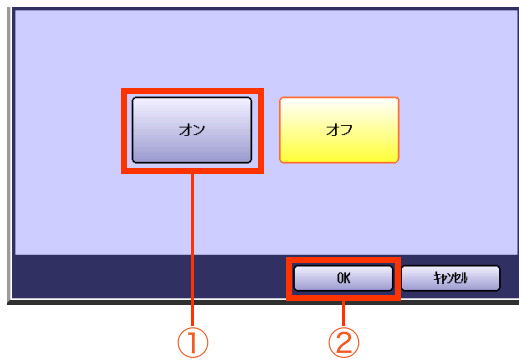
4. [セレクトモード]を押す



5. [定期便タイマー通信]を押す



6. [オン]を選択し、[OK]を押す



7. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

8. 宛先を設定する



- 「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

9. <スタート>を押す

- 定期便タイマー通信が設定されます。
最も近い定期便タイマー時刻になると、通信が開始されます。
- 定期便タイマー通信を設定した通信予約ファイルを削除する場合は、「通信予約ファイルを削除する[通信予約の消去]」(p.200)を参照してください。

ルーティング機能を使う

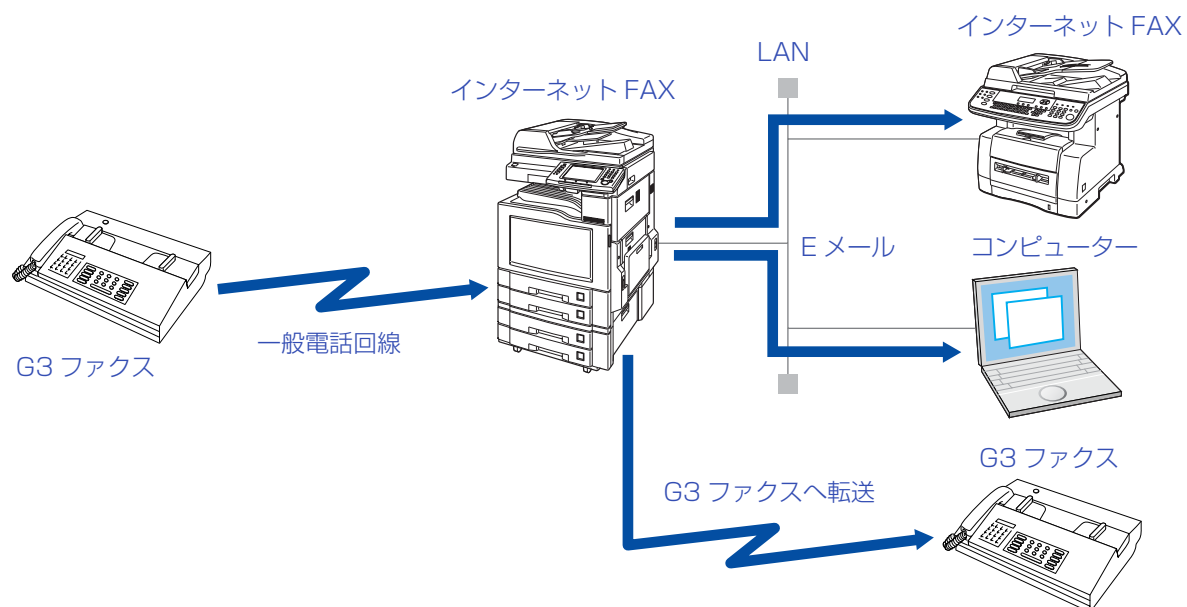
■ルーティングとは

一般の電話回線のファクスから受信した文書を、ネットワークに接続したコンピューターやインターネット FAX、一般の電話回線のファクスに転送できます。

転送先は、送信側のサブアドレス／送信側の数字 ID ／送信側の発番号／ダイヤルイン番号で指定できます。

お知らせ

- この機能は、インターネット FAX ユニット(DA-NF320)を装着している場合にだけ使えます。
- ルーティングに対応するファクスについて、詳しくはサービス実施会社にお問い合わせください。
- サブアドレスを使用できないファクスの場合は、数字 ID、送信側の発番号、およびダイヤルイン番号によるルーティング機能が使えます。



■ルーティングに必要な設定の流れ

ルーティング機能を使う場合は、ルーティングの種類に応じたファンクション設定と、アドレス帳の設定が必要です。

ファンクション設定で、必要な項目を[あり]に設定する

- ・Fコード(サブアドレス)を使うとき..... [152 SUB ルーティング]を[あり]
- ・数字IDを使うとき..... [153 数字ID ルーティング]を[あり]
- ・発信者番号通知(ナンバーディスプレイ)サービスを契約しているとき
..... [90 発番号契約]を[あり]
..... [175 発番号ルーティング]を[あり]
- ・ダイヤルインサービスを利用しているとき
..... [176 ダイヤルインルーティング]を[あり]

お知らせ

- 「ルーティングに必要なファンクション設定」(p.102)を参照してください。



アドレス帳に転送先を登録する

- ・転送先にインターネット FAX やコンピューターを設定する
↓
アドレス帳に転送先のメールアドレスを登録
- ・転送先に一般のファクスを設定する
↓
アドレス帳に転送先の電話番号を登録

3 章 便利なファクス機能

■ルーティングに必要なファンクション設定

ルーティング機能を使う場合は、ルーティングのしかたに応じ、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]で、次の項目を設定します。

ルーティングのしかた	説明	ファンクション設定
Fコード(サブアドレス)を使ったルーティング	Fコード通信が利用できる G3 ファクスから、Fコード(サブアドレス)を使ってルーティングする場合に設定します。 送信側の G3 ファクスから送られる Fコード(サブアドレス)で、本機に登録されている宛先にルーティングできます。	[152 SUB ルーティング]を[あり]に設定
送信側ファクスの数字 ID を使ったルーティング	数字 ID を利用してルーティングする場合に設定します。 送信側のファクスから送られてくる数字IDで、本機に登録されている宛先にルーティングできます。	[153 数字 ID ルーティング]を[あり]に設定
送信側 G3 ファクスから送られる発信者番号を使ったルーティング	送信側の G3ファクスから送られる発信者番号を使ってルーティングする場合に設定します。 送信側の G3 ファクスから送られる発信者番号で、本機に登録されている宛先にルーティングできます。	[90 発番号契約]を[あり]に設定 [175 発番号ルーティング]を[あり]に設定
送信側 G3 ファクスから送られるダイヤルイン番号を使ったルーティング	送信側の G3ファクスから送られるダイヤルイン番号を使ってルーティングする場合に設定します。 送信側の G3ファクスから送られるダイヤルイン番号で、本機に登録されている宛先にルーティングできます。	[176 ダイヤルインルーティング]を[あり]に設定し、ダイヤルイン番号を登録
From 欄を設定するとき	ルーティングで、E メールを送信するときの From 欄の内容を選びます。 ・中継局.....ルーティングする本機のメールアドレスが表示されます。 ・指示局.....発信者の数字 ID が表示されます。	[154 ルーティング時 FROM]を設定
受信した原稿の印刷を設定するとき	受信文書をすべて本機で印刷するか、ルーティング操作が機能しなかった場合だけ印刷するかを選択します。 ・異常時.....ルーティングできなかった場合だけ受信文書が印刷されます。 ・全通信.....ルーティングできたかどうかにかかわらず、受信文書が印刷されます。	[155 ルーティング時出力]を設定

お知らせ

- ファンクション設定の操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス/Eメール機能設定」を参照してください。
- 発信者番号通知・ダイヤルインサービスはあらかじめ N T T との契約が必要です。本サービスの詳細については、N T T にお問い合わせください。
- N C C 回線(N T T 以外の電話回線)をご利用の場合は、N C C 各社でサービス内容が異なります。発信者番号通知、ダイヤルインサービスの詳細については、ご契約の N C C にお問い合わせください。

■ルーティングに必要なアドレス帳の設定

ルーティング機能を使う場合は、転送先をアドレス帳に設定します。

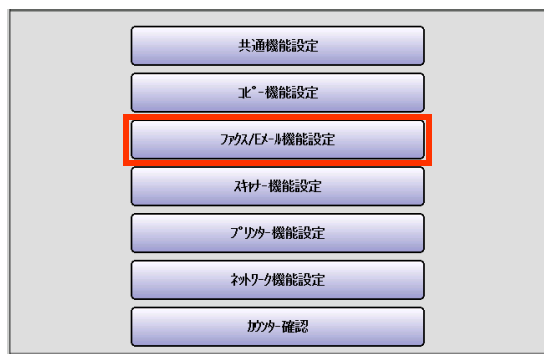
ここでは、アドレスにルーティング機能を設定する操作を、メールアドレスを登録する場合の手順で説明しています。アドレス帳に電話番号を登録する場合も、ルーティングの設定操作は同じです。説明を適宜、読み替えてください。

お知らせ

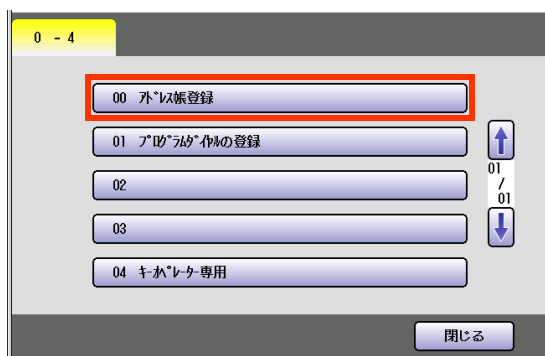
- アドレス帳に電話番号を登録する場合は、「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.213)を参照してください。
- アドレス帳に数字IDによるルーティングを設定する場合は、送信側のファクスに登録されている数字IDと同じ数字を登録してください。

1. <ファンクション>を押す

2. [ファクス / E メール機能設定]を押す



3. [00 アドレス帳登録]を押す



4. [02 アドレス帳登録(E メール)]を押す



5. メールアドレスを入力し、[OK]を押す



- メールアドレスは60文字まで入力できます。
- 「メールアドレスを入力する」(p.142)を参照してください。

6. 宛先名を入力し、[OK]を押す



- 宛先名は、20文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、「付録 C 文字入力のしかた」(p.277)を参照してください。

3 章 便利なファクス機能

7. ボタン名を入力し、[OK]を押す



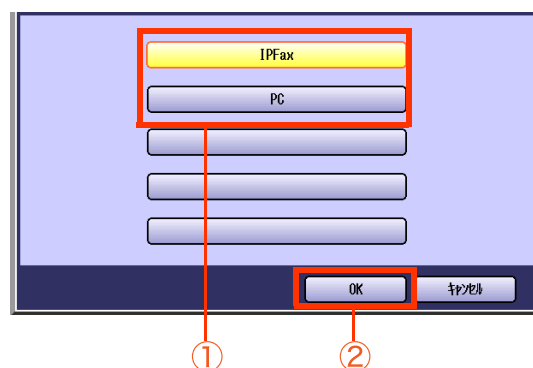
- ボタン名は、10 文字まで入力できます。

8. 検索文字を入力して、[OK]を押す



- 検索文字は、10 文字まで入力できます。
- 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です（「あ」～「ら／わ」の仕分けにも使われます）。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。
- 英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。ただし、英数字は検索文字としては使用できません。

9. [送信先を選択し、[OK]を押す



IPFax	送信先がインターネット FAX の場合に選択します。
PC	送信先がコンピューターの場合に選択します。

- 登録するメールアドレスを、スキャン / E メール機能でも使う場合は、[PC]を選択します。

10. [お好み]に宛先を表示するかどうを選択する

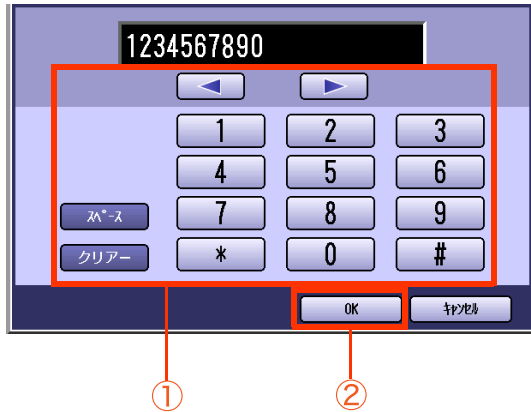


はい	[お好み]に宛先を表示する場合に押します。
いいえ	[お好み]に宛先を表示しない場合に押します。

11. ルーティングの設定により、次のいずれかの操作をする

□ F コード(サブアドレス)を利用してルーティングするとき

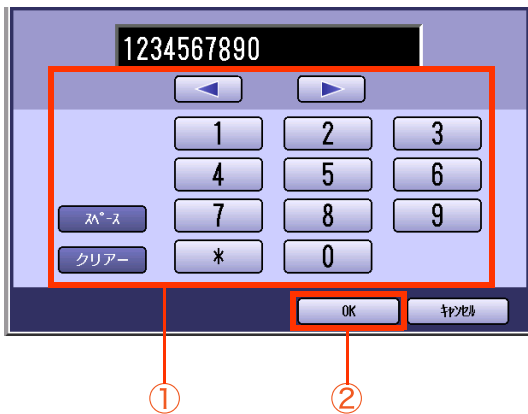
F コード(サブアドレス)を入力し、[OK]を押す



- この画面は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[152 SUBルーティング]が[あり]に設定されている場合に表示されます。

□ 数字IDを利用してルーティングするとき

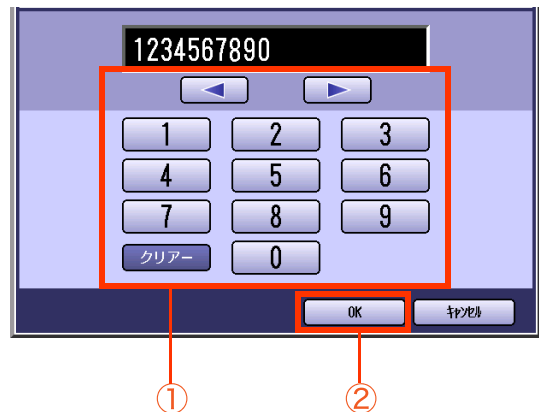
数字 ID を入力し、[OK]を押す



- この画面は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[153 数字ID ルーティング]が[あり]に設定されている場合に表示されます。

□ 発信者番号を利用してルーティングするとき

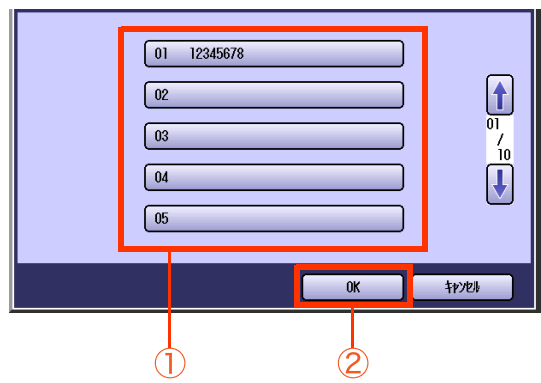
発信者番号を入力し、[OK]を押す



- この画面は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[175 発信者番号ルーティング]が[あり]に設定されている場合に表示されます。

□ ダイヤルイン番号を利用してルーティングするとき



ダイヤルインの番号を選択し、[OK]を押す



- この画面は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[176 ダイヤルインルーティング]が[あり]に設定され、ダイヤルイン番号が登録されている場合に表示されます。

12. 手順 9 で[IPFax]を選択した場合：
A3 サイズの原稿を送信するときに
B4 サイズに縮小するかどうかを選択
する



	A3 サイズを B4 サイズに縮小して送信されます。
	A3 サイズのまま送信されます。

- 相手の能力に合わせて設定します。

13. 手順 9 で[IPFax]を選択した場合：
相手側の能力を設定し、[OK]を押す



400dpi	受信側が400dpiで受信できる場合に押します。
600dpi	受信側が600dpiで受信できる場合に押します。
能力なし	600dpi、400dpi どちらも受信できない場合に押します。

- 相手の能力に合わせて設定します。

メールアドレスが アドレス帳に登録されます。

- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、手順 5 からの操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

4章

受信について

この章では、受信のしかた、便利な受信のしかたについて説明しています。

受信のしかた

本機のファクス受信のしかたには、次の2種類があります。
これらは、ファンクション設定で設定を変更できます。本機をお使いの状況に合わせて設定してください。
お買い上げ時は、自動受信に設定されています。

□ 自動受信

着信すると、自動的にファクス受信を開始する方法です。

「自動受信」(p.108)を参照してください。

□ 手動受信

着信したら、手動で外部電話機の受話器を上げ、相手がファクスか通話かを確認してからファクス受信を開始する方法です。「ポー…ポー…」という音が聞こえたら、<スタート>を押します。

手動受信するにはファンクション設定の変更が必要です。

「手動受信」(p.109)を参照してください。

■ 自動受信

自動的にファクス受信をする方法です。
電話回線をファクス専用で使う場合はこの設定が便利です。

- ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[17 受信モード]を[ファクス専用]に設定しておきます。なお、お買い上げ時は、[ファクス専用]に設定されています。
- 着信すると、自動的にファクス受信が開始されます。

■手動受信

<スタート>を押してからファクス受信をする方法です。

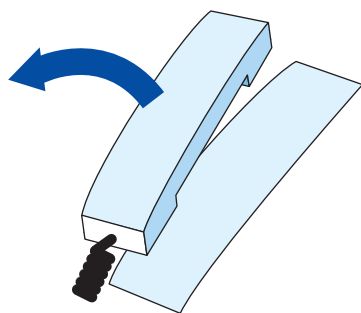
外部電話機を接続している場合で、電話回線を通話に使うことが多いときは、この設定が便利です。

手動受信するには、ファンクション設定の変更が必要です。

お知らせ

- 本機の背面には、「外部電話」接続口があります。ここに一般の電話機を接続すると、1本の電話回線をファクスと通話の両方に使うことができます。接続については、『取扱説明書(セットアップ 管理者編)』の「1章 操作の前に」を参照してください。
- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [17 受信モード]を[手動]に設定しておきます。なお、お買い上げ時は、[ファクス専用]に設定されています。
- 着信すると、呼び出し音が鳴り続けます。
呼び出し音の音量は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [86 呼出音量]で変更できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。お買い上げ時は、[音量小]に設定されています。
なお、[86 呼出音量]が[なし]に設定されている場合は、呼び出し音が鳴りません。手動受信をする場合は、[86 呼出音量]を[なし]以外に設定してください。
- 親切受信
ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [71 親切受信]を[あり]に設定しておくと、相手がファクスの場合に受話器を持ち上げるだけで受信を開始できます。
お買い上げ時は、[なし]に設定されています。

1. 呼び出し音が鳴ったら、外部電話機の受話器を持ち上げる



2. ADF または原稿台ガラスに原稿がセットされている場合は、取り除く

- 原稿台ガラスから原稿を取り除くときは、ADF を大きく開けて取り除いてください。開き方が不十分な場合、機器の特性上、原稿が残っていると誤認識することがあります。

3. 「ポー・・・ポー・・・」という音が聞こえたら、操作パネルの <スタート>を押す

4. 受話器を戻す

- <スタート>を押す前に受話器を戻すと、回線が切れます。

受信時の印刷について

受信した文書は、文書の長さに応じて自動的に縮小して印刷されます。

また、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[67 受信 2 イン 1/ 両面機能]が設定されている場合は、設定に応じて印刷されます。

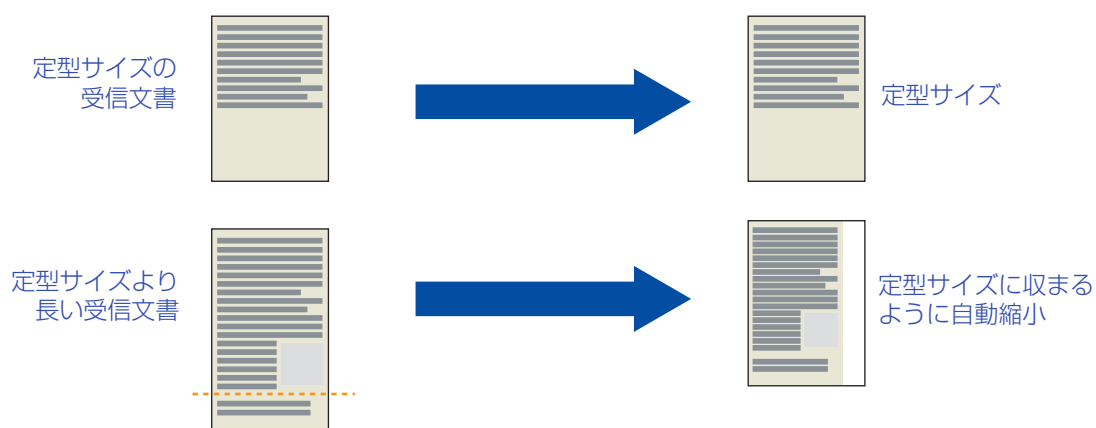
■縮小受信

本機では、受信文書はその幅に応じて、定型サイズ(A4 や B4 サイズなど)の用紙に印刷されます。

このとき、受信文書の長さが定型サイズより少しでも長いと、2 ページ目として、ほとんど白紙のページが排出されることがあります。

このようなページの印刷を防止するため、本機には受信した画像を縮小して印刷する機能が搭載されています。

受信文書の長さに応じ、用紙に収まるように、70 ～ 100%(1%きざみ)で自動縮小して印刷されます。

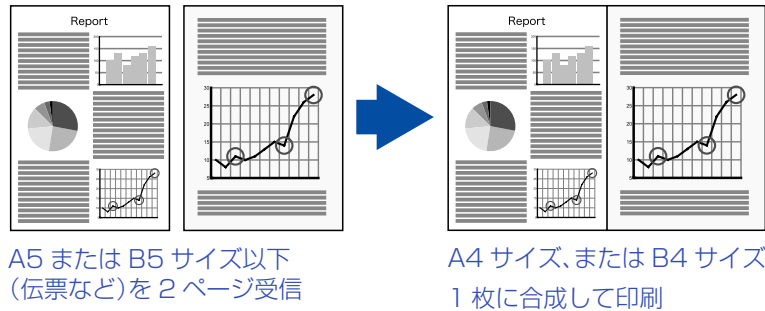


お知らせ



- 長尺原稿(受信文書の長さが、定型サイズより 39%以上長い原稿)を受信すると、ページが分割され、複数枚に印刷されます。
ページ分割時は、1 枚目の下端 10mm と、2 枚目の上端 10mm が重なるようにして印刷されます。
この場合、分割した最後の用紙に「このページは、分割記録されました」と記載されます。

■2 イン 1 印刷

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[67 受信 2 イン 1/両面機能]が[2 イン 1]に設定されている場合、受信文書は用紙の片面に 2 ページずつ印刷されます。

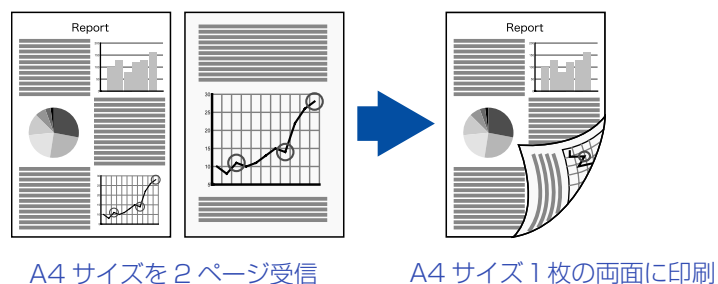


お知らせ

- お買い上げ時は、[67 受信 2 イン 1/両面機能]が[2 イン 1]に設定されています。
設定を変更する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- A5 、B5  の原稿を送る場合は、A5 サイズ、B5 サイズではなく、ファクスの特性上、A4 幅の不定形サイズ of 原稿として送信しています。このような原稿を受信した場合、本機では、2 イン 1 印刷されません。
- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[09 受信時刻印字]が[あり]に設定されている場合は、受信した原稿の外側に時刻が印刷されるため、2 イン 1 印刷できないことがあります。

■両面印刷

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[67 受信 2 イン 1/両面機能]が[両面]に設定されている場合、受信文書は用紙の両面に印刷されます。



お知らせ

- お買い上げ時は、[67 受信 2 イン 1/両面機能]が[2 イン 1]に設定されています。
設定を変更する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

4 章 受信について

■マルチプリント部数

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[101 マルチプリント部数]が、[全受信]または[アドレス帳]に設定されている場合、受信文書は設定されている部数分が印刷されます。

- [全受信]に設定されている場合

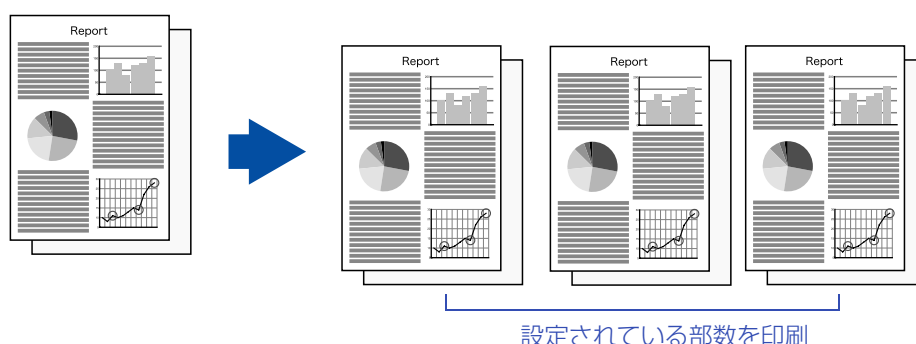
受信文書すべてに、設定されている部数が印刷されます。

- [アドレス帳]に設定されている場合

送信元の宛先がアドレス帳に登録されている場合に、送信元の数字 ID とアドレス帳に登録されている電話番号の下 4 桁を照合し、一致した場合にマルチプリントの機能が働き、アドレス帳に登録されている部数に従って文書が印刷されます。

アドレス帳への登録については、「マルチコピー通信部数を登録する」(p.218)を参照してください。

なお、送信元に数字 ID が登録されていない場合、マルチプリント部数の設定は無効になります。

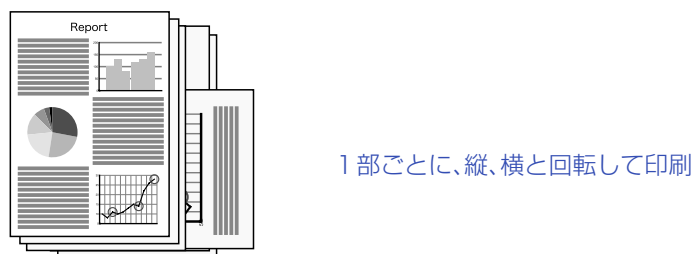


お知らせ

- お買い上げ時は、[101 マルチプリント部数]が[なし]に設定されています。
マルチプリント部数を設定する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

■回転ソート

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[83 回転ソート]が、[あり]に設定されている場合は、受信文書が1部ごとに、縦、横と回転して印刷されます。



お知らせ

- お買い上げ時は、[83 回転ソート]が[なし]に設定されています。
回転ソートを設定する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- 回転ソートは、A4 サイズの縦向き(☐)と横向き(☐)の両方の用紙がセットされているときにだけ機能します。

メモリー代行受信について

用紙がなくなった、トナーがなくなった、用紙がつまっているなどで、受信文書を印刷できない場合は、自動的にメモリーに受信文書が蓄積されます。この機能をメモリー代行受信と呼びます。

受信文書がメモリーに蓄積されると、タッチパネルに「受信データが残っています」のメッセージが表示されます。

メモリー代行受信で蓄積された受信文書は、なくなっている用紙やトナーを補給したり、用紙づまりの対処をすると、自動的に印刷されます。

メモリー代行受信によって受信文書が蓄積されているとき



お知らせ

- メモリー容量には制限があります。用紙やトナーは、早めに補充してください。
- 用紙切れの場合には、手差しトレイ以外のトレイに用紙を補充してください。
- 受信した文書と同じサイズの用紙がない場合には、他のサイズの用紙に印刷されます。
他のサイズの用紙に印刷したくない場合には、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [66 代行出力]を[なし]に設定してください。

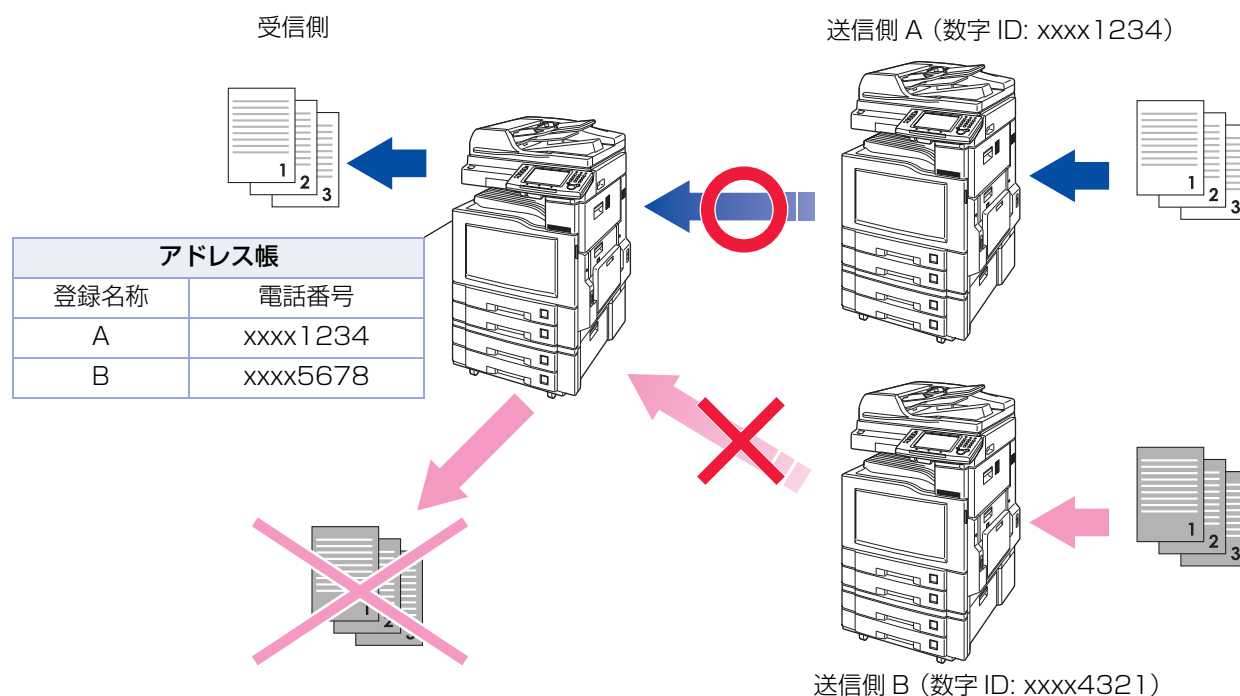
便利な受信機能

本機には、次のような便利な受信機能があります。必要に応じて設定してお使いください。

■セレクト受信

セレクト受信とは、アドレス帳に登録されている宛先からだけ受信する機能のことです。

- ダイレクトメール系のファクスや、迷惑ファクスなどを受信したくない場合に設定しておくとう便利です。
- アドレス帳に登録されている電話番号の下4桁と、送信元の数字IDの下4桁を照合し、一致したときだけ受信を開始します。
- 数字IDとは、ファクスの電話番号のことです。本機の場合、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]で登録します。
- セレクト受信は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[46 セレクト受信]が[あり]に設定されている場合に機能します。

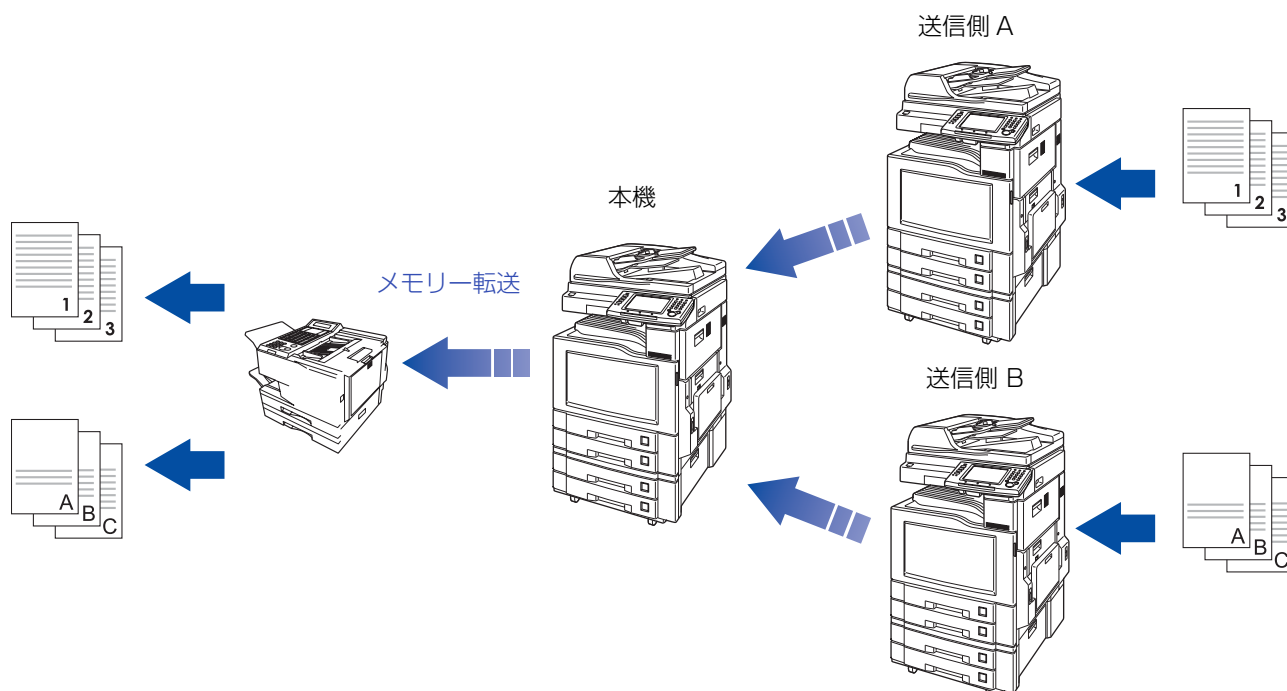


お知らせ

- お買い上げ時、ファンクション設定の[46 セレクト受信]は、[なし]に設定されています。セレクト受信機能を使いたい場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- セレクト受信機能を使う場合、送信元となる宛先は、すべてアドレス帳に登録しておいてください。登録の操作については、「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.213)を参照してください。アドレス帳に登録されていない場合、セレクト受信できません。
- 送信元に対し、数字IDに電話番号(ファクスの電話番号)を必ず設定するよう依頼してください。電話番号以外が設定されている、数字IDが登録されていないなどの場合は、セレクト受信できません。
- 本機からファクスを送信する場合、受信側がセレクト受信を設定している場合があります。このため、数字IDは必ず登録しておいてください。

■メモリー転送

受信文書を、他のファクスやコンピューターに転送できます。夜間や休日に別の場所(自宅など)でファクスを受信する場合に便利です。



お知らせ

- お買い上げ時、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [54 メモリー転送]は、[なし]に設定されています。
メモリー転送機能を使いたい場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- メモリー転送を設定している場合、転送先として設定している宛先の内容をアドレス帳で変更することはできません。アドレス帳の内容を変更する場合は、次の手順で操作します。
 1. ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [54 メモリー転送]を[なし]に変更する
 2. アドレス帳の宛先を変更する
(アドレス帳の変更については「アドレス帳を変更する」(p.225)を参照してください。)
 3. ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [54 メモリー転送]を[あり]に戻す
- メモリー転送時、転送先が話し中などで転送できないときは、転送は中止されます。受信文書は本機で印刷され、メモリーから削除されます。
これは、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [31 未通信ファイル保存]が[あり]に設定されていても同じです。
このような場合に、メモリーに受信原稿を蓄積するときは、メモリー受信が便利です。詳しくは、「メモリー受信を設定する」(p.123)を参照してください。
- メモリー残量が5%以下の場合、受信できません。

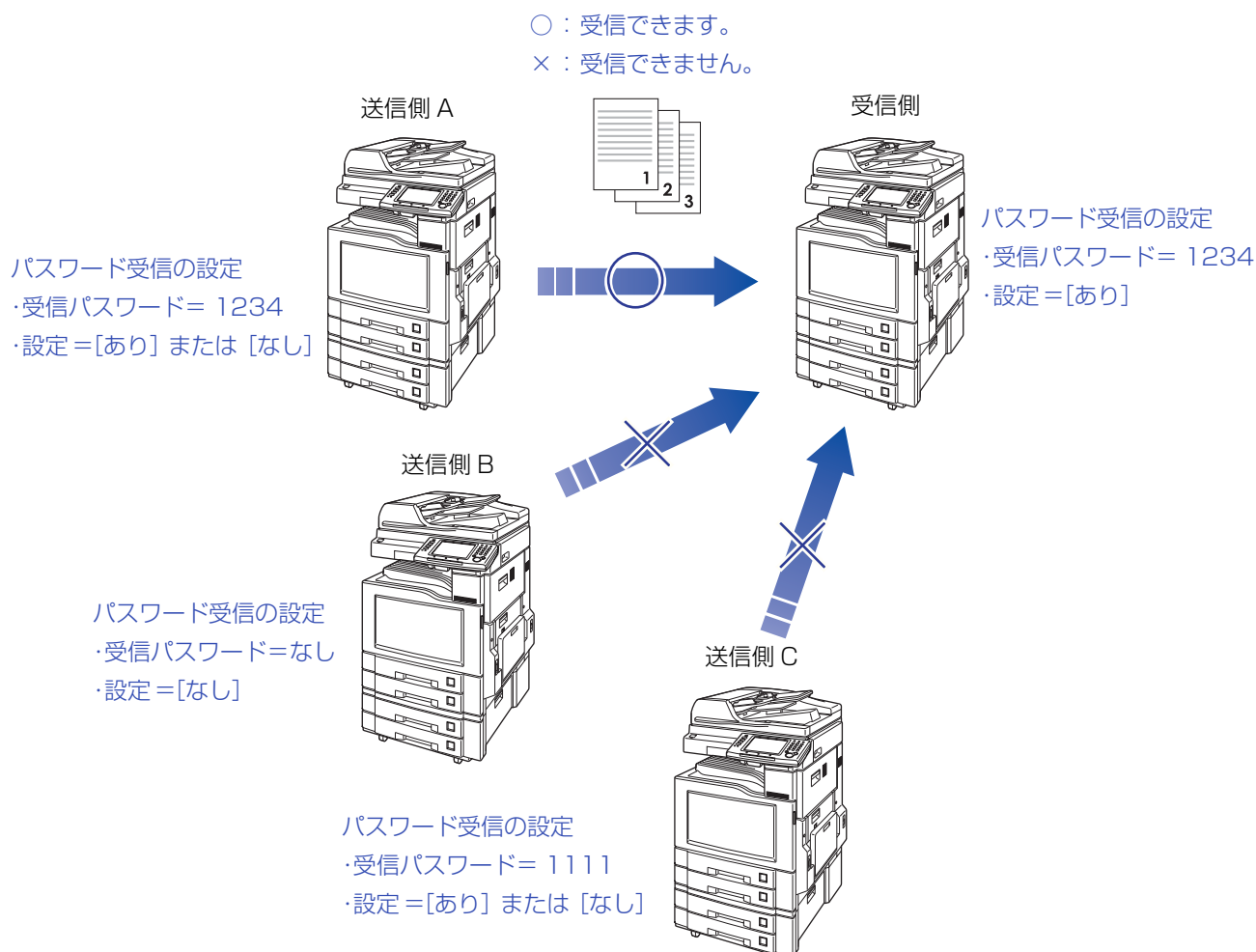
4 章 受信について

■パスワード受信

パスワード受信とは、送信側と受信側の受信パスワードが一致した場合にだけ、原稿を受信する機能のことです。

着信すると、お互いの受信パスワードが一致するかどうかをチェックし、一致する場合だけ受信が開始されます。パスワードが異なる場合は、通信エラーとなります。

この機能を使うと、受信パスワードが一致しない相手から送られてきたときは受信を拒否できます。



お知らせ

- この機能は、相手機が限定されます。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。
- お買い上げ時、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [44 パスワード受信]は、[なし]に設定されています。パスワード受信機能を使いたい場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- 送信側のパスワード受信の設定は、[あり]、[なし]のどちらでもかまいません。
- パスワード送信の機能が設定されている場合は、送信パスワードも照合されます。パスワード送信については、「パスワードを使って送信する[パスワード送信]」(p.91)を参照してください。

- パスワード受信は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[44 パスワード受信]の設定により、次表のように動作します。

設定	説明
受信パスワード 登録なし	パスワード受信の機能は、働きません。
受信パスワードを登録し、パスワード受信を[なし]に設定	送信側が本機と異なる受信パスワードを設定していても、パスワード受信の機能は働かず、通常の受信となります。
受信パスワードを登録し、パスワード受信を[あり]に設定	<p>常にパスワード受信の機能が働きます。 送信側と受信側の受信パスワードが一致したときにだけ受信できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●パスワード受信をするには、送信側、受信側ともに受信パスワードの登録が必要です。

4 章 受信について

■ 迷惑ファクス防止

受信したくない相手から着信した場合に、受信を拒否する機能です。ダイレクトメール系のファクスや、迷惑ファクスなどを受信したくない場合に設定しておくくと便利です。

迷惑ファクス防止には、数字 ID、および発番号を利用した機能があります。

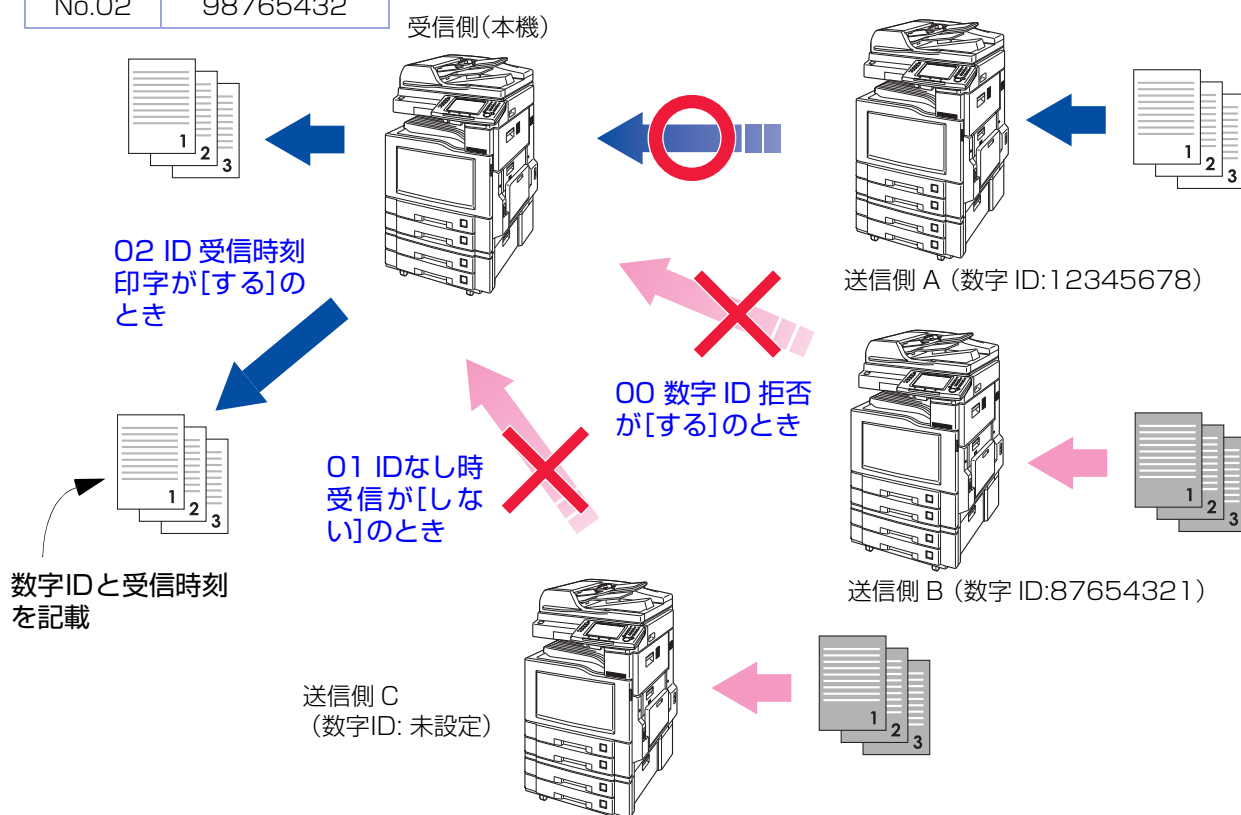
- 数字 ID を利用して受信を拒否した場合、通信エラーレポートの状況欄には、「受信拒否」が記載されます。発番号を利用して受信を拒否した場合は記載されません。
- 数字 ID とは、ファクスの電話番号のことで、通常は自局情報の一部としてファクスに登録しておきます。
- 発番号とは、ナンバーディスプレイを契約している場合に、通信事業者から通知してくる発信者番号のことです。通常は、相手の電話番号が通知されます。
- 設定方法については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス/Eメール機能設定」を参照してください。

□ 数字 ID を利用した迷惑ファクス防止機能

数字 ID を利用した迷惑ファクス防止機能には、次の機能があります。

- 数字 ID 拒否：
受信したくない相手の数字 ID を登録しておき、その数字 ID をもつ相手から着信した場合に、受信を拒否できます。
 - ・ 受信を拒否する数字 ID は、30 件まで登録できます。
 - ・ この機能は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [135 迷惑ファクス防止] > [00 数字 ID 拒否機能]の[00 数字 ID 拒否]が[する]に設定され、[03 ID 番号登録(01-30)]に、受信を拒否する相手の数字 ID が登録されている場合に使用できます。
- ID なし時受信：
数字 ID を送出不しい相手から着信した場合に、受信を拒否できます。
 - [01 ID なし時受信]が[する]の場合 相手機から ID が送出不される場合も受信します。
 - [01 ID なし時受信]が[しない]の場合、相手機から ID が送出不される場合は、受信を拒否します。
 - ・ この機能は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [135 迷惑ファクス防止] > [00 数字 ID 拒否機能]の[00 数字 ID 拒否]が[する]に設定されている場合に使用できます。
- ID 受信時刻印字：
相手機の数字 ID が、受信時刻と共に受信文書に記載されます。
 - ・ 数字 ID が送信されなかった場合は、受信時刻だけが記載されます。
 - ・ この機能は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [135 迷惑ファクス防止] > [00 数字 ID 拒否機能]の[02 ID 受信時刻印字]が[する]に設定されている場合に使用できます。

数字 ID 拒否	
No.	数字 ID(電話番号)
No.01	87654321
No.02	98765432



□ 発番号を利用した迷惑ファクス防止機能

発信者番号を利用した迷惑ファクス防止機能には、次の機能があります。

- 非通知拒否：

非通知の相手から着信した場合に、受信を拒否できます。

 - この機能は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [135 迷惑ファクス防止] > [01 発番号拒否機能]の[00 非通知拒否]の設定により、以下の動作になります。

[00 非通知拒否]が[する]の場合.....非通知の相手から着信した場合は、受信を拒否します。

[00 非通知拒否]が[しない]の場合.....非通知の相手から着信した場合も受信します。
 - この機能は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [90 発番号契約]が[あり]に設定されている場合に使用できます。
- 公衆電話拒否：

公衆電話から着信した場合に、受信を拒否できます。

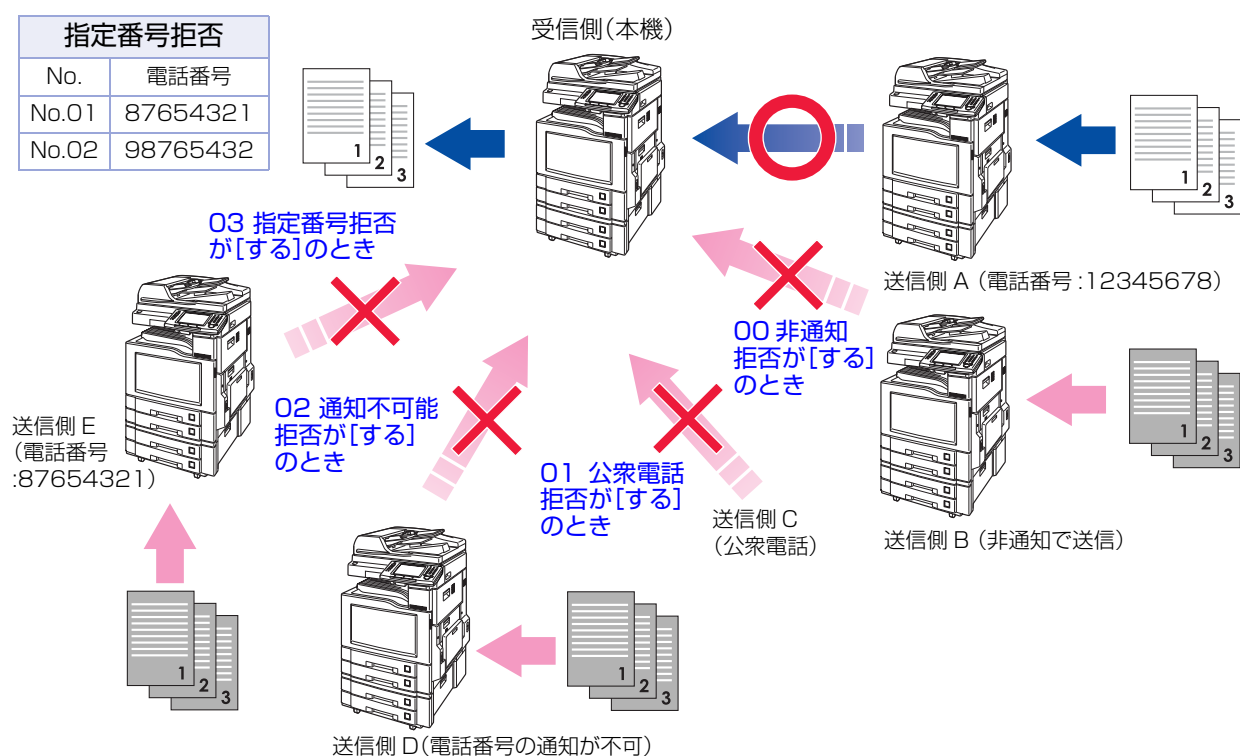
 - この機能は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [135 迷惑ファクス防止] > [01 発番号拒否機能]の[01 公衆電話拒否]の設定により、以下の動作になります。

[01 公衆電話拒否]が[する]の場合.....公衆電話から着信した場合は、受信を拒否します。

[01 公衆電話拒否]が[しない]の場合...公衆電話から着信した場合も受信します。
 - この機能は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [90 発番号契約]が[あり]に設定されている場合に使用できます。

4 章 受信について

- 通知不可能拒否：
発信者番号を通知できない相手から着信した場合に、受信を拒否できます。
- ・ この機能は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [135 迷惑ファクス防止] > [01 発番号拒否機能]の[02 通知不可能拒否]の設定により、以下の動作になります。
[02 通知不可能拒否]が[する]の場合 通知できない相手から着信した場合は、受信を拒否します。
[02 通知不可能拒否]が[しない]の場合..... 通知できない相手から着信した場合も受信します。
- ・ 回線サービスの契約状況、回線網の経路などにより、通信事業者が発信者番号を通知できないことがあります。
- 指定番号拒否：
受信したくない相手の発信者番号を登録しておき、その電話番号から着信した場合に、受信を拒否できます。
- ・ 受信を拒否する発信者番号は、30 件まで登録できます。
- ・ この機能は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [135 迷惑ファクス防止] > [01 発番号拒否機能]の[03 指定番号拒否]が[する]に設定され、[04 指定番号登録 (01-30)]に、受信を拒否する相手の発信者番号が登録されている場合に使用できます。



Memo

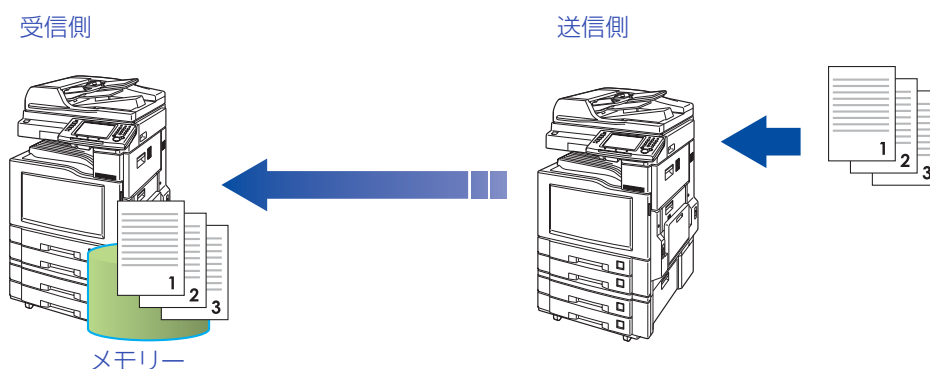
メモリーに受信する [メモリー受信]

■メモリー受信とは

受信文書をすべてメモリーに蓄積できます。排出トレイに受信文書を排出したままにしたい場合に便利です。

- メモリー受信が[オン]に設定されている場合は、タッチパネルのメッセージ欄に、「メモリー受信設定中です」のメッセージが表示されます。
- 印刷が終了すると、受信文書はメモリーから削除されます。
- ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定] > [04キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [37 メモリー受信暗証番号の登録]で、メモリー受信にパスワードを設定できます。
『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

ここでは、メモリー受信を設定する操作、メモリー受信した文書を印刷する操作を説明します。



お知らせ

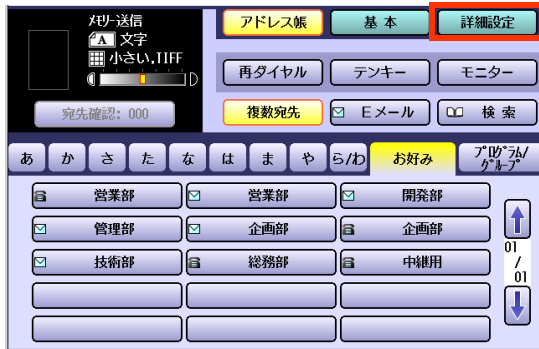
- メモリーが一杯になると、受信が中止され、通信は停止します。それ以前にメモリーに蓄積された原稿は通常どおり印刷できます。
- メモリーが一杯の場合は受信できません。

■メモリー受信を設定する

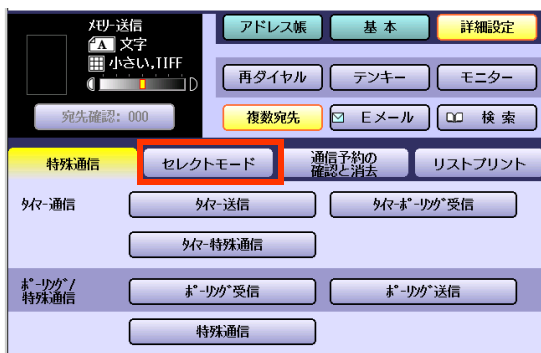
メモリー受信を設定する場合は、次の手順で操作します。

1. <ファクス>を押す

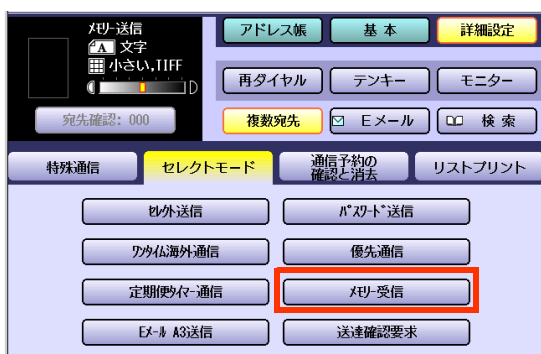
2. [詳細設定]を押す



3. [セレクトモード]を押す

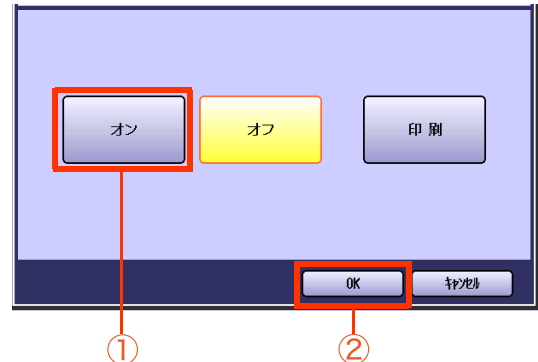


4. [メモリー受信]を押す



5. [オン]を押し、[OK]を押す

メモリー受信が設定されます。



オン	メモリー受信をする場合に押します。
オフ	メモリー受信を解除する場合に押します。
印刷	メモリー受信した文書を印刷する場合に押します。

- メモリー受信の設定を解除するときは [オフ] を押してください。
- ファンクション設定で、メモリー受信にパスワードが設定されている場合は、[オフ] を押すと下記の画面が表示されます。パスワード(8桁)を入力し、[OK]を押してください。

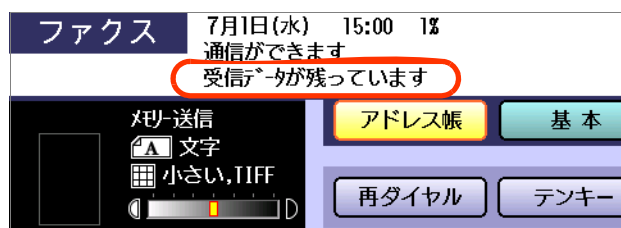


- パスワードは、*で表示されます。

4章 受信について

■メモリー受信した文書を印刷する

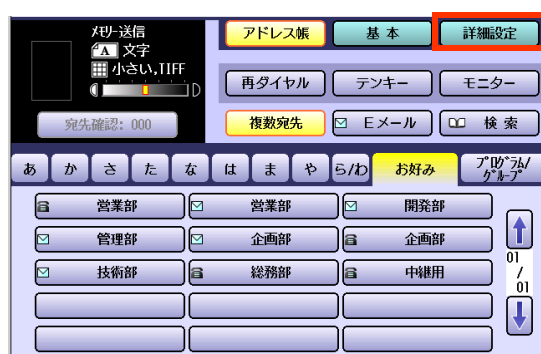
受信文書がメモリーに蓄積されると、タッチパネルには、「受信データが残っています」のメッセージが表示されます。



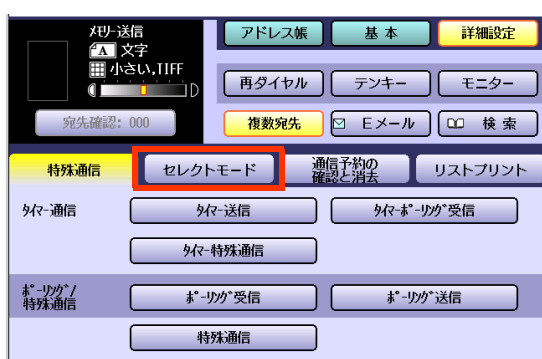
メモリー受信した文書を印刷する場合は、次の手順で操作します。

1. <ファクス>を押す

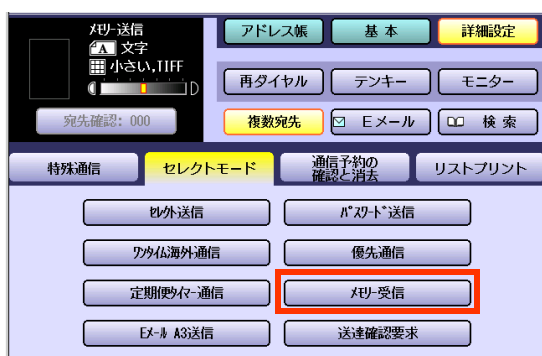
2. [詳細設定]を押す



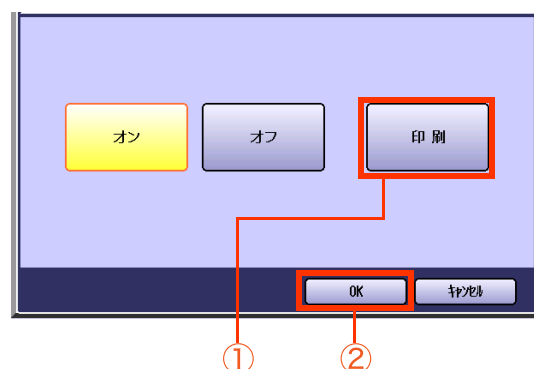
3. [セレクトモード]を押す



4. [メモリー受信]を押す



5. [印刷]を押し、[OK]を押す



6. パスワードが設定されている場合は、パスワード(8桁)を入力し、[OK]を押す



● パスワードは、*で表示されます。
印刷が開始されます。

外部電話機からファクス受信に切り替える [リモート受信]

■ リモート受信とは

リモート受信とは、外部電話機から受信の指示をする機能のことです。
外部電話機で送信側と通話した後、受信に切り替えることができます。

この機能は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[47 リモート受信]が[あり]に設定されている場合に使えます。

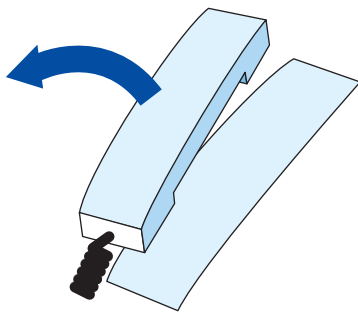
お知らせ

- お買い上げ時、ファンクション設定の[47 リモート受信]は[なし]に設定されています。設定を変更する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- 外部電話機については、「手動受信」(p.109)を参照してください。

■ 外部電話機からファクス受信に切り替える

外部電話機からファクス受信に切り替える場合は、次の手順で操作します。

1. 呼び出し音が鳴ったら、外部電話機の受話器を持ち上げる



- 「ポー…ポー…」という音が聞こえたら、相手はファクスです。手順2の操作をします。

2. ファクスの受信に切り替える

- 外部電話機がプッシュ式の場合
プッシュボタンで、「*」「*」と押す
(2 秒以内に押す)
- 外部電話機がダイヤル式の場合
「9」「9」とダイヤルする
(5 秒以内にダイヤルする)

3. 受話器を戻す

- 受信が開始されます。

Memo

5章

インターネット FAX を使う

この章では、インターネット FAX 機能の概要、基本的な操作、および便利な操作について説明しています。

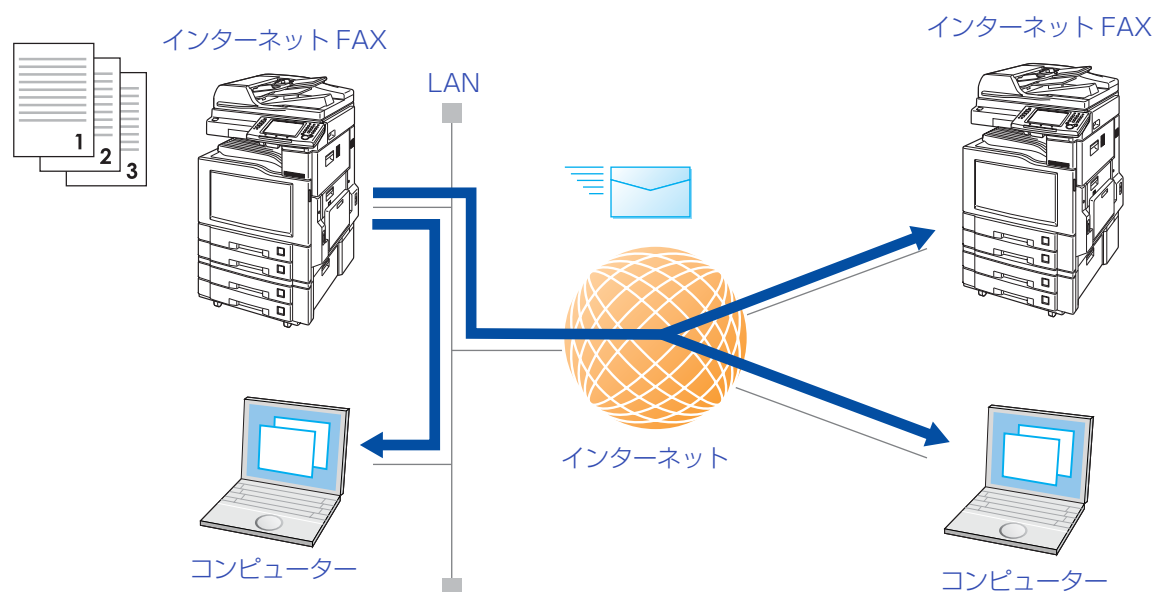
インターネット FAX とは

■インターネット FAX の概要

インターネット FAX とは、読み取った原稿を、インターネット FAX またはコンピューターに対して、E メールとして送信する機能です。

インターネット FAX では、一般の電話回線を使わずに、イントラネット(企業内ネットワーク)やインターネットを経由して通信します。

本機を、10Base-T/100Base-TX/1000Base-T のイーサネット LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続し、必要な設定をすることによって、次のようなインターネット FAX 機能を使うことができます。



□ E メールを送信する

読み取った原稿を、Eメールの添付ファイルとして、インターネット FAX やコンピューターに送信できます。

お知らせ

- 「Eメールを送信する」(p.130)を参照してください。
- TIFF(TIFF-F)形式またはPDF形式の添付ファイルとして送信できます。PDF形式は、コンピューターに送信する場合だけ使うことができます。
- コンピューター側のメールソフトがMIME形式に対応していない場合は、TIFF(TIFF-F)形式やPDF形式の添付ファイルを受信できません。

□ E メールを受信する

インターネット FAX やコンピューターから Eメールを受信すると、メールメッセージと添付ファイルの画像が、自動的に印刷されます。

お知らせ

- 「Eメールを受信する」(p.131)を参照してください。

□ 転送する(ルーティング)

ファクス文書やEメールを、ネットワーク上のインターネット FAX やコンピューターに転送できます。

お知らせ

- 「ルーティングを使う」(p.131)を参照してください。

□ 中継局を介してファクスに送信する(LAN 中継送信)

中継局を介し、Eメールを、通常のファクス文書として送信できます。同報送信することもできます。

お知らせ

- 詳しくは、「LAN 中継送信を使う」(p.132)を参照してください。

■ インターネット FAX 機能を使うには

インターネット FAX 機能を使うためには、本機にネットワークケーブルを接続し、ファンクション設定で、ネットワーク環境を正しく設定する必要があります。

設定については、「インターネット FAX を使うための準備」(p.138)を参照してください。

インターネット FAX でできること

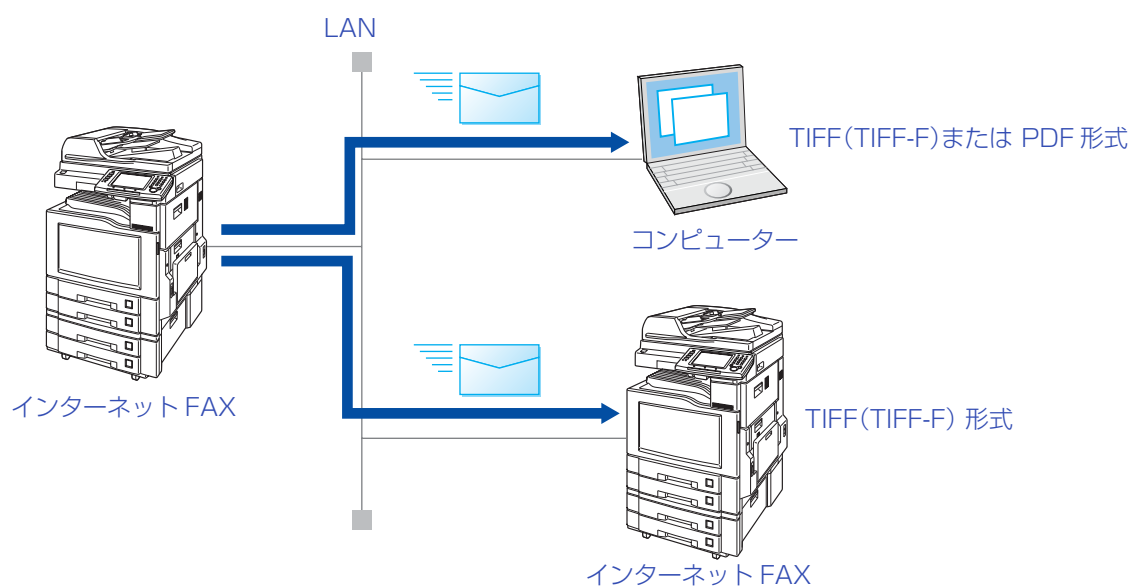
インターネット FAX の機能について説明します。

本機のインターネット FAX 機能では、Eメールの送受信だけではなく、一般の電話回線を経由してファクス受信した文書を Eメールとして転送したり、中継局を経由して同報送信したりできます。

■Eメールを送信する

読み取った原稿を、Eメールの添付ファイルとして、インターネット FAX やコンピューターに送信できます。添付ファイルの形式は、次のとおりです。

- インターネット FAX に対して : TIFF(TIFF-F)形式
- コンピューターに対して : TIFF(TIFF-F)形式 / PDF 形式 から選択



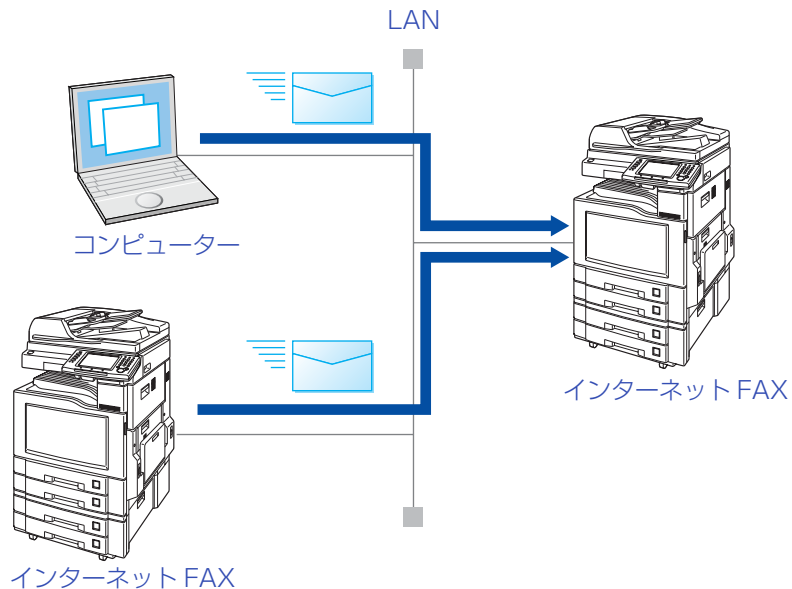
お知らせ

- Eメールの送信については、「Eメール送信の流れ」(p.140)を参照してください。

■E メールを受信する

インターネット FAX やコンピューターからの E メールを受信すると、本機では自動的に印刷されます。

ただし、本機が対応しているファイル形式以外の添付ファイルの場合は、エラーメッセージが印刷され、画像を印刷できないことを知らせます。

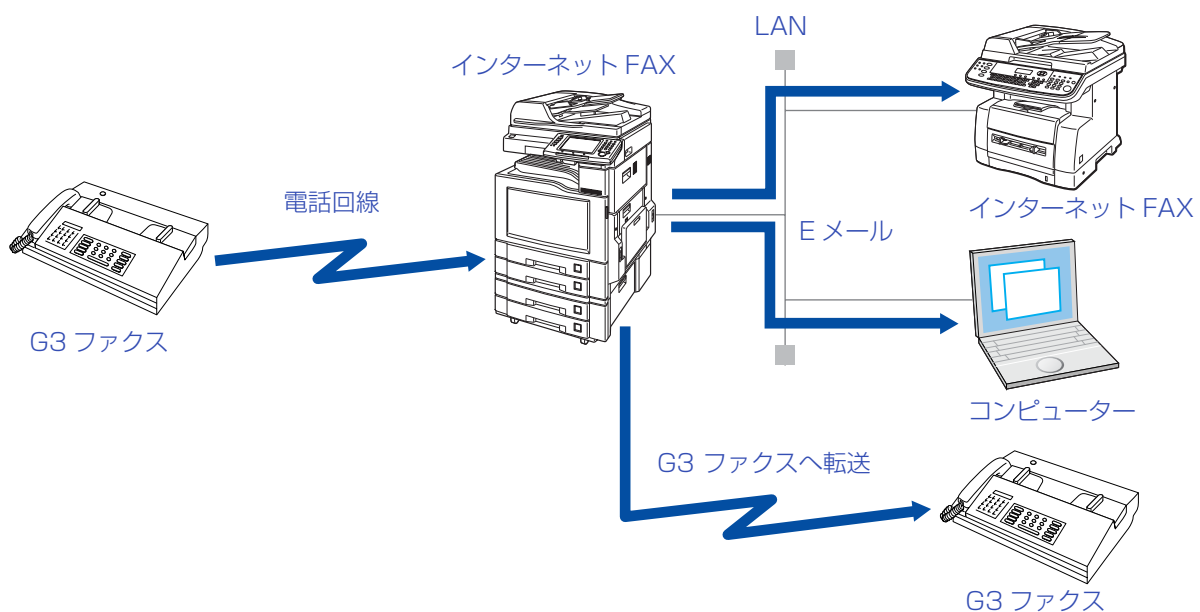


お知らせ

- Eメールの受信については、「Eメールを受信する」(p.168)を参照してください。

■ルーティングを使う

一般のファクスから電話回線を経由して受信した文書を、ネットワーク上のコンピューターやインターネット FAX に転送できます。転送先は、F コード(サブアドレス)やファクスの数字 ID などを利用できます。



お知らせ

- ルーティングについては、「ルーティング機能を使う」(p.100)を参照してください。

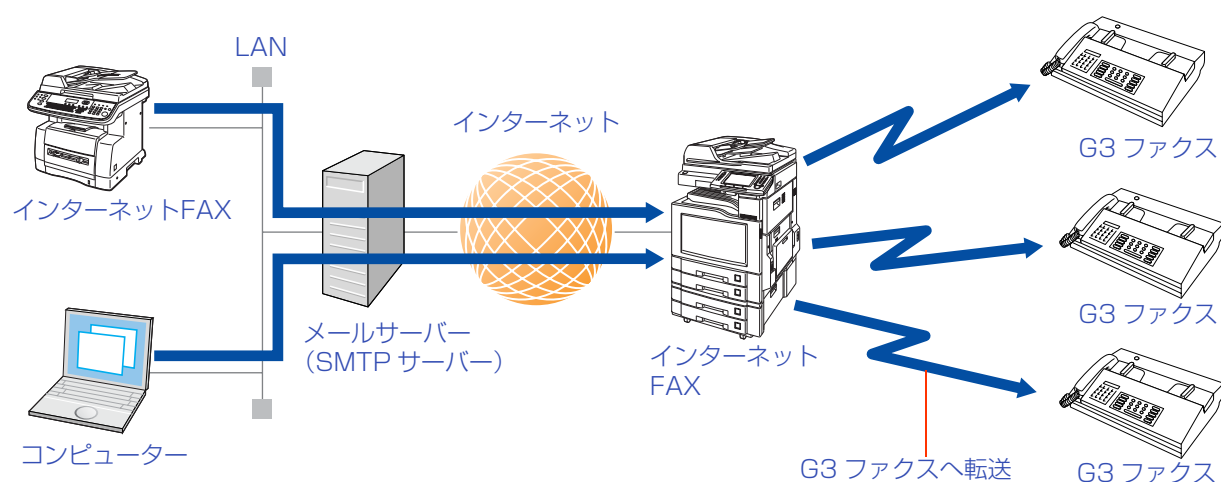
5 章 インターネット FAX を使う

■ LAN 中継送信を使う

インターネット FAX やコンピューターから、LAN 中継機能を持つインターネット FAX を経由して、一般の電話回線に接続されているファクスに送信できます。一般の電話回線に接続されているファクスは複数の宛先を設定できます。

ネットワーク上のインターネット FAX やコンピューターから、LAN 中継機能を持つインターネット FAX に対して、一般の電話回線のファクス宛先を含めて E メールを送信すると、LAN 中継機能を持つインターネット FAX は、一般電話回線上のファクスに G3 モードで送信します。

例：LAN 中継同報



お願い

- コンピューターから LAN 中継指示をする場合、TIFF-F 形式のファイルで送信する必要があります。
- アプリケーションソフトで作成したデータを TIFF-F 形式のファイルに変換するには、専用のソフトウェアが必要です。これらのソフトウェアは、当社のホームページからダウンロードしてコンピューターにインストールしてください。インストールについては、「便利なアプリケーションソフトについて」(p.190)を参照してください。

お知らせ

- LAN 中継機能について、詳しくは「LAN 中継機能を使う」(p.174)を参照してください。

■ 送達確認通知(MDN)を使う

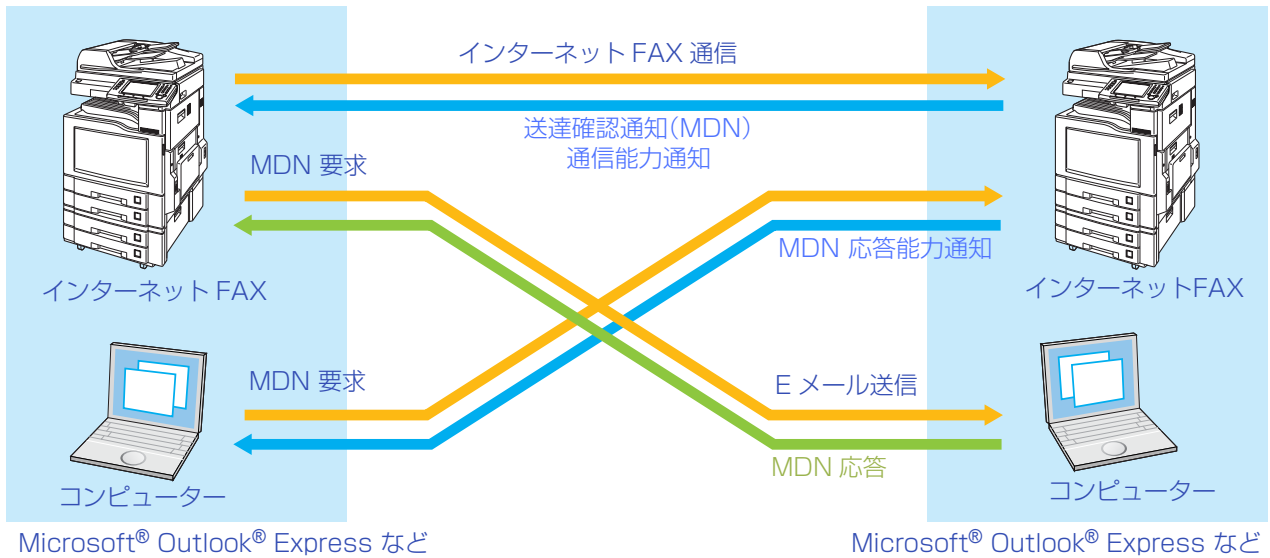
送達確認通知(MDN)機能を使えば、送信した E メールが受信側に届いたかどうかを確認できます。

□ 受信側がインターネット FAX の場合

送信側に対し、送達確認通知(MDN)通信能力通知が応答されます。

□ 受信側がコンピューターの場合

送信側に対し、MDN の応答メールが送信されます。



- 送信側からの MDN 要求
- 受信側(インターネット FAX)からの MDN 応答
- 受信側(コンピューター)からの MDN 応答

お知らせ

- この機能は、受信側に送達(開封)確認通知(MDN)の機能がある場合に使うことができます。
- 送達確認通知(MDN)について、詳しくは「送達確認を要求する (MDN) [送達確認要求]」(p.164)を参照してください。

5 章 インターネット FAX を使う

■ダイレクト SMTP(ダイレクト IFax 送信)を使う

通常、E メールはメールサーバー(SMTP サーバー)が SMTP(Simple Mail Transfer Protocol)によってやりとりしています。

企業などのイントラネットでは、ファイアウォールの負担を考慮して、添付ファイルを持たない E メールとホームページ閲覧だけが許可されていることがあります。

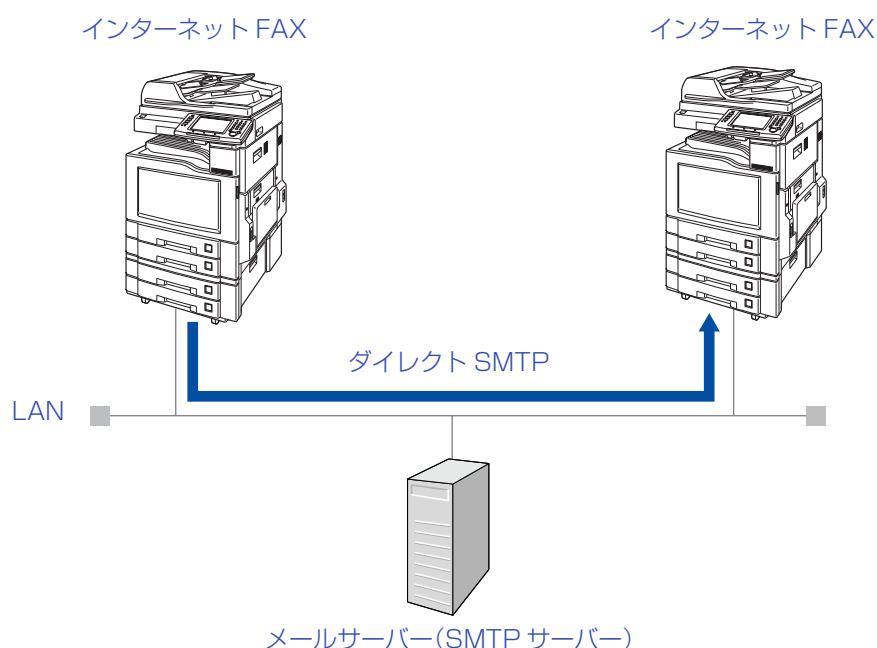
このような場合に、ダイレクトインターネット FAX 送信を使うことで、メールサーバー(SMTP サーバー)への負担を軽減できます。

ダイレクトインターネット FAX 機能は、メールサーバー(SMTP サーバー)を通さずに直接インターネット FAX 間で文書を交換する機能です。この機能を使うには、IP アドレスが常に一定に保たれている必要があります。本機のドメイン名などの情報が DNS サーバーに適切に登録されていなければなりません。

- ダイレクトインターネット FAX 機能を使う場合は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[172 ダイレクト IFax 送信]を[あり]に設定します。
- 送信する宛先はアドレス帳に登録しておく必要があります。
ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[172 ダイレクト IFax 送信]を[あり]に設定すると、アドレス帳の登録時に「ダイレクト IFax 送信の登録をしますか」というメッセージが表示されますので、[はい]を選択してください。

お知らせ

- IP アドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



Memo

インターネット FAX 使用上のお願い

ネットワーク接続によるインターネットFAXの通信では、電話回線を使う一般のファクス通信とは異なる事項があります。

ここでは、インターネット FAX 機能を使って通信をする上で、注意が必要なことについて説明します。

□ インターネット FAX と一般の電話回線用ファクスとの違い

一般の電話回線のファクスでは、データは電話回線を介して送信されます。電話回線の料金は送信者が負担します。

インターネットFAXでは、画像データはパケットに分解され、電話回線を介さずにLANからインターネットまたはイントラネットへ送信されます。電話回線を使わないため、長距離通話の経費を節減できます。

□ 正しく E メールを送信できないときは

- インターネット通信は、ネットワーク経由によるメールサーバー(SMTP サーバー)との通信のため、直接相手と通信できません。このため、何らかの原因で送信できなかった場合にだけ、メールサーバー(SMTP サーバー)からエラーメールが返送されます。
- 相手先の場所、インターネットなどの回線の混み具合、ネットワーク構成などによって、エラーメールが返送されるまで長い時間がかかることがあります(通常は 20 ～ 30 分程度)。
- 何らかの原因で、エラーメールが返送されない場合があります。
重要な書類、緊急を要する書類などを送信する場合は、送信後に必ず電話で確認してください。
また、インターネット経由の場合には秘匿性が低いため、重要な書類は、一般の電話回線の利用をお勧めします。
- 受信側のメールシステムがMIMEに対応していない場合は、インターネットFAXのEメールを正しく送信することができません。また、相手のメールサーバー(SMTP サーバー)によってはエラーメールが返送されない場合があります。
- 原稿枚数が多い場合やイメージデータ量が多いと、送信できない場合があります。

お知らせ

- ダイレクトインターネット FAX 機能を使う場合、ファンクション設定の[ファクス / E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [172 ダイレクト IFax送信]が[あり]に設定されていると、メールサーバー(SMTP サーバー)を経由せず、アドレス帳に登録されているメールアドレスへ直接送信されます。
- 本機は送達確認通知機能(MDN)に対応しています。受信側にEメールが届いたかどうかを確認する場合に設定してください。詳しくは「送達確認を要求する (MDN) [送達確認要求]」(p.164)を参照してください。

□ ネットワーク経由で電話はできません

- 電話は一般の電話回線で使えます(外部電話機を使用している場合)。
- ネットワーク経由の通信中も、一般の電話回線を使用してファクス通信できます。

□ 通信機能について

本機には、一般の電話回線の G3 ファクス通信とインターネット FAX 機能の 2 つの通信機能がありますが、これらは同時に使うことができます。

□ 原稿読み取り時の解像度設定について

原稿を読み取るときの解像度は、コンピューターへの送信を考慮し、お買い上げ時の初期値が[小さい]に設定されています。この設定は、使用する原稿に合わせて変更できます。

□ インターネットメールメッセージの受信

- 本機は、コンピューターからのメールメッセージを受信できます。受信したメールメッセージは、漢字、カタカナ、ひらがな、英数字を印刷できます。
- 受信したメールメッセージのフォント、文字の大きさは変更できません。
- 受信したメールメッセージは、日本語(全角文字)で59文字、72行分(英数半角文字で108文字、72行分)が1ページに印刷されます。

□ インターネット FAX 機能で原稿をコンピューターに送ったときのメッセージ

インターネット FAX から E メールを送信すると、添付ファイル(TIFF-F 形式の画像ファイル)のほかに、以下のメッセージが受信側に届きます。

TIFF-F 形式の画像データが添付されています。
TIFF-F イメージビューは以下のサイトから入手できます。

<http://panasonic.co.jp/pcc/info/dwnld.html>

- PDF 形式の画像ファイルを添付して送信した場合、「PDF 形式の画像データが添付されています。」というメッセージが受信側に届きます。

□ LAN 中継通信

LAN 中継局への不正なアクセスを防止するために、ネットワークセキュリティを設定してください。ネットワークセキュリティには、LAN 中継パスワード、中継許可ドメイン名を設定します。
また、LAN 中継通信すべてを管理するためには、管理者のメールアドレスを登録し、通信管理レポートを受け取れるように設定してください。

□ 送信ファイルタイプの設定について

[基本]の[ファイルタイプ / ファイル名]では、送信する添付文書のファイル形式として、PDF を選択できます。

PDF 形式は、読み取った文書をコンピューターに対して E メール送信する場合の機能です。

インターネット FAX は PDF 形式に対応していません。インターネット FAX に対し、PDF 形式を選択して送信しても、受信側のインターネット FAX では、添付ファイルを印刷できず、エラーとなります。

インターネット FAX を使うための準備

インターネット FAX 機能を使う場合は、ファンクション設定で、ネットワーク環境に関する項目を設定する必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。

■ ネットワーク項目の設定

インターネット FAX 機能を使うために必要なネットワークの設定項目は、次のとおりです。

□ ネットワーク設定項目

- 本機の TCP/IP IP アドレス
- 本機の TCP/IP サブネットマスク
- TCP/IP ゲートウェイアドレス
- DNS (* 1)
- 本機のメールアドレス (* 2)
- SMTP サーバー (サーバー名、または IP アドレス)
- POP サーバー (サーバー名、または IP アドレス)
- POP ユーザー名
- POP パスワード
- SMTP 認証の SMTP 認証名と SMTP 認証パスワード (SMTP 認証が必要な場合)

お知らせ

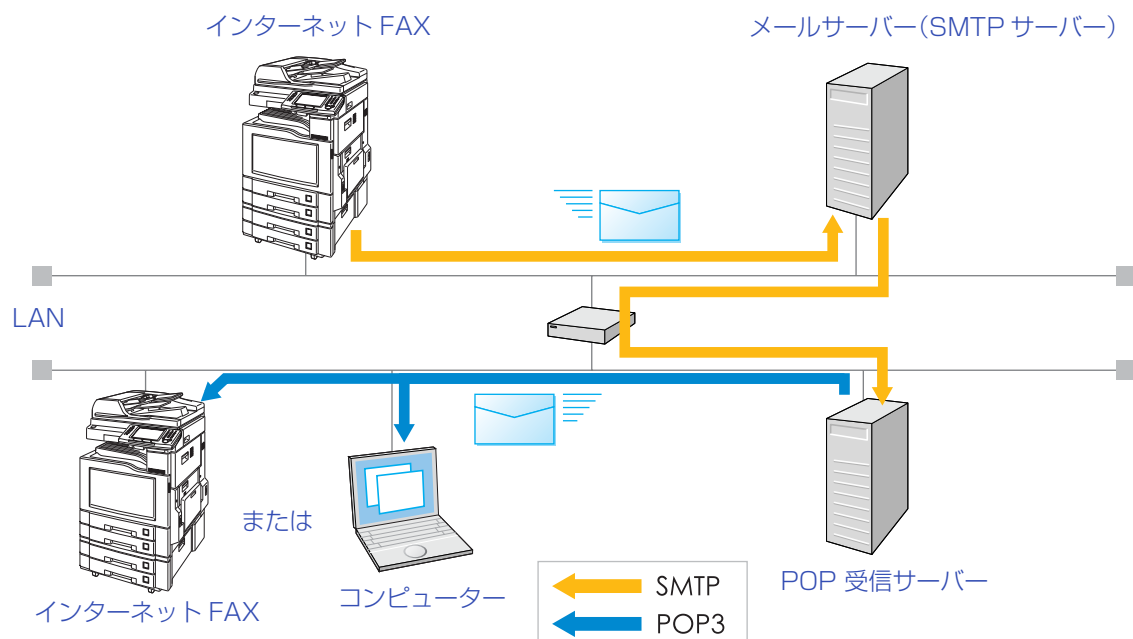
● 上記の項目については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「7章 ネットワーク機能設定」を参照してください。

● * 1

DNS で [あり] を選択し、ホスト名、ドメイン名、DNS サーバーのアドレスを入力します。

● * 2

本機のメールアドレスの形式は、一般のメールアドレスと同じです。



Memo

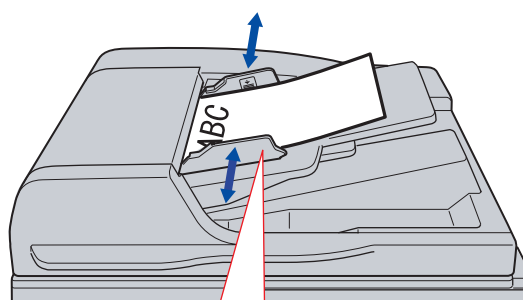
Eメール送信の流れ

Eメールを送信するときの基本的な操作の流れは、次のとおりです。

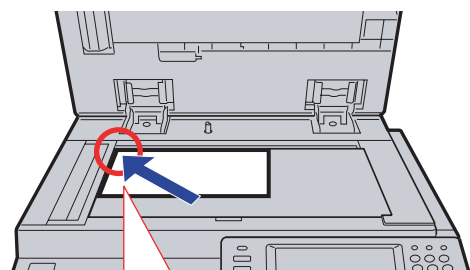
お知らせ

- 送信先は、メールアドレスとファクスの宛先を混在して設定できます。メールアドレスの宛先に対してはEメールが送信され、ファクスの宛先に対しては、通常のファクス文書が送信されます。

1. 原稿をセットする



送信する面を上にしてセットします。
普通紙(A4)で100枚までセットできます。



送信する面を下にして左奥の角に合わせてセットし、ADFを静かに閉じます。

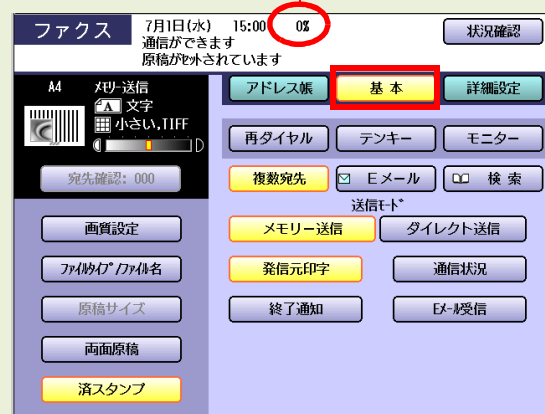
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す



基本画面の設定をする場合は、[基本]を押して設定する

メモリー使用量



- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)
- 「添付ファイルの形式やファイル名を設定する[ファイルタイプ/ファイル名]」(p.160)
PDF形式は、コンピューターに対してEメールを送信する場合にだけ使えます。インターネットFAXに対しては、TIFF(TIFF-F)形式で送信してください。
- 「送達確認を要求する(MDN)[送達確認要求]」(p.164)

3. [Eメール]を押す



4. [キーボード]を押してメールアドレスを入力するか、アドレス帳で宛先を選択する



- 「メールアドレスを入力する」(p.142)

5. <スタート>を押す



- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。読み取りが完了すると、Eメールの送信が開始されます。
- 送信を中止するときは、「通信を中止する」(p.48)を参照してください。
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されます。画面のメッセージに従って操作してください。
- 送信できなかった場合は、通信結果レポートが排出されます。詳しくは、「通信結果レポート」(p.246)を参照してください。

メールアドレスを入力する

メールアドレスは、次のいずれかの操作で設定します。

キーボードから入力する

キーボード画面でメールアドレスを直接入力します。(p.143)

アドレス帳を使う

アドレス帳を使います。

— アドレス帳の検索タブを使う (p.145)

— [お好み]から探す (p.145)

— グループダイヤルを使う (p.146)

宛先を検索する

アドレス帳、または LDAP サーバーから検索します。

— アドレス帳から検索する(ローカル検索) (p.147)

— LDAP サーバーを使って検索する(LDAP 検索) (p.148)

再ダイヤルを使う

最後に E メールを送信したメールアドレスを呼び出せます。(p.150)

■キーボードから入力する

キーボード画面で、メールアドレスを直接入力する場合は、次の手順で操作します。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [Eメール]を押す



4. Eメール画面で、[キーボード]を押す



5. メールアドレスを入力し、[OK]を押す



- メールアドレスは 60 文字まで入力できます。
- メールアドレスの便利な入力方法については、次ページを参照してください。
- 文字入力のしかたは、「付録 C 文字入力のしかた」(p.277)を参照してください。
- 誤って入力した場合は、◀ または ▶ で削除する文字のあとにカーソルを移動し、[後退]を押します。カーソルの前の文字が 1 文字ずつ削除されます。
- [アドレス帳へ追加]を押すと、ここで入力したメールアドレスをアドレス帳に登録できます。
- 直接ダイヤル制限機能が設定されている場合は、キーボード画面でメールアドレスを入力することはできません。「直接ダイヤル制限機能」(p.152)を参照してください。
- ダイヤル再入力機能が設定されている場合は、<スタート>を押すと、メールアドレスを再入力する画面が表示されます。「ダイヤル再入力機能」(p.153)を参照してください。

6. <スタート>を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、Eメールの送信が開始されます。

5章 インターネットFAXを使う

■メールアドレスの入力方法

メールアドレスの入力には、3種類の方法があります。

お知らせ

- デフォルトドメインは、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]>[31 デフォルトドメイン]が登録されている場合に使えます。
- ドメインリストは、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]>[20 セレクトドメイン 01]～[29 セレクトドメイン 10]が登録されている場合に使えます。
- デフォルトドメイン、セレクトドメインの登録については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス/Eメール機能設定」を参照してください。

□ メールアドレスを直接入力する

キーボード画面で、メールアドレスを入力します。



□ デフォルトドメインを使う

Eメールを送信する相手が、本機に登録されているデフォルトドメインのドメイン名を使用したメールアドレスの場合に使います。

- キーボード画面で、メールアドレスの@より左側の部分だけを入力し、[OK]を押します。



[OK]を押したあとに、自動的にデフォルトドメインが追加されます。以下は、デフォルトドメインとして panasonic.com が登録されている場合の例です。

例:

入力した文字 abc

[OK]押下後のメールアドレス abc@panasonic.com

□ ドメインリストを使う

Eメールを送信する相手が、本機に登録されているドメインリストにあるドメイン名を使用したメールアドレスの場合に使います。

- ① キーボード画面で、メールアドレスの@より左側の部分だけを入力します。
- ② [ドメインリスト]を押します。



- ③ ドメインリストから、ドメイン名を選択し、[OK]を押します。



以下は、ドメインとして @panasonic.com を選択した場合の例です。

例:

入力した文字 abc

ドメインリストから選択後 abc@panasonic.com

■ 複数のメールアドレスを入力するには

複数のメールアドレスを設定する場合は、次の手順で操作します。

- ① キーボード画面で、1番目のメールアドレスを入力し、[OK]を押します。
- ② [キーボード]を押し、キーボード画面で2番目のメールアドレスを入力し、[OK]を押します。
- ③ すべてのメールアドレスを入力するまで、手順①～②の操作を繰り返します。

■アドレス帳を使う

□ アドレス帳の検索タブを使う

アドレス帳の検索タブ([あ]~[ら/わ])を使ってメールアドレスを検索できます。

- アドレス帳は、あらかじめ登録が必要です。
詳しくは、「アドレス帳にメールアドレスを登録する」(p.222)を参照してください。

1. 原稿をセットする

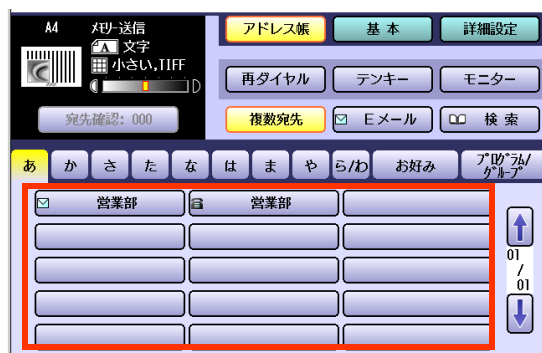
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。


2. <ファクス>を押す

3. 検索タブ([あ]~[ら/わ])を選択する



4. 送信する宛先のボタンを押す



- Eメールが設定された宛先には、宛先名の前に  マークがついています。
- もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。
- 複数のメールアドレスを設定する場合は、手順3~4の操作を繰り返します。

5. <スタート>を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、Eメールの送信が開始されます。

□ [お好み]から探す

アドレス帳の登録時に、お好み が設定されている場合は、[お好み]タブでメールアドレスを設定できます。

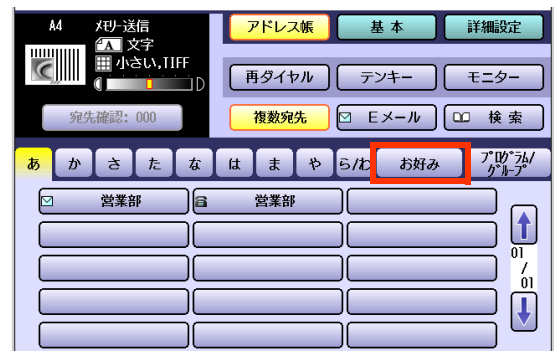
- [お好み]タブには、アドレス帳登録時に[お好み]タブへの表示を設定した宛先だけが表示されます。
- アドレス帳は、あらかじめ登録が必要です。
詳しくは、「アドレス帳にメールアドレスを登録する」(p.222)を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. お好み画面が表示されていない場合は、[お好み]を押す



4. 送信する宛先のボタンを押す



- もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。
- 複数のメールアドレスを設定する場合は、続けてボタンを押します。

5. <スタート>を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、Eメールの送信が開始されます。

5章 インターネットFAXを使う

□ グループダイヤルを使う

グループダイヤルで複数のメールアドレスに送信する場合は、次の手順で操作します。

- グループダイヤルは、あらかじめ登録が必要です。詳しくは、「グループダイヤルを登録する」(p.231)を参照してください。

1. 原稿をセットする

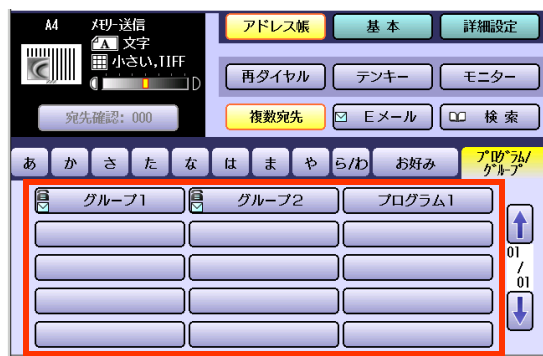
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [プログラム / グループ]を押す



4. 送信するグループのボタンを押す



- もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。

5. <スタート>を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、Eメールの送信が開始されます。

■宛先を検索する

□ アドレス帳から検索する（ローカル検索）

アドレス帳に登録されている検索文字で検索して、宛先を指定できます。

お知らせ

- [Eメール]、[検索]の順に押して手順4の画面を表示することもできます。ただし、この場合は、Eメールの宛先だけが検索されます。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [検索]を押す



4. 検索する文字を入力する



- アドレス帳に登録した検索文字を入力します。検索文字については、「アドレス帳にメールアドレスを登録する」(p.222)を参照してください。
- 文字入力のしかたは、「付録 C 文字入力のしかた」(p.277)を参照してください。

入力した文字に該当する宛先が表示されます。

5. 送信する宛先を選択し、[OK]を押す



- ↑ または ↓ を押すと、表示された検索結果をスクロールできます。
- 宛先を複数選択することはできません。

6. <スタート>を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、Eメールの送信が開始されます。

5 章 インターネット FAX を使う

□ LDAP サーバーを使って検索する (LDAP 検索)

LDAP 検索とは、ネットワーク上に設置されている LDAP サーバー上のアドレス帳から、電話番号やメールアドレスを検索する機能のことです。

お知らせ

- 本機が設置されている環境で、LDAP 検索を使えるかどうかについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- LDAP 検索をするには、LDAP サーバーが設定されている必要があります。詳しくは、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス / E メール機能設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [検索]を押す



4. [グローバル]を押す



5. 検索する文字を入力し、[検索]を押す

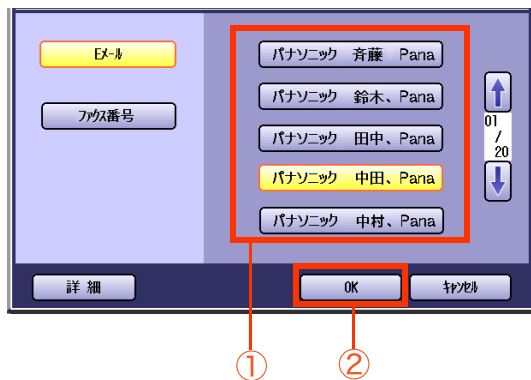


検索結果が表示されます。

お知らせ

- [ローカル]を押すと、アドレス帳検索画面に戻ります。
- 検索結果が100件以上ある場合は、再検索をたずねる画面が表示されます。
 - ・[はい]を押すと、再検索画面が表示されます。
 - ・[いいえ]を押すと、先頭の100件だけが表示されます。
- 検索中にエラーが発生した場合は、メッセージが表示されます。
- 検索した宛先をアドレス帳に登録する場合は、[アドレス帳へ追加]を押します。表示された画面で、登録名を入力し、[OK]を押します。
- 検索を中止する場合は、検索中に[キャンセル]を押します。

6. 宛先を選択し、[OK]を押す



- 宛先を複数選択することはできません。
- [E メール]、または[ファクス番号]を押すと、電話番号とメールアドレスの表示を切り替えられます。
- ↑ または ↓ を押すと、表示された検索結果をスクロールできます。
- [詳細]を押すと、下記の画面が表示され、詳細を確認できます。[閉じる]を押すと、検索結果画面に戻ります。



7. [OK]を押す



8. <スタート>を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、Eメールの送信が開始されます。

5章 インターネット FAX を使う

■再ダイヤルを使う

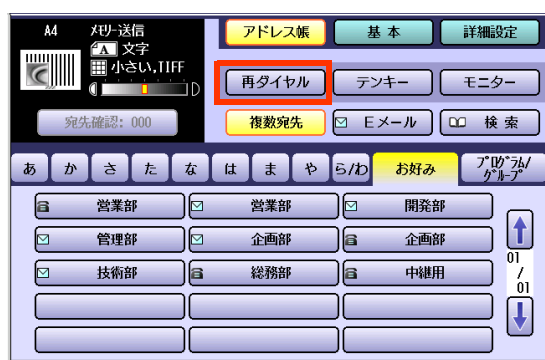
直前に E メールを送信した宛先にもう一度送ることができます。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [再ダイヤル]を押す



最後に送信した宛先が表示されます。



4. <スタート>を押す

- 読み取った原稿がメモリーに蓄積され、Eメールの送信が開始されます。

Memo

誤送信防止について

メールアドレスを入力する場合、誤った宛先への送信を防止するため、次の2つの機能が用意されています。

- 誤送信を防止する機能には、ここで説明する機能のほかに、宛先を確認する操作、および複数宛先を禁止する操作があります。それぞれ、「宛先を確認する」(p.158)、「複数の宛先に送信しないときは」(p.28)を参照してください。

■直接ダイヤル制限機能

直接入力によるメールアドレスの指定を、すべて禁止する機能です。

この機能を有効にすると、キーボードを使用してのメールアドレス入力できません。

- この機能は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[136 直接ダイヤル制限]が、[あり]に設定されている場合に機能します。
『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- この機能を設定すると、[再ダイヤル]は使用できません。

■ダイアル再入力機能

キーボード画面でメールアドレスを入力するときに、メールアドレスの再入力画面が表示され、1回目と2回目のメールアドレスが一致した場合にだけ送信が開始される機能です。

- この機能は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04キーオペレーター専用]>[01システムの登録]>[137 直接ダイアル再入力]が、[あり]に設定されている場合に機能します。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス/Eメール機能設定」を参照してください。
- ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04キーオペレーター専用]>[01システムの登録]>[136 直接ダイアル制限]が[あり]に設定されている場合、本機能は使用できません。

キーボード画面でメールアドレスを入力し、[OK]を押すと、自動的に再入力のキーボード画面が表示されます。

1. メールアドレスを、もう一度入力し [OK]を押す



メールアドレスが一致しない場合は、1回目のメールアドレスの入力から、操作し直します。



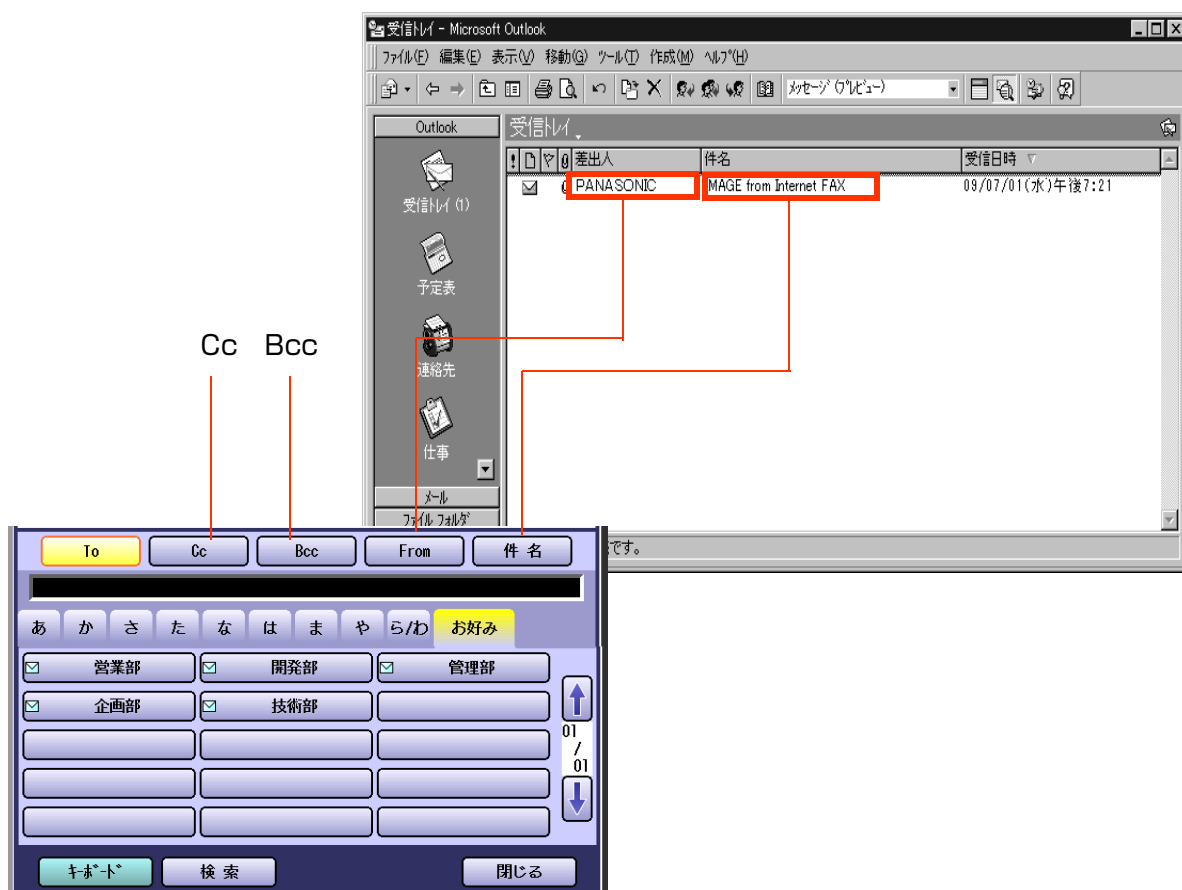
複数メールアドレスや件名を設定する

メールアドレスを設定するときに、宛先に複数の受信者(Cc、Bcc)を設定したり、メールの件名を入力できます。

お知らせ

- Cc Carbon Copy のことです。
- Bcc Blind Carbon Copy のことです。
- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]>[32 デフォルトサブジェクト]を登録しておく、登録した件名で E メールが送信されます。設定については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- 送達確認機能を設定した場合は、CcやBccとして設定したメールアドレスにも、Toとして送信されます。送達確認機能については、「送達確認通知(MDN)を使う」(p.133)を参照してください。
- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[145 FROM 選択機能]が[あり]に設定され、ユーザーの名前とメールアドレスが登録されている場合は、<スタート>を押したあとに From 選択画面が表示されます。

受信側のコンピューターの例



■Cc、Bcc を設定する

メールの宛先に Cc や Bcc を設定する場合は、次の手順で操作します。

1. Eメール画面で、[Cc]または[Bcc]を押す



- CcやBccについては、(p.154)を参照してください。

2. メールアドレスを選択し、[閉じる]を押す



- アドレス帳の登録については、「アドレス帳にメールアドレスを登録する」(p.222)を参照してください。

5章 インターネットFAXを使う

■From を設定する

通常、From 欄には本機のメールアドレスが設定されますが、E メール画面の[From]を使うと、アドレス帳に登録しているメールアドレスや、キーボードから入力したメールアドレスを From 欄に設定できます。

From 欄を設定する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[145 FROM 選択機能]が[あり]に設定され、ユーザーの名前とメールアドレスが登録されている場合は、**<スタート>**を押したあとに From 選択画面が表示されます。
お買い上げ時、この機能は[なし]に設定されています。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. E メール画面で[From]を押す



2. アドレス帳から宛先を選択するか、 [キーボード]を押してメールアドレス を入力し、[閉じる]を押す



- [145 FROM 選択機能]が[あり]に設定されている場合に[From]を選択しないと、**<スタート>**を押したあとに、From 選択リストが表示されます。
表示されたリストで From を選択し、[OK]を押してください。

From 選択リスト



- 上の画面で[グローバル]を押すと、LDAP 検索画面を表示できます。

■件名を設定する

通常、件名欄には「IMAGE from Internet FAX」という定型文が設定されますが、E メール画面の[件名]を使うと、キーボード画面で件名を入力できます。

件名を設定する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]>[32 デフォルトサブジェクト]を登録しておく、通常はその件名で E メールが送信されます。設定については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。なお、[32 デフォルトサブジェクト]を登録している場合も、下記の操作で[件名]を押して件名を変更できます。

1. E メール画面で[件名]を押す



2. 件名を入力し、[OK]を押す



- 件名は、全角で 20 文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、「付録 C 文字入力のしかた」(p.277)を参照してください。
- 誤って入力した場合は、◀ または ▶ で削除する文字のあとにカーソルを移動し、[後退]を押します。カーソルの前の文字が 1 文字ずつ削除されます。

3. [閉じる]を押す



5章 インターネットFAXを使う

■宛先を確認する

設定している宛先を確認できます。

お知らせ

- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[125 宛先確認]で、常に宛先確認をしてから<スタート>を押すように設定できます。
このように設定されている場合の操作については、「宛先を確認する」(p.29)を参照してください。
また、ファンクション設定については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. [宛先確認:###]を押す

(###には、設定した宛先の数が表示されます。)



2. 確認するタブを押す



- 宛先を追加する場合は、次の操作をします。
 - ①[OK]を押す
手順1の画面が表示される
 - ②宛先を追加する
- 宛先を削除する場合は、次の操作をします。
 - ①宛先を選択して [削除]を押す
 - ②表示された画面で [はい]を押す
- キーボードから入力された宛先を変更する場合は、[キーボード]を押すと、キーボード画面を表示できます。

3. 確認が終わったら[OK]を押す

Memo

添付ファイルの形式やファイル名を設定する[ファイルタイプ/ファイル名]

Eメールを送信する場合は、添付ファイルのファイル形式やファイル名を変更できます。添付ファイルのファイル形式やファイル名を変更する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- コンピュータに対してEメールを送信する場合は、ファイル形式をPDFにして送信できます。PDF形式は、読み取った文書をコンピュータに対してEメール送信する場合に使うことができます。
- インターネットFAXに対してPDF形式を選択して送信しても、受信側のインターネットFAXでは、画像を印刷できず、エラーとなります。これは、インターネットFAXがPDFに対応していないためです。
- 添付ファイルのファイル名を変更しない場合、ファイル名は、自動的に「Image.tif」、または「Image.pdf」となります。

1. 原稿をセットする

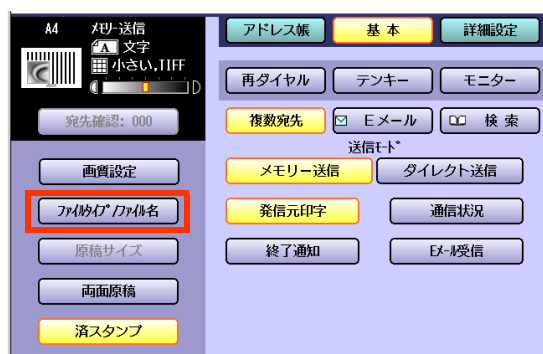
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

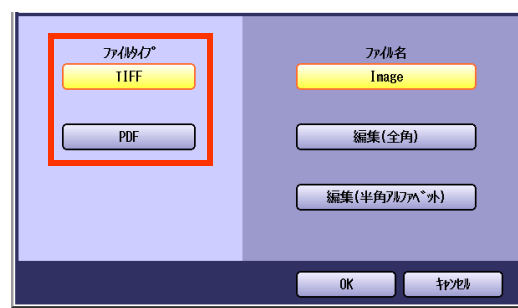
3. [基本]を押す



4. [ファイルタイプ/ファイル名]を押す



5. ファイルタイプを選択する



TIFF	TIFF(TIFF-F)形式で送信する場合に押します。
PDF	PDF形式で送信する場合に押します。 送信相手がコンピュータの場合にだけ使うことができます。

6. ファイル名を変更する場合は、[編集(全角)]または[編集(半角アルファベット)]を押す



Image	Image.tif, または Image.pdf の名前で送信する場合に選択します。
編集(全角)	ファイル名を日本語(漢字やひらがな)、全角の英数字に変更する場合に選択します。
編集(半角アルファベット)	ファイル名を半角の英数字に変更する場合に選択します。

7. ファイル名を入力し、[OK]を押す

- [編集(全角)]を押したとき



- [編集(半角アルファベット)]を押したとき



- ファイル名は、全角で 10 文字まで、半角で 20 文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、「付録 C 文字入力のしかた」(p.277)を参照してください。
- 誤って入力した場合は、 または で削除する文字のあとにカーソルを移動し、「後退」を押します。カーソルの前の文字が 1 文字ずつ削除されます。

8. メールアドレスを設定する



- 「メールアドレスを入力する」(p.142)を参照してください。

9. <スタート>を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、Eメールの送信が開始されます。

A3 サイズを E メールで送信する [E メール A3 送信]

受信側の受信記録能力(用紙サイズ)によっては大きい原稿を受信できないことがあります。このため、インターネット FAX では、通常、原稿は A4 サイズで送受信されます。

インターネット FAX 機能を使って、A3 サイズのように A4 より大きい原稿を送信する場合は、送信の前に、受信側の用紙サイズを確認してください。

受信側がそのサイズを受信できる場合は、[E メール A3 送信]を[オン]に設定すると、縮小せず、大きいサイズのままで送信できます。

お知らせ

- [EメールA3送信]を設定しない場合は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[O4 キーオペレーター専用]>[O1 システムの登録]>[141 LAN 縮小送信]の設定に従って、縮小して送信されます。縮小については、下表の「原稿サイズと送受信サイズ」を参照してください。
- ファンクション設定のLAN縮小送信については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス/Eメール機能設定」を参照してください。

□ 原稿サイズと送受信サイズ

インターネット FAX で A4 サイズより大きい原稿を送信する場合は、設定により、下表のように縮小して送信されます。

縮小するかどうかは、[詳細設定]の[Eメール A3送信]の設定と、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[O4 キーオペレーター専用]>[O1 システムの登録]>[141 LAN縮小送信]の設定状態によって異なります。

原稿サイズ	送受信サイズ		
	[E メール A3 送信]が [オン]	[E メール A3 送信]が[オフ]	
		[141 LAN 縮小送信]が [なし]	[141 LAN 縮小送信]が [あり]
A3	A3	B4	A4
B4	B4	B4	A4
A4	A4	A4	A4

1. 原稿をセットする

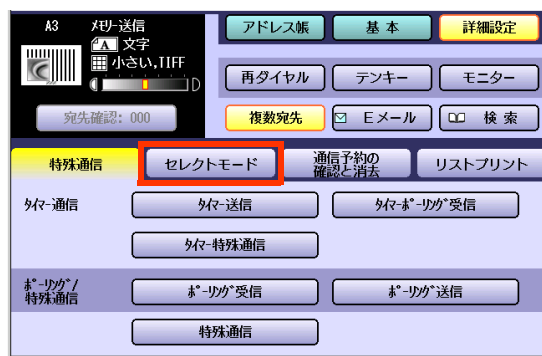
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

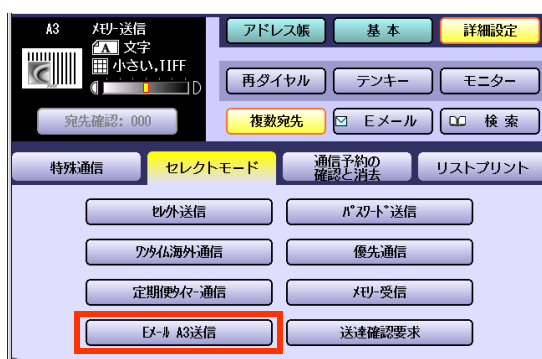
3. [詳細設定]を押す



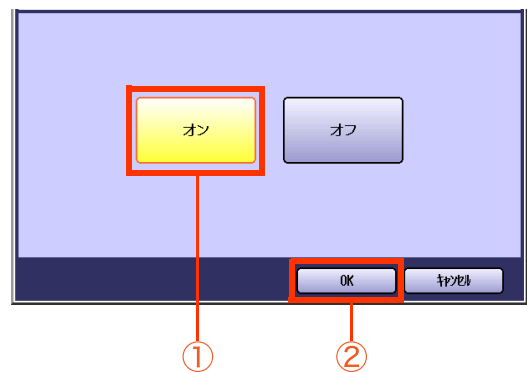
4. [セレクトモード]を押す



5. [Eメール A3 送信]を押す

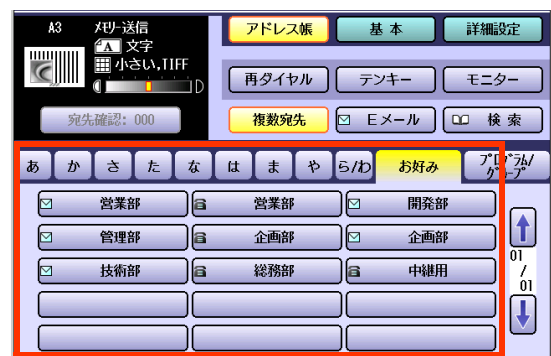


6. [オン]を押し、[OK]を押す



オン	読み取った原稿と等倍で送信されます。
オフ	ファンクション設定の [ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[14] LAN 縮小送信]の設定に従い、縮小して送信されます。

7. メールアドレスを設定する



- 「メールアドレスを入力する」(p.142)を参照してください。

8. <スタート>を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、Eメールの送信が開始されます。

送達確認を要求する (MDN) [送達確認要求]

送達確認要求を使うと、受信側からの送達確認メール(MDN 送達確認要求)によって、E メールが受信側に届いたかどうかを確認できます。

送達確認要求を設定する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- 送達確認要求の初期値は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [173 送達確認要求]で変更できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

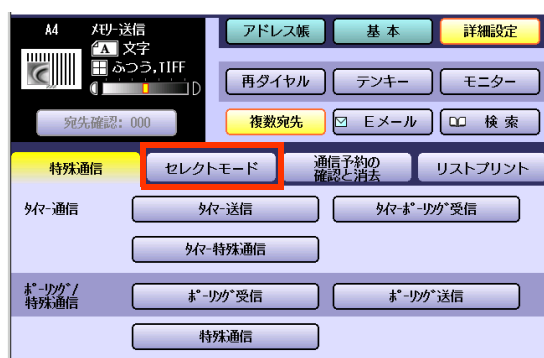
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

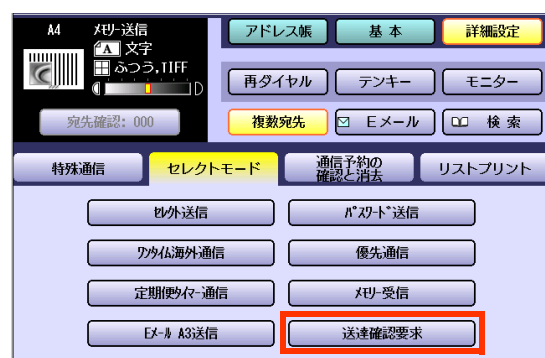
3. [詳細設定]を押す



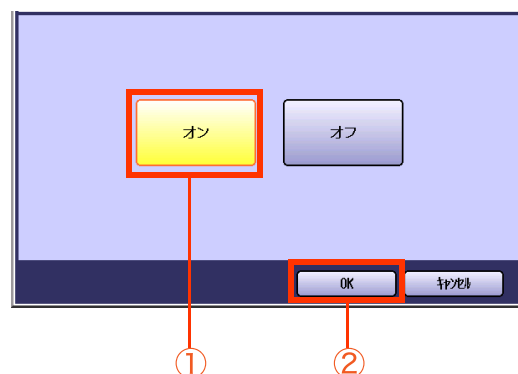
4. [セレクトモード]を押す



5. [送達確認要求]を押す



6. [オン]を押し、[OK]を押す



オン	送達確認通知(MDN)が送信されます。
オフ	送達確認通知(MDN)は送信されません。

7. メールアドレスを設定する



- 「メールアドレスを入力する」(p.142)を参照してください。

8. <スタート>を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、Eメールの送信が開始されます。

受信側にEメールが届くか、または開封されると、送達確認のEメールが届きます。

- 送達確認のEメールが届くタイミングは、相手側がインターネット FAX か、コンピューターかなどの条件によって異なります。

・インターネット FAX の場合

こちらからの E メールが届いた時点で、送達確認の E メールが送られます。

・コンピューターの場合

次の環境によって異なります。

受信側のサーバー

受信側のコンピューターの、メールアプリケーションソフトの種類や設定

Eメールを送信できないときは

送信したEメールを正常に送信できなかった場合は、メールサーバー(SMTPサーバー)からエラーメールが返送され、本機で印刷されます。

エラーメールには、エラーメッセージと1ページ目の画像が記載されており、送信できなかった内容を知ることができます。

エラーメールのプリント例(メールアドレスが間違っていた場合)

```
Received: from localhost (localhost) by ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp (8.6.12/3.4W3) with
internal id OAA24381; THU, 15 AUG 2005 14:52:57 +0900
Date: THU, 12 AUG 2005 14:52:57 +0900
From: Mail Delivery Subsystem <MAILER-DAEMON@ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Subject: Returned mail: User unknown
Message-Id: <200011120552.OAA243B1@ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
To: <fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp>

The original message was received at THU, 15 AUG 2005 14:52:54 +0900
from nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp [172.21.22.51]

----- The following addresses had delivery problems -----
<error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp> (unrecoverable error)

----- Transcript of session follows -----
.... while talking to nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp.:
>>> RCPT To:<error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
<<< 550 <error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>... User unknown
550 <error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>... User unknown

----- Original message follows -----
Return-Path: fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp
Received: from nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp (Internet FAX) (nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp [172.21.22.51]) by ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp (8.6.12/3.4W3) with SMTP id OAA24380 for <error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>; THU, 15 AUG 2005 14:52:54 +0900
Message-ID: <200011120552.OAA24380@ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Mime-Version: 1.0
Content-Type: image/tiff
Content-Transfer-Encoding: base64
Content-Disposition: attachment; filename="image.tif"
Content-Description: image.tif
X-Mailer: Internet FAX, MGCS
Date: THU, 15 AUG 2005 14:49:00 +0900
From: iFAX <fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Subject: IMAGE from Internet FAX
To: error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp
```

'09年07月01日(水)15時00分

宛先: InternetFAX01

発信: Ifax04

R:591

P:01/01

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAFORS LANE - BOOLE - DORSET - BH25 8 ER
TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC

18th January, 1972.

終了通知を使う [終了通知]

終了通知は、Eメール送信やファクス送信が終了したことを、お使いのコンピューターに知らせる機能です。

終了通知を設定する場合は、次の手順で操作します。

お願い

- この機能を使うためには、お使いのコンピューターにジョブステータスユーティリティをインストールし、終了通知を受信するための項目を設定しておく必要があります。詳しくは、『取扱説明書(セットアップユーザー編)』の下記を参照してください。

- ・ジョブステータスユーティリティのインストール:
「2章 ネットワーク環境へのインストール」の「個別にインストールする([基本ソフトウェア])」
- ・ジョブステータスユーティリティの設定:
「5章 コンピューターの設定」の「ジョブステータスユーティリティの設定」

1. 原稿をセットする

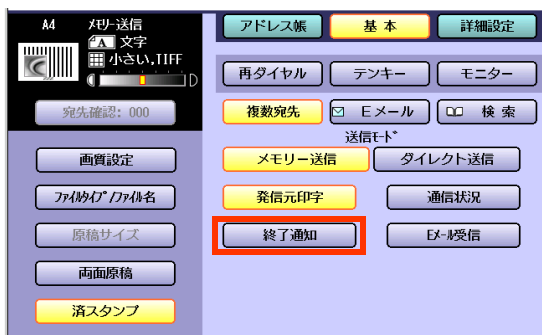
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

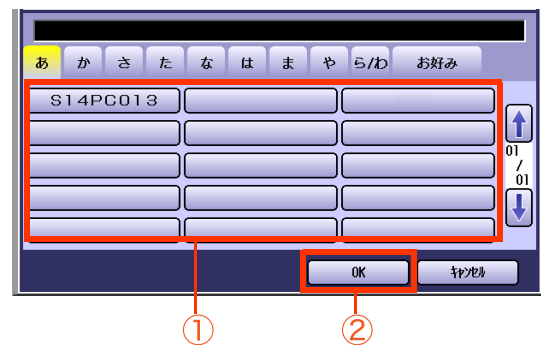
3. [基本]を押す



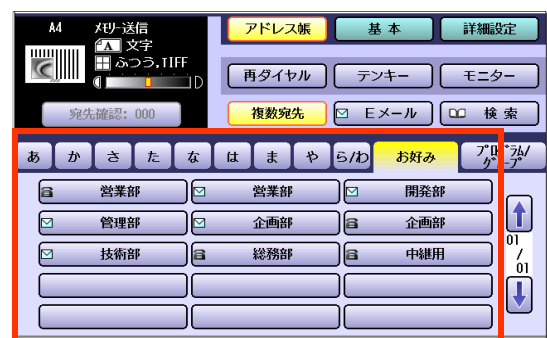
4. [終了通知]を押す



5. 終了通知を送信するコンピューターを選択し、[OK]を押す



6. メールアドレスを設定する



- 「メールアドレスを入力する」(p.142)を参照してください。

7. <スタート>を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、Eメールの送信が開始されます。

Eメール送信が終了すると、終了通知が設定したコンピューターに届きます。

E メールを受信する

本機を POP クライアントとしてネットワークに接続している場合は、自動受信、または手動受信で E メールを受信します。POP 受信サーバーからの受信のしかたは、ファンクション設定の POP に関する設定によって異なります。

■E メール受信の設定

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]の下記の項目の設定により、POP 受信のしかたを設定できます。

項目	設定
146 POP 取得間隔	POP 受信サーバーに受信メールの問い合わせを行う間隔を設定します。 ・ 0 ～ 60 分で設定します。 ・ 0 分に設定すると、E メールは自動取得されません。
147 POP 自動受信	POP 受信サーバーから E メールを自動的に受信するかどうかを設定します。 ・ [あり]に設定すると、POP 受信サーバーに E メールがあれば、自動的に E メールを受信し、印刷されます。 ・ [なし]に設定すると、受信メールの件数だけがディスプレイに表示されます。この場合は、手動で E メールを受信する必要があります。手動受信については、「E メールを手動で受信する」(p.169)を参照してください。
148 POP 受信後削除	E メールを受信したあと、POP 受信サーバーからメールを削除するかどうかを設定します。
149 POP エラー時削除	印刷できない形式の添付ファイルを受信した場合に、POP 受信サーバーからメールを削除するかどうかを設定します。

お知らせ

- 本機は、HTML 言語に対応していません。このため、HTML 形式の文書を受信した場合は、文字だけが印刷されます。
- POP に関するファンクション設定については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- プログラムダイヤルにPOP手動受信を登録しておくと、自局設定以外のユーザー名でPOP受信できます。詳しくは、「プログラムボタンに E メール 受信を設定する」(p.237)を参照してください。

■Eメールを自動受信する

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]で、[147 POP 自動受信]が[あり]に、[146 POP 取得間隔]が1～60分に設定されている場合は、定期的にPOP受信サーバーに対し、受信メールがあるかどうか問い合わせされます。

問い合わせ時にPOP受信サーバーにEメールがある場合は受信し、自動的に印刷されます。

■Eメールを手動で受信する

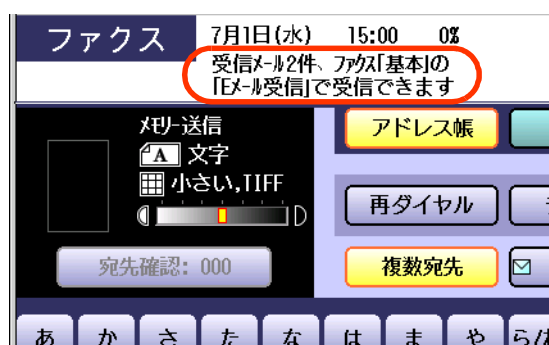
ファンクション設定の[147 POP 自動受信]が[なし]に設定されている場合は、手動でEメールを受信します。

お知らせ

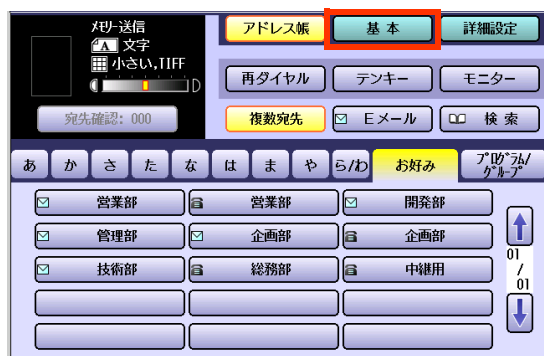
- POP取得間隔が1～60分に設定されている場合は、定期的にPOP受信サーバーに対し、受信メールがあるかどうか問い合わせられ、Eメールの件数がディスプレイに表示されます。

1. <ファクス>を押す

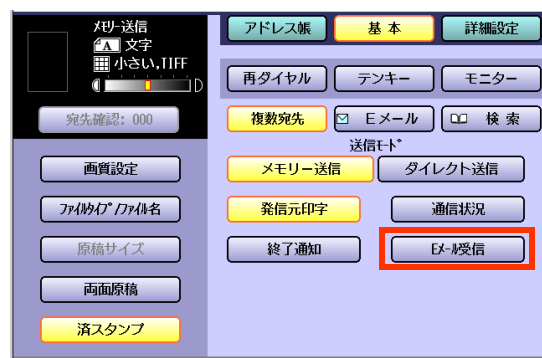
2. 受信メールがあることを確認する



3. [基本]を押す



4. [Eメール受信]を押す



POP 受信サーバーから E メールを受信し、印刷されます。

5章 インターネット FAX を使う

■プログラムボタンで E メールを受信する

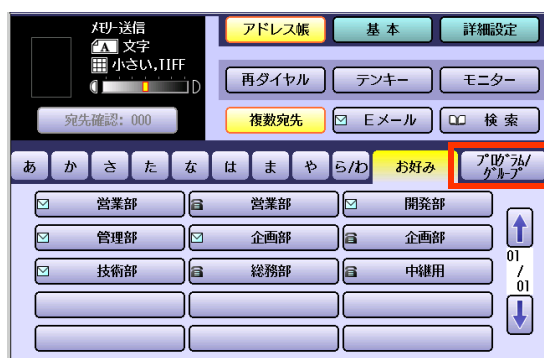
プログラムダイヤルに、POP受信サーバーのユーザー名とパスワードを登録しておく、POP受信サーバーに届いたメールを、プログラムダイヤルのボタンを押すだけで受信できます。

お知らせ

- プログラムダイヤルの登録時に、POP受信サーバーのパスワードを登録せずにおくと、POP受信のプログラムダイヤルのボタンを押したあとに、パスワード入力を要求されます。
セキュリティを重視する場合は、プログラムダイヤルの登録時にパスワードを未入力にしてください。
- プログラムダイヤルへのPOP受信の設定については、「プログラムボタンにEメール受信を設定する」(p.237)を参照してください。

1. <ファクス>を押す

2. [プログラム / グループ]を押す



3. POP 受信が設定されているプログラムボタンを選択する



4. キーボード画面が表示された場合:

- ① ユーザー名を確認し、[OK]を押す
- ② パスワードを入力し、[OK]を押す

キーボード画面が表示されない場合:

<スタート>を押す

受信した E メールが印刷されます。

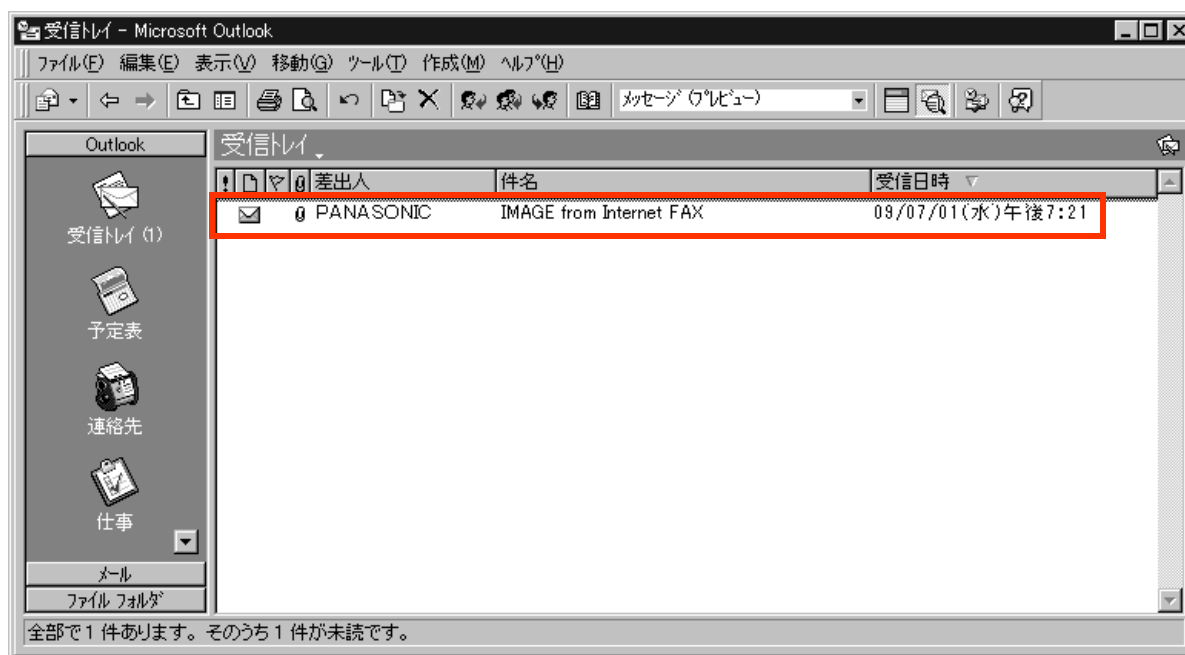
Memo

コンピューターで E メールを受信する

本機からコンピューター宛に E メールを送信した場合、および本機に届いた E メールをコンピューターに転送した場合の、コンピューターの操作について説明します。

■E メールを受信したコンピューターでは

以下は、インターネットFAXからのEメールを受信した場合のメールアプリケーションソフトの画面例です。



お知らせ

- 上の画面は、Microsoft®、Windows® operating system 日本語版で動作する電子メールソフトウェア「Microsoft Outlook®」の画面です。
他の E メール用アプリケーションソフトウェアをお使いの場合は、アプリケーションソフトウェア付属の説明書を参照してください。
- コンピューターで E メールを見る操作については、お使いのメールアプリケーションソフトやビューワーアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 上の画面では、インターネットFAXから送信されたEメールは、件名が「IMAGE from Internet FAX」となっています。本機から送信する場合、必要に応じて、件名を変更して送信できます。

■E メールを開くと

インターネット FAX からの E メールを開くと、次のような画面が表示されます。



- 上の画面は、Microsoft[®]、Windows[®] operating system 日本語版で動作する電子メールソフトウェア「Microsoft Outlook[®]」の画面です。
他の E メール用アプリケーションソフトウェアをお使いの場合は、アプリケーションソフトウェア付属の説明書を参照してください。
- 上の画面は、添付ファイルが TIFF-F 形式 (Tagged Image File Format with Modified Huffman coded image) のファイルの場合の例です。
この形式のファイルを開くためには、専用のソフトウェアが必要です。フリーソフトの TIFF ビューアー、TIFF コンバーターは、以下のホームページからダウンロードできます。
・ホームページ <http://panasonic.co.jp/pcc/info/dwnld.html>
- PDF 形式の添付ファイルを受信した場合は、Eメールの本文に、次のメッセージが表示されます。

「PDF 形式の画像データが添付されています。」

お願い

ダウンロードしたソフトウェアのインストール作業並びにインストール後の動作に関しましては、お客様の責任の元、お取り扱いいただきますようお願いいたします。当社では、これらのソフトウェアについての動作保証、インストール後の二次的損害に関しては、一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

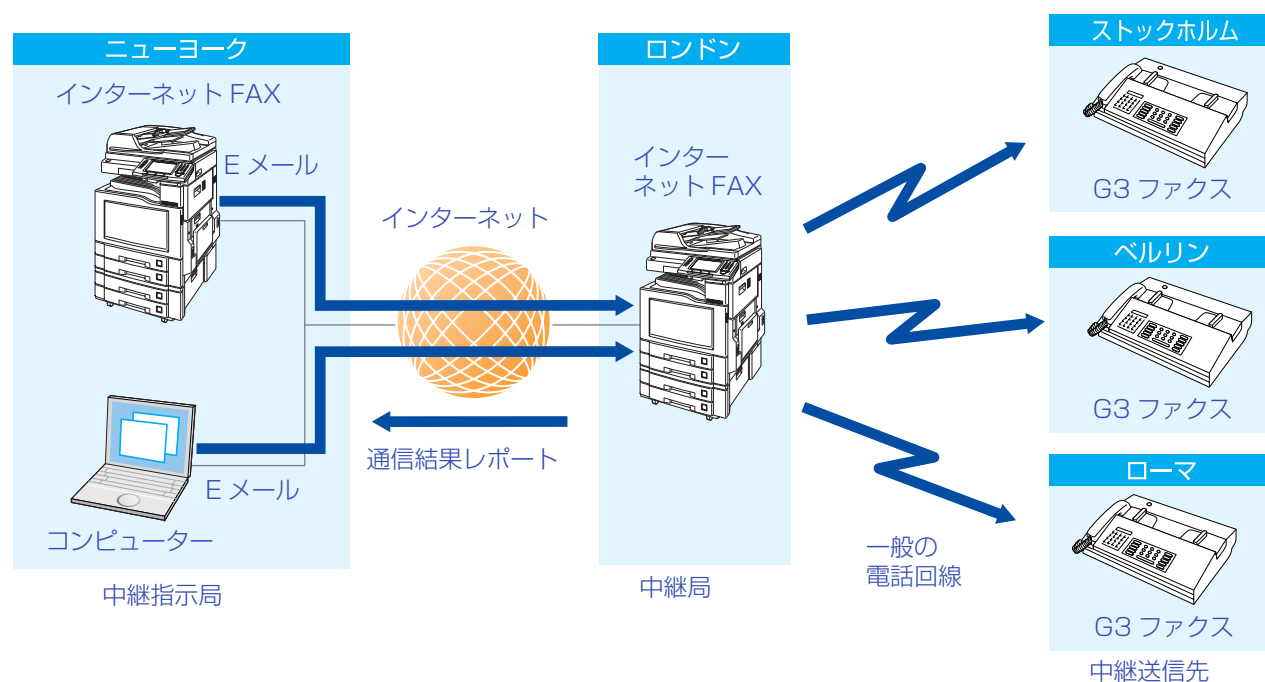
LAN 中継機能を使う

■ LAN 中継機能とは

LAN 中継機能を持つインターネット FAX 間でネットワークを組むことにより、インターネット FAX から送信したEメールを、中継局を経由して一般の電話回線に接続されたファクスへ送信できます(一般の電話回線に接続されたファクスは複数の宛先を指定できます)。

ここでは、LAN 中継によるネットワーク、およびファクスサーバーを使ったイントラネットを例に、LAN 中継のしくみを説明します。

□ 例 1: インターネット中継ネットワーク



中継指示局

中継局(LAN 中継機能を持つインターネット FAX)に対し、インターネット FAX 機能を使ってEメールを送信し、LAN 中継送信を指示します。

コンピューターからEメールを送信してLAN 中継送信の指示をすることもできます。

お知らせ

- LAN 中継送信指示の操作は、あらかじめアドレス帳に登録しておくとう便利です。
- コンピューターからEメールを送信する場合は、TIFF-F形式の画像ファイルを添付できます。

中継局でLAN 中継送信が終了すると、中継指示局にはLAN 中継送信をしたことを示す中継送信レポート(通信結果レポート)が、管理者用のコンピューターに対しては送信通知メールのEメールが届きます。

お知らせ

- 中継送信レポート(通信結果レポート)、送信通知メールについては、「LAN 中継送信の通信結果」(p.191)を参照してください。

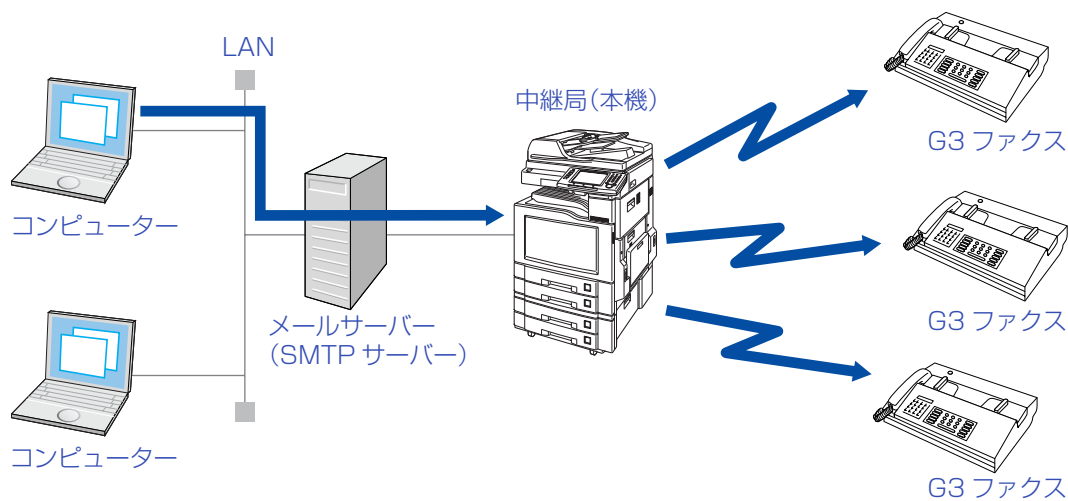
中継局

- 中継指示局から届いたEメールを、中継送信先(一般の電話回線に接続されたファクス:ストックホルム/ベルリン/ローマ)へファクス文書として送信します。中継送信先が複数指定されている場合は、同報送信します。
- LAN中継が終了すると、中継指示局に対してはLAN中継したことを示す中継送信レポート(通信結果レポート)を、中継指示局の管理者のコンピューターに対しては管理者宛に、送信通知メールが送信されます。

中継送信先

- 中継局から送信されたファクス文書を受信すると、1 枚目にメールヘッダーとメール本文、2 枚目以降に添付ファイル(TIFF(TIFF-F)) 形式で印刷されます。

□ 例 2: ファクスサーバーを利用したイントラネット中継



コンピューター

- メールサーバー(SMTP サーバー)に対し、LAN 中継送信の E メールを送信します。

お知らせ

コンピューターからの LAN 中継送信の操作については、「コンピューターから LAN 中継送信を指示する」(p.188)を参照してください。

メールサーバー(SMTP サーバー)

- LAN 中継で、本機に対し、E メールを転送します。

本機

- 一般の電話回線の G3 ファクスへ、ファクス文書として同報送信します。

5 章 インターネット FAX を使う

■ LAN 中継送信ネットワークの構築について

ここでは、中継同報ネットワークの構築について説明します。

□ 機器構成は？

中継ネットワークは、原則として次の機器で構成されます。

- インターネット FAX またはコンピューター(中継指示局)
- LAN 中継機能を持つインターネット FAX(中継局)
- 一般の電話回線上の G3 ファクス(中継送信先)

□ 通信料金は？

- 中継指示局から中継局まで、インターネット FAX で送信できるため、通信時間と電話料金(長距離市外電話料金)を節約できます。
- 中継局からの中継送信先へのファクス送信には電話料金が発生します。

□ 通信が完了したことを確認する方法は？

- 中継局で中継送信先へのファクス送信が完了すると、LAN 中継したことを示す中継送信レポート(通信結果レポート)が、中継局から中継指示局宛に送信されます。
- 中継局の管理者用のコンピューターに対しては、中継局から送信通知メールが送信されます。

□ 設定方法は？

- ネットワーク関連の項目の設定が必要です。詳しくは、「インターネット FAX を使うための準備」(p.138)を参照してください。
- LAN 中継送信を使うには、「中継局に必要なファンクション設定」(p.179)、「中継指示局に必要なファンクション設定」(p.181)に記載されている設定情報に従って必要な情報を設定してください。(次ページに LAN 中継送信ネットワーク例を記載します。)
- 本機を中継指示局として使用する場合は、中継局、中継送信先をアドレス帳に登録しておきます。詳しくは「LAN 中継同報指示をするためのアドレス帳の設定」(p.182)を参照してください。

お知らせ

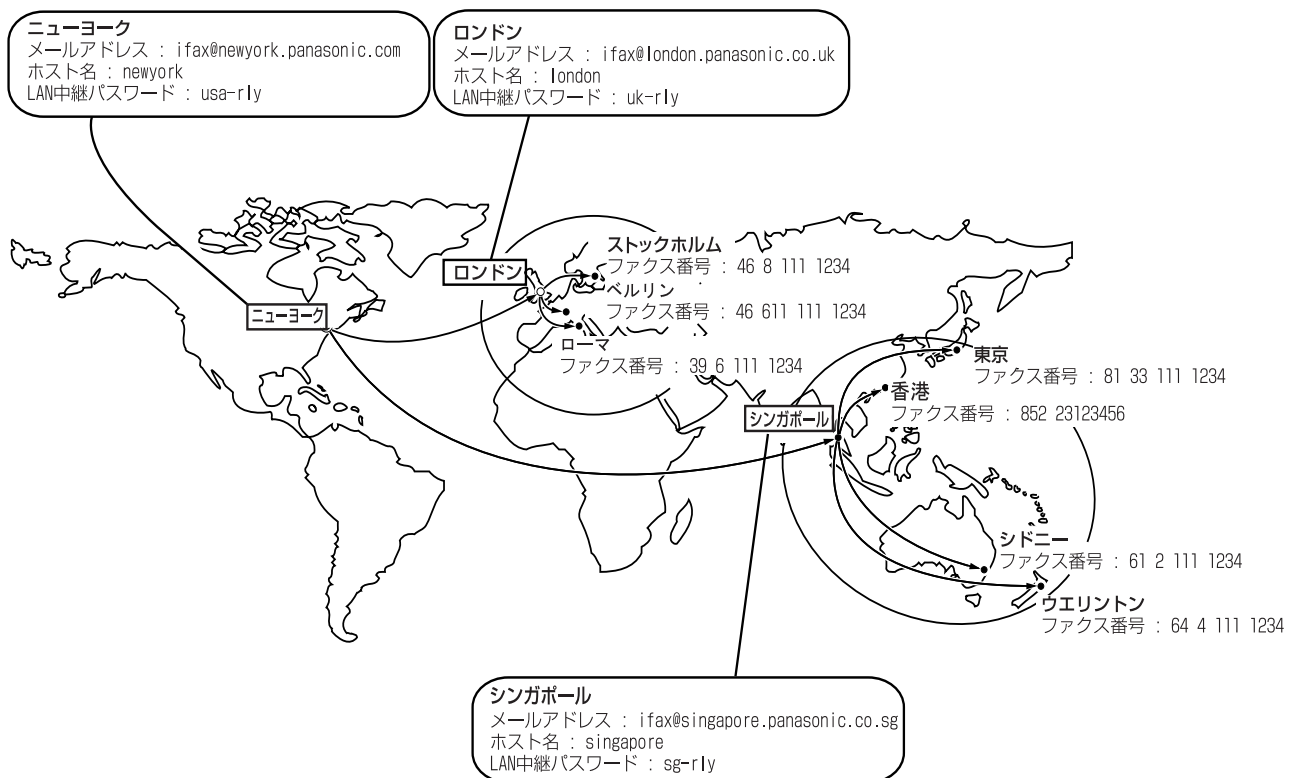
- 設定について、詳しくはサービス実施会社にお問い合わせください。

■LAN 中継送信ネットワーク例

ここでは、2 か所の中継局を利用した LAN 中継送信ネットワーク例を紹介します。

それぞれのファクスでの、ファンクション設定およびアドレス帳の設定については、「LAN 中継送信設定のファンクション設定とアドレス帳の設定サンプル」(p.178)、「中継指示局に必要なファンクション設定」(p.181)を参照してください。

- このネットワークでは、中継指示局(ニューヨーク)を起点とし、中継局(ロンドン、およびシンガポール)がネットワークで結ばれています。
- 中継局(ロンドン、シンガポール)から、一般の電話回線を経由して、中継送信先(ストックホルム、ローマ、東京、香港、シドニーなど)へファクス送信されます。
- このネットワークでは、2 か所の中継局を利用しています。
- 中継指示局(ニューヨーク)で、LAN 中継送信の指示をするだけで、中継局(ロンドン、およびシンガポール)を介して、ネットワーク内の中継送信先(ストックホルム、ローマ、東京、香港、シドニーなど)へ、ファクス文書を送信できます。



5 章 インターネット FAX を使う

■ LAN 中継送信設定のファンクション設定とアドレス帳の設定サンプル

□ 表 1: 中継指示局(ニューヨーク)

- 電話番号 : 212 111 1234
- メールアドレス (SMTP) : ifax@newyork.panasonic.com
- ホスト名 : newyork
- 中継用パスワード : usa-rly

宛先名	メールアドレス／電話番号	中継局アドレス
ロンドン	ifax@london.panasonic.co.uk	_____
ストックホルム	46 8 111 1234	[London Relay]
シンガポール	ifax@singapore.panasonic.co.sg	_____
東京	81 33 111 1234	[Singapore Relay]
ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	_____
シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	_____
ローマ	39 6 111 1234	[London Relay]
香港	85 2 23123456	[Singapore Relay]
シドニー	61 2 111 1234	[Singapore Relay]

□ 表 2: 中継局(ロンドン)

- 電話番号 : 71 111 1234
- メールアドレス (SMTP) : ifax@london.panasonic.co.uk
- ホスト名 : london
- 中継用パスワード : uk-rly

宛先名	メールアドレス／電話番号	中継局アドレス
ニューヨーク	ifax@newyork.panasonic.com	_____
ストックホルム	46 8 111 1234	[London Relay]
シンガポール	ifax@singapore.panasonic.co.sg	_____
東京	81 33 111 1234	[Singapore Relay]
シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	_____
ローマ	39 6 111 1234	[London Relay]
香港	85 2 23123456	[Singapore Relay]
シドニー	61 2 111 1234	[Singapore Relay]
ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	_____

□ 表 3: 中継局(シンガポール)

- 電話番号 : 65 111 1234
- メールアドレス (SMTP) : ifax@singapore.panasonic.co.sg
- ホスト名 : singapore
- 中継用パスワード : sg-rly

宛先名	メールアドレス／電話番号	中継局 アドレス
ロンドン	ifax@london.panasonic.co.uk	_____
ストックホルム	46 8 111 1234	[London Relay]
ニューヨーク	ifax@newyork.panasonic.com	_____
東京	81 33 111 1234	[Singapore Relay]
ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	_____
ローマ	39 6 111 1234	[London Relay]
香港	85 2 23123456	[Singapore Relay]
シドニー	61 2 111 1234	[Singapore Relay]
シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	_____

■ 中継局に必要なファンクション設定

本機を中継局として使う場合は、ファンクション設定で次の項目を設定します。

項目		必要なファンクション設定
1	[01 システムの登録]> [142 LAN 中継機能]	LAN 中継送信機能を設定します。 ・ [なし] LAN 中継送信機能は使えません。 ・ [あり] LAN 中継送信機能が使えます。
2	[01 システムの登録]> [143 LAN 中継結果返送]	通信結果レポートを中継指示局へ返送するかどうかを設定します。 ・ [なし] 通信結果レポートは返送されません。 ・ [全通信] 送信できた場合、できなかった場合、どちらの場合も通信結果レポートが返送されます。 ・ [異常時] 送信できなかった場合だけ、通信結果レポートが返送されます。

5 章 インターネット FAX を使う

項目	必要なファンクション設定
3 [00 自局情報の登録]> [40 中継用パスワード 01] ~ [44 中継用パスワード 05]	<p>中継送信時の中継許可用パスワードです。10 文字以内のパスワードを 5 種類まで登録できます。</p> <p>LAN 中継をする場合は、アドレスの先頭にパスワードを入れて送信します。アドレスの構文については「コンピューターからの LAN 中継送信指示の操作」(p.189)を参照してください。(p.189 の例では、中継用パスワードは「sg-rly」)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中継用パスワードは、LAN 中継同報のネットワーク上の関係者だけに知らせてください。 ●G3 増設ユニット (DA-FG403)、または G4 通信ユニット (DA-FG323) を装着している場合は、中継用パスワードの登録時に、回線を選択します。 ●LAN 中継用パスワードはメールのヘッダー部分に含めて送信されます。このため、E メールやインターネット FAX で使っているパスワードとは異なるものを登録することをお勧めします。 このように登録することで、インターネット FAX を受信したときに、LAN 中継用パスワードを容易に識別できます。 ●LAN 中継用パスワードには、以下の特殊文字を登録しないでください。 (,) , < , > , [,] , : , ; , @ , \ , . , , , " ,
4 [00 自局情報の登録]> [45 中継許可ドメイン名 01] ~ [54 中継許可ドメイン名 10]	<p>LAN 中継同報指示を許可するドメイン名 (30 文字まで) を入力します。中継許可ドメイン名は 10 種類まで登録できます。</p> <p>例： 01: panasonic.co.jp 02: abc.iFax.com 03: panasonic.com</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第三者が LAN 中継局送信にアクセスできないようにするため、ネットワークセキュリティを設定してください。すべての LAN 中継局送信通知のために、中継許可ドメイン名と管理者のメールアドレスを入力してください。 ●ドメイン名がひとつも設定されていない場合、本機では、すべてのドメイン名からの LAN 中継指示を受け付けます。
5 [00 自局情報の登録]> [30 管理者メールアドレス]	<p>管理者のメールアドレスを登録します。 (管理者 = LAN 中継同報のシステム / コストの管理者)</p> <p>[30 管理者メールアドレス] を登録しておく、と、本機が中継指示局からの中継同報指示を受信するたびに、次のような通知が E メールで送信されます。</p> <p>(Sender : 中継指示局のメールアドレス) (Receiver : 中継送信先の電話番号)</p>

お知らせ

- ファンクション設定の操作については、『取扱説明書 (ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス / E メール機能設定」を参照してください。

■中継指示局に必要なファンクション設定

本機を中継指示局として使う場合は、ファンクション設定で次の項目を設定します。

項目		必要なファンクション設定
1	[01 システムの登録]> [140 LAN 中継送信指示]	本機を中継指示局として使う場合は、[あり]を選択します。 ・ [なし] LAN 中継送信指示をしない場合を選択します。 ・ [あり] LAN 中継送信指示をする場合を選択します。

■中継局のアドレス帳設定

中継局をアドレス帳に設定する場合は、宛先のメールアドレスにホスト名と中継用パスワードを登録する必要があります。メールアドレスの登録については、「アドレス帳にメールアドレスを登録する」(p.222)を参照してください。

入力例: **sg-rly@singapore.panasonic.co.sg**

入力例	説明
sg-rly	中継用パスワードを入力します(中継局の自局情報の、インターネット登録の内容と合わせる)。
@singapore.panasonic.co.sg <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> └───┘ └───┘ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> ホスト名 ドメイン名 </div>	DNS サーバーへ登録されたホスト名とドメイン名が入ります。

お知らせ

- LAN 中継送信が完了すると、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]>[30 管理者メールアドレス]で登録している中継局の管理者のコンピューターへ、送信通知メールが返送されます。
送信通知メールには、通信結果レポートとして中継結果が記載されています。このEメールにより、中継結果を確認できます。

■ LAN 中継同報指示をするためのアドレス帳の設定

本機を中継指示局として使用する場合は、あらかじめ中継送信先の電話番号と、中継局のメールアドレスをアドレス帳に設定しておく便利です。

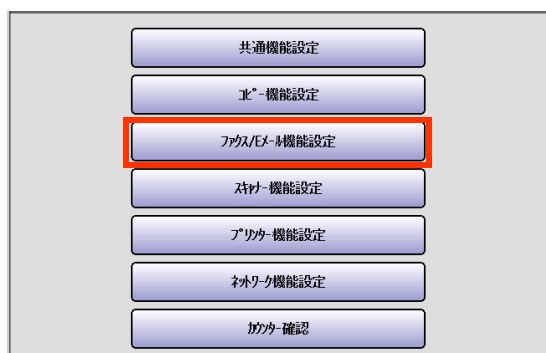
お知らせ

- ひとつのアドレス帳に登録できる中継送信先は 1 か所だけです。
LAN 中継送信で同報をする場合は、中継送信先をそれぞれ別のアドレス帳に登録し、グループダイヤルに設定しておいてください。グループダイヤルについては、「グループダイヤルを登録する」(p.231)を参照してください。
- アドレス帳へ LAN 中継送信指示を登録するには、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録]で、[104 アドレス帳ダイヤル情報]、および[140 LAN 中継送信指示]が[あり]に設定されている必要があります。設定については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照ください。
- アドレス帳の登録については、「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.213)を参照してください。

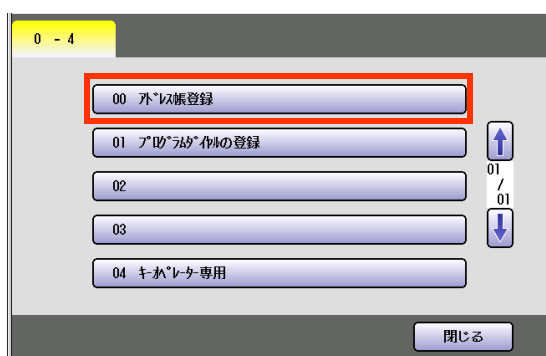
1. <ファンクション>を押す



2. [ファクス/Eメール機能設定]を押す



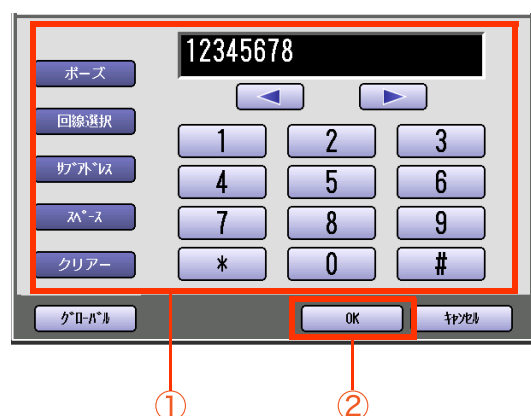
3. [00 アドレス帳登録]を押す



4. [01 アドレス帳登録(電話)]を押す



5. 電話番号を入力し、[OK]を押す



- [クリア]を押すと、電話番号を 1 文字ずつ消去できます。
- 電話番号の入力については、「電話番号を入力する」(p.20)を参照してください。

6. 宛先名を入力し、[OK]を押す



- 宛先名は、20 文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、「付録 C 文字入力のしかた」(p.277)を参照してください。

7. ボタン名を入力し、[OK]を押す



- ボタン名は、10 文字まで入力できます。

8. 検索文字を入力して、[OK]を押す



- 検索文字は、10 文字まで入力できます。
- 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です（[あ]～[ら/わ]の仕分けにも使われます）。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。
- 英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。ただし、英数字は検索文字としては使用できません。

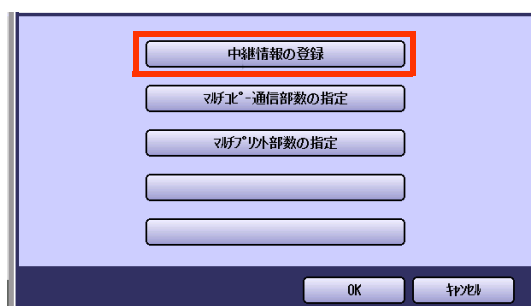
9. [お好み]に宛先を表示するかどうかを選択する



はい	[お好み]に宛先を表示するときに押します。
いいえ	[お好み]に宛先を表示しない場合に押します。

- [お好み]に登録できる宛先は 15 宛先です。すでに 15 宛先登録されている場合、上の画面は表示されません。

10. [中継情報の登録]を押す



11. [LAN 中継の登録]を選択し、[OK]を押す



- [LAN 中継の登録]は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[140 LAN 中継送信指示]が[あり]に設定されている場合に表示されます。

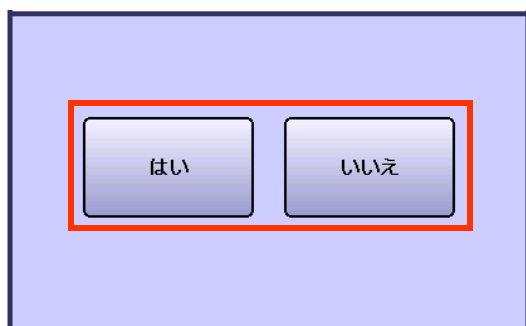
5章 インターネットFAXを使う

12. 中継局を選択し、[OK]を押す



- 設定できる宛先は 1 宛先だけです。
- メールアドレスの設定については、「メールアドレスを入力する」(p.142)を参照してください。

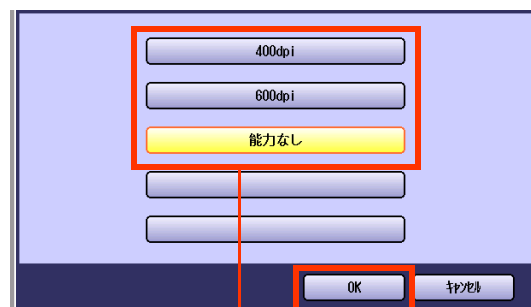
13. A3 サイズの原稿を送信するときに B4 サイズに縮小するかどうかを選択する



はい	A3 サイズが B4 サイズに縮小して送信されます。
いいえ	A3 サイズのまま送信されます。

- 相手の能力に合わせて設定します。

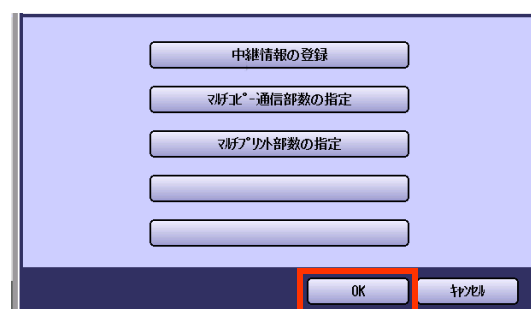
14. 相手側の能力を設定し、[OK]を押す



400dpi	受信側が 400dpi で受信できる場合に押します。
600dpi	受信側が 600dpi で受信できる場合に押します。
能力なし	受信側が 600dpi、400dpi どちらも受信できない場合に押します。

- 相手の能力に合わせて設定します。
- [600dpi]または[400dpi]を選択した場合、受信側の機種により、正常に受信できない場合があります。
- [能力なし]に設定されている宛先を含めて複数の宛先を指定した場合、すべての宛先が[能力なし]に設定されます。
([600dpi]または[400dpi]の設定は解除されます。)

15. [OK]を押す



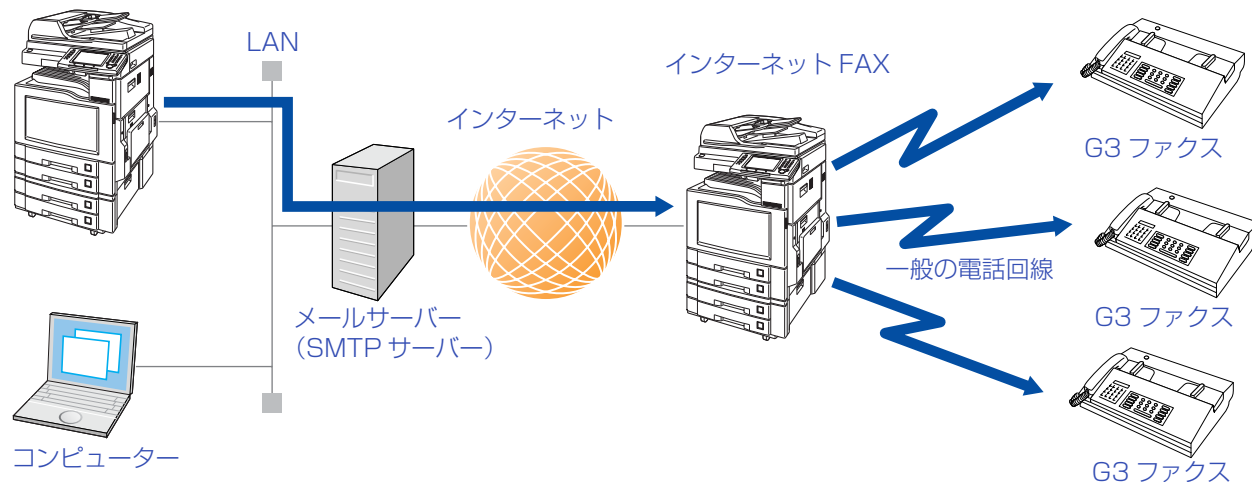
- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、手順 5 からの操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

Memo

LAN 中継送信を指示する [LAN 中継同報指示]

ネットワーク上の中継局を経由して、一般の電話回線のファクスに送信できます。

インターネット FAX



お知らせ

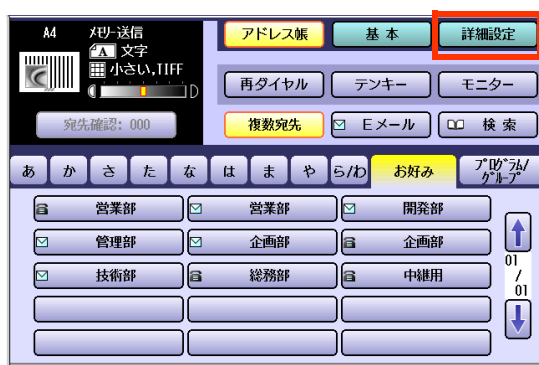
- アドレス帳に LAN 中継同報指示の機能をあらかじめ登録しておく、下記の操作をせず、アドレス帳の宛先を指定するだけで LAN 中継同報指示ができます。
アドレス帳への登録のしかたは、「LAN中継同報指示をするためのアドレス帳の設定」(p.182)を参照してください。

1. 原稿をセットする

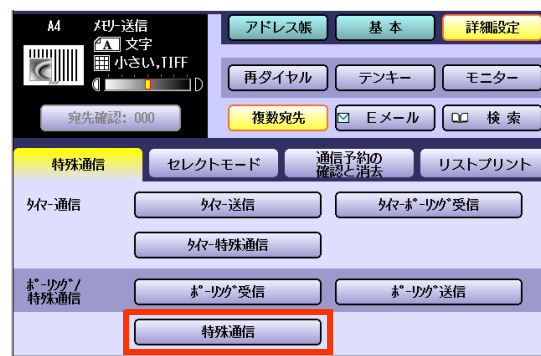
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(p.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

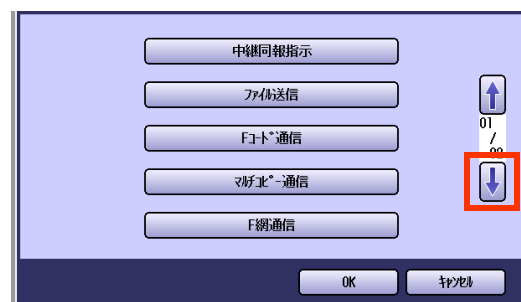
3. [詳細設定]を押す



4. [特殊通信]を押す



5. ↓を押す



6. [LAN 中継同報指示]を押す



- [LAN 中継同報指示]は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[140 LAN 中継送信指示]が[あり]に設定されている場合に選択できます。

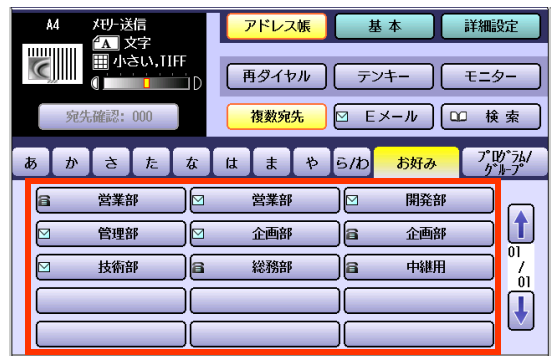
7. アドレス帳から中継局を選択するか、または中継局用のメールアドレスを入力する



- 中継局として登録できる宛先は 1 か所だけです。
- メールアドレスの設定については、「メールアドレスを入力する」(p.142)を参照してください。

8. <スタート>を押す

9. 中継送信先を選択する



- 宛先の指定については、「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。
- 中継送信先として登録されている複数の宛先を選択できます。

10. <スタート>を押す

中継局へ、中継送信先の電話番号と共にEメールが送信されます。

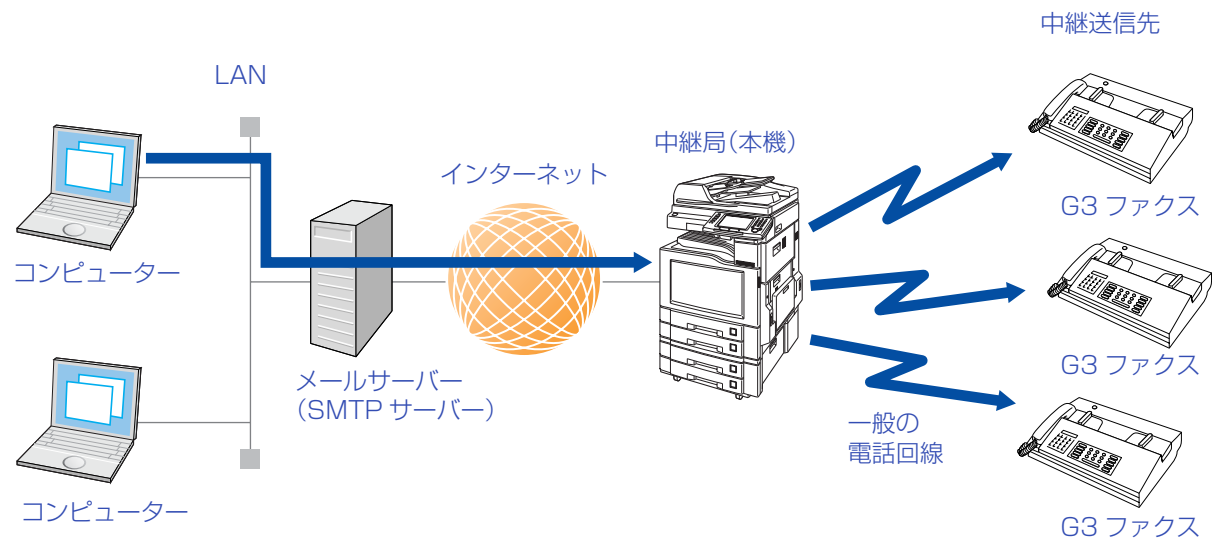
中継局から中継送信先への送信が完了すると、通信結果レポートが届きます。

お知らせ

- 正常に送信できなかった場合は、メールサーバー(SMTPサーバー)からエラーメールが届き、本機で印刷されます。エラーメールには、エラーメッセージと、1ページ目の画像が記載されており、送信できなかった内容を知ることができます。詳しくは、「Eメールを送信できないときは」(p.166)を参照してください。

コンピューターから LAN 中継送信を指示する

メールアプリケーションソフトを使って TIFF-F 形式のファイルを添付した E メールを送信し、メールサーバー(SMTP サーバー)を経由して複数の宛先のファクスへ同報送信できます。



中継局（本機）でこの機能を使うためには、事前に、次ページの設定が必要です。

■コンピューターからの LAN 中継送信指示の操作

コンピューターから LAN 中継送信指示をする場合、メールアプリケーションソフトの宛先(To)に相当するフィールドに、次のように入力します。

入力例: **sg-rly#8133111234@singapore.panasonic.co.sg**

入力例	説明
sg-rly	中継用パスワードを入力します(中継局の自局情報の、インターネット登録の内容と合わせる)。
#8133111234	電話番号を入力します。 #と@の間は電話番号のほか、アドレス帳の情報を入力することもできます。 ● PBX(交換機)などを利用して内線から外線へ発信する場合にポーズが必要なときは、外部アクセス番号のあとに「-」(ハイフン)を入力し、そのあとに中継送信先の電話番号を入力してください。
@singapore.panasonic.co.sg <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> └───┘ └───┘ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> ホスト名 ドメイン名 </div>	DNS サーバーへ登録されたホスト名とドメイン名が入ります。

お知らせ

- LAN 中継送信が完了すると、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]>[30 管理者メールアドレス]で登録している中継局の管理者のコンピューターへ、送信通知メールが返送されます。
送信通知メールには、通信結果レポートとして中継結果が記載されています。このEメールにより、中継結果を確認できます。

5 章 インターネット FAX を使う

■ 便利なアプリケーションソフトについて

コンピューターから E メールを送信する場合の便利なアプリケーションソフトについて説明します。
ここで説明する TIFF コンバーター、および MAPI アプリケーションは、以下の URL からダウンロードできます。

<http://panasonic.co.jp/pcc/info/dwnld.html>

□ TIFF コンバーター

TIFF コンバーターは、アプリケーションソフトのファイルなどを、インターネット FAX に対応した TIFF (TIFF-F) 形式へ変換するアプリケーションソフトです。

Microsoft® Word や Microsoft® Excel® などで作成したファイル(*.doc 形式、*.xls 形式のファイル)をそのままを E メールに添付してインターネット FAX に送信することはできません。

Microsoft® Word や Microsoft® Excel® などで作成したファイルを、コンピューターからインターネット FAX に送信する場合は、あらかじめ TIFF コンバーターを使って、インターネット FAX に対応した TIFF (TIFF-F) 形式のファイルへ変換する必要があります。

お知らせ

- 変換時の解像度は、通常 200dpi を選択してください。400dpi は、あらかじめ受信側に 400dpi の処理能力がある場合に使用します。

□ MAPI アプリケーション

MAPI アプリケーションソフトは、TIFF (TIFF-F) 形式に変換したあと、MAPI を使って E メールアプリケーションを自動的に起動するアドインプログラムです。

MAPI に対応した E メールアプリケーションと連動することにより、Microsoft® Word や Microsoft® Excel® などのアプリケーションソフトから、印刷と同じような操作で、インターネット FAX へ送信できます。

LAN 中継送信の通信結果

LAN 中継送信を使用した場合、中継局から中継指示局と管理者のコンピューターに対し、以下の 2 つのレポートが送信されます。

このレポートを受信した中継指示局と管理者のコンピューターでは、次の内容を確認できます。

- 中継指示局..... 指示した LAN 中継送信の通信結果
- 管理者のコンピューター 通信ログ

□ 中継送信レポート(通信結果レポート)

終了すると、中継指示局には LAN 中継送信指示したことを示す中継送信レポート(通信結果レポート)が送信されます。

お知らせ

- 中継送信レポート(通信結果レポート)は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [143 LAN 中継結果返送]が[全通信]または[異常時]に設定されているときに送信されます。

To: ifax02@panasonic.com
 From: "Panasonic01" <ifax01@panasonic.com>
 Date: Wed, 1 July 2009 01:02:00 +0900
 Subject: Confirmation from Internet FAX

***** 通信結果レポート ***** 2009年07月01日 ***** 01時02分 *****

通信種別 = 中継転送 受付=07月01日 01時02分 完了=07月01日 01時02分

受付番号=001

宛先 NO.	状況	ボタン名称	相手先	枚数	通信時間
(1) 001	R-OK		0334919191	001/001	00:00:15
(2)			パナソニックコミュニケーションズ	-	-
***** パナソニックコミュニケーションズ ***** 0334919191 *****					
'09年07月01日(水)01時02分 宛先: InternetFAX02 発信: Panasonic01 R:591 P:01/01					
(3)	 THE SLEREXE COMPANY LIMITED SAFORS LANE - BOOLE - DORSET - BH25 8ER TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456				

No.	説明
(1)	LAN 中継同報の宛先順に 001 から順に番号がつきます。
(2)	通信結果です。
(3)	送信した原稿が記載されます。

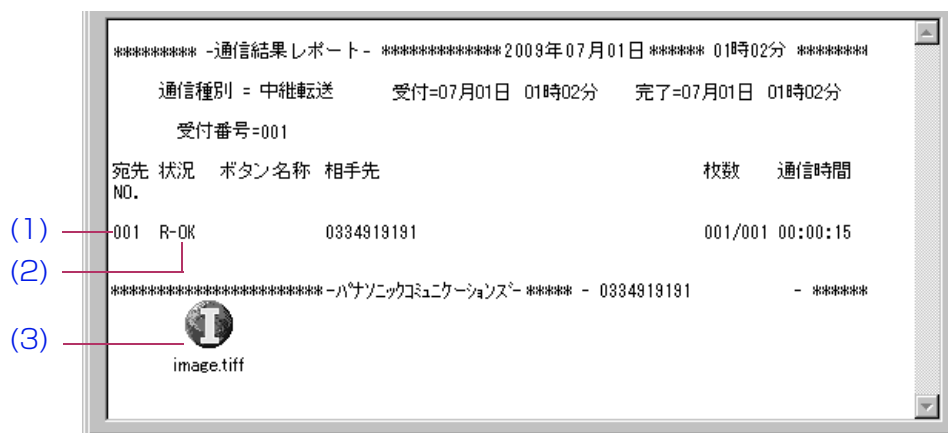
5 章 インターネット FAX を使う

□ 送信通知メールの E メール

中継局で LAN 中継送信が終了すると、中継局に登録されている管理者のコンピューターへ、LAN 中継同報通信の結果が、送信通知メールとして返送されます。

お知らせ

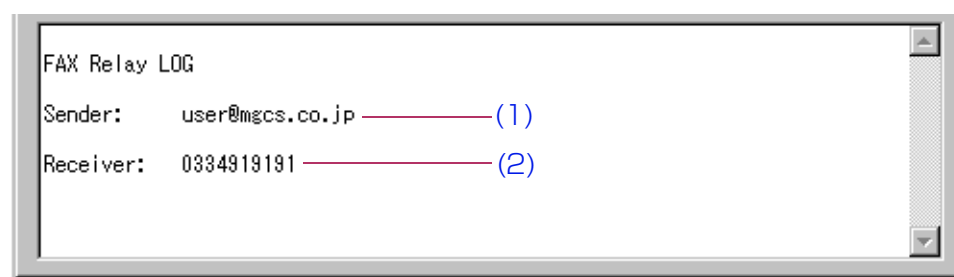
- 管理者のコンピューターは、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [00 自局情報の登録] > [30 管理者メールアドレス]で登録します。



No.	説明
(1)	LAN 中継同報の宛先順に 001 から順に番号がつきます。
(2)	通信結果です。
(3)	送信した原稿が添付されます。

□ 管理者宛の E メール

中継局で LAN 中継送信が終了すると、中継指示局の管理者用のコンピューターに対しては送信通知の E メールが届きます。



No.	説明
(1)	送信者のインターネット FAX またはコンピューターのメールアドレスです。
(2)	中継送信先の電話番号です。

知っておくと便利な用語

■DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)

DHCPとは、インターネットFAXとクライアントのコンピューターにIPアドレスを自動的に割り当てるためのプロトコルです。インターネットFAXはDHCPを使うとネットワークに接続するたびに自動的に固有のIPアドレスを取得でき、ネットワーク管理者のIPアドレス管理の手間が省けるようになります。

ネットワークにログオンしたインターネットFAXに対してDHCPサーバーがマスターリストから選んだIPアドレスを割り当てます。

本機でダイレクトインターネットFAXを使うには、DHCPは使わずに、ネットワーク管理者によって設定済みのIPアドレスおよび環境設定を使う必要があります。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。

■SMTP 認証

世界規模の電子的なインフラストラクチャーとしてインターネットが登場して以来、通信機器市場は飛躍的に伸びています。しかし、インターネットのセキュリティを高める技術は、まだ確固としたものが出ていません。この理由はいくつかあります。

1. インターネットメールはマルチホップ(雑多なプロトコル、雑多なデバイス)の構造体であり、通信路をベースとしたセキュリティは一般的に実現が困難です。
2. インターネットFAXの標準規格が推奨する独占的な技術がありません。
3. システムの改善と健全化の標準的なソリューションとして今提供されているのは、暗号技術ベースの認証システムです。この認証記述はSASL(Simple Authentication and Security Layer)のような認証機構に統合されています。

インターネットのサービスプロバイダー(ISP)は、多くが何らかの認証方式を採用しています。本機が提供する認証オプションは以下のとおりです。

1. SMTP 認証拡張サービス(SMTP AUTH)
接続時にユーザー名とパスワードによる認証が行われるため、特定ユーザー以外の送信や中継を防止できる方法です。
2. APOP 認証サービス(APOP)
Eメールの送受信に使われるパスワードを暗号化する方法です。
3. POP before SMTP
送信前に指定したPOP3サーバーにあらかじめアクセスさせることにより、メールサーバーの使用許可を与える方法です。

Memo

6章

通信予約ファイル进行操作する

この章では、通信予約ファイルの確認や、消去のしかたについて説明しています。

通信予約ファイルを確認する [通信予約の確認]

タイマー送信を指示したり、通信中に次の通信を指示すると、送信文書と通信の指示は、通信予約ファイルとして、メモリー内に蓄積されます。

通信予約ファイルはタッチパネルに表示されるリストで確認でき、必要に応じて通信予約レポートとして印刷できます。

ここでは、通信予約ファイルを表示する操作、通信予約レポートを印刷する操作、および通信予約レポートの見かたを説明します。

■通信予約ファイルを確認する

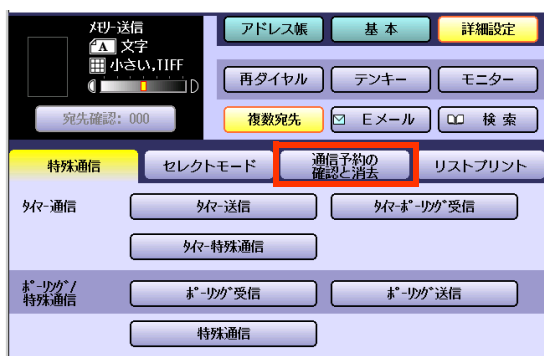
タッチパネルに通信予約ファイルを表示する場合は、次の手順で操作します。

1. <ファクス>を押す

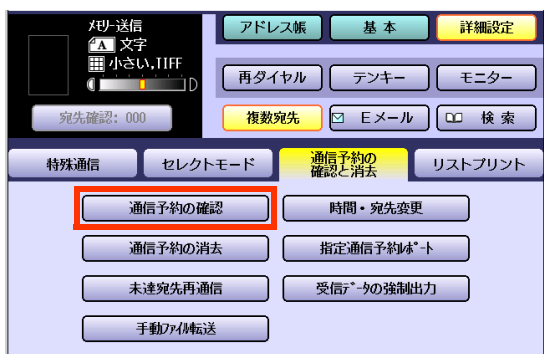
2. [詳細設定]を押す



3. [通信予約の確認と消去]を押す



4. [通信予約の確認]を押す



5. ↑ または ↓ を押し、確認する通信予約ファイルを表示する



6. 通信予約レポートを印刷する場合は、[リストプリント]を押す



7. 確認が終了したら、[OK]を押す



- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

■通信予約レポートの見かた

通信予約レポートに表示される項目は次のとおりです。

【レポート例】

通 信 予 約 レ ポ ー ト			01 ページ (1)		
			DP-C3040ZAJVxxxxxAZ (2)		
			パナソニック (3)		
			09 年 07 月 01 日 15 時 00 分 (4)		
(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
受付番号	受付日時	通信種別	処理状況	指定時刻	パスワード
011	07-01 14:58	送 信	時刻指定中	23 : 30	
	宛先	(001カ所)			
	直接 : (回線) 12345678			

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	通信予約レポートのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	通信予約レポートを印刷した日時です。
(5)	受付番号	受け付け順につけられる番号です。
(6)	受付日時	通信予約を受け付けた日時が記載されます。
(7)	通信種別	次のいずれかが記載されます。 [送信]、[ファイル蓄積]、[パスワード送信]、[ポーリング送信]、 [ポーリング受信]、[中継指示]、[マルチコピー通信]、[F コード 送信]、[F 網通信]、[ファイル送信]
(8)	処理状況	通信の現在の状況が記載されます。 [時刻指定中]、[定期便指定中]、[予約中]、[中継依頼中]、[再ダイヤル待ち]、[再通信待ち]
(9)	指定時刻	タイマー通信の場合に、通信の予約時刻が表示されます。
(10)	パスワード	パスワードを使った通信の場合に、パスワードが記載されます。 ポーリング受信で時刻指定をしている場合、パスワードなしのときは、「----」と記載されます。

通信予約ファイルを変更する [時間・宛先変更]

メモリー内に蓄積されているタイマー通信予約ファイルに対し、宛先や通信時刻の設定を変更できます。

お知らせ

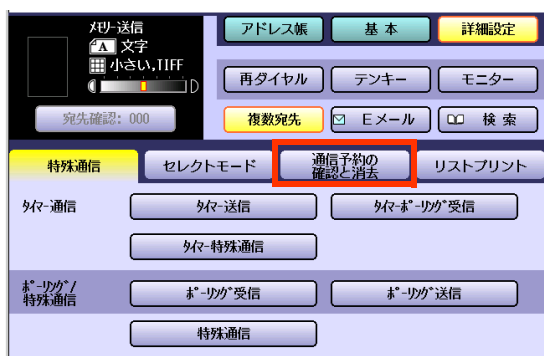
- 通信中のタイマー通信予約ファイルは変更できません。

1. <ファクス>を押す

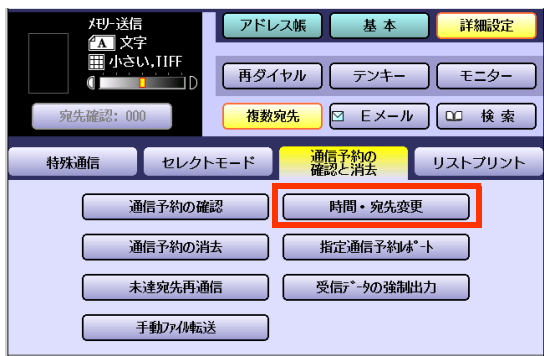
2. [詳細設定]を押す



3. [通信予約の確認と消去]を押す



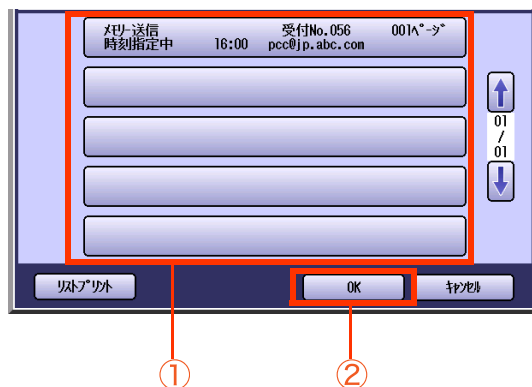
4. [時間・宛先変更]を押す



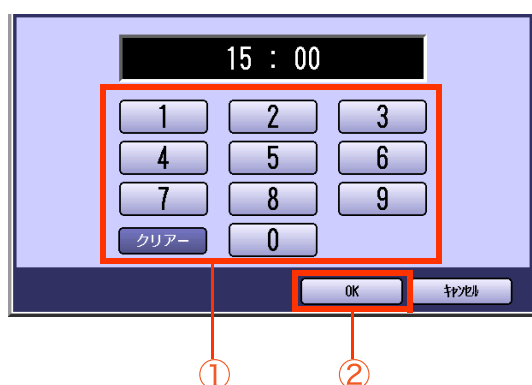
5. ↑ または ↓ を押して、変更する通信予約ファイルを表示する



6. 設定を変更する通信予約ファイルを選択し、[OK]を押す



7. 通信時刻を変更し、[OK]を押す



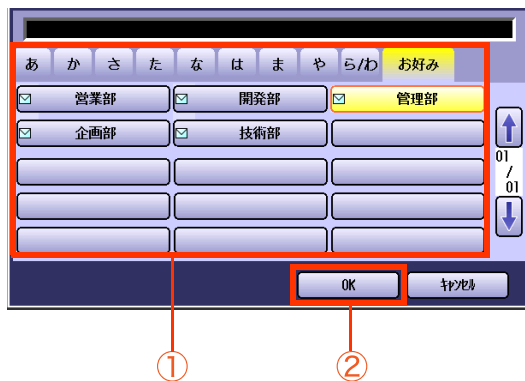
- 時刻を変更しない場合は、そのまま[OK]を押して手順 8 へ進みます。
- [クリア]を押すと、入力した時刻を1文字ずつ削除できます。

8. 宛先を変更する



- 宛先を変更する場合は、[削除]を押して宛先を削除してから、[追加]を押し、手順 9 に進みます。
- 宛先を追加する場合は、[追加]を押して手順 9 に進みます。

9. 宛先を設定し、[OK]を押す



10. 変更が終了したら、[OK]を押す

- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

通信予約ファイルを削除する [通信予約の消去]

メモリー内に蓄積されている通信予約したファイルを削除できます。

お知らせ

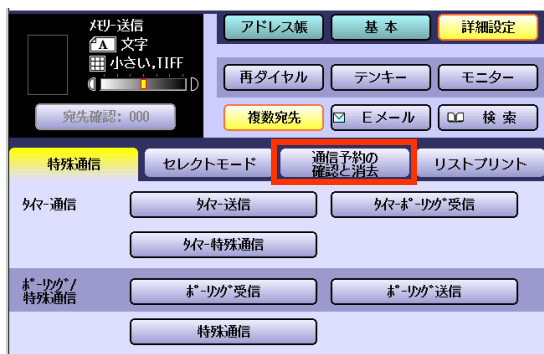
- 通信中の通信予約ファイルは削除できません。
再ダイヤル待ちやタイマー送信などの通信予約ファイルは、通信が開始されると[通信予約の消去]を使って削除することはできません。「通信を中止する」(p.48)を参照して通信を中止してください。

1. <ファクス>を押す

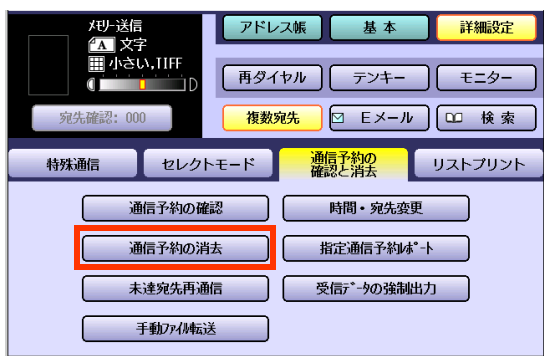
2. [詳細設定]を押す



3. [通信予約の確認と消去]を押す



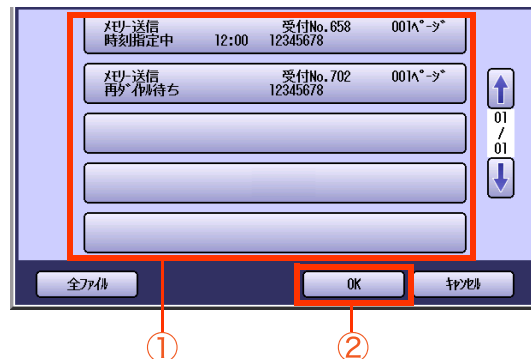
4. [通信予約の消去]を押す



5. ↑ または ↓ を押して、削除する通信予約ファイルを表示する

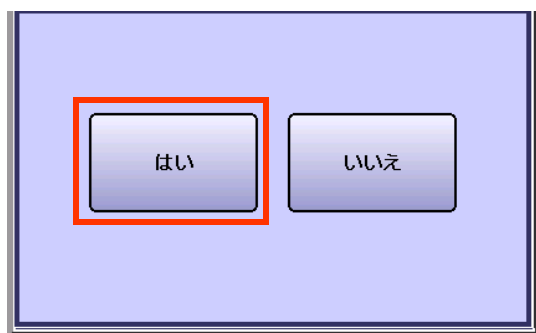


6. 削除する通信予約ファイルを選択し、[OK]を押す



- [全ファイル]を押すと、すべての通信予約ファイルを選択できます。
- [全ファイル]を押すと、ファイル送信用に蓄積した文書(p.77)も削除されます。
- 削除を中止する場合は、[キャンセル]を押します。

7. [はい]を押す



- 削除を中止する場合は、[いいえ]を押します。
- 削除後、通信結果レポートが印刷されます。
通信結果レポートの見かたについては、「通信結果レポート」(p.246)を参照してください。
- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

指定通信予約レポートを印刷する [指定通信予約レポート]

■ 指定通信予約レポートを印刷する

メモリー内に蓄積されている通信予約ファイルのひとつを印刷し、内容の一部を確認できます。

お知らせ

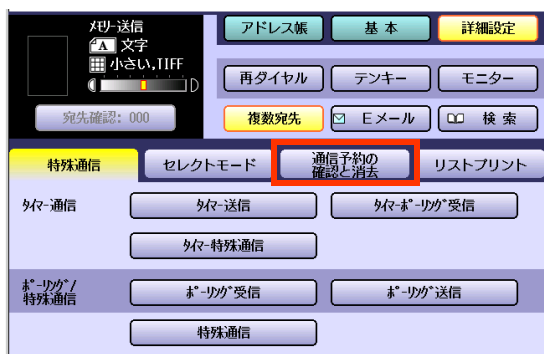
- 通信中の通信予約ファイルは印刷できません。

1. <ファクス>を押す

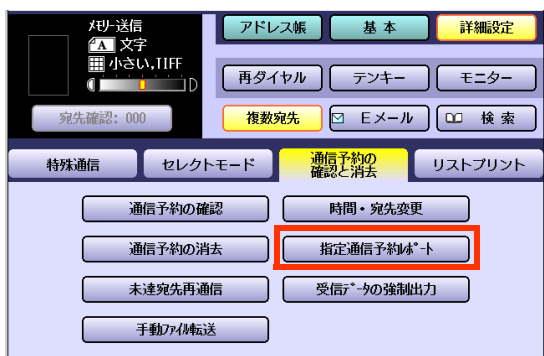
2. [詳細設定]を押す



3. [通信予約の確認と消去]を押す



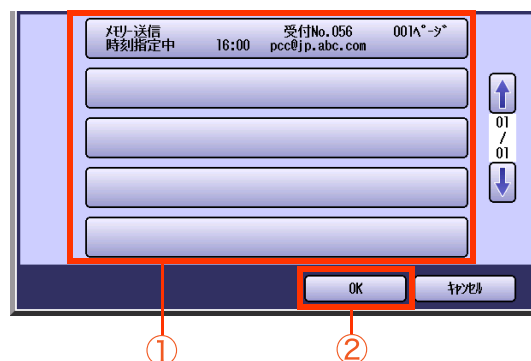
4. [指定通信予約レポート]を押す



5. ↑ または ↓ を押して、印刷する通信予約ファイルを表示する



6. 印刷する通信予約ファイルを選択し、[OK]を押す



選択した通信予約ファイルのレポートが印刷されます。

- 印刷操作を中止する場合は、[キャンセル]を押します。
- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

■指定通信予約レポートの見かた

指定通信予約レポートに表示される項目は次のとおりです。

【レポート例】

指 定 通 信 予 約 レ ポ ー ト			01 ページ—(1) DP-C3040ZAJVxxxxxAZ —(2) パナソニック —(3)		
09 年 07 月 01 日 15 時 00 分—(4)					
(5) 受付番号	(6) 受付日時	(7) 通信種別	(8) 処理状況	(9) 指定時刻	(10) パスワード
011	07-01 14:03 宛先 (001ヵ所) 直接:(回線) 12345678	送 信	時刻指定中	19:00	

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	指定通信予約レポートのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	指定通信予約レポートを印刷した日時です。
(5)	受付番号	受け付け順につけられる番号です。
(6)	受付日時	通信予約を受け付けた日時が記載されます。
(7)	通信種別	次のいずれかが記載されます。 [送信]、[ファイル蓄積]、[パスワード送信]、[ポーリング送信]、 [ポーリング受信]、[中継指示]、[マルチコピー通信]、[F コード 送信]、[F 網通信]、[ファイル送信]
(8)	処理状況	通信の現在の状況が記載されます。 [時刻指定中]、[定期便指定中]、[予約中]、[中継依頼中]、[再ダイヤル待ち]、[再通信待ち]
(9)	指定時刻	タイマー通信の場合に、通信の予約時刻が表示されます。
(10)	パスワード	パスワードを使った通信の場合に、パスワードが記載されます。 ポーリング受信で時刻指定をしている場合、パスワードなしのときは、「----」と記載されます。

通信エラー文書を再送信する [未達宛先再通信]

通信エラー(相手の話し中や無応答で通信できなかった場合)の原稿を、通信エラーファイルとしてメモリーに蓄積できます。

この機能は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[31 未通信ファイル保存]が[あり]に設定されている場合に使えます。

ここでは、蓄積された通信エラーファイルを、再送信する操作について説明します。

お知らせ

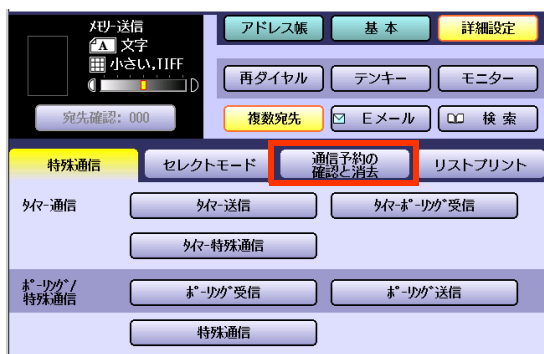
- お買い上げ時、ファンクション設定の[31 未通信ファイル保存]は[なし]に設定されています。設定を変更する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス/Eメール機能設定」を参照してください。
- なお、[31 未通信ファイル保存]を[あり]に設定すると、通信エラーが発生するたびに送信文書が通信エラーファイルとしてメモリーに蓄積されます。メモリーオーバーを避けるため、メモリー内の通信エラーファイルを定期的にチェックしてください。
- 通信エラーファイルとしてメモリーに蓄積されたファイルは、通信予約ファイルと同様に扱われます。通信エラーファイルを削除したり、印刷して確認する操作については、「通信予約ファイルを確認する[通信予約の確認]」(p.196)、「通信予約ファイルを削除する[通信予約の消去]」(p.200)、「指定通信予約レポートを印刷する[指定通信予約レポート]」(p.202)を参照してください。

1. <ファクス>を押す

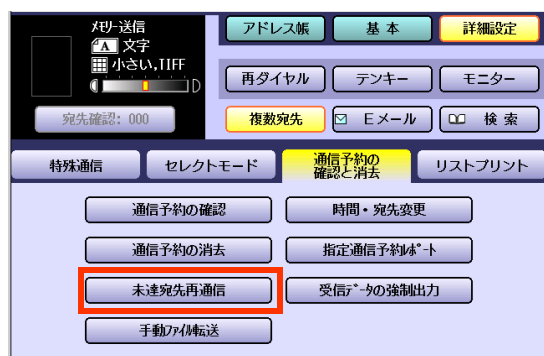
2. [詳細設定]を押す



3. [通信予約の確認と消去]を押す



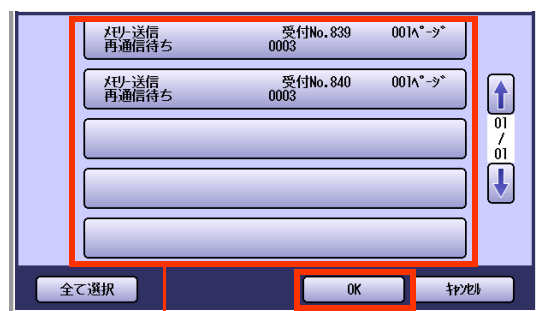
4. [未達宛先再通信]を押す



5. ↑ または ↓ を押して、再送信する通信エラーファイルを表示する



6. 再送信する通信エラーファイルを選択し、[OK]を押す



通信エラーファイルが再送されます。

- すべての未達宛先ファイルを再送するときは、[全て選択]を押します。
- 再送操作を中止する場合は、[キャンセル]を押します。

代行受信文書を強制的に印刷する [受信データの強制出力]

代行受信文書を強制的に他のサイズの用紙に印刷できます。印刷できる文書は、最初にメモリーに蓄積された代行受信文書です。

この機能は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[66 代行出力]が[なし]に設定されている場合に使います。

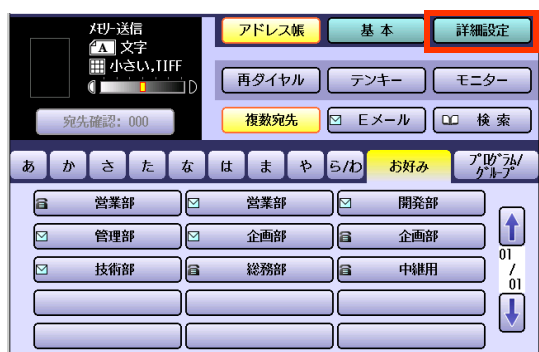
ここでは、代行受信文書を強制的に印刷する操作について説明します。

お知らせ

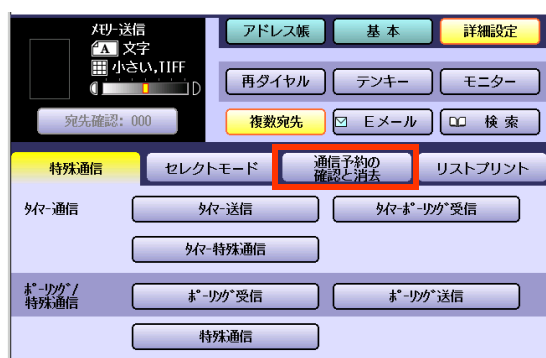
- 代行受信については、「メモリー代行受信について」(p.113)を参照してください。
- お買い上げ時、ファンクション設定の[66 代行出力]は[あり]に設定されています。
設定を変更する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス / E メール機能設定」を参照してください。

1. <ファクス>を押す

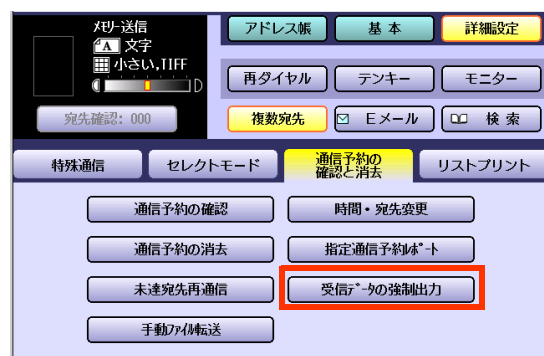
2. [詳細設定]を押す



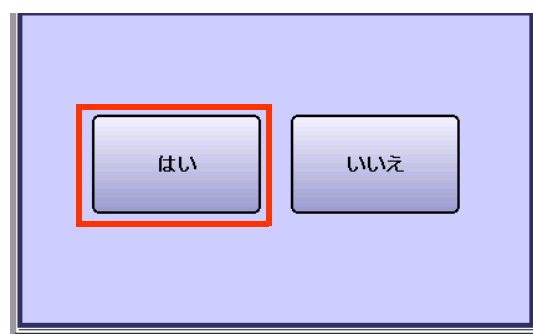
3. [通信予約の確認と消去]を押す



4. [受信データの強制出力]を押す



5. [はい]を押す



受信文書が印刷されます。

代行受信文書を手動で転送する [手動ファイル転送]

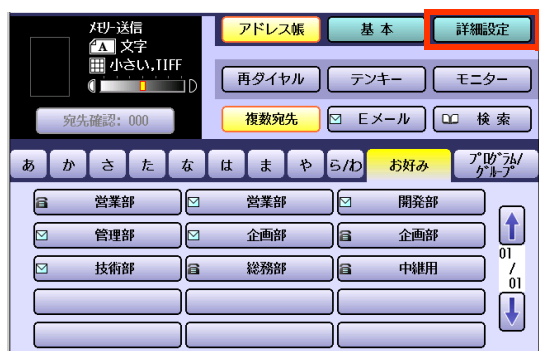
メモリー内に蓄積されている代行受信文書を、手動で別の宛先に転送できます。

お知らせ

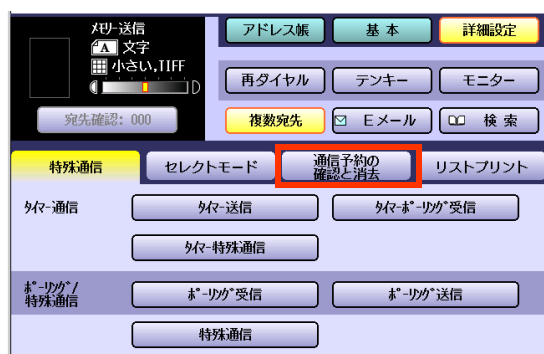
- 代行受信については、「メモリー代行受信について」(p.113)を参照してください。

1. <ファクス>を押す

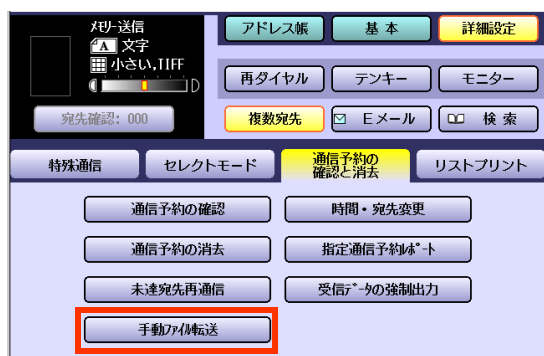
2. [詳細設定]を押す



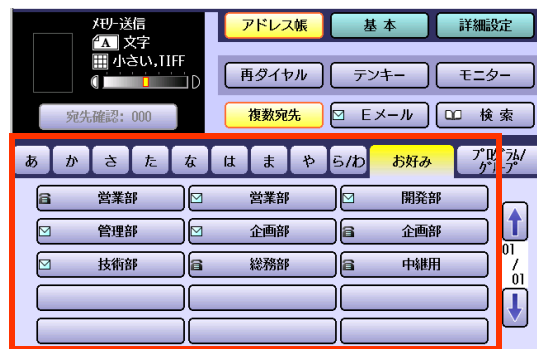
3. [通信予約の確認と消去]を押す



4. [手動ファイル転送]を押す



5. 転送先を選択し、<スタート>を押す



代行受信文書が転送されます。

Memo

7 章

データを登録 / 変更 / 削除する

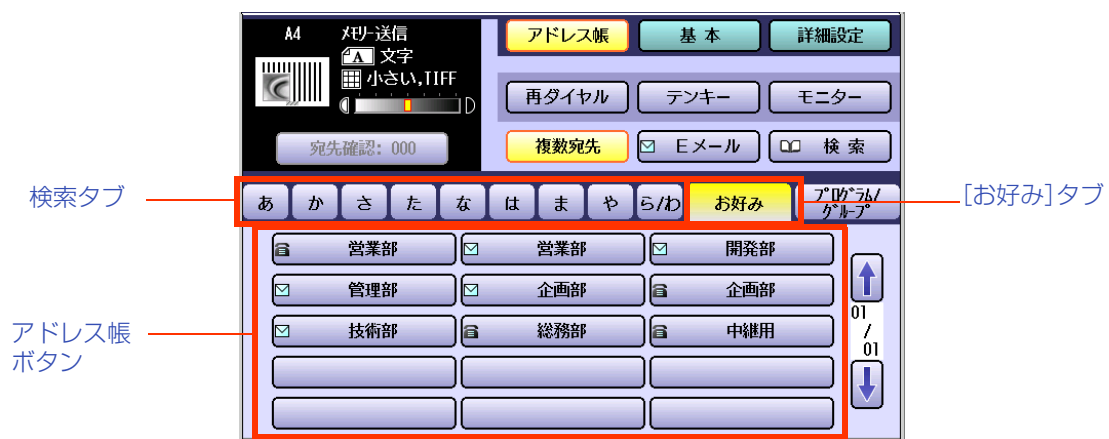
この章では、アドレス帳やプログラムダイヤルの登録 / 変更 / 削除の操作について説明しています。

アドレス帳を登録 / 変更 / 削除する

■アドレス帳とは

アドレス帳は、あらかじめ電話番号やメールアドレスを登録しておき、通信時にタッチパネル上の宛先名のボタンを押すだけで宛先を設定できる機能です。

- アドレス帳は、1,000 宛先まで登録できます。
- 宛先を[お好み]に登録しておくと、アドレス帳の[お好み]タブに表示できます。よく使う宛先は、[お好み]に登録しておくと便利です。
- 検索文字を登録しておくと、検索タブ([あ]~[ら / わ])を利用して宛先を選択できます。



お知らせ

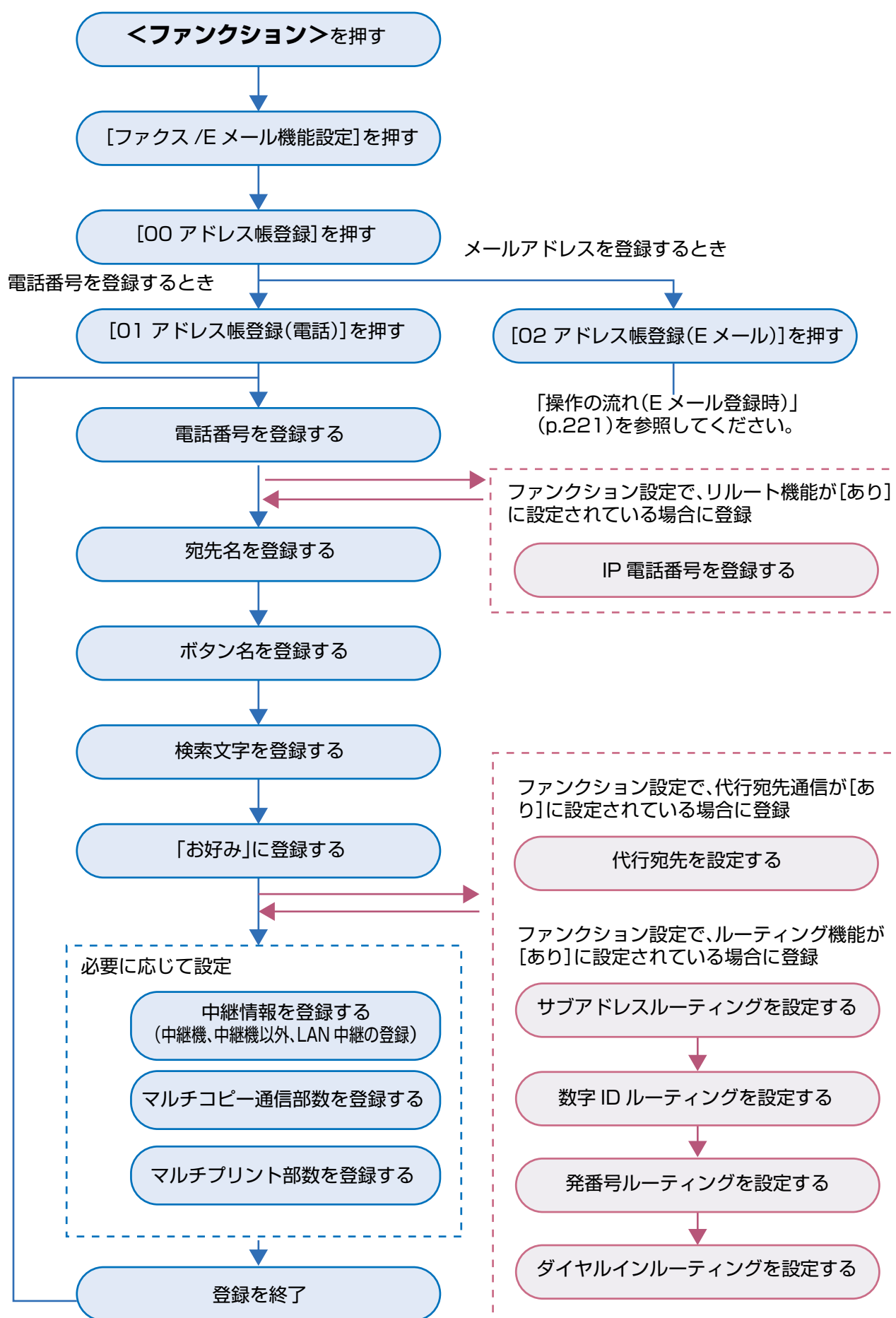
- アドレス帳に電話番号やメールアドレスを登録する操作については、「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.213)、「アドレス帳にメールアドレスを登録する」(p.222)を参照してください。
- アドレス帳の登録内容は、アドレス帳リストで確認できます。「アドレス帳リスト」(p.250)を参照してください。

■アドレス帳に登録できる項目(電話番号登録時)

No.	項目	内容	
1	電話番号	アドレス帳に電話番号を登録します。52 桁まで登録できます。	
2	IP 電話番号	アドレス帳に IP 電話番号を登録します。52 桁まで登録できます。	
3	宛先名	宛先の名前です。20 文字まで登録できます。	
4	ボタン名	タッチパネルのアドレス帳に表示するボタン名です。 10 文字まで登録できます。	
5	検索文字	タッチパネルでアドレス帳を検索するときの、検索文字を登録します。 10 文字まで登録できます。 ●英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。 ただし、英数字は検索画面での検索文字としては使用できません。	
6	お好み	登録した宛先を、アドレス帳の「お好み」タブに表示するときに「はい」を押します。 「お好み」タブに表示できる宛先は、15 宛先までです。	
7	SUB ルーティング	F コードのサブアドレスを利用したルーティングをする場合に登録します。 サブアドレスは、20 桁まで登録できます。	ファンクション設定（ファクス / E メール機能設定）で、機能が設定されている場合に表示されます。
8	数字 ID ルーティング	数字 ID を利用したルーティングをする場合に登録します。 数字 ID は、20 桁まで登録できます。	
9	発番号ルーティング	発信者番号を利用したルーティングをする場合に登録します。 発信者番号は、20 桁まで登録できます。	
10	ダイヤルインルーティング	ダイヤルイン番号を利用したルーティングをする場合に登録します。 ダイヤルイン番号は、リストから選択できます。	
11	代行宛先	相手が話し中で通信できない場合に、別の宛先に送信し直すように宛先を登録できます。	
12	* 中継情報の登録	中継同報指示、LAN 中継同報指示を登録します。 ・中継機 中継局を登録します。 ・中継機以外 中継送信先を登録します。 ・LAN 中継の登録 LAN 中継同報指示を登録します。	LAN 中継同報指示は、ファンクション設定（ファクス / E メール機能設定）で、機能が設定されている場合に設定できます。
13	* マルチコピー通信部数の指定	マルチコピー通信部数を登録します。	
14	* マルチプリント部数の指定	マルチプリント部数を登録します。	

* マークの項目は、ファンクション設定の「ファクス / E メール機能設定」>「04 キーオペレーター専用」>「01 システムの登録」>「104 アドレス帳ダイヤル情報」が「あり」に設定されている場合に表示されます。

■ 操作の流れ(電話番号登録時)



■アドレス帳に電話番号を登録する

アドレス帳に電話番号を登録する場合は、次の手順で操作します。

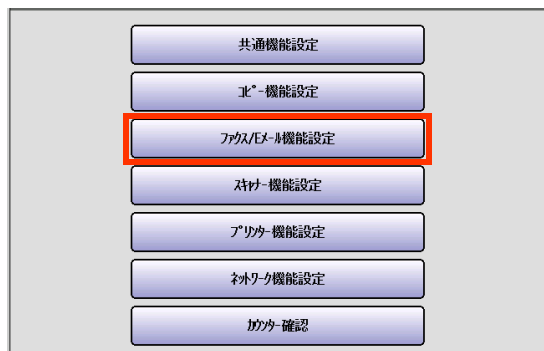
お知らせ

- 登録したアドレス帳を変更する操作については、「アドレス帳を変更する」(p.225)を参照してください。
- 登録したアドレス帳を削除する操作については、「アドレス帳を削除する」(p.226)を参照してください。
- IP 電話番号をアドレス帳に登録する場合は、「IP 電話サービスを使ってファクス送信する」(p.56)を参照してください。

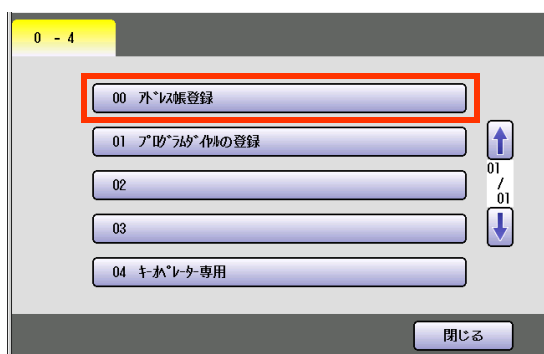
1. <ファンクション>を押す



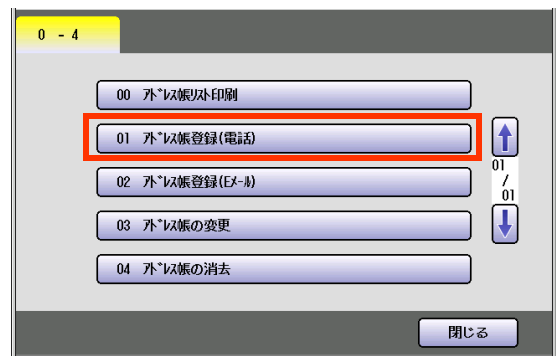
2. [ファクス/Eメール機能設定]を押す



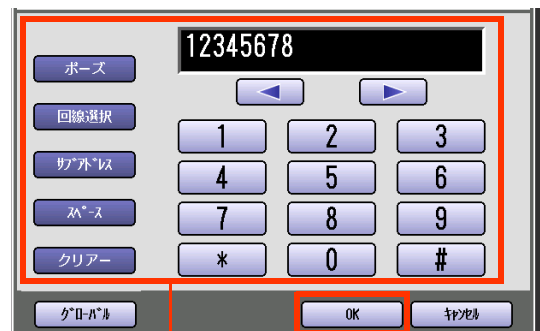
3. [00 アドレス帳登録]を押す



4. [01 アドレス帳登録(電話)]を押す



5. 電話番号を入力し、[OK]を押す



①

②

- 電話番号は、52桁まで入力できます。
- [クリア]を押すと、電話番号を1文字ずつ消去できます。
- 電話番号の入力については「電話番号を入力する」(p.20)を参照してください。
- G3増設ユニット(DA-FG403)またはG4通信ユニット(DA-FG323)を装着している場合は、[回線選択]を押すと送信時の回線を指定できます(G4通信ユニットを装着している場合に、G4回線([G4]または[G3(I)])から送信するときは、必ず回線を指定して登録してください)。

7章 データを登録 / 変更 / 削除する

6. 宛先名を入力し、[OK]を押す



- 宛先名は、20 文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、「付録 C 文字入力のしかた」(p.277)を参照してください。

7. ボタン名を入力し、[OK]を押す



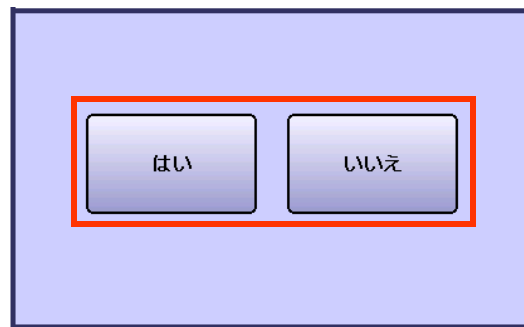
- ボタン名は、10 文字まで入力できます。

8. 検索文字を入力して、[OK]を押す



- 検索文字は、10 文字まで入力できます。
- 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です（「あ」～「ら／わ」の仕分けにも使われます）。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。
- 英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。ただし、英数字は検索文字としては使用できません。

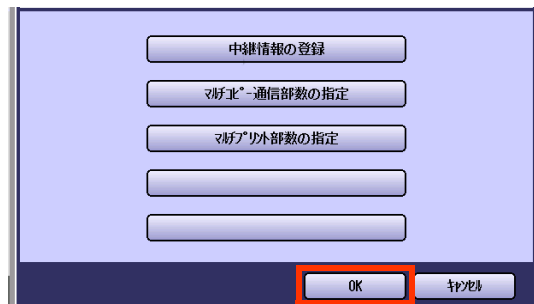
9. [お好み]に表示するかどうかを選択する



	[お好み]に宛先を表示する場合に押します。
	[お好み]に宛先を表示しない場合に押します。

- [お好み]に登録できる宛先は 15 宛先です。すでに 15 宛先登録されている場合、上の画面は表示されません。

10. [OK]を押す



- この画面は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[104 アドレス帳ダイヤル情報]が[あり]に設定されている場合に表示されます。
- アドレス帳に特殊機能を設定する場合は、「通信機能を登録する」(p.215)を参照してください。
- アドレス帳にルーティング機能を設定する場合は、「ルーティングに必要なアドレス帳の設定」(p.103)を参照してください。
- アドレス帳に代行宛先を登録する場合は、「代行宛先を登録する」(p.219)を参照してください。
- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、手順 5 からの操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、操作パネルの<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

■通信機能を登録する

アドレス帳に各種通信機能を登録する場合は、次の手順で操作します。

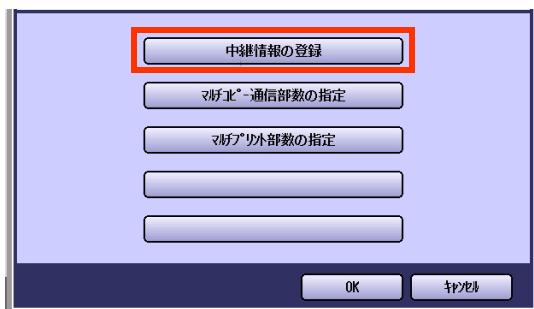
お知らせ

- 通信機能を登録する画面は、ファンクション設定の[ファクス / E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [104 アドレス帳ダイヤル情報]が[あり]に設定されている場合に表示されます。
- アドレス帳にルーティング機能を登録する操作については、「ルーティングに必要なアドレス帳の設定」(p.103)を参照してください。
- 中継同報指示については、「中継同報送信を指示する[中継同報指示]」(p.72)を参照してください。
- マルチコピー通信部数については、「受信側で複数部数印刷させる[マルチコピー通信]」(p.86)を参照してください。
- マルチプリント部数については、「マルチプリント部数」(p.112)を参照してください。

□ 中継局を登録する

1. 「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.213)の手順 1 ～ 9 を行う

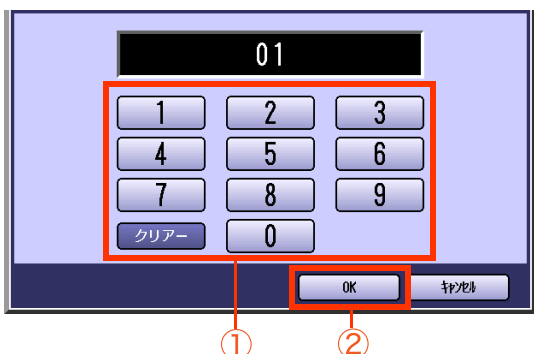
2. [中継情報の登録]を押す



3. [中継機]を選択し、[OK]を押す



4. 中継識別番号(2桁)を設定し、[OK]を押す



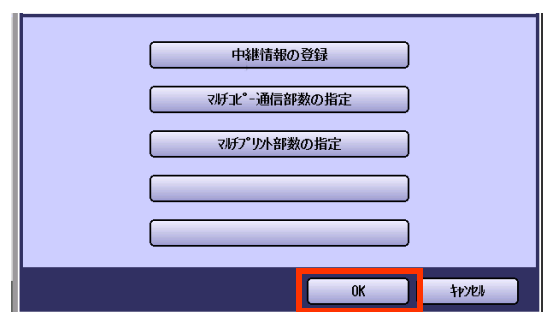
- 中継識別番号については、「中継同報送信とは」(p.72)を参照してください。

5. 2次中継局を経由する場合は、2次中継識別番号(2桁)を設定し、[OK]を押す



- 2次中継局を経由しない場合は、何も入力せずに[OK]を押します。

6. [OK]を押す



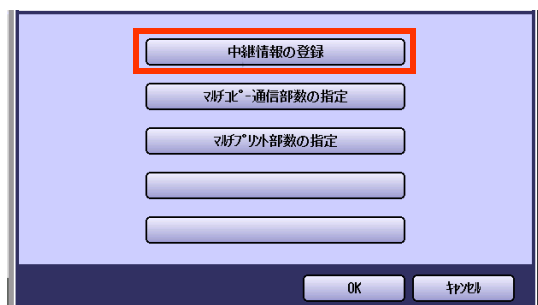
- 操作が終了したら、操作パネルの<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。
- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、電話番号の入力から操作してください。

7章 データを登録 / 変更 / 削除する

□ 中継送信先を登録する

1. 「アドレス帳に電話番号を登録する」
(p.213)の手順 1 ～ 9 を行う

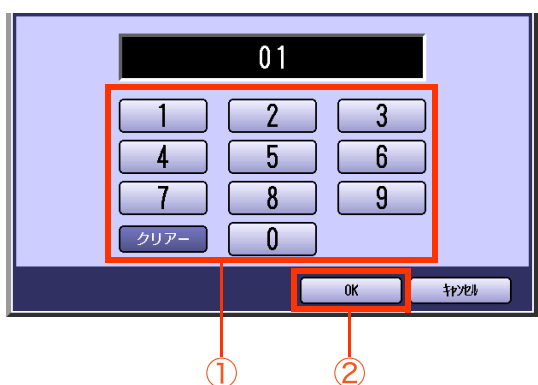
2. [中継情報の登録]を押す



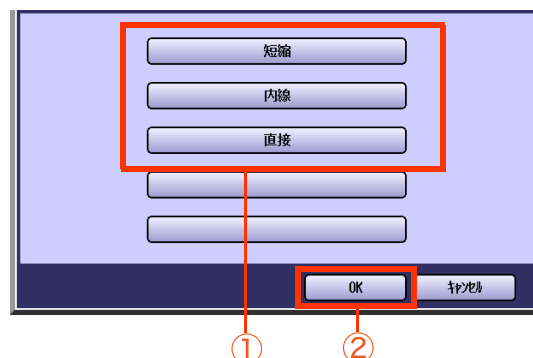
3. [中継機以外]が選択されていることを
確認し、[OK]を押す



4. 中継同報先の識別番号(2桁)を設定
し、[OK]を押す

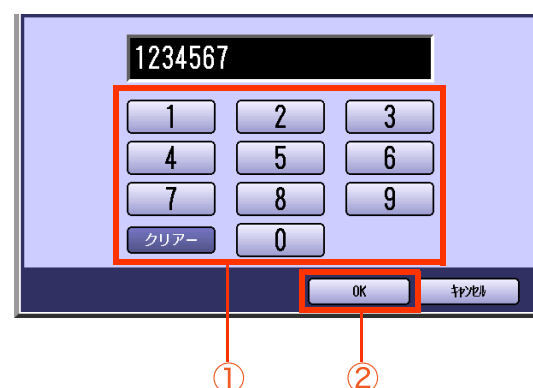


5. 中継局からのダイヤル方法を選択し、
[OK]を押す

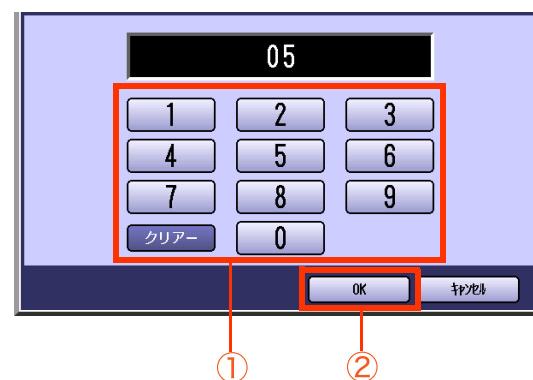


- [短縮]、[内線]を選択した場合は、手順 6 に進みます。
- [直接]を選択した場合は、手順 7 に進みます。

6. 手順5の設定に応じて、短縮番号(7桁
まで)、内線番号(7桁まで)を入力し、
[OK]を押す

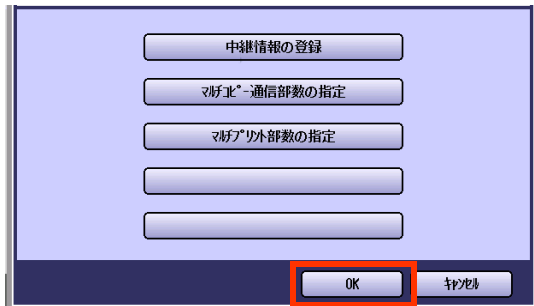


7. 2次中継局の識別番号(2桁)を設定
し、[OK]を押す



- 2次中継局を経由しない場合は、何も入力せずに[OK]を押します。

8. [OK]を押す



- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、電話番号の入力から操作してください。
- 操作が終了したら、操作パネルの<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

□ LAN 中継同報指示を登録する

アドレス帳にLAN 中継同報指示を登録する操作については、「LAN 中継同報指示をするためのアドレス帳の設定」(p.182)を参照してください。

お知らせ

- LAN中継同報指示については、「LAN中継機能を使う」(p.174)を参照してください。

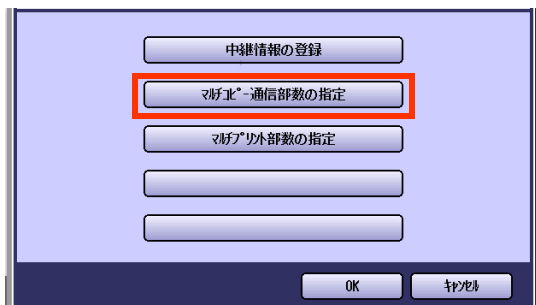
7章 データを登録 / 変更 / 削除する

□ マルチコピー通信部数を登録する

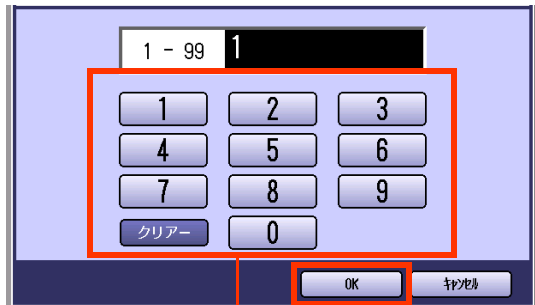
アドレス帳にマルチコピー通信部数を登録する場合は、次の手順で操作します。

- マルチコピー通信部数については、「受信側で複数部数印刷させる[マルチコピー通信]」(p.86)を参照してください。

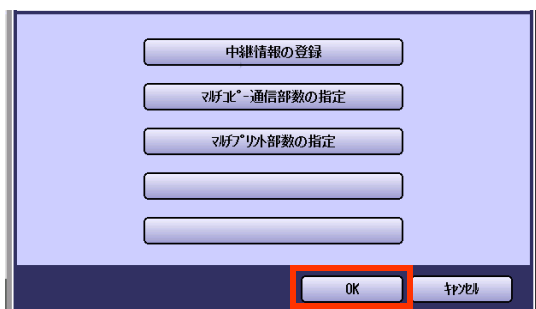
1. 「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.213)の手順 1 ～ 9 を行う
2. [マルチコピー通信部数の指定]を押す



3. マルチコピー通信部数を入力し、[OK]を押します。



4. [OK]を押す



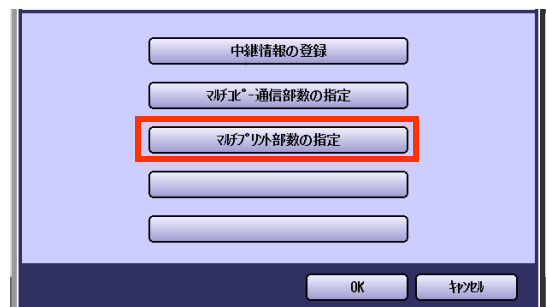
- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、電話番号の入力から操作してください。
- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

□ マルチプリント部数を登録する

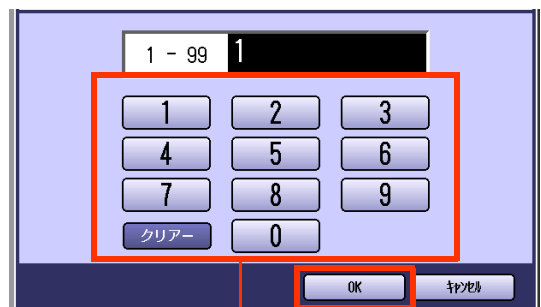
アドレス帳にマルチプリント部数を登録する場合は、次の手順で操作します。

- マルチプリント部数については、「マルチプリント部数」(p.112)を参照してください。

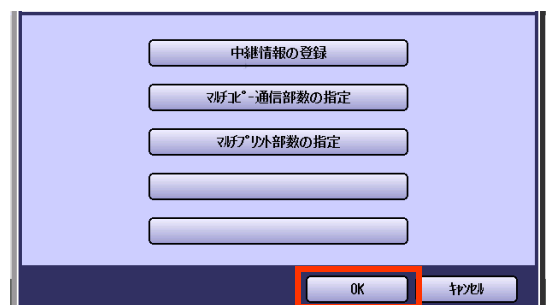
1. 「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.213)の手順 1 ～ 9 を行う
2. [マルチプリント部数の指定]を押す



3. マルチプリント部数を入力し、[OK]を押します。



4. [OK]を押す



- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、電話番号の入力から操作してください。
- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

■ 代行宛先を登録する

代行宛先通信とは、アドレス帳を使ってダイヤルした場合に、相手が話し中で通信できないときは、別の宛先に送信し直す機能です。代行宛先は、アドレス帳に登録されている宛先から選択します。

代行宛先を登録する場合は、次の手順で操作します。

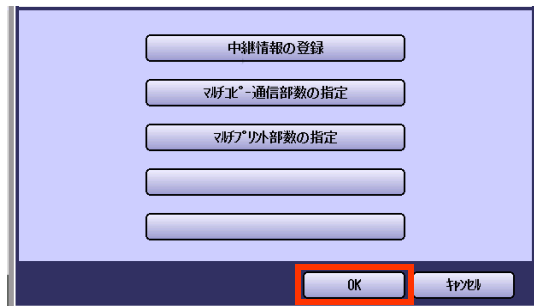
お知らせ

- 代行宛先を登録する画面は、ファンクション設定の[ファクス / E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [107 代行宛先通信]が[あり]に設定されている場合に表示されます。

1. 「アドレス帳に電話番号を登録する」
(p.213)の手順 1 ～ 9 を行う
2. 代行宛先を選択し、[OK]を押す



3. [OK]を押す

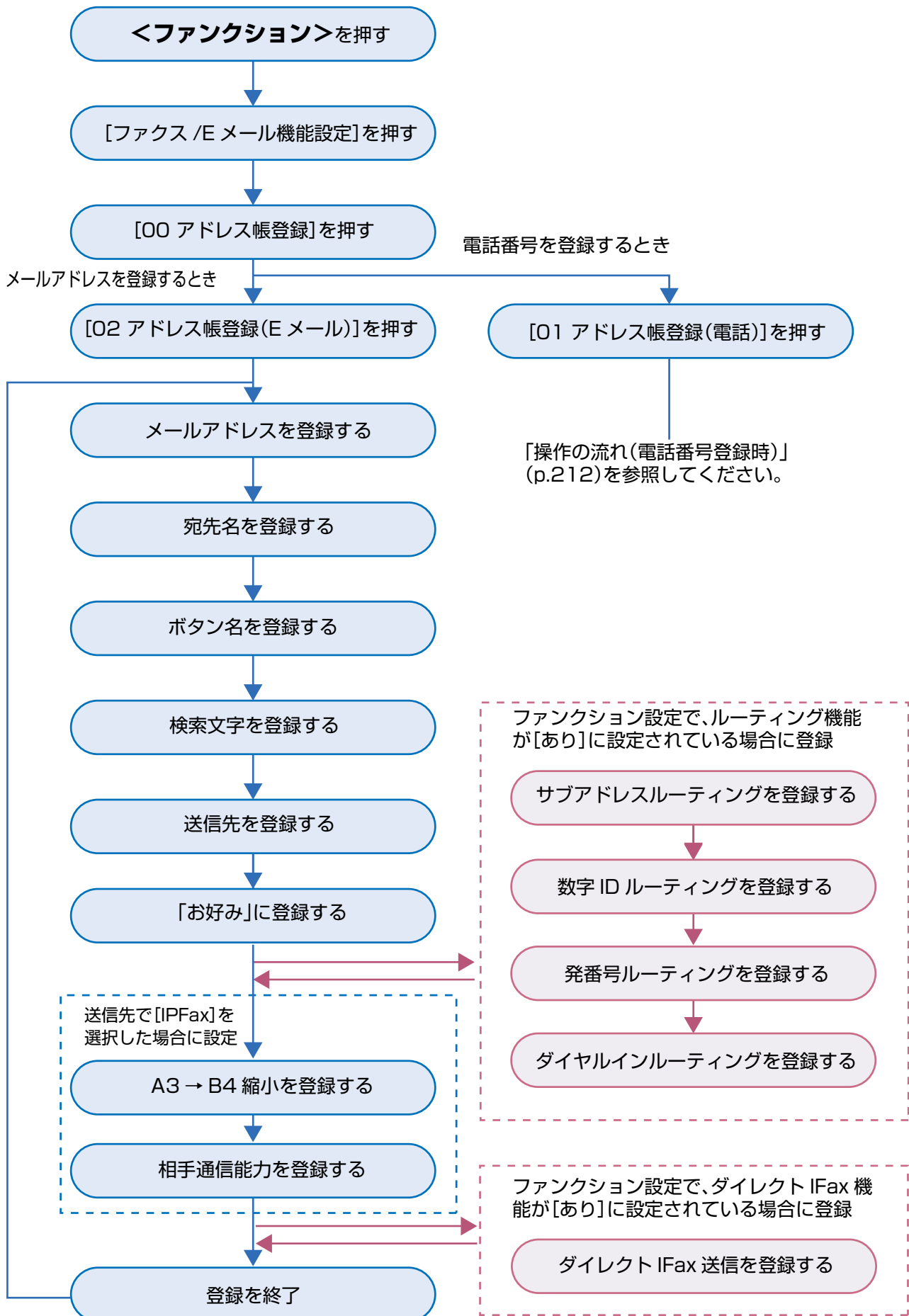


- この画面は、ファンクション設定の[ファクス / E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [104 アドレス帳ダイヤル情報]が[あり]に設定されている場合に表示されます。
- アドレス帳に特殊機能を設定する場合は、「通信機能を登録する」(p.215)を参照してください。
- 操作が終了したら、操作パネルの<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。
- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、電話番号の入力から操作してください。

■アドレス帳に登録できる項目(E メール登録時)

No.	項目	内容	
1	メールアドレス	アドレス帳にメールアドレスを登録します。60 文字まで登録できます。	
2	宛先名	宛先の名前です。20 文字まで登録できます。	
3	ボタン名	タッチパネルのアドレス帳に表示するボタン名です。10 文字まで登録できます。	
4	検索文字	タッチパネルでアドレス帳を検索するときの、検索文字を登録します。 10 文字まで登録できます。 ●英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。 ただし、英数字は検索画面での検索文字としては使用できません。	
5	送信先	IPFax(インターネット FAX)、または PC(コンピューター)を選択します。	
6	お好み	登録した宛先を、アドレス帳の「お好み」タブに表示するときに「はい」を押します。 「お好み」タブに表示できる宛先は、15 宛先までです。	
7	SUB ルーティング	F コードのサブアドレスを利用したルーティングをする場合に登録します。 サブアドレスは、20 桁まで登録できます。	ファンクション設定 (ファクス / E メール機能設定) で、機能が設定されている場合に設定できます。
8	数字 ID ルーティング	数字IDを利用したルーティングをする場合に登録します。 数字 ID は、20 桁まで登録できます。	
9	発番号ルーティング	発信者番号を利用したルーティングをする場合に登録します。 発信者番号は、20 桁まで登録できます。	
10	ダイヤルインルーティング	ダイヤルイン番号を利用したルーティングをする場合に登録します。 ダイヤルイン番号は、リストから選択できます。	
11	A3 → B4 縮小	A3 サイズを B4 サイズに縮小して送信するように登録できます。	[送信先]で[IPFax]を選択した場合に表示されます。
12	相手通信能力	受信側で受信できる解像度を登録します。	

■操作の流れ(E メール登録時)



■アドレス帳にメールアドレスを登録する

アドレス帳にメールアドレスを登録する場合は、次の手順で操作します。

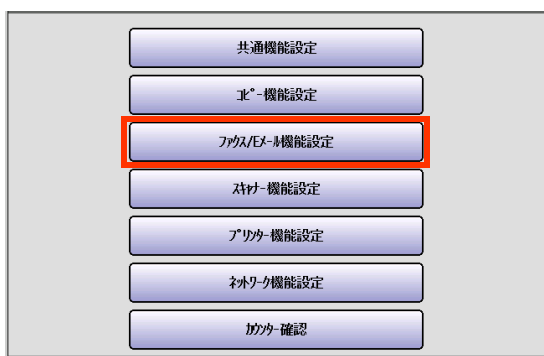
お知らせ

- アドレス帳にルーティング機能を登録する操作については、「ルーティングに必要なアドレス帳の設定」(p.103)を参照してください。
- 登録したアドレス帳を変更する操作については、「アドレス帳を変更する」(p.225)を参照してください。
- 登録したアドレス帳を削除する操作については、「アドレス帳を削除する」(p.226)を参照してください。

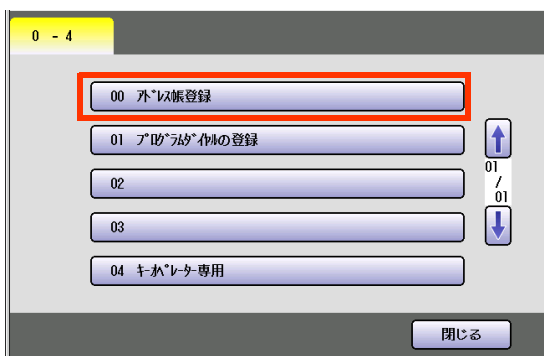
1. <ファンクション>を押す



2. [ファクス / E メール機能設定]を押す



3. [00 アドレス帳登録]を押す



4. [02 アドレス帳登録(Eメール)]を押す



5. メールアドレスを入力し、[OK]を押す



- メールアドレスの入力については、「メールアドレスを入力する」(p.142)を参照してください。
- メールアドレスは、60文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、「付録 C 文字入力のしかた」(p.277)を参照してください。

6. 宛先名を入力し、[OK]を押す



- 宛先名は、20 文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、「付録 C 文字入力のしかた」(p.277)を参照してください。

7. ボタン名を入力し、[OK]を押す



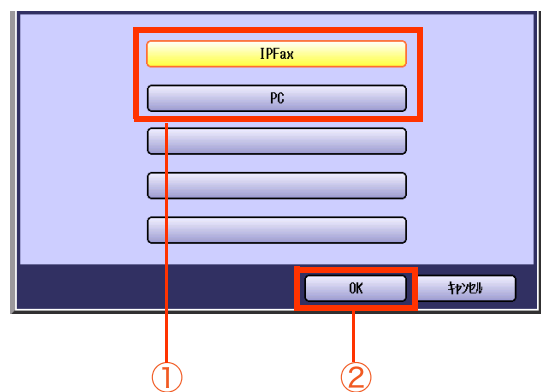
- ボタン名は、10 文字まで入力できます。

8. 検索文字を入力して、[OK]を押す



- 検索文字は、10 文字まで入力できます。
- 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です（「あ」～「わ」の仕分けにも使われます）。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。
- 英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。ただし、英数字は検索文字としては使用できません。

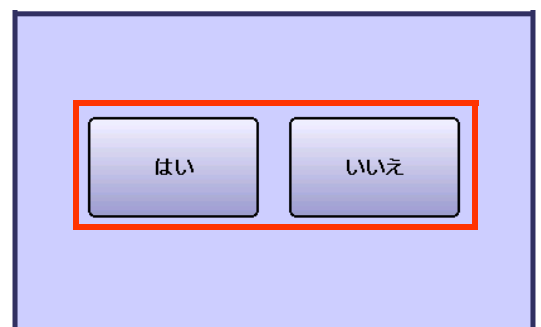
9. 送信先を選択し、[OK]を押す



IPFax	送信先がインターネット FAX の場合に選択します。
PC	送信先がコンピューターの場合に選択します。

- 登録するメールアドレスを、スキャナー/Eメール機能でも使う場合は、[PC]を選択します。

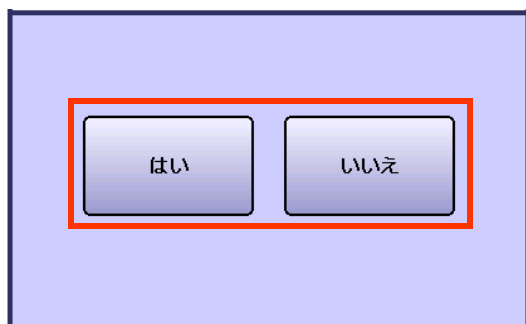
10. [お好み]に表示するかどうかを選択する





はい	[お好み]に宛先を表示するときに押します。
いいえ	[お好み]に宛先を表示しない場合に押します。

- [お好み]に登録できる宛先は 15 宛先です。すでに 15 宛先登録されている場合、上の画面は表示されません。

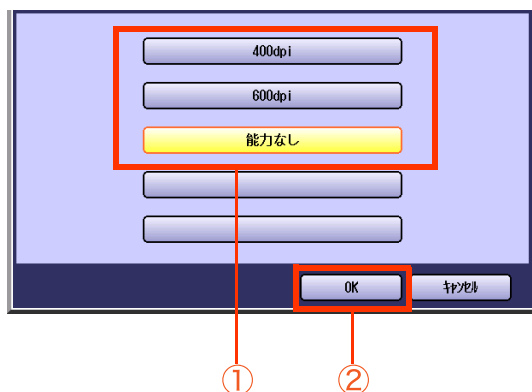
11. 手順 9 で[IPFax]を選択した場合:
A3 サイズの原稿を送信するときに
B4 サイズに縮小するかどうかを選択
する



	A3 サイズがB4 サイズに縮小して送信されます。
	A3 サイズのまま送信されます。

- 相手の能力に合わせて設定します。

12. 手順 9 で[IPFax]を選択した場合:
相手側の能力を設定し、[OK]を押す



400dpi	受信側が400dpiで受信できる場合に押します。
600dpi	受信側が600dpiで受信できる場合に押します。
能力なし	600dpi、400dpi どちらも受信できない場合に押します。

- 相手の能力に合わせて設定します。
- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、手順 5 からの操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

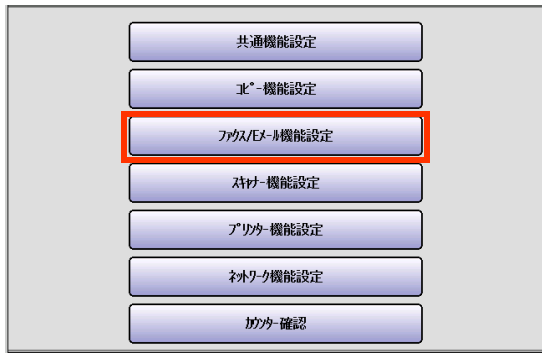
■アドレス帳を変更する

アドレス帳を変更する場合は、次の手順で操作します。

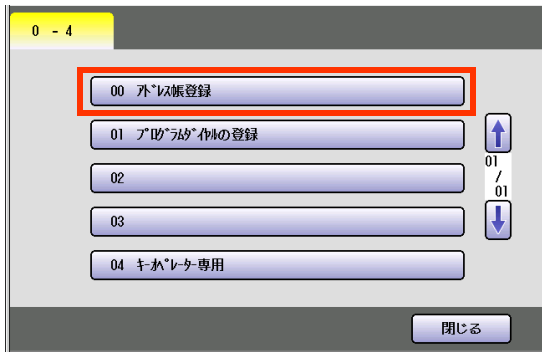
1. <ファンクション>を押す



2. [ファクス / Eメール機能設定]を押す



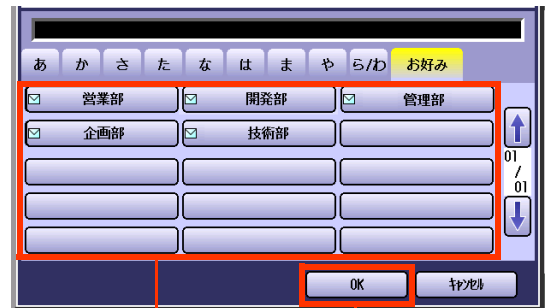
3. [00 アドレス帳登録]を押す



4. [03 アドレス帳の変更]を押す



5. 変更する宛先を選択し、[OK]を押す



- もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。

6. 内容を変更する

- 設定内容については、「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.213)、「アドレス帳にメールアドレスを登録する」(p.222)を参照してください。
- 次の宛先を変更するときは、手順5～6の操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

7章 データを登録 / 変更 / 削除する

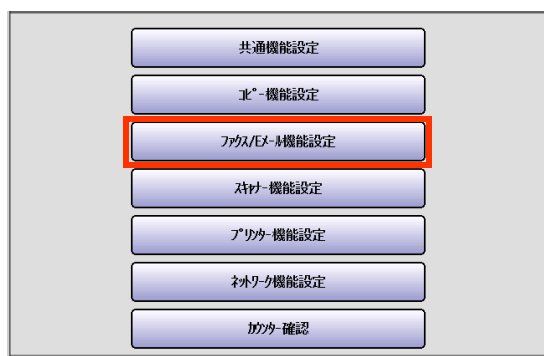
■アドレス帳を削除する

アドレス帳を削除する場合は、次の手順で操作します。

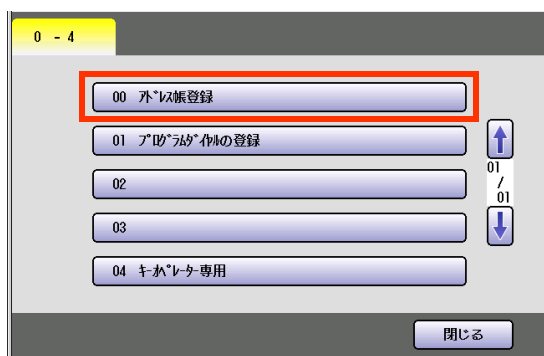
1. <ファンクション>を押す



2. [ファクス / E メール機能設定]を押す



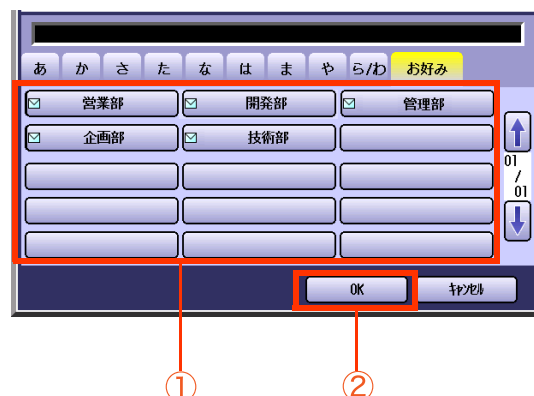
3. [00 アドレス帳登録]を押す



4. [04 アドレス帳の消去]を押す

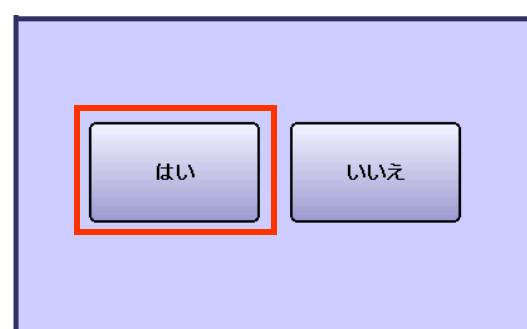


5. 削除する宛先を選択し、[OK]を押す



- もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。

6. [はい]を押す



はい	選択した宛先が削除されます。
いいえ	宛先は削除されません。

- 次の宛先を消去するときは、手順5～6の操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

■アドレス帳リストを印刷する

アドレス帳リストを印刷する場合は、次の手順で操作します。

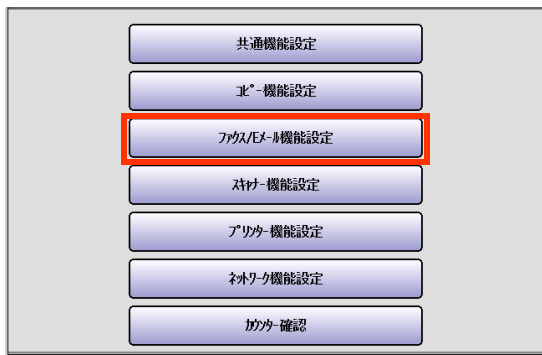
お知らせ

- アドレス帳リストは、[詳細設定]の[リストプリント]から印刷することもできます。
- アドレス帳リストについては、「アドレス帳リストの見かた」(p.251)を参照してください。

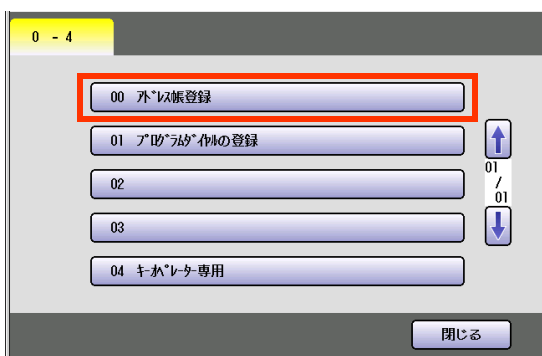
1. <ファンクション>を押す



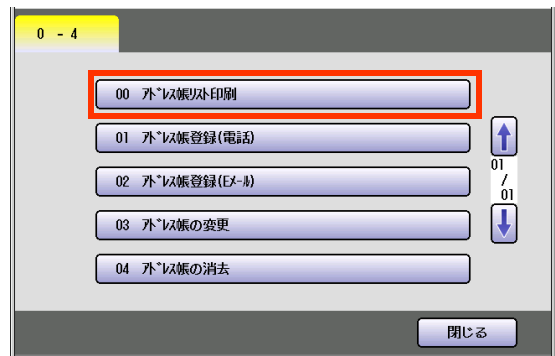
2. [ファクス / E メール機能設定]を押す



3. [00 アドレス帳登録]を押す



4. [00 アドレス帳リスト印刷]を押す



5. [開始]を選択し、[OK]を押す



アドレス帳リストが印刷されます。

- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

プログラムダイヤルを登録 / 変更 / 削除する

■プログラムダイヤルとは

プログラムダイヤルには、次の3種類の使い方があります。なお、プログラムダイヤルは、15件まで登録できます。

□ 操作手順を記憶したボタンとして使う

ファンクション設定で、プログラムダイヤルに通信の手順や宛先を登録しておく、タッチパネルに表示されるプログラム名のボタンを押すだけで、通信を設定できます。

登録方法は、「プログラムダイヤルを登録する」(p.229)を参照してください。

□ グループダイヤルとして使う

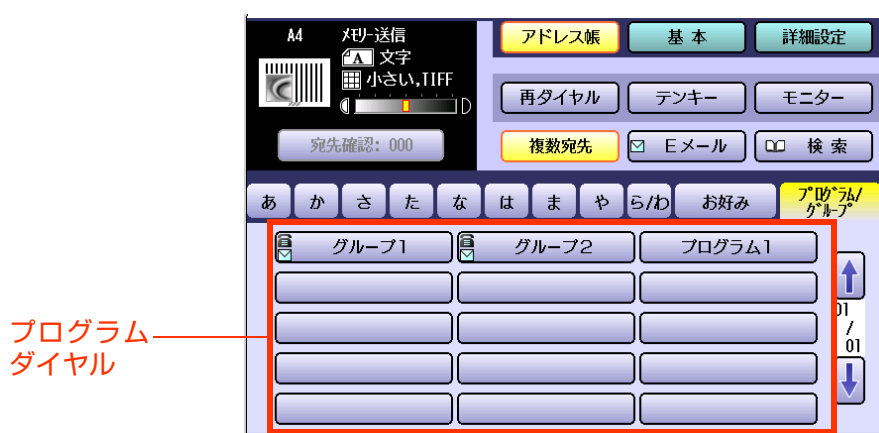
プログラムボタンに、アドレス帳の宛先を複数選択して登録しておく、グループダイヤルとして使うことができます。

登録方法は、「グループダイヤルを登録する」(p.231)を参照してください。

□ POP 受信用のボタンとして使う

POP 受信サーバーのユーザー名、パスワードを登録しておく、本機のメールアドレス以外のメールアドレスに宛てたEメールを受信できます。

登録方法は、「プログラムボタンにEメール受信を設定する」(p.237)を参照してください。



お知らせ

- 登録したプログラムダイヤルを使う操作については、「プログラムダイヤルを呼び出す」(p.53)を参照してください。

■プログラムダイヤルに登録できる項目

プログラムダイヤルには、次の項目を登録できます。

No.	項目	内容
1	プログラム名	プログラムの名前です。
2	ボタン名	ボタンの名前です。
3	通信機能	プログラムダイヤルに通信機能と宛先を登録します。

■プログラムダイヤルを登録する

プログラムダイヤルに通信機能を登録する場合は、次の手順で操作します。

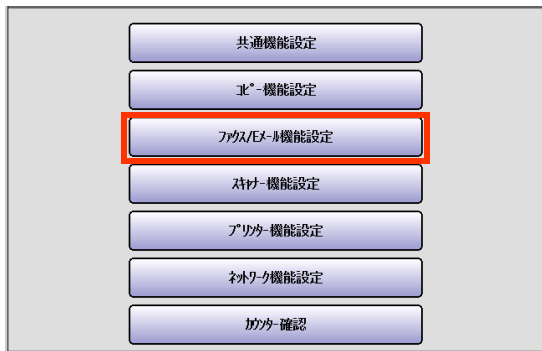
お知らせ

- 登録したプログラムダイヤルを削除する操作については、「プログラムダイヤルを削除する」(p.235)を参照してください。
- プログラムダイヤルの登録内容は、プログラムダイヤルリストで確認できます。「プログラムダイヤルのリスト」(p.254)を参照してください。

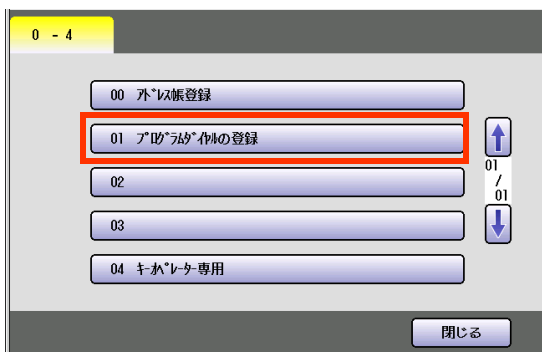
1. <ファンクション>を押す



2. [ファクス / E メール機能設定]を押す



3. [01 プログラムダイヤルの登録]を押す



4. [02 プログラムダイヤルの登録]を押す



5. プログラムダイヤルの名前を入力し、[OK]を押す



①

②

- 名前は 20 文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、「付録 C 文字入力のしかた」(p.277)を参照してください。

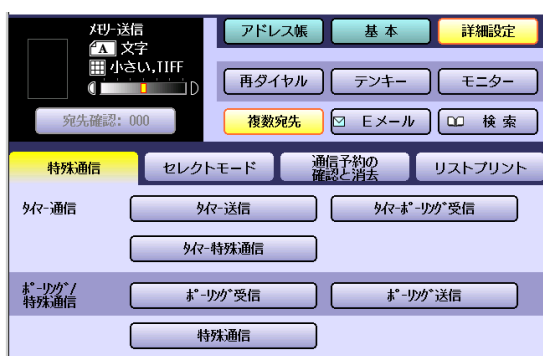
7 章 データを登録 / 変更 / 削除する

6. プログラムダイヤルのボタン名を入力し、[OK]を押す



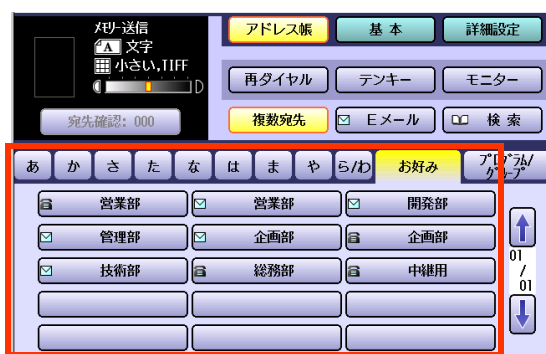
- ボタン名は 10 文字まで入力できます。

7. 登録する通信機能を設定する



- 操作については、「3 章 便利なファクス機能」(p.61)を参照してください。

8. 宛先を設定する



- 操作については、「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

9. <スタート>を押す

プログラムダイヤルが登録されます。

- 次のプログラムダイヤルを登録するときは、手順 4 からの操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

■グループダイヤルを登録する

プログラムダイヤルにグループダイヤルを登録する場合は、次の手順で操作します。

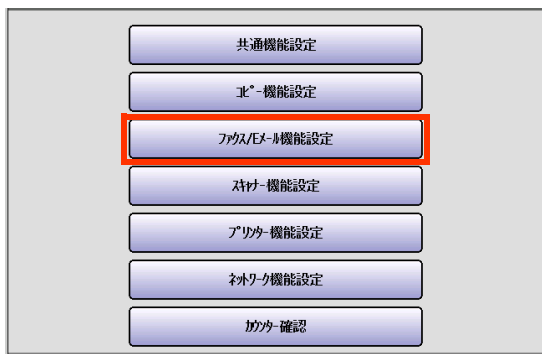
お知らせ

- 登録したグループダイヤルを変更する操作については、「グループダイヤルを変更する」(p.233)を参照してください。
- 登録したグループダイヤルを削除する操作については、「プログラムダイヤルを削除する」(p.235)を参照してください。
- グループダイヤルの登録内容は、グループダイヤルリストで確認できます。「グループダイヤルリスト」(p.252)を参照してください。

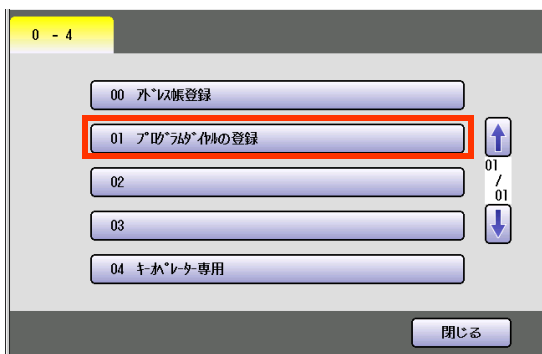
1. <ファンクション>を押す



2. [ファクス/Eメール機能設定]を押す



3. [01 プログラムダイヤルの登録]を押す



4. [01 グループダイヤルの登録]を押す



5. グループダイヤルの名前を入力し、[OK]を押す



- 名前は、20 文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、「付録 C 文字入力のしかた」(p.277)を参照してください。

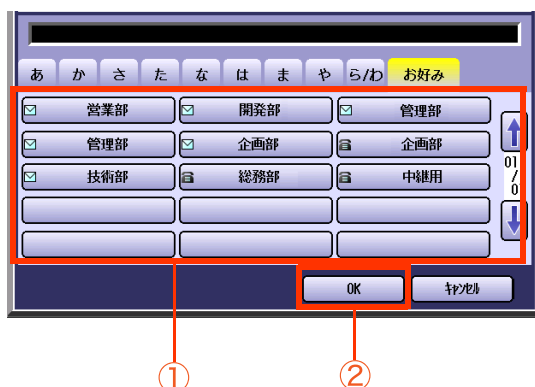
7章 データを登録 / 変更 / 削除する

6. グループダイヤルのボタン名を入力し、[OK]を押す



- ボタン名は、10文字まで入力できます。

7. グループダイヤルに登録する宛先を選択し、[OK]を押す



グループダイヤルが登録されます。

- 次のグループダイヤルを登録するときは、手順4からの操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

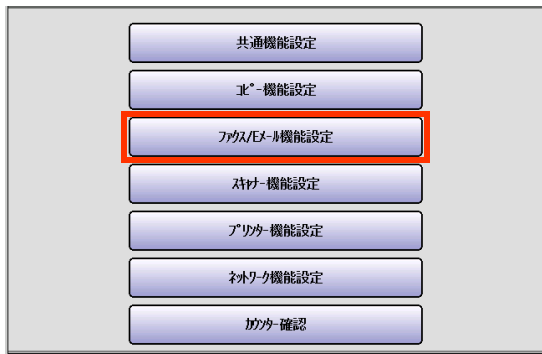
■グループダイヤルを変更する

グループダイヤルを変更する場合は、次の手順で操作します。

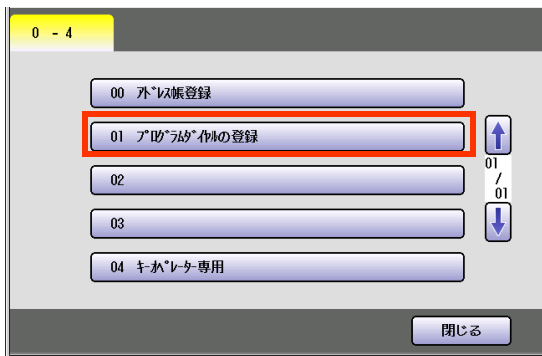
1. <ファンクション>を押す



2. [ファクス / Eメール機能設定]を押す



3. [01 プログラムダイヤルの登録]を押す



4. [03 グループダイヤルの変更]を押す



5. 変更するグループダイヤルを選択し、[OK]を押す



- もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。

6. グループダイヤルの名前を変更し、[OK]を押す



- グループ名を変更しない場合は、そのまま [OK] を押します。

7. グループダイヤルのボタン名を変更し、[OK]を押す



- ボタン名を変更しない場合は、そのまま [OK] を押します。

8. グループダイヤルに登録する宛先を選択し、[OK]を押す



- 宛先を変更しない場合は、そのまま[OK]を押します。
- 選択されている宛先は、もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。
- 他のグループダイヤルを変更するときは、手順 4 からの操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

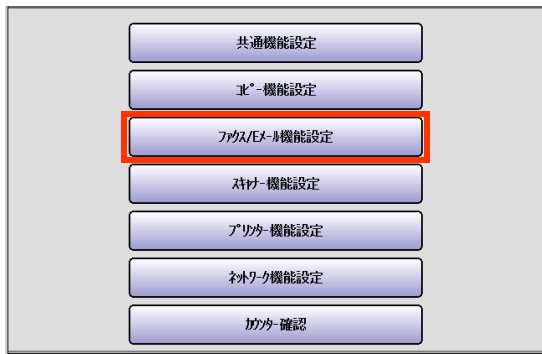
■プログラムダイヤルを削除する

プログラムダイヤルを削除する場合は、次の手順で操作します。

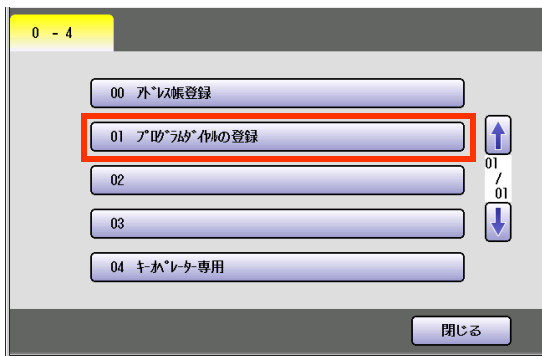
1. <ファンクション>を押す



2. [ファクス / E メール機能設定]を押す



3. [01 プログラムダイヤルの登録]を押す



4. [04 プログラム / グループの消去]を押す

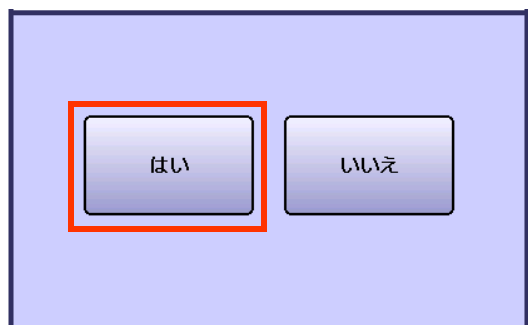


5. 削除するプログラムダイヤルを選択し、[OK]を押す



- もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。

6. [はい]を押す



はい	選択したプログラムダイヤルが削除されます。
いいえ	削除を中止するときに押します。

- 他のプログラムダイヤルを削除するときは、手順 5 からの操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

■プログラムダイヤルのリストを印刷する

プログラムダイヤルのリスト(グループダイヤルリスト、またはプログラムダイヤルリスト)を印刷する場合は、次の手順で操作します。

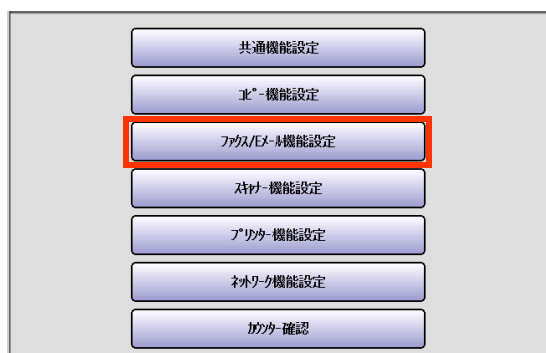
お知らせ

- プログラムダイヤルのリストは、[詳細設定]の[リストプリント]から印刷することもできます。
- プログラムダイヤルのリストの見かたについては、「プログラムダイヤルのリストの見かた」(p.255)を参照してください。

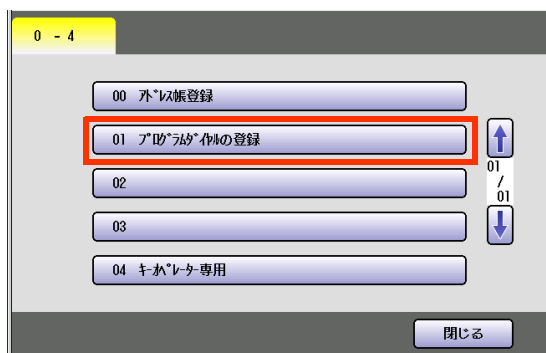
1. <ファンクション>を押す



2. [ファクス/Eメール機能設定]を押す



3. [01 プログラムダイヤルの登録]を押す



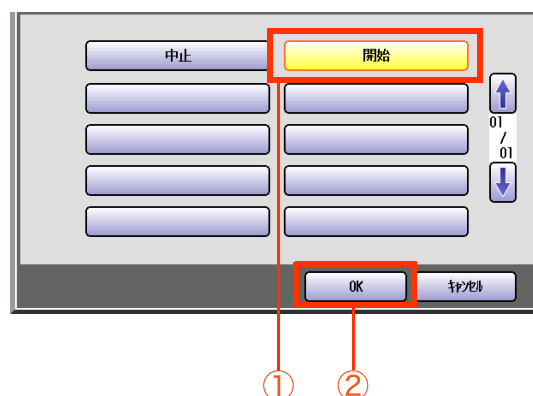
4. [00 プログラムリスト印刷]を押す



5. 印刷するリストを選択する



6. [開始]を選択し、[OK]を押す



プログラムダイヤルのリストが印刷されます。

- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

■プログラムボタンに E メール 受信を設定する

POP 受信サーバーに本機を接続している場合は、プログラムボタンに、本機のメールアドレス以外のメールアドレスに宛てた E メールを受信する機能を登録できます。

次の手順でメールアドレスとパスワードを入力します。

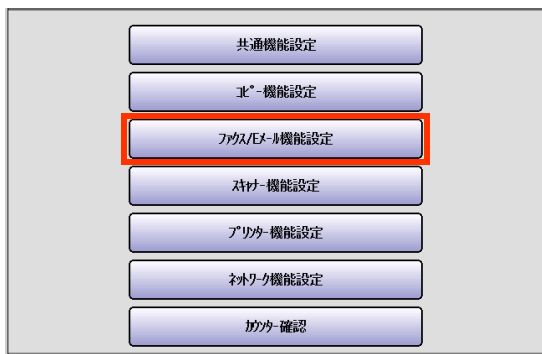
お知らせ

- 手順 8 で、パスワードを設定せずにおくと、POP 受信時にパスワード入力が必要になります。セキュリティを重視する場合は、手順 8 でパスワードを入力しないことをお勧めします。

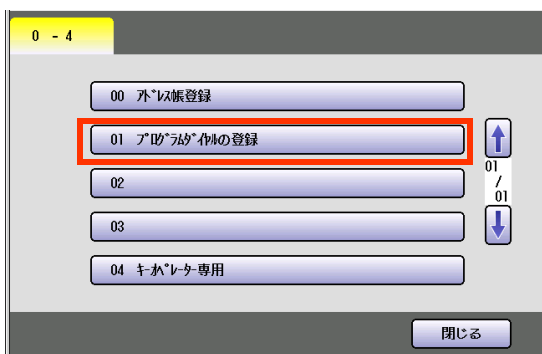
1. <ファンクション>を押す



2. [ファクス / E メール機能設定]を押す



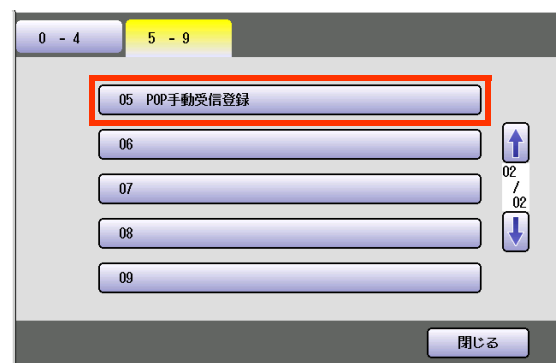
3. [01 プログラムダイヤルの登録]を押す



4. [5-9]を押す



5. [05 POP 手動受信登録]を押す



6. POP ユーザー名を入力し、[OK]を押す



①

②

- POP ユーザー名は、40 文字まで入力できます。

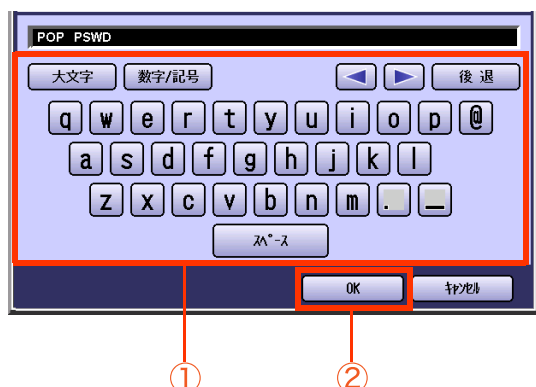
7章 データを登録 / 変更 / 削除する

7. プログラムダイヤルのボタン名を入力し、[OK]を押す



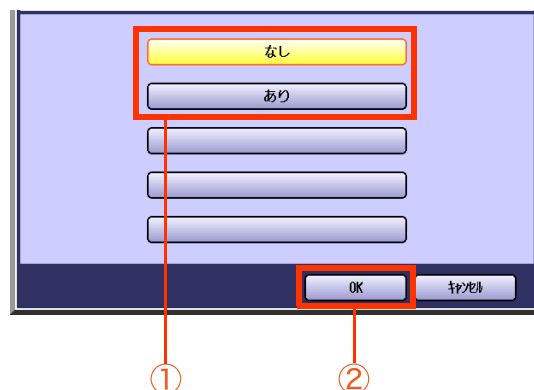
- ボタン名は、10文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、「付録 C 文字入力のしかた」(p.277)を参照してください。

8. パスワードを入力し、[OK]を押す



- パスワードは、30文字まで入力できます。
- パスワードを入力せずに[OK]を押すと、POP受信時にパスワード入力が必要になります。セキュリティを重視する場合はパスワードを入力しないことをお勧めします。

9. POP受信後に、POP受信サーバーからメールを削除するかどうかを選択し、[OK]を押す



なし	POP受信後、受信したEメールファイルはPOP受信サーバーから削除されません。
あり	POP受信後、受信したEメールファイルはPOP受信サーバーから削除されます。

POP手動受信用のプログラムボタンが登録されます。

- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。
- POP手動受信の登録を続けるときは、<リセット>を押さず、手順6のPOPユーザー名の登録から操作してください。

8章

レポート / リストについて

この章では、本機から印刷されるレポート / リストの印刷方法と、見かたについて説明しています。

通信管理レポート

通信管理レポートは、最新の 200 通信分の通信結果(送信・受信)が記録されたレポートです。
200 通信ごとに、自動的に印刷されます。

- ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[13 通信管理レポート]が[あり]に設定されている場合に自動的に印刷されます。
- ファンクション設定の通信管理レポートの設定にかかわらず、[詳細設定]の[リストプリント]から、手動で通信管理レポートを印刷できます。
- [詳細設定]の[リストプリント]の[通信管理レポート]で、[送信のみ]または[全通信]を選択すると、タッチパネルで通信結果を確認できます。

ここでは、通信管理レポートを手動で印刷する操作、タッチパネルで通信結果を確認する操作、および通信管理レポートの見かたを説明します。

お知らせ

- お買い上げ時、ファンクション設定の[13 通信管理レポート]は、[あり]に設定されています。
設定を変更する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス/Eメール機能設定」を参照してください。

■通信管理レポートを印刷する

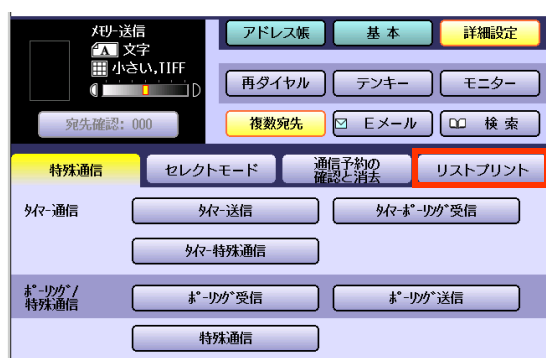
通信管理レポートを印刷する場合は、次の手順で操作します。

1. <ファクス>を押す

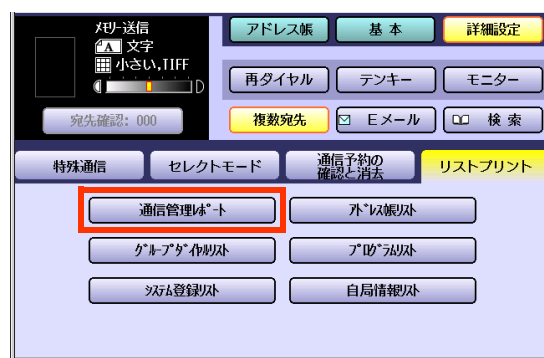
2. [詳細設定]を押す



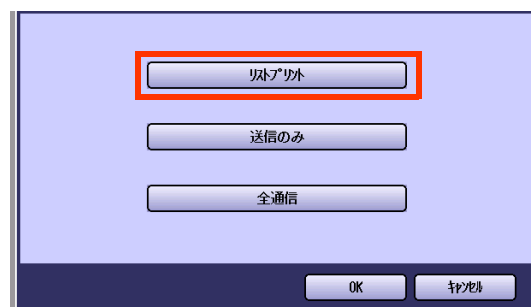
3. [リストプリント]を押す



4. [通信管理レポート]を押す



5. [送信のみ]を押す



通信管理レポートが印刷されます。

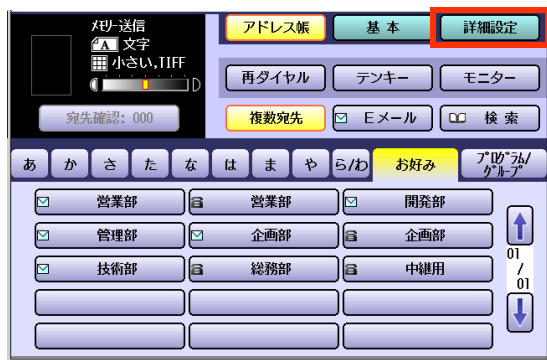
- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

■通信結果をタッチパネルで確認する

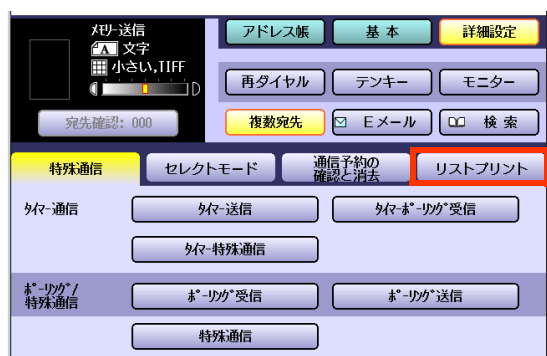
通信結果をタッチパネルで確認する場合は、次の手順で操作します。

1. <ファクス>を押す

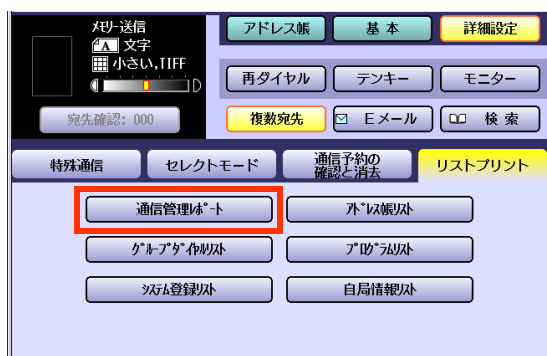
2. [詳細設定]を押す



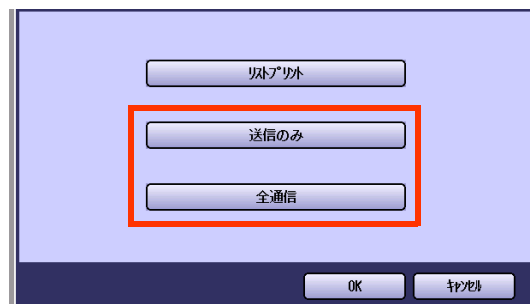
3. [リストプリント]を押す



4. [通信管理レポート]を押す



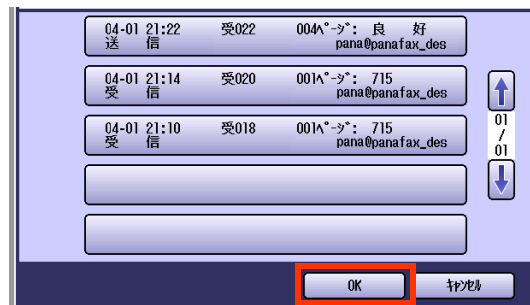
5. [送信のみ]または[全通信]を押す



送信のみ	送信結果だけを確認する場合に押します。
全通信	送信結果、受信結果の両方を確認する場合に押します。

通信結果が表示されます。

6. 通信結果の確認が終了したら、[OK]を押す



- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

■通信管理レポートの見かた

通信管理レポートには、次の項目が表示されます。

【レポート例】

通 信 管 理 レ ポ ー ト									
DP-C3040ZAJVxxxxxAZ パナソニック									
09 年 07 月 01 日 15 時 00 分									
* 送 信 *									
(5) No.	(6) 受付番号	(7) 通信日時	(8) 相手先	(9) 枚数	(10) 通信種別	(11) 通信時間	(12) モード	(13) 状況	
001	128	07-01 13:13	経理部	00/01	送 信	00:00'00	G3(1)	停止 SW	
002	158	07-01 13:37	総務部	01/01	送 信	00:00'23	G3(1)	良 好	
003	164	07-01 14:03	総務部	01/01	送 信	00:00'22	G3(1)	良 好	
004	004	07-01 14:07	営業部	00/01	マルチコピー通信	00:00'00	G3(1)	相手話中	
005	015	07-01 14:10	営業部	01/01	マルチコピー通信	00:00'39	G3(1)	良 好	
006	025	07-01 14:10	営業部	01/01	送 信	00:00'40	G3(1)	良 好	
026	035	07-01 13:55	総務部	01/01	送 信	00:00'22	G3(1)	良 好	
* 受 信 *									
No.	受付番号	通信日時	相手先	枚数	通信種別	通信時間	モード	状況	
001	156	07-01 14:37	経理部	00	受 信	00:00'00	G3(1)	停止 SW	
002	158	07-01 14:37	総務部	00	ボーリング受信	00:00'23	G3(1)	相手話中	

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	通信管理レポートのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	通信管理レポートを印刷した日時です。
(5)	No.	レポート上の番号です。
(6)	受付番号	受け付け順につけられる番号です。
(7)	通信日時	通信した日時です。
(8)	相手先	宛先名 : アドレス帳の宛先名、または相手の文字 ID です。 番号のみ : 相手の数字 ID、またはダイヤルした電話番号です。 E メールアドレス: 相手の E メールアドレスです。
(9)	枚数	送受信したページ数です。 ●2 桁の数字の場合 ダイレクト送信、クイックメモリー送信で送信できたページ、および受信できたページ数が記載されます。 ●2 桁の数字 / 2 桁の数字の場合 メモリー送信の場合に、送信できたページ数 / メモリーに蓄積したページ数の形式で記載されます。 *が記載されている場合は、相手機が異常のときです。
(10)	通信種別	次のいずれかが記載されます。 [送信] [宛先別一括送信] [パラメーター送信] [ページ再送信] [手動送信] [短縮設定送達通知] [パスワード送信] [手動ファイル転送] [短縮ダイヤル送信] [受信] [手動受信] [パラメーター設定通知] [ポーリング受信] [ポーリング送信] [短縮設定受信] [メモリー転送指示] [中継指示] [パラメーター設定受信] [マルチプリント] [マルチコピー通信] [メモリー転送送信] [F コード送信] [F 網通信] [ファイル送信] [チェック&コール]
(11)	通信時間	通信にかかった時間です。
(12)	モード	通信モードと使用した回線です。 [G3] G3 モードで通信しました。 [G3(1)] G3 モードで回線 1 を使って通信しました。 [G3(2)] G3 モードで回線 2 を使って通信しました。 [G3I3] G3 モードで通信しました (G4 通信ユニット装着時の表示)。 [G4(2)] G4 モードで ISDN 回線を使って通信しました。 [LAN] インターネット FAX 通信をしました。 [MDN] MDN(送達確認)送信、MDN(送達確認)受信をしました。

8章 レポート / リストについて

No.	項目	説明
(13)	状況	<p>[良好] 通信が正常に完了しました。</p> <p>[良好 1] IP 回線で通信が正常に完了しました。</p> <p>[良好 2] IP 回線→一般回線で、通信が正常に完了しました。</p> <p>[良好 3] プレフィクス機能を使って通信が正常に完了しました。</p> <p>[停止 SW] 通信中に<ストップ>が押されました。</p> <p>[原稿確認] 原稿のセットを確認してください。</p> <p>[ドア開き] ADF カバーを確認してください。</p> <p>[読取異常] 原稿のセットを確認してください。</p> <p>[メモリーなし] 原稿蓄積中にメモリー容量が足りなくなりました。</p> <p>[ポ原稿無] ポーリング時、原稿がありませんでした。</p> <p>[相手確認] 相手側を確認してください。</p> <p>[停電あり] 通信中に停電しました。</p> <p>[相手話中] 回線が使用中で通信できませんでした。</p> <p>[受信拒否] 迷惑ファクス防止機能が働き、受信を拒否しました。</p> <p>[××××] (××××には 4 桁のエラーコードが表示されます。) 通信エラーです。「主なエラーコード」(p.264)を参照してください。</p> <p>[- -] インターネット FAX 通信を使って送信しました。</p>

Memo

通信結果レポート

通信結果レポートは、通信の終了時に印刷される通信結果が記録されたレポートです。

- ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[12 通信結果レポート]が、[未通信]または[全通信]に設定されている場合に印刷されます。

[未通信]のとき

通信エラーなどで未通信になったときにだけ印刷されます。

[全通信]のとき

通信が正常に終了したとき、通信エラーなどで未通信になったとき、どちらの場合にも印刷されます。

- メモリー送信をした場合、通信エラーなどで未送信になったときは、通信結果レポートに、送信した文書の 1 ページ目の画像が記載されます。ダイレクト送信の場合は、記載されません。

ここでは、通信結果レポートの見かたを説明します。

お知らせ

- お買い上げ時、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[12 通信結果レポート]は[未通信]に設定されています。
設定を変更する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- [12 通信結果レポート]が[なし]に設定されている場合は、タッチパネルに通信エラーが表示されます。
- 通信結果レポートには、送信したレポートのサンプル画像が印刷されます。サンプル画像は、通信相手先により、画像の向きが回転して印刷されることがあります。

通信結果レポートには、次の項目が表示されます。

【レポート例】（[全通信]を選択した場合）

通 信 結 果 レ ポ ー ト				01 ページ (1)			
				DP-C3040ZAJVxxxxxXAZ (2)			
				パナソニック (3)			
				09年07月01日15時00分 (4)			
*** 未通信があります。 ***							
受付番号：128 受付日時：07月01日14時30分 完了日時：07月01日14時38分							
(5) No.	(6) 受付番号	(7) 通信日時	(8) 相手先	(9) 枚数	(10) 通信種別	(11) 通信時間	(12) (13) モード 状況
001	128	07-01 14:30	経理部	01/01	送 信	00:00'23	G3(1) 良 好
002	128	07-01 14:33	総務部	01/01	送 信	00:00'22	G3(1) 良 好
003	128	07-01 14:36	人事部	00/01	送 信	00:00'00	G3(1) 停止 SW
(14) 未通信 (001カ所) 人事部							

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	通信結果レポートのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	通信結果レポートを印刷した日時です。
(5)	No.	レポート上の番号です。
(6)	受付番号	受け付け順につけられる番号です。
(7)	通信日時	通信した日時です。
(8)	相手先	宛先名 : アドレス帳の宛先名、または相手の文字 ID です。 番号のみ : 相手の数字 ID、またはダイヤルした電話番号です。 E メールアドレス: 相手の E メールアドレスです。
(9)	枚数	送信したページ数です。 ●2桁の数字の場合 ダイレクト送信、クイックメモリー送信で送信できたページ、および受信できたページ数が記載されます。 ●2桁の数字 / 2桁の数字の場合 メモリー送信の場合に、送信できたページ数 / メモリーに蓄積したページ数の形式で記載されます。 *が記載されている場合は、相手機が異常のときです。

8 章 レポート / リストについて

No.	項目	説明
(10)	通信種別	次のいずれかが記載されます。 [送信] [宛先別一括送信] [ページ再送信] [手動送信] [パスワード送信] [中継指示] [ポーリング受信] [マルチコピー通信] [メモリー転送送信] [F 網通信] [F コード送信] [中継送信] [ファイル送信]
(11)	通信時間	通信にかかった時間です。
(12)	モード	通信モードと使用した回線です。 [G3] G3 モードで通信しました。 [G3(1)] G3 モードで回線 1 を使って通信しました。 [G3(2)] G3 モードで回線 2 を使って通信しました。 [G3I3] G3 モードで通信しました (G 4 通信ユニット装着時の表示)。 [G4(2)] G4 モードで ISDN 回線を使って通信しました。 [LAN] インターネット FAX 送信をしました。 [MDN] MDN(送達確認)送信、MDN(送達確認)受信をしました。
(13)	状況	[良好] 通信が正常に完了しました。 [良好 1] IP 回線で通信が正常に完了しました。 [良好 2] IP 回線→一般回線で、通信が正常に完了しました。 [良好 3] プレフィクス機能を使って通信が正常に完了しました。 [停止 SW] 通信中に<ストップ>が押されました。 [原稿確認] 原稿のセットを確認してください。 [ドア開き] ADF カバーを確認してください。 [読取異常] 原稿のセットを確認してください。 [メモリーなし] 原稿蓄積中にメモリー容量が足りなくなりました。 [ポ原稿無] ポーリング時、原稿がありませんでした。 [相手確認] 相手側を確認してください。 [停電あり] 通信中に停電しました。 [相手話中] 回線が使用中で通信できませんでした。 [××××] (××××には 4 桁のエラーコードが表示されます)。 通信エラーです。「主なエラーコード」(p.264)を参照してください。
(14)	未通信	未通信ファイルがある場合に、未送信の宛先数と、宛先が表示されません。

Memo

アドレス帳リスト

アドレス帳の登録内容を記載したリストを印刷できます。

ここでは、アドレス帳リストを印刷する操作、およびアドレス帳リストの見かたを説明します。

■アドレス帳リストを印刷する

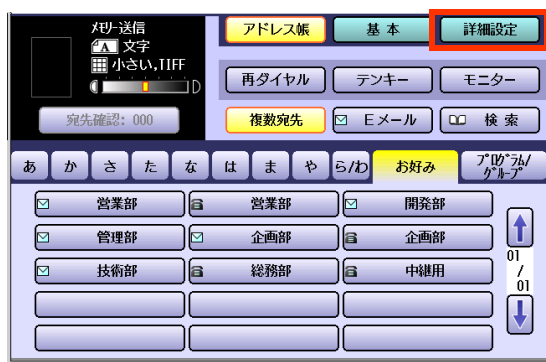
アドレス帳リストを印刷する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

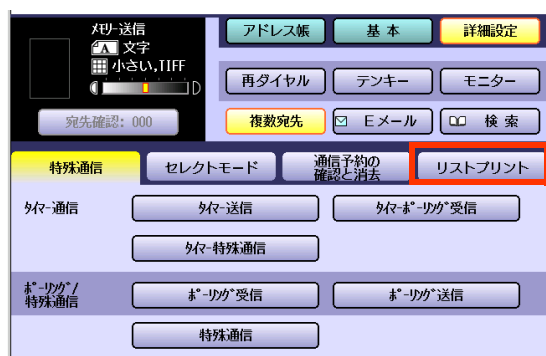
アドレス帳リストは、ファンクション設定の[ファクス / Eメール機能設定] > [アドレス帳登録] で印刷することもできます。

1. <ファクス>を押す

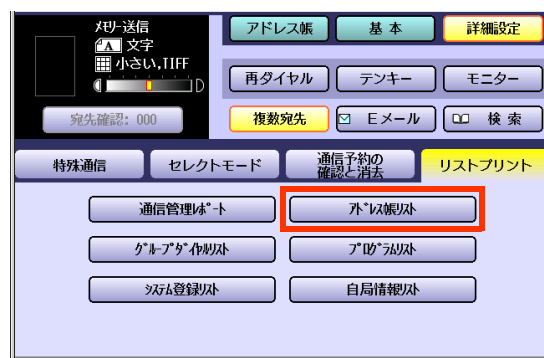
2. [詳細設定]を押す



3. [リストプリント]を押す



4. [アドレス帳リスト]を押す



アドレス帳リストが印刷されます。

- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

■アドレス帳リストの見かた

アドレス帳リストには、次の項目が表示されます。

【リスト例】

ア ド レ ス 帳 リ ス ト		01 ページ (1)																								
		DP-C3040ZAJVxxxxxAZ (2)																								
		パナソニック (3)																								
		09年07月01日15時00分 (4)																								
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <p>(5) ■検索文字 【あ】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(6) ボタン名称</th> <th>(7) 登録名称/電話番号</th> <th>(8) 識別番号</th> <th>(9) 中継指定</th> <th>(10) 指定番号</th> <th>(11) 指定部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青森総務部Eメール</td> <td>Panasonic 青森 総務部 (LAN)aomori_somu@panasonic.com</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>青森総務部ファクス</td> <td>Panasonic 青森 総務部 (回線)00012345678</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>秋田総務部</td> <td>Panasonic 秋田 総務部 (LAN)akita_somu@panasonic.com</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 35%;"></div> </div>			(6) ボタン名称	(7) 登録名称/電話番号	(8) 識別番号	(9) 中継指定	(10) 指定番号	(11) 指定部数	青森総務部Eメール	Panasonic 青森 総務部 (LAN)aomori_somu@panasonic.com					青森総務部ファクス	Panasonic 青森 総務部 (回線)00012345678					秋田総務部	Panasonic 秋田 総務部 (LAN)akita_somu@panasonic.com				
(6) ボタン名称	(7) 登録名称/電話番号	(8) 識別番号	(9) 中継指定	(10) 指定番号	(11) 指定部数																					
青森総務部Eメール	Panasonic 青森 総務部 (LAN)aomori_somu@panasonic.com																									
青森総務部ファクス	Panasonic 青森 総務部 (回線)00012345678																									
秋田総務部	Panasonic 秋田 総務部 (LAN)akita_somu@panasonic.com																									

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	アドレス帳リストのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	アドレス帳リストを印刷した日時です。
(5)	検索文字	検索文字の先頭の文字です。
(6)	ボタン名称	ボタン名が、10 文字まで記載されます。
(7)	登録名称 / 電話番号	電話番号は 52 桁まで、E メールアドレスは 60 文字まで記載されます。
(8)	識別番号	中継機識別番号と 2 次中継機識別番号です。
(9)	中継指定	中継同報の設定です。
(10)	指定番号	中継同報の指定番号です。
(11)	指定部数	[送信(××)] マルチ通信部数で指定した部数です。 [受信(××)] マルチプリント部数で指定した部数です。 (××には、部数が表示されます。)

グループダイヤルリスト

グループダイヤルの登録内容を記載したリストを印刷できます。

ここでは、グループダイヤルリストを印刷する操作、およびグループダイヤルリストの見かたを説明します。

■グループダイヤルリストを印刷する

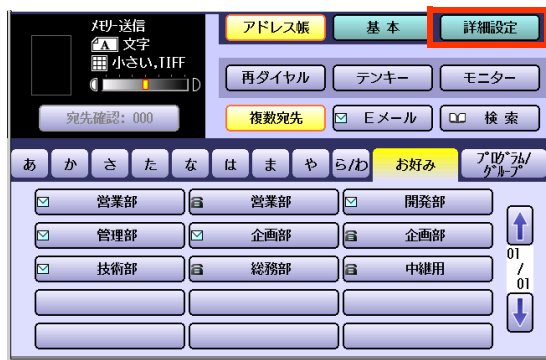
グループダイヤルリストを印刷する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

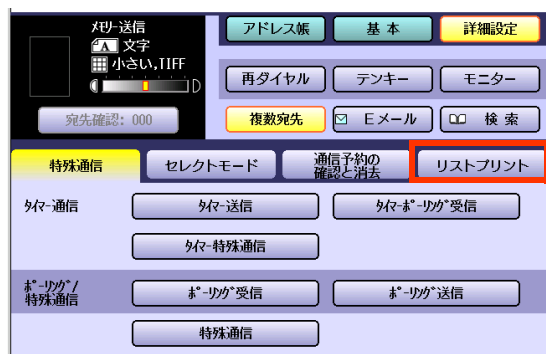
グループダイヤルのリストは、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[プログラムダイヤルの登録]で印刷することもできます。

1. <ファクス>を押す

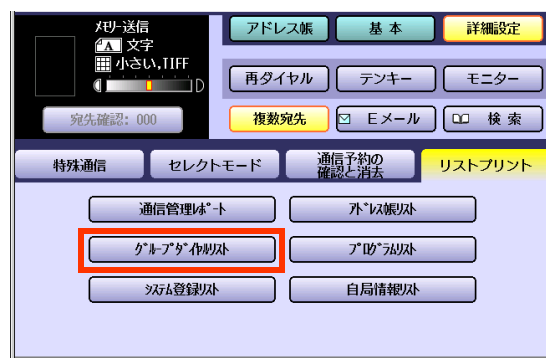
2. [詳細設定]を押す



3. [リストプリント]を押す



4. [グループダイヤルリスト]を押す



グループダイヤルリストが印刷されます。

- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

■グループダイヤルリストの見かた

グループダイヤルリストには、次の項目が表示されます。

【リスト例】

グ ル ー プ ダ イ ヤ ル リ ス ト		01 ページ (1)
		DP-C3040ZAJVxxxxxAZ (2)
		パナソニック (3)
		09 年 07 月 01 日 15 時 00 分 (4)
(5) ボタン名称	(6) 登録名称	
グループ 01	グループ 01 宛先： 営業部 , 開発部 , 管理部 , 企画部	
	(7)	

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	グループダイヤルリストのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	グループダイヤルリストを印刷した日時です。
(5)	ボタン名称	グループダイヤルのボタン名が、10 文字まで記載されます。
(6)	登録名称	グループダイヤルの名前が 20 文字まで記載されます。
(7)	宛先	グループダイヤルに登録したアドレス帳の名称です。

プログラムダイヤルのリスト

プログラムダイヤルの登録内容を記載したリストを印刷できます。

ここでは、プログラムダイヤルのリストを印刷する操作、およびプログラムダイヤルのリストの見かたを説明します。

■プログラムダイヤルのリストを印刷する

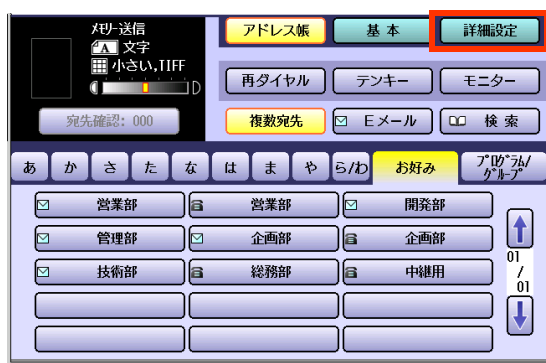
プログラムダイヤルのリストを印刷する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

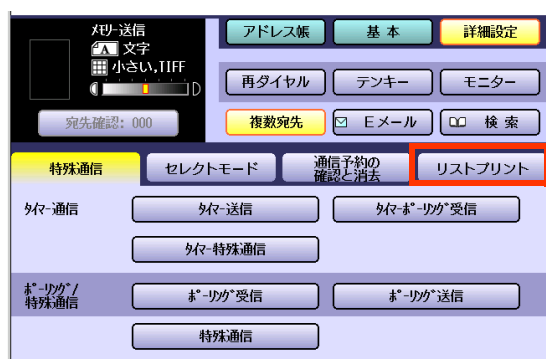
プログラムダイヤルのリストは、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[プログラムダイヤルの登録]で印刷することもできます。

1. <ファクス>を押す

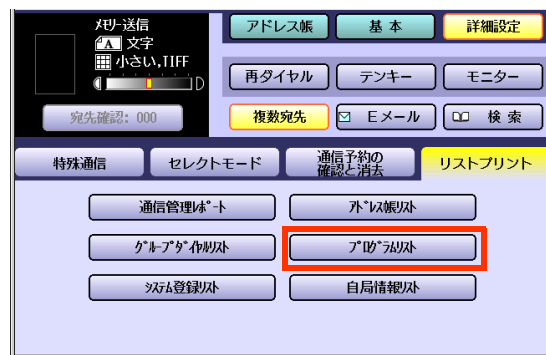
2. [詳細設定]を押す



3. [リストプリント]を押す



4. [プログラムリスト]を押す



プログラムダイヤルのリストが印刷されます。

- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

■プログラムダイヤルのリストの見かた

プログラムダイヤルのリストには、次の項目が表示されます。

【リスト例】

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> プ ロ グ ラ ム ダ イ ヤ ル リ ス ト </div>		01 ページ (1) DP-C3040ZAJVxxxxxXAZ (2) パナソニック (3) 09年07月01日15時00分 (4)	
(5) ボタン名称	(6) 登録名称	(7) サービス名	(8) 付加サービス
タイマー送信：青森	タイマー送信：青森総務部	送 信	優先指定 : なし メモリー/ダイヤル : メモリー 時刻指定 : 23時30分 セレクト送信 : なし 定期便タイマー通信 : なし ワンタイム海外通信 : なし 読み取り濃度 : ふつう 文字サイズ : 小さい ハーフトーン : 文字 済スタンプ : あり
(9) 宛先： 営業部			
ボタン名称	登録名称	サービス名	付加サービス
POP受信	abc	POP受信	パスワード : *****(*) メール削除 : あり

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	プログラムダイヤルリストのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	プログラムダイヤルリストを印刷した日時です。
(5)	ボタン名称	プログラムダイヤルのボタン名が、10 文字まで記載されます。
(6)	登録名称	プログラムダイヤルの名前が 20 文字まで記載されます。 POP 受信の場合は、ユーザー名が記載されます。
(7)	サービス名	送信、受信の区別が記載されます。
(8)	付加サービス	通信の種類・設定状態の形式で記載されます。 POP 受信の場合は、パスワード(*)、メール削除の設定が記載されます。
(9)	宛先	宛先が記載されます。

システム登録リスト

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]の設定状態を記載したリストを印刷できます。

ここでは、システム登録リストを印刷する操作、およびシステム登録リストの見かたを説明します。

■システム登録リストを印刷する

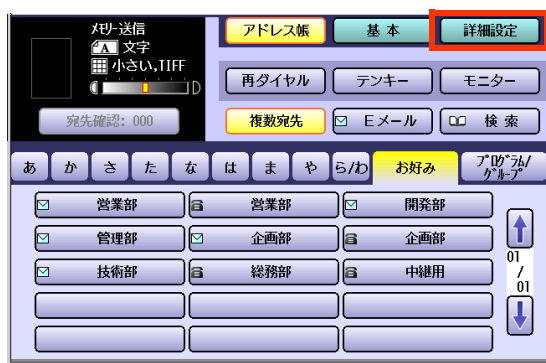
システム登録リストを印刷する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

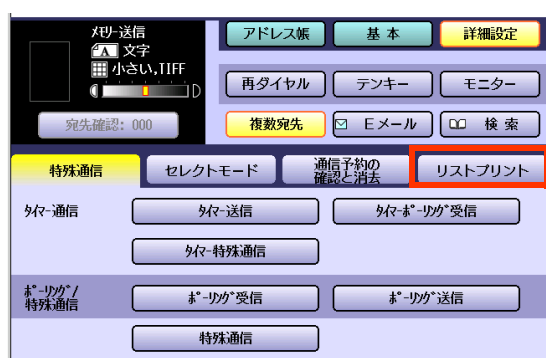
システム登録リストは、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]で印刷することもできます。

1. <ファクス>を押す

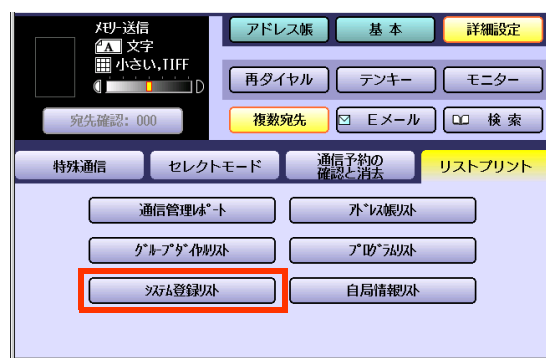
2. [詳細設定]を押す



3. [リストプリント]を押す



4. [システム登録リスト]を押す



システム登録リストが印刷されます。

- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

■システム登録リストの見かた

システム登録リストには、次の項目が表示されます。

【リスト例】

シ ス テ ム 登 録 リ ス ト					01 ページ (1)
					DP-C3040ZAJVxxxxxAZ (2)
					パナソニック (3)
					09年07月01日15時00分 (4)
(5) No.	(6) 項目名	(7) 選択肢	(8) 現在値 設定	(9) 初期値 設定	
000	システム登録リスト印刷				
001	濃度デフォルト	(-3 -2 -1 0 1 2 3)	0	0	
* 002	文字サイズ	(ふつう 小さい 細密)	細密	小さい	
003	画質デフォルト	(文字 文字写真 写真)	文字	文字	
004	済スタンプ	(なし あり)	あり	あり	
005	送信メモリー優先	(なし あり)	あり	あり	
006	ダイヤル切替 回線 1	(PB 10pps 20pps)	PB	PB	
007	発信元印字	(なし 原稿外 原稿内)	原稿内	原稿内	
009	受信時刻印字	(なし あり)	なし	なし	

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	システム登録リストのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	システム登録リストを印刷した日時です。
(5)	No.	パラメーター番号です。初期値から変更されている場合は、No. の左側に「*」が記載されます。
(6)	項目名	システムの登録の項目名です。
(7)	選択肢	選択できる値です。
(8)	現在値設定	現在の設定です。 [----]は、パスワードが設定されていないことを表します。 パスワードが設定されている場合は、パスワードが記載されます。
(9)	初期値設定	お買い上げ時の設定です。

自局情報リスト

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]の設定状態を記載したリストを印刷できます。

ここでは、自局情報リストを印刷する操作、および自局情報リストの見かたを説明します。

■自局情報リストを印刷する

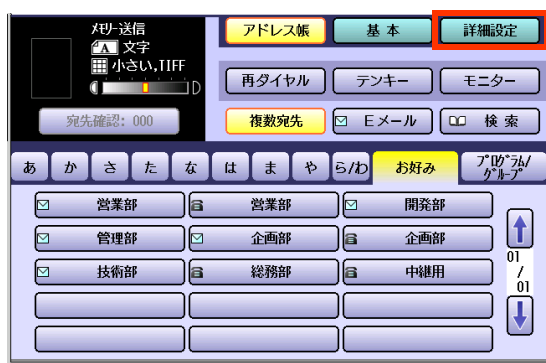
自局情報リストを印刷する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

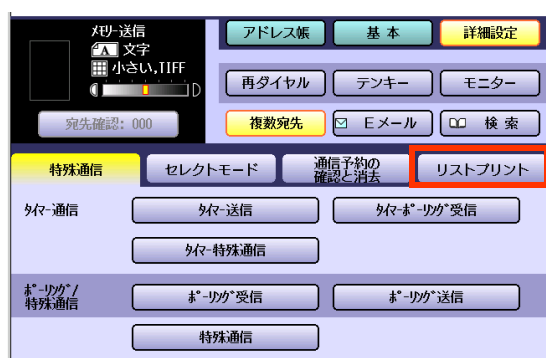
自局情報リストは、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]で印刷することもできます。

1. <ファクス>を押す

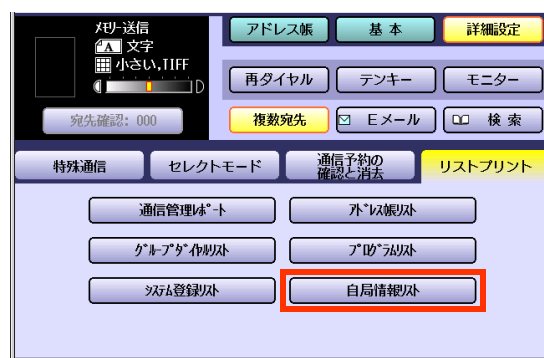
2. [詳細設定]を押す



3. [リストプリント]を押す



4. [自局情報リスト]を押す



自局情報リストが印刷されます。

- 操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。

■自局情報リストの見かた

自局情報リストには、次の項目が表示されます。

【リスト例】

自 局 情 報 リ ス ト		01 ページ (1)
		DP-C3040ZAJVxxxxxAZ (2)
		パナソニック (3)
		09 年 07 月 01 日 15 時 00 分 (4)
(5)	(6)	(7)
No.	項目名	設定
00	自局情報リスト印刷	
01	発信元情報の登録	パナソニック
02	文字 ID(カナ) の登録	
03	回線 1 数字 ID の登録	
04	定時刻タイマーの登録	11:00
05	定期便タイマーの登録	11:00 12:00
06	F コートサブアドレスの登録	
07	F コートパスワードの登録	

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	自局情報リストのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	自局情報リストを印刷した日時です。
(5)	No.	パラメーター番号です。
(6)	項目名	自局情報の登録の項目名です。
(7)	設定	現在の設定状態です。

Memo

9章

トラブルの対処方法

この章では、トラブルが発生したときの対処方法について説明しています。

トラブルの対処方法

故障かな？と思ったときは、次の項目をチェックしてください。

こんなときには	現象	対処方法	参照先
送信中	原稿が送り込まれないか、または複数枚同時に送り込まれる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原稿にステープルの針やクリップがついていないこと、また汚れや破れのないことを確認してください。 2. 原稿が正しくセットされていることを確認してください。 	_____
	済スタンプが押されない	ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[04 済スタンプ]、および[28 メモリー済スタンプ]の設定値を確認してください。	『取扱説明書（ファンクション設定編）』
	済スタンプが薄すぎる	済スタンプを交換してください。	「付録 A 済スタンプの交換」(p.272)
	送信した原稿に受信側で縦線が入る	本機でコピーをし、画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している受信側に報告をしてください。 コピーに問題がある場合は、原稿読取部を清掃してください。	_____
	送信した原稿が、受信側で白紙として出てくる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原稿が正しくセットされていることを確認してください。 2. 本機でコピーをし、画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している受信側に報告をしてください。 コピーに問題がある場合は、原稿読取部を清掃してください。 	「原稿セットのしかた」(p.14)』 『取扱説明書（メンテナンス編）』
	原稿づまり	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原稿がつまった場合は、エラーコードがタッチパネルに表示されます。つまった原稿を取り除いてください。 2. 長い原稿の場合は、送信できないことがあります。下記を参照して、原稿の長さを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 解像度が[ふつう]、[小さい]で原稿の長さが 2m を超えている ・ 解像度が[細密]の場合で原稿の長さが 50cm を超えている ・ 解像度が[600dpi]の場合で原稿の長さが 30cm を超えている (A4 より大きいサイズの両面原稿は自動的に[細密]となることがあります。) 	『取扱説明書（メンテナンス編）』

こんなときには	現象	対処方法	参照先
受信中	用紙切れ	用紙がなくなった場合は、エラーメッセージがタッチパネルに表示されます。用紙を補給してください。	_____
	用紙づまり	用紙がつまった場合は、エラーコードがタッチパネルに表示されます。つまった用紙を取り除いてください。	『取扱説明書(メンテナンス編)』
	用紙が送り込まれない	用紙カセットに用紙がセットされていることを確認してください。用紙のセット方法については、該当する指示に従ってください。	『取扱説明書(メンテナンス編)』
	印刷終了時に用紙が排出されない	用紙が本機内でつまっていないかを確認してください。	『取扱説明書(メンテナンス編)』
通信	発信音が聞こえない	1. 電話回線の接続を確認してください。 2. 電話回線の設定を確認してください。	「電話回線を確認する」(p.270) 『取扱説明書(セットアップ管理者編)』
	自動受信しない	1. 電話回線の接続を確認してください。 2. 受信モードの設定を確認してください。 3. ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [01 システムの登録] > [13 通信管理レポート]を[あり]に設定している場合、受信原稿をメモリーから印刷しているときは(200 番目の処理になる場合があります)、通信管理レポートの印刷が終了するまで自動受信は有効になりません。	『取扱説明書(ファンクション設定編)』
	送受信ができない	タッチパネルにエラーコードが表示されます。エラーコード表を参照して原因を特定してください。	「主なエラーコード」(p.264)
操作	操作を受け付けない	本機の電源をオフにし、数秒後にオンにしてください。	_____

主なエラーコード

通信できない場合などは、通信結果レポートや通信管理レポートにエラーコードが表示されます。エラーコードが表示された場合は、次の表に従って対処してください。

- ここに記載されていないエラーコード(U、J、E が先頭につくエラーコード)については、『取扱説明書(基本編)』の「トラブルの処置」を参照してください。
- 下記以外のエラーコードが表示された場合は、もう一度通信してみてください。処置をしても同じエラーコードが表示される場合は、サービス実施会社にご連絡ください。
- ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[123 リルート機能]が[あり]に設定されている場合は、エラーコード先頭の番号が3～5(例:3XXX、4XXX、5XXX)となります。先頭の番号は、ルートを示します。

「3」..... IP 電話→IP 電話発呼

「4」..... IP 電話→一般電話発呼

「5」..... 一般電話→一般電話発呼

お知らせ

- ISDN 回線に関するエラーコードについては、「付録 B ISDN 回線を使うとき」(p.273)」を参照してください。

エラーコード	現象	対処方法	参照先
0400	受信局が応答しなかったか、または通信エラーが発生しました。	1.相手先を替えて確認してください。 2.原稿をセットし直し、再送してください。	_____
0401	次のいずれかが原因で、原稿を受信できません。 ・中継局に受信用パスワードが必要です。 ・中継局が送信側機器の ID 番号(電話番号)を要求しています。	中継局に確認してください。 本機の数字 ID 番号(電話番号)を登録してください。	_____
0402	エラーが発生しました。	原稿をセットし直し、再送してください。	_____
0403	相手先にポーリング機能がありません。	ポーリングを[あり]に設定するように相手先に連絡してください。	_____
0404 /0405	通信エラーが発生しました。	原稿をセットし直し、再送してください。	_____
0406	次のいずれかが原因で通信できません。 ・送信用/受信用パスワードが一致しません。 ・不正な相手局とセレクト送信/受信モードで通信しました。	1.送信用パスワード、受信用パスワードを確認してください。 2.アドレス帳に登録されている電話番号を確認してください。 3.相手先の数字 ID を確認してください。	「誤送信を防止する[セレクト送信]」(p.89) 「パスワードを使って送信する[パスワード送信]」(p.91) 「セレクト受信」(p.114) 「パスワード受信」(p.116)
0407	受信局からのページ送信済み確認信号が得られません。	数分後に再送してください。	_____

エラーコード	現象	対処方法	参照先
0408 /0409	遠隔側からのページ送信済み 確認信号が判読できません。	数分後に再送してください。	_____
0410	送信側で、通信が打ち切られ ました。	相手先を替えて確認してください。	_____
0411	ポーリング用パスワードが 一致しません。	ポーリング(受信)用パスワードを確認し てください。	「受信側からの 指示で原稿を送 信させる[ポー リング受信]」 (p.68)
0412	送信側からのデータが得ら れません。	相手先を替えて確認してください。	_____
0414	ポーリング用パスワードが 一致しません。	ポーリング(受信)用パスワードを確認し てください。	「受信側からの 指示で原稿を送 信させる[ポー リング受信]」 (p.68)
0415	ポーリング送信エラーが発 生しました。	ポーリング(送信)用パスワードを確認し てください。	「ポーリング送 信原稿を蓄積す る[ポーリング 送信]」(p.70)
0416 /0417 /0418 /0419	受信データに含まれるエ ラーが多すぎます。	相手先を替えて確認してください。	_____
0420 /0421	送信側からのコマンドを受 信できません。	1. 相手先の間違い電話の場合があります。 2. 相手先を替えて確認してください。	_____
0422 /0427	インターフェースに互換性 がありません。	相手先を替えて確認してください。	_____
0430 /0434	受信中に通信エラーが発生 しました。	相手先を替えて確認してください。	_____
0438	受信拒否リストの数字 ID と 合致した相手機から送信さ れました。	_____	「迷惑ファクス 防止」(p.118)
0436 /0490	受信データに含まれるエ ラーが多すぎます。	相手先を替えて確認してください。	_____
0439	受信中に回線が切断されま した。	相手先を替えて確認してください。	_____
0492 /0493 /0494	受信中に通信エラーが発生 しました。	相手先を替えて確認してください。	_____
0495	電話回線が切断されました。	相手先を替えて確認してください。	_____
0501 /0502 /0503	内蔵 V.34 モデムで通信エ ラーが発生しました。	相手先を替えて確認してください。	_____
0504	ポーリング受信で送信側から データが得られませんでした。	相手先に送信データがあるか確認してく ださい。	_____

9 章 トラブルの対処方法

エラーコード	現象	対処方法	参照先
0505	ポーリング送信エラーが発生しました。	送信データが蓄積されているか確認してください。	「ポーリング送信原稿を蓄積する[ポーリング送信]」(p.70)
0540 /0541 /0542 /0543 /0544	送信中に通信エラーが発生しました。	1.原稿をセットし直し、再送してください。 2.相手先を替えて確認してください。	_____
0550	電話回線が切断されました。	相手先を替えて確認してください。	_____
0552 /0553 /0554 /0555	受信中に通信エラーが発生しました。	相手先を替えて確認してください。	_____
0580	F コード通信機能をもたない相手へサブアドレス送信をしました。	相手先を替えて確認してください。	「F コード(サブアドレス)を使って通信をする[F コード通信]」(p.82)
	マルチコピー通信時、相手にマルチコピー通信の能力がありませんでした。	マルチコピー通信はできません。	「受信側で複数部数印刷させる[マルチコピー通信]」(p.86)
0581	F コード通信機能をもたない相手へサブアドレス送信をしました。	相手先を替えて確認してください。	「F コード(サブアドレス)を使って通信をする[F コード通信]」(p.82)
0623	ADF に原稿がセットされていません。	原稿をセットし直し、再送してください。	_____
0630	回線使用中で、再ダイヤルに失敗しました。	原稿をセットし直し、再送してください。	_____
0631 /0700	ダイヤル中に<ストップ>が押されました。	原稿をセットし直し、再送してください。	_____
0634	相手先が無応答、電話番号が間違っている、再ダイヤルに失敗かのいずれかです。 注:ビジートーンが検出できなかった場合、本機では、1回だけ再ダイヤルされます。	相手の電話番号を確認し、再送してください。	_____
0638	通信中に停電が発生しました。	電源コードとプラグを確認してください。	_____
0711	LDAP の設定が誤っています。	LDAP サーバー名、ログイン名、パスワードなどを確認してください。	『取扱説明書(ファンクション設定編)』

エラーコード	現象	対処方法	参照先
0712	メールアドレスが誤っています。	登録されているメールアドレスを確認してください。 メールサーバー(SMTPサーバー)のIPアドレスをネットワーク管理者にお問い合わせください。	『取扱説明書 (セットアップ 管理者編)』
0714	LAN にログオンできません。	10Base-T/100Base-TX/1000Base-T ケーブルの接続を確認してください。 予期できない問題が発生しました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	『取扱説明書 (セットアップ 管理者編)』
0715	TCP/IP 接続がタイムアウトしました。	インターネット FAX のファンクション設定を確認してください。 (IP アドレス、ゲートウェイ IP アドレスの初期値、メールサーバー(SMTPサーバー)の IP アドレス)	『取扱説明書 (セットアップ 管理者編)』
0716	指定したメールサーバー(SMTP サーバー)にログオンできません。	メールサーバー(SMTPサーバー)のIPの設定を確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	『取扱説明書 (セットアップ 管理者編)』
0717	SMTP プロトコル伝送が不完全です。 メールサーバー(SMTPサーバー)のハードディスクが一杯の可能性あります。	メールサーバー(SMTPサーバー)に障害があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	_____
0718	プリントデータ受信時にページメモリーオーバーフローが発生しました。 アプリケーションソフトで、本機用の紙力セットの用紙サイズよりも大きいサイズが選択されています。	原稿サイズと解像度を確認してください。 本機で対応している原稿サイズと解像度で再送してもらうように送信側に連絡してください。	_____
0719	LAN 経由で受信したデータ形式が対応していません。	以下に示すような、対応するファイル形式で添付し、再送してもらうように送信側に連絡してください。 ・TIFF-F 形式 ・用紙のサイズに合う画像データ	_____
0720	POP 受信サーバーに接続できません。	POP 受信サーバーのIPアドレスに誤りがある場合があります。POP 受信サーバーの IP アドレスを確認してください。 POP 受信サーバーがダウンしている場合があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	『取扱説明書 (セットアップ 管理者編)』
0721	POP 受信サーバーに接続できません。	POP 受信サーバーのユーザー名やパスワードの設定に誤りがある場合があります。 POP ユーザー名とパスワード、または APOP 設定値を確認してください。 ネットワーク管理者にお問い合わせください。	『取扱説明書 (セットアップ 管理者編)』

9 章 トラブルの対処方法

エラーコード	現象	対処方法	参照先
0722	DHCP サーバーからのネットワークパラメーター(例:IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトのゲートウェイIP アドレス)の取得に失敗しました。	1.LAN ケーブルの接続を確認してください。 2.ネットワーク管理者に問い合わせ、お手元のネットワークでDHCPが使用できるか確認してください。	『取扱説明書 (セットアップ 管理者編)』
0725	DNS サーバー接続がタイムアウトしました。	DNS サーバーの IP アドレスを確認してください。 ネットワーク管理者にお問い合わせください。	『取扱説明書 (セットアップ 管理者編)』
0726	DNS サーバーからエラー応答を受信しました。	POP 受信サーバー名を確認してください。 メールサーバー(SMTP サーバー)名を確認してください。	『取扱説明書 (セットアップ 管理者編)』
0728	ダイレクト SMTP を使用した送信でエラーが発生しました。	相手先の設定を確認してください。	_____
0729	メールサーバー(SMTP サーバー)との接続時に SMTP 認証を失敗しました。	SMTP 認証ユーザー名とパスワードを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	_____
0730	コンピューターからのEメール送信によるリモート登録で、通信管理レポートを取り出せません。 また、インターネットパラメーターやアドレス帳も登録できません。	ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[158 メールリモート登録]が[あり]に設定されているかを確認してください。	『取扱説明書 (ファンクション設定編)』
0731	中継送信要求を受けたときに、手動ダイヤルのダイヤル数が一杯(50 宛先まで)になりました。	予約通信終了後に中継送信要求を送信し直してもらうように送信元に連絡してください。	_____
0734	インターネット FAX の送信 / 受信機能が、管理者によって使用できないように設定されています。	管理者にお問い合わせください。	_____
0800 /0814 /0816 /0825	相手先が中継機能をもっていない。	相手先の設定を確認してください。	_____
0826	アドレス帳に受信したサブアドレスが登録されていません。	アドレス帳の登録を確認してください。 相手先のサブアドレス登録を確認してください。	「アドレス帳に メールアドレス を登録する」 (p.222)
0870	送信原稿を蓄積中にメモリーフルとなりました。	1.ダイレクト送信してください。 2.本体内部に設置する増設 SD メモリーカードを装着してください。	「メモリーに蓄 積せずに送信す る[ダイレクト 送信]」(p.46)

停電時の対応について

ファクスのディスプレイは消えています。ファクスを送ったり受けたりすることはできません。

項目			本機の状態
ファクス	・停電になったとき ・停電中	ファクス送信	・ ファクス送信は中止されます。停電復旧後、もう一度送信してください。 ・ 停電中は送信できません。
		ファクス受信	・ ファクス受信は中止されます。停電復旧後、相手の方にもう一度送信を依頼してください。 ・ 停電中は受信できません。
	停電から復旧したとき	ファクス送信	未送信のデータがある場合は、すぐに再送されます。
		メモリーの内容	メモリーに蓄積されている送信および受信データは保持されています。
		ファクスに登録/設定した内容	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなどの登録内容、その他各種登録は、停電中も消えることなく保持されています。
外部電話接続時	・停電になったとき ・停電中	・ 通話中 ・ 電話をかける、受ける	お使いの電話機の仕様をご確認ください。

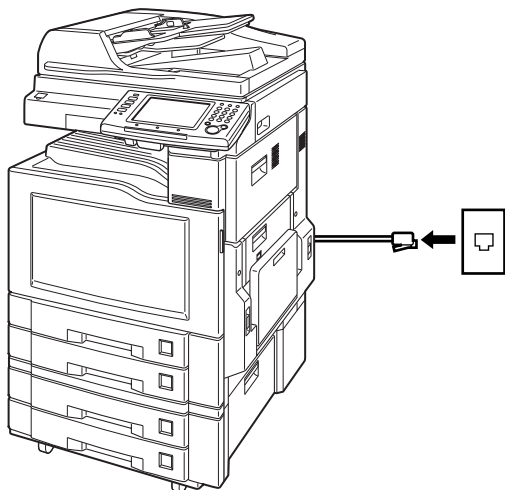
お知らせ

- 原稿を読み取り中に停電した場合は、読み取りは中断されます。停電復旧後、もう一度読み取りをしてください。ファクス送信時、原稿読み取り後のメモリー送信中に停電した場合は、停電復旧後、直ちに再送信されます。
- 記載の内容は一般回線(公衆回線)に接続されている場合です。電話交換機(PBX)などに接続されている場合は、お使いの機器の仕様をご確認ください。

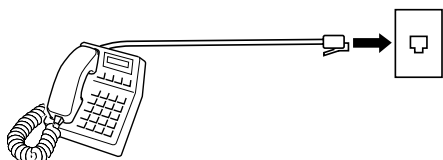
電話回線を確認する

ファクス機能の[モニター]を押しても「ツー」という電話回線上の音が聞こえない場合や、受信できない場合は、次の手順で電話回線を確認してください。

1. 回線コンセントから電話線を抜く

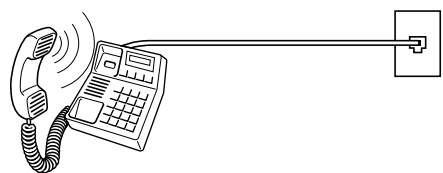


2. 一般の電話機に接続されている電話線を回線コンセントに差し込む



3. 受話器を上げ、「ツー」という電話回線の音が聞こえるかどうかを確認する

- 電話回線の音が聞こえない場合は、最寄りの NTT などにお問い合わせいただくか、サービス実施会社にご連絡ください。



10_章 付録

この章では、済スタンプの交換方法、ISDN 回線を使うとき、文字入力のしかた、文字を入力するときに必要な、区コード一覧 / 熟語・記号一覧、主な仕様について説明しています。

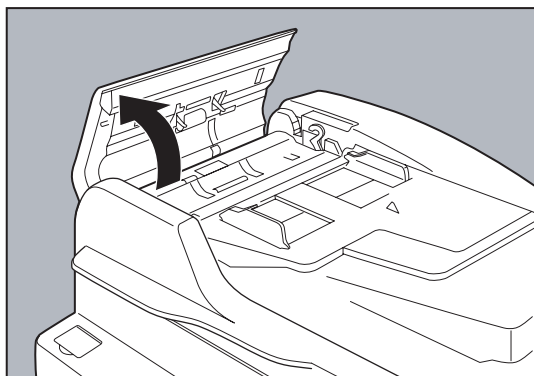
付録 A 済スタンプの交換

済スタンプを交換する場合は、次の手順で操作します。

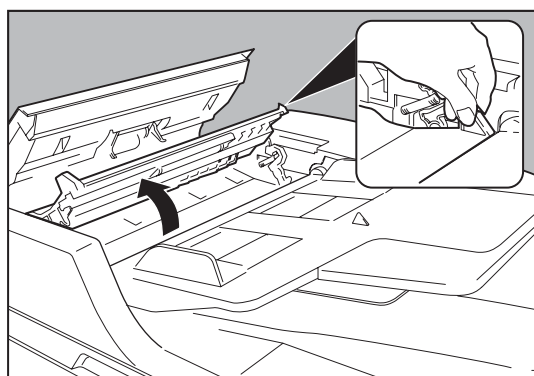
お知らせ

- 済スタンプは当社指定品をご使用ください。(品番 UG-4105-2)

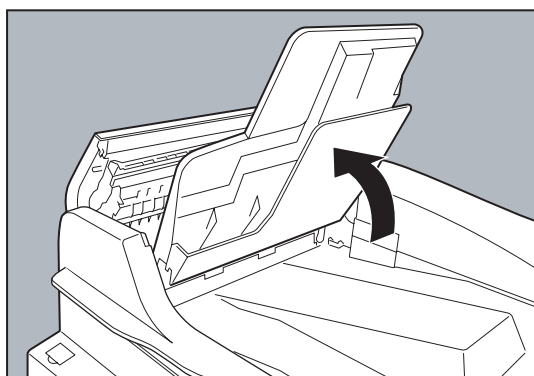
1. ADF カバーを上げる



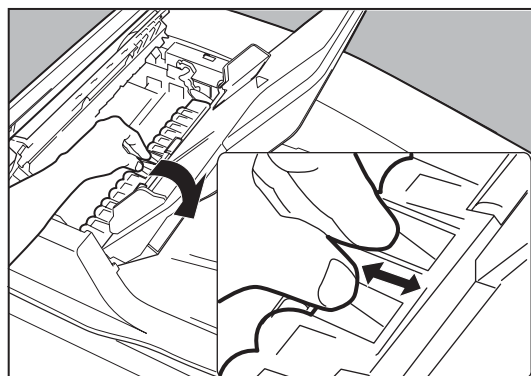
2. 緑色のラベルのタブをつかみ、インナーカバーを開く



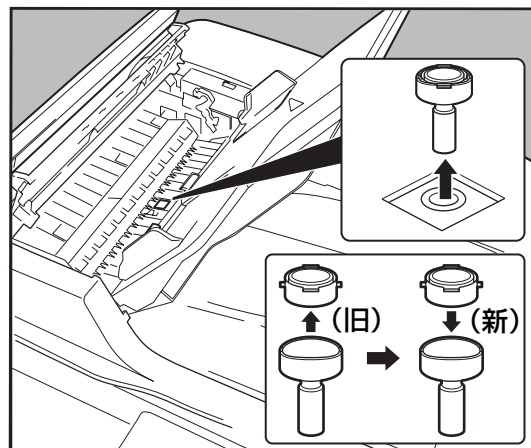
3. ADF 原稿台を上げる



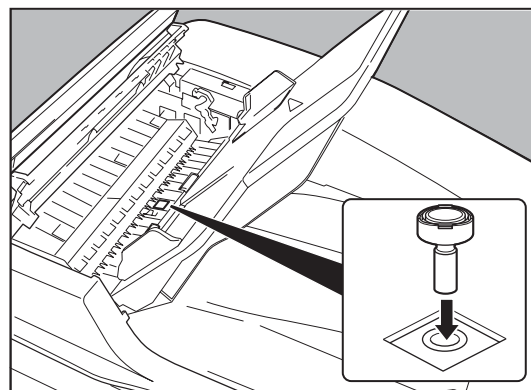
4. 緑色のラベルのタブをつかみ、排出ガイドを開く



5. 済スタンプを上引き抜いて取り外し、新しい済スタンプへ交換する



6. 済スタンプを取り付け、カバーなどを元の状態に戻す



付録 B ISDN 回線を使うとき

G4 通信ユニット(DA-FG323)を装着している場合、本機は ISDN 回線に接続し、G4 モードで送受信できます。

ここでは、ISDN 回線に接続する場合の、セットアップ方法、ファクス送信の操作、トラブルが発生した場合の対処について説明します。

■ セットアップ方法

本機を ISDN 回線に接続する場合は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [00 自局情報の登録]で、次の項目を設定する必要があります。

お知らせ

- 詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。
- ファンクション設定の項目については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- 下記の項目は、G4 通信ユニット(DA-FG323)を装着している場合に表示されます。

ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [00 自局情報の登録]での設定項目

タブ / No.		項目	設定内容
0-19	11	ISDN 基本番号の登録	ISDN 回線の電話番号を設定します。 例: 5551214
	12	ISDN ダイヤルインの登録	ISDN 回線のダイヤルインを設定します。 例: 5551214
	13	ISDN 数字 ID の登録	ISDN 回線の数字 ID を設定します。 例: 5551214
	14	ISDN 文字 ID(英字)の登録	ISDN 回線の文字 ID を設定します。 例: PANASONIC

■ G4 ファクス送信の操作

ISDN 回線を選択して G4 で送信する場合は、次の手順で操作します。

1. 原稿をセットする

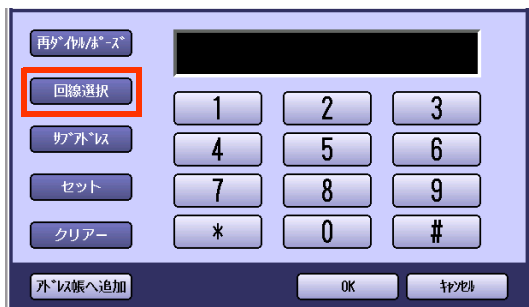
- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(P.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [テンキー]を押す



4. [回線選択]を押し、ISDN 回線を選択する

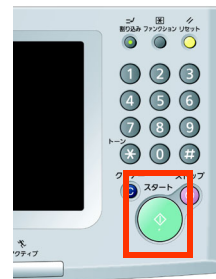


画面右上に「G4」と表示されます。

5. テンキーやアドレス帳で宛先を設定する

- 詳しくは、「宛先を指定する」(p.20)を参照してください。

6. <スタート>を押す



原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

お知らせ

- 送信を中止するときは、「通信を中止する」(p.48)を参照してください。
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されます。画面のメッセージに従って操作してください。
- 相手先が話し中などで送信できなかった場合は、通信結果レポートが排出されます。詳しくは、「通信結果レポート」(p.246)を参照してください。
- 操作が終了したら、操作パネルの<リセット>を押します。操作前の画面に戻ります。

■サブアドレスを設定する

サブアドレスを入力する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- この機能は、オンフックダイヤルでは使えません。
(オンフックダイヤルについては、「相手と電話機で話してから送信する[手動送信]」(p.34)を参照してください。)
- あらかじめ、受信側とサブアドレスの使いかたについて決めておいてください。
- この方法で頻繁にサブアドレスを指定する場合は、アドレス帳登録時に、相手の電話番号と共にサブアドレスを登録しておくとし便利です。アドレス帳登録の操作については、「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.213)を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、「原稿セットのしかた」(P.14)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

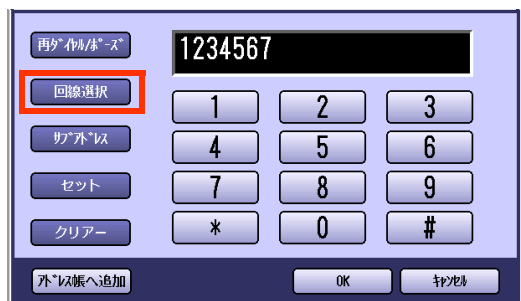
3. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.35)を参照してください。

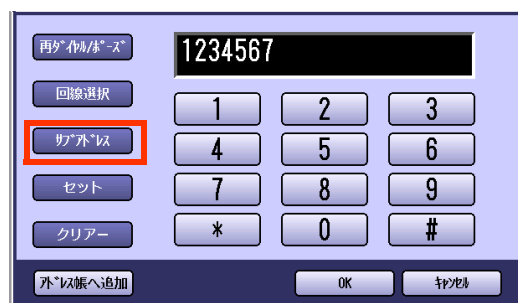
4. 電話番号をテンキーで入力する



5. [回線選択]を押し、ISDN 回線を選択する

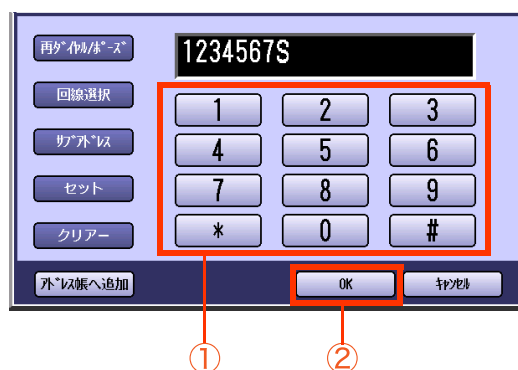


6. [サブアドレス]を押す



- タッチパネルに S が表示されます。

7. サブアドレスを入力し、[OK]を押す



- 電話番号とサブアドレスは、合わせて52桁まで入力できます。ただし、サブアドレスは20桁までです。
- 誤って入力した場合は、画面内の[クリア]を押すと、1文字ずつ削除できます。

8. <スタート>を押す

通信が開始されます。

■トラブルが発生した場合の対処

ISDN 回線を使用している場合にトラブルが発生すると、通信結果レポートや通信管理レポートにエラーコードが表示されます。

エラーコードが表示された場合は、次の表に従って対処方法をしてください。

エラーコード	現象	処置	参照先
0901/ 1901	ISDN 回線に正しく接続されていません。	ISDN 回線接続を確認し、もう一度操作してください。	—————
0902/ 1902/ 0908/ 1908	本機で通信中に回線が抜けました。	ISDN 回線接続を確認し、もう一度操作してください。	—————
0926/ 1926	相手先から応答がないため、通信できません。	下記の確認後、もう一度操作してください。 1. 回線は正しく接続されているか 2. 相手先の電話番号は正しいか(相手先がファクスでない可能性もあります) 3. 相手先のファクスが通信できる状態になっているか	—————
0970/ 1970	ISDN 回線から通信を拒否されました。	ISDN の回線契約を確認し、契約に合った使い方で操作してください。	—————
1416	相手先が通信を中止しました。	相手先に確認して、もう一度送信してください。	—————
1432	ポーリング受信時、相手先にポーリング機能がありません。	ポーリング受信できません。	「受信側からの指示で原稿を送信させる[ポーリング受信]」(p.68)
	ポーリング受信時、相手先がポーリング送信をセットしていません。	相手先にポーリング送信をセットしてもらってください。	
1437	パスワード通信時、相手機とのパスワードが一致しません。	相手機に確認して、通信し直してください。	「パスワードを使って送信する[パスワード送信]」(p.91)
	セレクト通信時、相手機から送られてくる数字 ID が、本機のダイヤル番号に登録されていません。	相手機に確認して、通信し直してください。	
1438	受信拒否リストの数字 ID と合致した相手機から送信されました。	—————	「迷惑ファクス防止」(p.118)
1440	マルチコピー通信時、相手機にマルチコピー通信の能力がありません。	マルチコピー通信できません。	「受信側で複数部数印刷させる[マルチコピー通信]」(p.86)

付録 C 文字入力のかた

本機で文字を入力する場合、操作の内容に応じて、英数専用、かな漢字変換の2種類の画面が表示されます。
文字入力は、Eメールのアドレス入力やファクス/インターネットFAXのアドレス帳登録などをする場合に必要になります。

英数専用画面、かな漢字変換画面、それぞれの画面での文字入力の操作は次のとおりです。

■英数専用画面の操作

例：Eメールアドレスを[キーボード]から直接入力するとき

□ アルファベットを入力する

1. 小文字と大文字を切り替える場合は、
[大文字]を押す



2. 文字を入力し、[OK]を押す

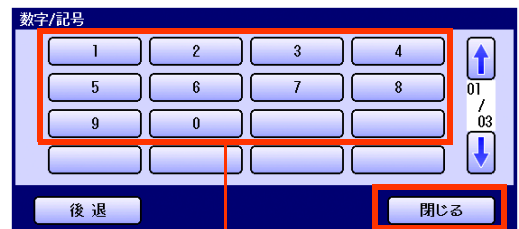
	[.] (ドット、ピリオド)
	[_] (アンダーバー)
	[@] (アットマーク)
	スペース
	入力位置が左に移動します。
	入力位置が右に移動します。
	入力位置の左側の文字を1文字ずつ削除できます。入力位置が一番左側にあるときは、すべての文字を一度に削除します。

□ 数字を入力する

1. [数字 / 記号]を押す



2. 数字を入力し、[閉じる]を押す



①

②

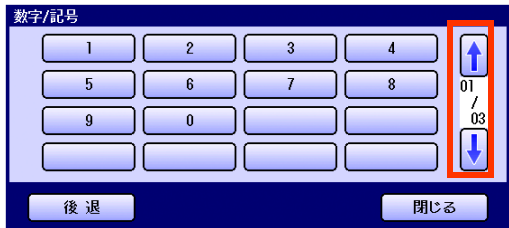
	入力位置の左側の文字を1文字ずつ削除できます。
	数字 / 記号の次候補・前候補の画面を表示できます。

□ 記号を入力する

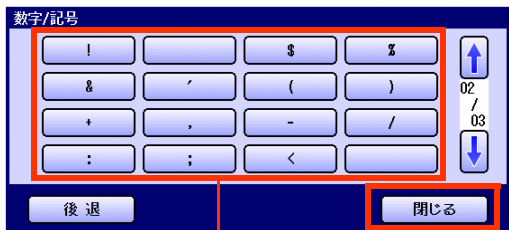
1. [数字 / 記号]を押す



2. ↑または↓を押し、入力したい記号の画面を表示する





3. 入力したい記号を選択し、[閉じる]を押す



①

②

	入力位置の左側の文字を1文字ずつ削除できます。
	数字 / 記号の次候補・前候補の画面を表示できます。

■かな漢字変換画面の操作

漢字、ひらがな、カタカナを入力するには、次の 3 つの方法があります。

例：ファクスのアドレス帳を登録するとき

入力のしかた	説明
かな漢字変換	<p>ローマ字変換で漢字を入力できます。</p> <p>例：[T] [O] [U] [K] [Y] [O] [U] を入力して [スペース / 変換] を押す ⇒ 東京</p>
熟語の入力	<p>あらかじめ本機に登録されている熟語(都道府県名、都市名、企業の部署名など)から、文字を選択できます。</p> <p>例：[熟語] を押して選択 ⇒ 東北 関東 東海 北陸</p> <ul style="list-style-type: none"> 入力できる熟語については、「付録 E 熟語・記号一覧」(p.298)を参照してください。
区コードを使った文字入力	<p>区コードを入力して文字を 1 文字ずつ入力できます。 読み方がわからない文字や、かな漢字変換で表示できない文字の入力に便利です。</p> <p>例：「ヶ」を入力したい [区コード] を押し、テンキーで [0] [5] [8] [6] を入力 ⇒ ヶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 区コードについては、「付録 D 区コード一覧」(p.283)を参照してください。

お知らせ

- かな漢字変換では、変換用に入力できる文字は 10 文字までです。
- 数字と記号の入力については、「英数専用画面の操作」(p.277)を参照してください。
- 入力できる記号については、「付録 E 熟語・記号一覧」(p.298)を参照してください。

□ かな漢字変換

1. [かな漢モード]が表示されていることを確認する

- [カナモード]、[全英大モード]、[全英小モード]が表示されている場合は、ボタンを押して[かな漢モード]に切り替えてください。



2. ローマ字変換で文字を入力する

(例: TOUKYOU)



- ローマ字については、「ローマ字入力」(p.282)を参照してください。

3. [スペース / 変換]を押す

- 希望する文字が表示されなかったときは、もう一度[スペース / 変換]を押して変換候補の画面から選択します。
- かな漢字変換をしない場合は[無変換]を押します。

(例: 東京)



<p>かな漢モード</p> <p>かな漢モード</p> <p>加モード</p> <p>全英大モード</p> <p>全英小モード</p>	<p>ボタンを押すたびに、入力できる文字が変わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 漢字やひらがなを入力できます。 ● カタカナを入力できます。 ● アルファベットのの大文字を入力できます。 ● アルファベットのの小文字を入力できます。
<p>カタカナ/変換</p>	<p>かな漢字の変換や、変換の候補を表示できます。</p> <p>スペースを入力できます。</p>
<p>無変換</p>	<p>漢字に変換せず、ひらがなを入力するときに押します。</p>
<p>確定</p>	<p>変換した漢字を確定するときに押します。</p>
<p>後退</p>	<p>入力位置の左側の文字を1文字ずつ削除できます。入力位置が一番左側にあるときは、すべての文字を一度に削除します。</p>
<p>◀</p>	<p>入力位置が左に移動します。</p>
<p>▶</p>	<p>入力位置が右に移動します。</p>

4. 変換した文字を確定するときは、[確定]を押す

(例: 東京)



- [無変換]を押した場合や、変換候補から選択した場合は、[確定]を押す必要はありません。

□ 熟語の入力

1. [熟語]を押す



- 入力できる熟語については、「付録E 熟語・記号一覧」(p.298)を参照してください。

2. ↑または↓を押す、入力したい熟語の画面を表示する



3. 入力したい熟語を選択し、[閉じる]を押す



	入力位置の左側の文字を1文字ずつ削除できます。
	熟語の次候補・前候補の画面を表示できます。

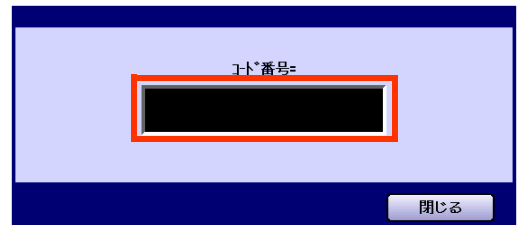
□ 区コードでの文字入力

1. 「付録D 区コード一覧」(p.283)で、入力したい文字の区コードを調べておく

2. [区コード]を押す



3. テンキーで区コードを入力する



入力した区コードの文字がキーボードの画面に表示されます。

□ ローマ字入力

あ	A	い	I	う	U	え	E	お	O
か	KA	き	KI	く	KU	け	KE	こ	KO
さ	SA	し	SI/SHI	す	SU	せ	SE	そ	SO
た	TA	ち	TI/CHI	つ	TU/TSU	て	TE	と	TO
な	NA	に	NI	ぬ	NU	ね	NE	の	NO
は	HA	ひ	HI	ふ	HU/FU	へ	HE	ほ	HO
ま	MA	み	MI	む	MU	め	ME	も	MO
や	YA			ゆ	YU			よ	YO
ら	RA	り	RI	る	RU	れ	RE	ろ	RU
わ	WA			を	WO			ん	NN
が	GA	ぎ	GI	ぐ	GU	げ	GE	ご	GO
ざ	ZA	じ	ZI/JI	ず	ZU	ぜ	ZE	ぞ	ZO
だ	DA	ぢ	DI	づ	DU	で	DE	ど	DO
ば	BA	び	BI	ぶ	BU	べ	BE	ぼ	BO
ぱ	PA	ぴ	PI	ぷ	PU	ぺ	PE	ぽ	PO
あ	XA/LA	い	XI/LI	う	XU/LU	え	XE/LE	お	XO/LO
				っ	XTU/LTU				
や	XYA/LYA			ゅ	XYU/LYU			よ	XYO/LYO
きゃ	KYA	きい	KYI	きゅ	KYU	きえ	KYE	きょ	KYO
ぎゃ	GYA	ぎい	GYI	ぎゅ	GYU	ぎえ	GYE	ぎょ	GYO
しゃ	SYA/SHA	しい	SYI	しゅ	SYU/SHU	しえ	SYE/SHE	しよ	SYO/SHO
じゃ	JYA/JA	じい	JYI	じゅ	JYU/JU	じえ	JYE/JE	じょ	JYO/JO
ちゃ	TYA/CHA	ちい	TYI/CYI	ちゅ	TYU/CHU	ちえ	TYE/CHE	ちょ	TYO/CHO
ぢゃ	DYA	ぢい	DYI	ぢゅ	DYU	ぢえ	DYE	ぢょ	DYO
てゃ	THA	てい	THI	てゅ	THU	てえ	THE	てょ	THO
でゃ	DHA	でい	DHI	でゅ	DHU	でえ	DHU	でょ	DHO
にゃ	NYA	にい	NYI	にゅ	NYU	にえ	NYE	にょ	NYO
ひゃ	HYA	ひい	HYI	ひゅ	HYU	ひえ	HYE	ひょ	HYO
びゃ	BYA	びい	BYI	びゅ	BYU	びえ	BYE	びょ	BYO
ぴゃ	PYA	ぴい	PYI	ぴゅ	PYU	ぴえ	PYE	ぴょ	PYO
ふぁ	FA	ふい	FI			ふえ	FE	ふぉ	FO
ふゃ	FYA	ふい	FYI	ふゅ	FYU	ふえ	FYE	ふょ	FYO
みゃ	MYA	みい	MYI	みゅ	MYU	みえ	MYE	みょ	MYO
りゃ	RYA	りい	RYI	りゅ	RYU	りえ	RYE	りょ	RYO

付録 D 区コード一覧

文字入力画面で、[区コード]を使って文字を入力する場合は、次のコード一覧を参照してください。

例： > (01 区の 68 番)
区コードには 0168 と入力する

01	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17
0~			、	。	，	．	・	：	；	？	！	”	’	°	′	″	^	—
20~	ゞ	ゝ	ゞ	//	全	々	メ	○	—	—	-	/	\	～			…	..
40~	“	”	()	[]	[]	{	}	<	>	《	》	「	」	『	』
60~	+	-	±	×	÷	=	≠	<	>	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″
80~	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇			

■第 1 水準

01	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~			、	。	，	．	・	：	；	？	！	”	’	°	′	″	^	—	—	、
20~	ゞ	ゞ	ゞ	//	全	々	メ	○	—	—	-	/	\	～			…	..	—	、
40~	“	”	()	[]	[]	{	}	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】
60~	+	-	±	×	÷	=	≠	<	>	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	¥
80~	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇					

02	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	＝					
20~							∈	≡	⊆	⊇	⊂	⊃	⊄	⊅						
40~			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃											
60~	∠	⊥	∩	∪	∇	≡	≠	≪	≫	√	∞	∞	∴	∫	∫					
80~		Å	‰	#	b	♪	†	‡	¶						○					

03	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~																	0	1	2	3
20~	4	5	6	7	8	9								A	B	C	D	E	F	G
40~	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
60~						a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
80~	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z									

10章 付録

04	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		あ	あ	い	い	う	う	え	え	お	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
20~	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	か	だ	ち	ぢ	っ	づ	づ	て	で
40~	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	へ	ほ
60~	ぽ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	ゃ	ゅ	ゅ	ょ	ょ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ
80~	ゐ	ゑ	を	ん																

05	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
20~	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	テ	デ	ホ
40~	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブル	ブル	ヘ	ベ	ペ	ワ
60~	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ャ	ュ	ュ	ョ	ョ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ
80~	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ													

06	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T
20~	Υ	Φ	X	Ψ	Ω									α	β	γ	δ	ε	ζ	η
40~	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
60~																				
80~																				

07	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		A	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
20~	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я						
40~										а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
60~	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
80~	ю	я																		

08	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		一	丨	┐	└	┌	└	└	└	└	└	└	└	└	└	└	└	└	└	└
20~	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
40~																				
60~																				
80~																				

16	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		ア	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯨
20~	あす	アツ	幹	扱	宛	ね	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ
40~	鞍	あん	伊	位	依	偉	困	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	い
60~	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壺	溢	逸
80~	いね	いば	いも	いわ	イン	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭					

17	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		院	陰	隠	韻	いんち 時	う 右	宇	烏	羽	迂	雨	う 卯	鵜	うかい 窺	うし 丑	うす 碓	白	うず 渦	うそ 嘘	う
20~	うた 唄	ウツ 鬱	蔚	うなぎ 鰻	うば 姥	うまや 厩	うら 浦	うり 瓜	うるう 閏	うわさ 噂	ウン 云	運	雲	え 荏	餌	エイ 叡	営	嬰	影	映	え
40~	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	鋭	エキ 液	疫	益	駅	エツ 悦	謁	越	
60~	閱	えのき 榎	エン 厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁	
80~	艶	苑	菌	遠	鉛	鴛	塩	オ 於	汚	おい 甥	オウ 凹	央	奥	往	応						お

18	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯	鷗	黄	おか 岡	おき 沖	おぎ 荻	オク 億	屋	憶	臆	おけ 桶	
20~	おす 牡	オツ 乙	おれ 俺	おろし 卸	オン 恩	温	穩	音	カ 下	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	か
40~	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	
60~	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	か 蚊	ガ 俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	
80~	カイ 介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改						

19	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	かい 貝	ガイ 凱	効	外	咳	害	崖	
20~	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	かいり 涇	かおり 馨	かえる 蛙	かき 垣	柿	蛎	かぎ 鈎	カク 劃	嚇	各	廓	
40~	拡	攪	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	ガク 学	岳	楽	額	
60~	顎	かけ 掛	かさ 笠	かし 桴	かじ 梶	かじか 鰻	かた 潟	カツ 割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	かつ 且	かつお 鯨		
80~	かない 叶	かば 杷	樺	かばん 鞆	かぶ 株	かぶと 兜	かま 竈	蒲	釜	鎌	かみ 噛	かも 鴨	かや 栢	茅	萱						

20	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		かゆ 粥	かり 刈	かわら 刈	カン 乾	侃	冠	寒	刊	勘	勸	巻	喚	堪	姦	完	官	寬	干		
20~	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歡	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	
40~	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	覲	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	韓	館	
60~	館	ガン 丸	含	岸	巖	玩	癌	眼	岩	翫	贗	雁	頑	顔	願	キ 企	伎	危	喜	器	き
80~	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄						

10章 付録

21	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
20~	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	犧	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
40~	鬼	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
60~	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
80~	巨	拒	拋	拳	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京					
22	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強	彊	怯	恐	恭
20~	挟	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	蕎	鄉	鏡	響	饗	驚	仰	凝	堯	曉
40~	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
60~	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駟
80~	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈					
23	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	糸	栗	繰	桑	鋤	勲	君	薰	訓	群	軍
20~	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	徑	恵	慶	慧	憩	掲
40~	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	経	継	繫	野	荃	荊	蚩	計	詣	警	軽	頸
60~	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	朽	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
80~	俟	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲					
24	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	陰	顕	験
20~	鯨	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固
40~	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
60~	顧	鼓	五	互	伍	午	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	酬
80~	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向					

25	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
20~		拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿
40~		紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵
60~		砒	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	ゴウ剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	こうじ翹	コク克
80~		告	国	穀	酷	鵠	黒	ゴク獄	こし漉	腰	こしき甌	コツ忽	惚	骨	こま猫	こみ込				刻
26	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		これ此	ころ頃	コン今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	サ些
20~		佐	又	唆	嵯	左	差	查	沙	磋	砂	詐	鎖	娑	坐	挫	サイ債	催	再	最
40~		哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歲	濟	災	采	犀	碎	砦	祭	齋	細	菜
60~		載	際	サイ劑	在	材	罪	財	さえ冴	さか坂	阪	さかい堺	さかき櫛	さかな肴	さき咲	崎	埼	碕	さざ鷺	サク作
80~		昨	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	さくら桜	さけ鮭	ささ笹	さじ匙	サツ冊	刷				削
27	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	ザツ雑	さつき阜	さば鯖	さばき捌	さび鯖	さめ鮫	さら皿	さらし晒	サン三	傘	参	山
20~		惨	撒	散	栈	燦	珊	産	算	纂	蚕	讚	賛	酸	餐	ザン斬	暫	残	シ仕	仔
40~		使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜
60~		施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試
80~		諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時				誌
28	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	しか鹿	シキ式	識	しき嶋	ジク竺
20~		軸	しし穴	しすく卑	シチ七	シツ叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	ジツ実	しとみ部	しの篠	しのび俣	しば柴
40~	しばしば	屢	しべ蕊	しま縞	シャ舍	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	ジャ蛇	シャク邪	借
60~		尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	ジャク若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠
80~		腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	シュウ囚	収	周				種
29	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	菟	衆	襲	讐	蹴
20~		輯	週	酋	酬	醜	ジュウ什	住	充	十	従	戎	柔	汁	茨	獸	縦	重	銃	シュク叔
40~		夙	宿	淑	祝	縮	ジュク塾	熟	シュツ出	術	述	シュン俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	ジュン准	循
60~		旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	緒
80~		署	書	薯	諸	諸	ジョ助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	ショウ傷	償				

10章 付録

30	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
20~	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	焼	焦
40~	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
60~	詳	象	賞	醬	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上 ^{ジョウ}	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	嬢	常
80~	情	擾	条	杖	淨	状	置	穰	蒸	讓	釀	錠 ^{ショク}	嘱	埴	飾					
31	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕 ^{ジョク}	辱 ^{シリ}	尻 ^{シン}	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
20~	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
40~	身	辛	進	針	震	人 ^{ジン}	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	鞞	筭 ^ス	誦 ^ス
60~	須	酢 ^ス	凶 ^ス	厨	逗	吹 ^{スイ}	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	錘 ^{スイ}	随 ^{スイ}
80~	瑞	髓	崇 ^{スウ}	嵩	数	枢	趨	雛	据 ^{スエ}	杉 ^{スギ}	梠	營 ^{スゲ}	頗 ^{スゴ}	雀 ^{スズメ}	裾 ^{スソ}					
32	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		澄 ^{すみ}	摺 ^{すり}	寸 ^{スン}	世 ^セ	瀬 ^セ	畝	是	淒 ^{セイ}	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲 ^セ
20~	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	齊 ^{セイ}	稅 ^{セイ}
40~	脆	隻 ^{セキ}	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切 ^{セツ}	拙
60~	接	撰	折	設	窃	節	説	雪	絶 ^{ゼツ}	舌	蟬 ^{セミ}	仙 ^{セン}	先	千	占	宣	專	尖	川	戰
80~	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線					
33	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前 ^{セン}	善	漸	然
20~	全	禪	繕	膳	糲 ^{セン}	噌 ^ソ	塑	岨	措	曾	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素 ^ソ
40~	組	蘇	訴	阻	遡	鼠 ^{ソウ}	僧	創	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	惣	想
60~	搜	掃	挿	搔	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	総	綜	聡
80~	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騷 ^{ソウ}	像	增	憎					
34	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		臧	藏	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗 ^{ソク}	属	賊	族	続
20~	卒 ^{ソツ}	袖 ^{そで}	其 ^{それ}	揃 ^{そろい}	存 ^{ゾン}	孫	尊	損	村	遜 ^タ	他 ^タ	多	太	汰	訖	唾 ^ダ	堕	妥	惰	打 ^タ
40~	柁	舵	橈	陀	駄	驂	体 ^{タイ}	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎
60~	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛 ^{たい}	代 ^{ダイ}	台	大	第	醍	題	鷹 ^{たか}	滝 ^{たき}	瀧	卓 ^{タク}	啄
80~	宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸 ^{ダク}	濁	諾	荳 ^{たけ}	夙 ^{たこ}	蛸	只 ^{ただ}					

35	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		叩 <small>たたき</small>	但 <small>ただし</small>	達 <small>タツ</small>	辰	奪 <small>ダツ</small>	脱	巽 <small>たつみ</small>	豎 <small>たて</small>	辿 <small>たどり</small>	棚 <small>たな</small>	谷 <small>たに</small>	狸 <small>たぬき</small>	鱈 <small>たら</small>	樽 <small>たる</small>	誰 <small>だれ</small>	丹 <small>タン</small>	单	嘆	坦
20~	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	筭	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛 <small>ダン</small>	団	壇	彈	断
40~	暖	檀	段	男	談	値 <small>チ</small>	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蚶	遲	馳	築 <small>チク</small>
60~	畜	竹	筑	蓄	逐	秩 <small>チツ</small>	窒	茶 <small>チャ</small>	嫡 <small>チャク</small>	着	中 <small>チュウ</small>	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	表
80~	註	耐	鑄	駐	櫓 <small>チョ</small>	瀦	猪	苧	著	貯	丁 <small>チョウ</small>	兆	凋	喋	寵					
36	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		帖	帳	庁	弔	張	彫	徵	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
20~	調	謀	超	跳	鈔	長	頂	鳥	勅 <small>チョク</small>	抄	直	朕 <small>チン</small>	沈	珍	賃	鎮	陳	津 <small>ツ</small>	墜 <small>ツイ</small>	椎
40~	槌	追	鎚	痛	通	塚	柵	捆	槻	佃	漬	柘	辻	薦	綴	鏑	椿 <small>つばき</small>	潰 <small>つぶ</small>	坪	壺
60~	孀 <small>つま</small>	紬 <small>つむぎ</small>	爪 <small>つめ</small>	吊	釣	鶴 <small>つる</small>	亭 <small>テイ</small>	低	停	偵	荆	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
80~	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	遞					
37	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		邸	鄭	釘	鼎	泥 <small>デイ</small>	摘 <small>テキ</small>	擢	敵	滴	的	笛	適	鎬	溺 <small>デキ</small>	哲 <small>テツ</small>	徹	撤	轍	迭
20~	鉄 <small>テン</small>	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点	伝 <small>デン</small>	殿	澱	田	電 <small>ト</small>	兔	吐
40~	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努 <small>ド</small>	度	土	奴
60~	怒	倒 <small>トウ</small>	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	拷	棟
80~	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到					
38	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	鬪	働 <small>ドウ</small>	動	同	堂	導
20~	懂	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠 <small>とうげ</small>	鴝 <small>とき</small>	匱	得	德	洩	特	督	禿	篤	毒 <small>ドク</small>
40~	独	読	栃	橡	凸	突	椶	届	薦	苦	寅	酉	瀨	噸	屯	悖	敦	沌	豚	遁
60~	頓	吞 <small>ドン</small>	曇	鈍	奈 <small>ナ</small>	那	内 <small>ナイ</small>	乍 <small>なかい</small>	屮 <small>なぎ</small>	薙	謎	灘	捺	鍋	檣	馴	縄	驟	南	楠
80~	軟	難	汝 <small>なんじ</small>	二	尼	弍	迹	勾 <small>におい</small>	賑 <small>にぎわい</small>	肉	虹	廿	日	乳	入					
39	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		如 <small>ニョ</small>	尿 <small>ニョウ</small>	韮 <small>にら</small>	任 <small>ニン</small>	妊	忍	認	濡 <small>ぬれ</small>	襦 <small>ヌ</small>	祢	寧	葱	猫	熱	年 <small>ネン</small>	念	捻	撚	燃
20~	粘	乃 <small>ノ</small>	迺	之	埜	囊 <small>ノウ</small>	惱	濃	納	能	腦	膿	農	覗 <small>のぞき</small>	蛭 <small>のみ</small>	巴	把	播	霸	杷
40~	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	庖	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
60~	倍	培	媒	梅	煤	煤	猥	買	売	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
80~	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝 <small>バク</small>	漠	爆	縛	莫	駁	麦					

10章 付録

40	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		はこ 函		はざま 裕	はし 箸	はじめ 肇	はず 筈	はげ 櫛	はた 幡	はだ 肌	はたけ 畑	畠	ハチ 八	鉢	ハツ 澆	爰	醜	髪	ハツ 伐	罰
20~	抜	筏	閥	はと 鳩	はなし 嘶	はなわ 塙	はまぐり 蛤	はやぶさ 隼	ハン 伴	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版
40~	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	煩	頒	飯	バン 挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	ヒ 匪
60~	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
80~	誹	費	避	非	飛	樋	簸	ヒ 備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美					
41	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		鼻	ひいらぎ 柎	ひえ 稗	ヒキ 匹	疋	ひげ 髭	ひこ 彦	ひざ 膝	ひし 菱	ひじ 肘	ひつ 弼	必	畢	筆	逼	ひのき 桧	ひめ 姫	媛	ひも 紐
20~	ヒヤク 百	ビョウ 謬	ビョウ 依	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	ビョウ 廟	描	病	秒	苗	錨	ビョウ 鋌	ひる 蒜
40~	蛭	ひれ 鰭	ヒン 品	彬	斌	浜	瀕	貧	寶	頻	敏	瓶	フ 不	付	埠	夫	婦	富	富	フ 布
60~	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
80~	武	舞	葡	蕪	部	フウ 封	楓	風	ふき 葺	落	フク 伏	副	復	幅	服					
42	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		福	腹	複	覆	ふち 淵	フツ 弗	払	沸	フツ 仏	物	ふな 鮒	フン 分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
20~	粉	糞	紛	雰	フン 文	フ 丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	べい 米	頁	へ
40~	ヘキ 僻	壁	癖	碧	ベツ 別	瞥	蔑	へら 篋	へん 偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	べん 便	勉	婉	弁
60~	鞭	ホ 保	舗	舗	圃	捕	歩	甫	補	輔	ほ 穂	ボ 募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	ホウ 倣
80~	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋					ほ
43	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	ボウ 乏
20~	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
40~	銚	防	ほえ 吠	ほお 頼	ホク 北	ボク 僕	ト	墨	撲	朴	牧	睦	穆	ぼたん 釧	ボツ 勃	没	ほんど 殆	ほり 堀	ほろ 幌	ホン 奔
60~	本	翻	ボン 凡	盆	マ 摩	磨	魔	麻	マイ 埋	妹	昧	枚	每	まいる 哩	まき 楨	マク 幕	膜	まくら 枕	まぐろ 鮪	まさ 枉
80~	ます 鱒	桺	また 亦	俣	又	マツ 抹	末	沫	まで 迄	まま 俚	まゆ 繭	まる 磨	マン 万	慢	満					ま
44	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		漫	蔓	ミ 味	未	魅	み 巳	箕	みざき 岬	ミツ 密	蜜	みなと 湊	みの 蓑	みのり 稔	ミヤク 脈	ミョウ 妙	みり 耗	みん 民	眠	ム 務
20~	夢	無	牟	矛	霧	鷗	むく 棕	むこ 婿	むすめ 娘	メイ 冥	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	めい 姪	めす 牝	メツ 滅
40~	メン 免	棉	綿	緬	面	麵	モ 摸	模	茂	モウ 妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	もうけ 儲	モク 木	黙
60~	目	もく 杳	モチ 勿	もち 餅	もつと 尤	もとり 戻	もみ 糲	もらい 貰	モン 問	悶	紋	門	もんめ 匆	ヤ 也	冶	夜	爺	耶	野	弥
80~	矢	ヤク 厄	役	約	薬	訳	躍	やす 靖	やなぎ 柳	やぶ 藪	やり 鐺	ユ 愉	愈	油	癒					ゆ

45	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		諭	輸	唯 ^{ユイ}	佑 ^{ユウ}	優	勇	友	宥 ^{ユウ}	幽 ^{ヨウ}	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
20~	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕 ^{ヨウ}	予 ^ヨ	余	与	譽	輿	預	傭 ^{ヨウ}	幼	妖	容	庸 ^ヨ
40~	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
60~	養 ^{ヨウ}	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀 ^{ヨド}	羅 ^ラ	螺	裸	来 ^{ライ}	萊	賴	雷	洛 ^{ラク}	絡	落	酪 ^ラ
80~	乱 ^{ラン}	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利 ^リ	吏	履	李	梨	理	璃					り

46	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		痢	裏	裡	里	離 ^{リク}	陸 ^{リツ}	律 ^{リツ}	率	立	律 ^{リツ}	掠 ^{リャク}	略 ^{リョウ}	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
20~	隆	竜	龍	侶 ^{リョ}	慮	旅	虜 ^{リョウ}	了	亮	僚	両	凌	寮	料	梁	涼	獺	療	瞭	稜
40~	糧	良	諒	遼	量	陵	領 ^{リョウ}	力	緑	倫 ^{リン}	厘	林	淋	憐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
60~	瑠 ^ル	罍 ^{レイ}	淚	累 ^{レイ}	類 ^{レイ}	令 ^{レイ}	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗 ^レ
80~	齡 ^{レイ}	曆	歷	列 ^{レツ}	劣	烈	裂 ^{レン}	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯					るれ

47	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		蓮	連	鍊 ^ロ	呂 ^ロ	魯	櫓	炉	賂	路	露	勞 ^{ロウ}	婁	廊 ^{ロウ}	弄	朗	樓	榔	浪	漏 ^{ロウ}
20~	牢	狼	箆	老 ^{ワウ}	聾 ^{ワウ}	蛾	郎 ^{ロウ}	六 ^{ロク}	麓	禄	肋	録	論 ^{ロン}	倭 ^ワ	和	話	歪 ^{ワイ}	賄	脇 ^{ワキ}	惑 ^{ワク}
40~	杵 ^{ワク}	鷲 ^{ワシ}	互 ^{ワタリ}	巨 ^{ワニ}	鰐 ^{ワニ}	詫 ^{ワビ}	藁 ^{ワラ}	蕨 ^{ワラビ}	槐 ^{ワン}	湾	碗	腕								わ
60~																				
80~																				

■第2水準

48	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		弑	巧	丕	个	卬	、	井	丿	乂	乖	乘	亂	丿	豫	事	舒	式	于	亞
20~	亟	亅	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆	佻	仗	仞	仞	仵	价	伉	佚	估	佛
40~	佢	佗	佢	佖	侈	佗	佻	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
60~	俑	俚	俐	倂	倂	倂	倂	倂	倪	倂	倂	倂	倂	倡	倩	倂	倂	倂	們	倆
80~	偃	假	會	偕	修	偈	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂					

49	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		僉	僊	傳	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
20~	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
40~	罔	冑	冑	冕	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑
60~	几	處	夙	凭	鳳	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑
80~	劓	剔	剪	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗

50	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		辦	劬	劬	劬	券	勁	劬	劬	勞	勛	勛	飭	勳	勳	勵	勸	勺	勿	匈
20~	甸	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍
40~	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮
60~	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭
80~	咒	呻	呻	呻	呻	呻	呻	呻	呻	呻	呻	呻	呻	呻	呻	呻	呻	呻	呻	呻
51	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		咫	晒	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤
20~	售	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜
40~	喻	喇	喇	喇	喇	喇	喇	喇	喇	喇	喇	喇	喇	喇	喇	喇	喇	喇	喇	喇
60~	嘴	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶
80~	嚼	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁
52	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		圜	國	圍	圓	團	圖	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉
20~	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉
40~	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉
60~	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉
80~	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天
53	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		奸	姁	妝	佞	佞	妣	妣	姆	姨	姜	妍	妊	姚	娥	娟	娑	娜	娉	甥
20~	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁
40~	嬌	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋
60~	學	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖
80~	寶	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅
54	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐
20~	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
40~	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌
60~	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔
80~	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟
55	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		廖	廣	廝	廚	廬	廢	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡
20~	彝	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋
40~	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃
60~	惠	忿	忿	忿	忿	忿	忿	忿	忿	忿	忿	忿	忿	忿	忿	忿	忿	忿	忿	忿
80~	協	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆

56	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		悄	悛	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖
20~	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
40~	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
60~	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
80~	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
57	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛
20~	抓	抖	拔	扑	坏	拗	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊
40~	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊
60~	掉	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟
80~	攝	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗
58	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據
20~	擺	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀
40~	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝
60~	无	早	早	早	早	早	早	早	早	早	早	早	早	早	早	早	早	早	早	早
80~	晟	晢	晢	晢	晢	晢	晢	晢	晢	晢	晢	晢	晢	晢	晢	晢	晢	晢	晢	晢
59	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄
20~	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
40~	枷	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯
60~	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀
80~	梵	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢
60	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮
20~	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷
40~	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷
60~	穆	穆	穆	穆	穆	穆	穆	穆	穆	穆	穆	穆	穆	穆	穆	穆	穆	穆	穆	穆
80~	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸
61	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩
20~	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖
40~	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳
60~	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳
80~	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾

62	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		汩	泛	泯	汧	汨	洩	衍	洶	洳	洽	洸	洙	洵	洳	洳	洳	洳	洳	洳
20~	浚	浹	浙	涎	涕	濤	湴	淹	洌	洌	涵	淇	洙	洵	洳	洳	洳	洳	洳	洳
40~	浙	淺	淙	淤	漑	淪	淮	渭	湮	洑	渙	浹	淙	渾	渾	渾	渾	渾	渾	渾
60~	湃	渺	洳	渤	滿	淪	游	漑	溪	湫	渙	浹	淙	渾	渾	渾	渾	渾	渾	渾
80~	溥	滂	溟	潁	溉	灌	漚	漑	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌					
63	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		漾	漓	滷	澆	潯	潯	澁	澀	潯	潛	潛	潭	澍	潼	潘	澎	潯	濂	潦
20~	澳	潯	潯	澆	澆	潯	潯	澁	澀	潯	潛	潛	潭	澍	潼	潘	澎	潯	濂	潦
40~	瀏	潯	潯	澆	澆	潯	潯	澁	澀	潯	潛	潛	潭	澍	潼	潘	澎	潯	濂	潦
60~	炮	烟	烟	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰
80~	煩	熨	熬	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨
64	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨
20~	犁	犁	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇
40~	猊	猊	猊	猊	猊	猊	猊	猊	猊	猊	猊	猊	猊	猊	猊	猊	猊	猊	猊	猊
60~	獺	玠	玠	玠	玠	玠	玠	玠	玠	玠	玠	玠	玠	玠	玠	玠	玠	玠	玠	玠
80~	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁
65	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠
20~	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦
40~	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊
60~	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧
80~	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧	瘧
66	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
20~	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍
40~	眸	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇
60~	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽
80~	碯	碯	碯	碯	碯	碯	碯	碯	碯	碯	碯	碯	碯	碯	碯	碯	碯	碯	碯	碯
67	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧
20~	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊
40~	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟
60~	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖
80~	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦

68	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		筐	笄	筍	笋	筌	筌	筌	筌	筌	筌	笊	笊	笊	筌	笊	筌	筌	筌	筌
20~	筍	笊	笊	筍	筍	筌	筌	筌	筌	筌	筌	笊	笊	笊	筌	笊	筌	筌	筌	筌
40~	族	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
60~	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
80~	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
69	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
20~	經	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
40~	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘
60~	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵
80~	辦	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵
70	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
20~	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈
40~	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦
60~	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚
80~	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛
71	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬
20~	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬
40~	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬
60~	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬
80~	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬	脬
72	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵
20~	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫
40~	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂
60~	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂
80~	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂
73	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐
20~	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉
40~	虺	虺	虺	虺	虺	虺	虺	虺	虺	虺	虺	虺	虺	虺	虺	虺	虺	虺	虺	虺
60~	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔	蛔
80~	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷

74	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		蟪	蛭	蜴	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	蝨	蟀	螭	雖	螯	蟄	蝗	墓	蜈	蝮
20~	蟻	蟲	蟠	蟬	蠍	蟾	蝗	蟪	蟻	蟋	蝨	蟀	螭	雖	螯	蟄	蝗	墓	蜈	蝮
40~	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄	蛄
60~	袍	表	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
80~	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌
75	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦
20~	覺	覽	覲	觀	觚	觚	觚	觚	觚	觚	觚	觚	觚	觚	觚	觚	觚	觚	觚	觚
40~	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒
60~	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒
80~	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳
76	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟
20~	豐	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕
40~	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳
60~	脏	鼻	鼻	鼻	鼻	鼻	鼻	鼻	鼻	鼻	鼻	鼻	鼻	鼻	鼻	鼻	鼻	鼻	鼻	鼻
80~	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
77	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
20~	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
40~	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
60~	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
80~	逅	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹
78	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏
20~	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊
40~	酥	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩
60~	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧
80~	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤
79	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚
20~	鑿	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚
40~	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
60~	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔
80~	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關

80	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		陝	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
20~	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋
40~	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽
60~	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋
80~	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶
81	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛
20~	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒
40~	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
60~	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅
80~	體	體	體	體	體	體	體	體	體	體	體	體	體	體	體	體	體	體	體	體
82	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
20~	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎
40~	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫
60~	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
80~	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱
83	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
20~	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
40~	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
60~	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
80~	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
84	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯
20~																				
40~																				
60~																				
80~																				

付録 E 熟語・記号一覧

文字入力の画面で、[熟語]、[数字 / 記号]を押して表示される文字は次のとおりです。

■ 熟語

画面番号	熟語				画面番号	熟語			
1/14	東北	関東	東海	北陸	8/14	都	道	府	県
	中部	関西	近畿	中国		区	市	郡	町
	山陽	山陰	四国	九州		村	地方		
	北海道	秋田	青森	岩手		日本	東洋	国	
2/14	宮城	山形	福島	茨城	9/14	株式	有限	相互	会社
	群馬	栃木	山梨			銀行	保険	役所	
	東京	神奈川	千葉	埼玉		物産	商事	商会	貿易
	新潟	富山	石川	福井		産業	工業	製作所	
3/14	長野	岐阜	愛知	静岡	10/14	化学	化成		
	京都	奈良	滋賀	三重		電気	電機	通信	機械
	大阪	兵庫	和歌山	鳥取		運輸	運送	輸送	配送
	岡山	広島	山口	島根		物流	倉庫	工場	
4/14	香川	徳島	高知	愛媛	11/14	会館	商店		
	福岡	大分	佐賀	長崎		本社	支社	本店	支店
	熊本	宮崎	鹿児島	沖縄		営業所	事務所	出張所	駐在
	旭川	釧路	帯広	函館		部長	室長	課長	係長
5/14	札幌	盛岡	仙台	郡山	12/14	事業部	本部	中央	
	前橋	高崎	水戸	宇都宮		部	室	課	係
	横浜	川崎	小田原	成田		人事	総務	管理	
	甲府	松本				経理	会計	財務	業務
6/14	名古屋	豊橋	金沢		13/14	営業	販売	計画	通信
	津	大津				企画	渉外	広報	宣伝
	神戸	姫路	徳山			購買	資材	製造	
	松江	高松	松山			研究	開発	技術	商品
7/14	博多	北九州	小倉	下関	14/14	相談役	会長	社長	副社長
	鳥栖	那覇				専務	常務	取締役	役員
						理事	担当	執行	
	東	西	南	北		様	殿	御中	気付

■数字 / 記号

画面番号	記号				画面番号	記号			
1/24	1 5 9	2 6 0	3 7	4 8	13/24	S W a e	T X b f	U Y c g	V Z d h
2/24	. ? ,	、 ! 、	。 : " ..	, : ° ^	14/24	i m q u	j n r v	k o s w	l p t x
3/24	— > 々 —	— ゞ メ —	\ // ○ ／	ゞ 全 — ＼	15/24	y A E I	z B Z K	Г H Λ	Δ Θ M
4/24	~ .. " }	 . ([.)]	... " {	16/24	N P Φ α	Ξ Σ Χ β	Ο Τ Ψ γ	Π Υ Ω δ
5/24	{ 》 』 —	< 「 【 ±	> 」 】 ×	《 『 + ÷	17/24	ε ι ν ρ	ζ κ ξ σ	η λ ο τ	θ μ π υ
6/24	= ≦ ♂ "	≠ ≧ ♀ ℃	< ∞ ° ¥	> ∴ , \$	18/24	φ Α Д З	χ Β Ε И	ψ Β Ё Й	ω Γ Ж К
7/24	¢ & ☆ ◎	£ * ★ ◇	% @ ○ ◆	# § ● □	19/24	Л П У Ч	М Р Ф Ш	Н С Х Щ	О Т Ц Ъ
8/24	■ ▼ ← ∈	△ ※ ↑ ∋	▲ 〒 ↓ ⊆	▽ → ≡ ⊇	20/24	Ы Я а д	Ь б е	Э в ё	Ю г ж
9/24	⊂ ∧ ⇔ ⊥	⊃ ∨ ∀ (∪ ¬ ∃ ∂	∩ ⇒ ∠ ∇	21/24	з л п у	и м р ф	й н с х	к о т ц
10/24	≡ √ ∫ #	÷ ∞ ∫ b	≪ ∞ Å ♪	≫ ∴ ‰ †	22/24	ч ы я	ш ь э	щ ю	ъ ю
11/24	‡ 0 4 8	¶ 1 5 9	○ 2 6 A	3 7 B	23/24	— ┐ └ ┌	 └ ┐ ┌	┐ └ ┐ └	┐ └ ┐ └
12/24	C G K O	D H L P	E I M Q	F J N R	24/24	┐ └ ┐ └	┐ └ ┐ └	┐ └ ┐ └	┐ └ ┐ └

付録 F 主な仕様

■ファクシミリ

- 機種によってはオプションです。

適合回線	G3 通信時：電話回線（ITU-T Group3）、ファクシミリ通信網（F 網 第2種接続サービス） G4 通信時：ISDN 回線（ITU-T Group4）
直流抵抗値	287.3Ω
帯域圧縮方式	G 3 通信時：JBIG、MMR、MR、MH G 4 通信時：MMR、JBIG
モデム形式	ITU-T V.34、V.17、V.29、V.27 ter and V.21
通信速度	G3 通信時：2400 ～ 33600 bps G4 通信時：64000 bps、56000 bps
原稿サイズ	A5 ～ A3 最大：原稿台ガラス：A3 ADF：A3 最小：原稿台ガラス：制限なし ADF：A5
読み取り方式	CCD イメージセンサーによる平面走査
有効読み取り幅	292 mm
走査線密度	主走査 16 dot/mm、8 dot/mm 600 dpi 副走査 15.4、7.7、3.85 本/mm 600 dp
アドレス帳メモリー容量	1000 宛先
イメージメモリー容量	3MB（お買い上げ時）：約 180 ページ 64 ～ 96MB 増設時：約 2300 ～ 約 6900 ページ（SD メモリーカード） ・イメージメモリー用のSDメモリーカードを増設する場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。 ・保存できる枚数は、A4 標準原稿（A4 サイズ 700 文字程度の原稿）を、解像度[ふつう]で読み取ったときの枚数です。原稿によって、枚数は異なります。 ・タイマー送信などの通信予約でメモリーを使用している場合は、メモリーに保存できる枚数が少なくなります。

■E メール / インターネット FAX

- 機種によってはオプションです。

インターフェイス	10Base-T Ethernet (IEEE 802.3.i)、 100Base-TX Fast Ethernet (IEEE802.3u)、 1000Base-T Gigabit Ethernet (IEEE 802.3ab)
適合回線	10Base-T/100Base-TX /1000Base-T port: RJ-45
適合規格	IETF RFC3965、ITU-T T.37
通信プロトコル	TCP/IP、SMTP、SMTP-AUTH、POP3、APOP、 POP before SMTP
データ形式	TIFF [IETF RFC 3949 Profile S、F、J] PDF (E メール送信時のみ) JPEG (E メール送信時のみ)
有効受信幅	最大：A3 サイズ

- 製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

Memo

索引

英数字

2 イン 1 印刷	111
2 次中継局の識別番号	216
2 次中継局	215
A3 → B4 縮小	220
ADF (自動原稿送り装置)	14
Bcc	154
Cc	154
DHCP	193
E メール	10, 26, 143, 149
E メール A3 送信	162
E メール受信	169
From	156
FROM 選択機能	154, 156
F コード	82, 102, 211, 220
F コード通信	82
F 網通信	88
G4 通信ユニット (DA-FG323)	21, 273
G4 モード	273
ID 受信時刻印字	118
ID なし時受信	118
ID 番号登録 (01-30)	118
Image	161
IPFax	104, 223
IP 電話サービス	54
IP 電話番号	211
ISDN 回線	273
ISDN 基本番号の登録	273
ISDN 数字 ID の登録	273
ISDN ダイヤルインの登録	273
ISDN 文字 ID (英字) の登録	273
LAN 縮小送信	162
LAN 中継	174
LAN 中継機能	179
LAN 中継結果返送	179, 191
LAN 中継送信指示	181, 183
LAN 中継送信の通信結果	191
LAN 中継同報指示	186
LAN 中継の登録	183, 211
LDAP 検索	25, 148
LDAP サーバー	148
MDN	133
PC	104, 223
PDF	160
POP エラー時削除	168

POP 自動受信	168
POP 受信後削除	168
POP 取得間隔	168
POP 手動受信登録	237
SMTP サーバー	134, 175
SMTP 認証	193
SUB address	82
SUB ルーティング	102, 105, 211, 220
TIFF	160

あ

相手通信能力	220
宛先確認	29, 158
宛先別一括送信	52
宛先名	211, 220
アドレス帳	10, 22, 145, 210
アドレス帳ダイヤル情報	73, 182, 211
アドレス帳登録	58, 103, 182, 213, 222
アドレス帳登録 (E メール)	103, 222
アドレス帳登録 (電話)	182, 213
アドレス帳リスト	250

い

インターネット	128
インターネット FAX	127
イントラネット	128

え

エラーコード	264
--------------	-----

お

お好み	22, 145, 211, 220
お好みタブ	210
オンフックダイヤル	33

か

回線選択	21, 275
解像度	35
回転送信	51
回転ソート	112

外部電話機.....	34, 125
画質設定.....	35
管理者メールアドレス	180, 181, 189, 192

き

キーボード.....	141, 143
基本	11, 40

く

クイックメモリー送信	44
区コード一覧.....	283
クリアー.....	21
グループダイヤル	23, 146
グループダイヤルの登録.....	231
グループダイヤルリスト.....	252
グローバル.....	25, 148

け

原稿サイズ.....	38
原稿種類.....	35
原稿台ガラス.....	14
検索	10, 24, 25, 147, 148
検索タブ.....	22, 145, 210
検索文字.....	211, 220
件名	154, 157

こ

公衆電話拒否	119
誤送信防止.....	31, 152
コンピューターからの LAN 中継送信指示.....	189

さ

再ダイヤル.....	27, 150
再ダイヤル / ポーズ	21, 27
細密	37
サブアドレス.....	21, 82

し

時間・宛先変更	198
自局情報の登録	114
自局情報リスト.....	258
システム登録リスト	256

指定通信予約レポート	202
指定番号拒否.....	120
指定番号登録 (01-30).....	120
自動受信	108, 169
写真.....	36
終了通知	167
縮小受信	110
熟語・記号一覧.....	298
受信 2 イン 1 / 両面機能	110, 111
受信時刻印字.....	111
受信データの強制出力	206
受信モード.....	108, 109
手動受信	109
手動送信	34
手動ファイル転送.....	207
仕様	300
詳細	26, 149
詳細設定	62
親切受信	109

す

数字 ID 拒否	118
数字 ID 拒否機能.....	118
数字 ID ルーティング	102, 105, 211, 220
数字 ID を利用した迷惑ファクス防止.....	118
済スタンプ.....	42
済スタンプの交換.....	272

せ

セット.....	21
セレクト受信.....	114
セレクト送信.....	89
セレクトドメイン	144
セレクトモード.....	12, 90
センター機.....	82
全通信	241

そ

送信先	220
送信のみ	241
送信メモリー優先.....	44, 46
送達確認通知 (MDN)	133
送達確認要求.....	164

た

代行宛先.....	211, 219
代行宛先通信.....	219
代行受信.....	206, 207
代行出力.....	113, 206
タイマー送信.....	62
タイマー通信予約ファイル.....	198
タイマー特殊通信.....	66
タイマーポーリング受信.....	64
ダイヤルインルーティング.....	102, 105, 211, 220
ダイヤル再入力.....	32, 153
ダイレクト SMTP.....	134
ダイレクト送信.....	46

ち

中継機.....	72, 211, 215
中継機以外.....	72, 211, 216
中継許可ドメイン名.....	180
中継局.....	72, 175, 215
中継識別番号.....	215
中継指示局.....	72, 174
中継情報の登録.....	73, 183, 211, 215
中継送信先.....	72, 175, 216
中継送信レポート.....	191
中継同報.....	72
中継同報先.....	216
中継同報指示.....	72, 74
中継用パスワード.....	180
中継局からのダイヤル方法.....	216
直接ダイヤル再入力.....	32, 153
直接ダイヤル制限.....	31, 32, 152, 153

つ

通信エラーファイル.....	204
通信管理レポート.....	240, 263
通信機能.....	228
通信結果レポート.....	191, 246
通信状況.....	50
通信予約の確認.....	196
通信予約の確認と消去.....	13, 196
通信予約の消去.....	200
通信予約ファイル.....	196
通信予約レポート.....	197
通信を中止する.....	48
通知不可能拒否.....	120

て

定期便タイマー通信.....	98
定期便タイマーの登録.....	98
定時刻タイマーの登録.....	64, 66
停電時の対応.....	269
デフォルトサブジェクト.....	154, 157
デフォルトドメイン.....	144
テンキー.....	10
伝送速度.....	95
電話回線を確認する.....	270
電話番号.....	211

と

特殊通信.....	12, 74
ドメインリスト.....	144
トラブルの対処方法.....	262

の

濃度.....	35
---------	----

は

パスワード受信.....	116
パスワード送信.....	91, 92, 93
発信者番号.....	118
発信元印字.....	49
発番号拒否機能.....	119
発番号契約.....	102
発番号ルーティング.....	102, 105, 211, 220
発番号を利用した迷惑ファクス防止.....	119

ひ

非通知拒否.....	119
------------	-----

ふ

ファイル消去.....	79
ファイル送信.....	76
ファイルタイプ / ファイル名.....	160
ファイル蓄積.....	77
ファイルプリント.....	80
ファクシミリ通信網.....	88
ファクス番号.....	26, 149
複数宛先.....	28

複数宛先指定	28
プレフィクス機能	56
プログラム / グループ	53
プログラムダイヤル	53, 228
プログラムダイヤルの登録	229, 252
プログラム名	228
プログラムリスト	254
プログラムリスト印刷	236
プログラム / グループの消去	235

へ

編集 (全角)	161
編集 (半角アルファベット)	161

ほ

ポーリング受信	68
ポーリング送信	70
ポーリング送信保存	70
ポーリング用暗証番号の登録	65, 69, 71
ボタン名	211, 220, 228

ま

マルチコピー通信	86
マルチコピー通信部数の指定	211, 218
マルチプリント部数	112
マルチプリント部数の指定	211, 218

み

未達宛先再通信	204
未通信ファイル保存	48, 115, 204

め

迷惑ファクス防止	118
メールアドレス	144, 220
メールサーバー	134, 175
メールリモート登録	268
メモリー受信	122
メモリー受信暗証番号の登録	122
メモリー済スタンプ	262
メモリー送信	44
メモリー代行受信	113
メモリー転送	115

も

文字	36
文字 / 写真	36
文字入力のしかた	277
モニター	33

ゆ

優先通信	96
------------	----

よ

呼出音量	109
------------	-----

り

リストプリント	13, 240
リモート受信	125
両面印刷	111
両面原稿	40
リルート機能	56, 58, 264

る

ルーティング	131
ルーティング時 FROM	102
ルーティング時出力	102

ろ

ローカル	25, 148
ローカル検索	24, 147

わ

ワンタイム海外通信	95
-----------------	----

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer、PowerPoint、Outlook は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

インテル、Intel ロゴ、Intel Inside ロゴ、Itanium、Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

USB-IF のロゴは Universal Serial Bus Implementers Forum, Inc の商標です。

TrueType は、米国 Apple Computer, Inc の登録商標です。

Novell、NetWare、intraNetWare、NDS は、米国 Novell, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

PeerlessPage™ は Peerless Systems Corporation の商標です。

PeerlessPrint® と Memory Reduction Technology® は Peerless Systems Corporation の登録商標です。© 2005 PEERLESS Systems Corporation.

PCL は、米国ヒューレット・パカード社およびその子会社の商標または登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript3、Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

© 2005 Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)

Universal Font Scaling Technology (UFST) および、そのすべての書体は Monotype Imaging 社よりライセンスを受けています。

ColorSet™ は米国の特許商標局で登録されている Monotype Imaging Inc. の登録商標であり、そして他の管轄区域で登録されている場合があります。Monotype Imaging 社からライセンスしている ColorSet™ の技術により、生成および編集したカラープロファイルを使用しています。

© 2005 Monotype Imaging Inc.

libtiff は Silicon Graphics, Inc. で Sam Leffler によって作成されたソフトウェアです。

Copyright © 1988-1997 Sam Leffler

Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

zlib は Jean-loup Gailly and Mark Adler によって作成されたソフトウェアです。

Copyright © 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

libjpeg は Independent JPEG Group. によって維持されているソフトウェアです。

Copyright © 1991-1998, Thomas G. Lane

その他の本書に記載されている会社名および製品名はそれぞれの各社の商標または登録商標です。

本機には GNU General Public License に基づきライセンスされるプログラム、GNU Lesser General Public License に基づきライセンスされるプログラムおよびその他のオープンソフトウェアが含まれています。その詳細およびライセンス条件については、添付の取扱説明書 CD を参照してください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品番
販 売 店 名	電話（ ） -	
サ ー ビ ス 実 施 会 社 名	電話（ ） -	

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ドキュメントソリューションズカンパニー